

# 高齡者等実態調査報告書

令和8年3月

岐阜市



# 目 次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的.....	1
2 調査の対象及び方法等.....	1
3 調査票の回収結果.....	2
4 調査結果をみる上での注意事項.....	2
<b>第2章 調査対象者の属性</b> .....	<b>3</b>
1 性別・年齢.....	3
(1) 性別.....	3
(2) 年齢.....	6
2 家族構成.....	8
3 住まい等.....	10
4 居住地区.....	13
<b>第3章 介護の実態</b> .....	<b>14</b>
1 介護の状況について.....	14
(1) 要支援・要介護度.....	14
(2) 介護が必要になった主な原因.....	17
(3) 家族等による介護の状況.....	22
(4) 主な介護者と介護等の状況.....	25
2 主な介護者の状況について.....	32
(1) 主な介護者の就労状況等.....	32
(2) 主な介護者の困りごと等.....	37
(3) 主な介護者の健康状態等.....	43
(4) 主な介護者の相談相手.....	48
3 認知症への対策等について.....	50
(1) 認知症状の有無.....	50
(2) 認知症に関する相談窓口等の周知状況.....	53
(3) 新しい認知症観の周知状況.....	55
(4) 認知症への対策.....	58
4 介護（予防）サービスの利用等について.....	62
(1) サービスの利用状況.....	62
(2) 利用しているサービスの満足度.....	68
(3) サービスの利用後の変化.....	70
(4) サービスの充実に向けて.....	72
(5) 今後の暮らし方.....	77

<b>第4章 生活の実態</b> .....	<b>84</b>
1 運動・閉じこもりについて .....	84
(1) 運動器の状況.....	84
(2) 外出の状況.....	96
2 口腔・栄養について .....	103
(1) 身長・体重.....	103
(2) 食事、口腔の状況.....	110
3 もの忘れについて .....	121
4 日常生活について .....	125
(1) 買い物等.....	125
(2) 金銭管理.....	131
5 社会参加等について .....	135
(1) グループ活動等への参加状況.....	135
(2) グループ活動等への参加意向.....	139
(3) たすけあい.....	143
(4) 友人・知人とのつきあい.....	159
(5) 生きがい.....	161
6 健康について .....	163
(1) 健康状態.....	163
(2) 幸福感.....	177
(3) フレイル予防.....	179
7 福祉サービス等の利用について .....	181
(1) 介護保険制度の認知度等.....	181
(2) 介護保険サービス以外のサービス等の利用等.....	184
(3) 権利擁護支援.....	194
(4) 終活支援.....	199
8 生活全般について .....	207
(1) 暮らしの状況.....	207
(2) 今後不安に思うこと.....	210

本調査は、多種、多項目にわたるため、本報告書では、厚生労働省が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」等の調査項目を中心に、結果の概要を取りまとめています。本報告書に掲載していない調査項目の結果については、岐阜市ホームページに掲載等している「岐阜市高齢者等実態調査結果（詳細版）」をご参照ください。

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、65歳以上の高齢者等の日常生活の実態、福祉サービス及び介護保険サービスに対する要望等を把握し、「第10期岐阜市高齢者福祉計画」（計画期間：令和9年度～令和11年度）を策定するための基礎資料とすることを目的としています。

## 2 調査の対象及び方法等

### ○調査対象

区分	一般高齢者	事業対象者	在宅要支援・要介護認定者		
			無受給者	要支援利用者	要介護利用者
対象者	要支援・要介護に認定または事業対象者と判定されていない65歳以上の市民 [無作為抽出]	介護予防・日常生活支援総合事業の対象者と判定されている市民 [無作為抽出]	要支援・要介護認定者で介護（予防）サービスを受けていない市民 [無作為抽出]	在宅で介護予防サービスを利用している市民 [無作為抽出]	在宅で介護サービスを利用している市民 [無作為抽出]

区分	在宅要介護・要支援認定者		施設等入居・入所者	
	(看護)小規模多機能型居宅介護利用者	定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用者	グループホーム入居者	介護保険施設入所者
対象者	(看護)小規模多機能型居宅介護を利用している市民[全数]	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用している市民 [無作為抽出]	市内のグループホームに入居している市民 [全数]	市内の介護保険施設に入所している市民 [無作為抽出]

区分	支援者	
	介護支援専門員	地域包括支援センター職員
対象者	市内の居宅介護支援事業所で介護（予防）サービス計画を作成している介護支援専門員[全数]	市内の地域包括支援センターで介護予防サービス計画を作成している職員[全数]

○調査方法 介護保険施設入所者（聞き取り調査）を除き、調査票を郵送により配布・回収

○調査期間 令和7年11月1日（基準日）～30日

### 3 調査票の回収結果

区分	一般高齢者	事業対象者	在宅要支援・要介護認定者					施設等入居・入所者		支援者	
			無受給者	要支援利用者	要介護利用者	(看護) 小規模多機能型居宅介護利用者	定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用者	グループホーム入居者	介護保険施設入所者	介護支援専門員	地域包括支援センター職員
配布数	3,000	500	500	800	1,400	279	132	506	400	510	116
有効回答数	2,156	379	313	562	753	137	60	328	338	350	114
有効回答率	71.9	75.8	62.6	70.3	53.8	49.1	45.5	64.8	84.5	68.6	98.3

単位：配布数・有効回答数：件、有効回答率：%

### 4 調査結果をみる上での注意事項

- ① 選択式回答の比率は、その設問の回答数を基数として算出し、すべてパーセント(%)で表しています。
- ② 選択式回答の比率(%)は、小数点第2位以下を四捨五入して算出しています。したがって、パーセントの合計が100%にならないこともあります。
- ③ 複数回答が可能な設問の回答の比率(%)は、すべての比率(%)を合計すると100%を超えます。なお、複数回答が可能なものは、図表のタイトル名に明示しています。したがって、その明示がないものは、単数回答です。
- ④ クロス集計や分析にあたって、便宜上以下のように表記しています。

区分	調査票	本報告書
年齢	「65～69歳」「70～74歳」	65～74歳
	「75～79歳」「80～84歳」「85～89歳」「90歳以上」	75歳以上
サービス	(看護)小規模多機能型居宅介護	小規模多機能
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応
施設	介護保険施設 (特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院)	施設
	グループホーム	GH

## 第2章 調査対象者の属性

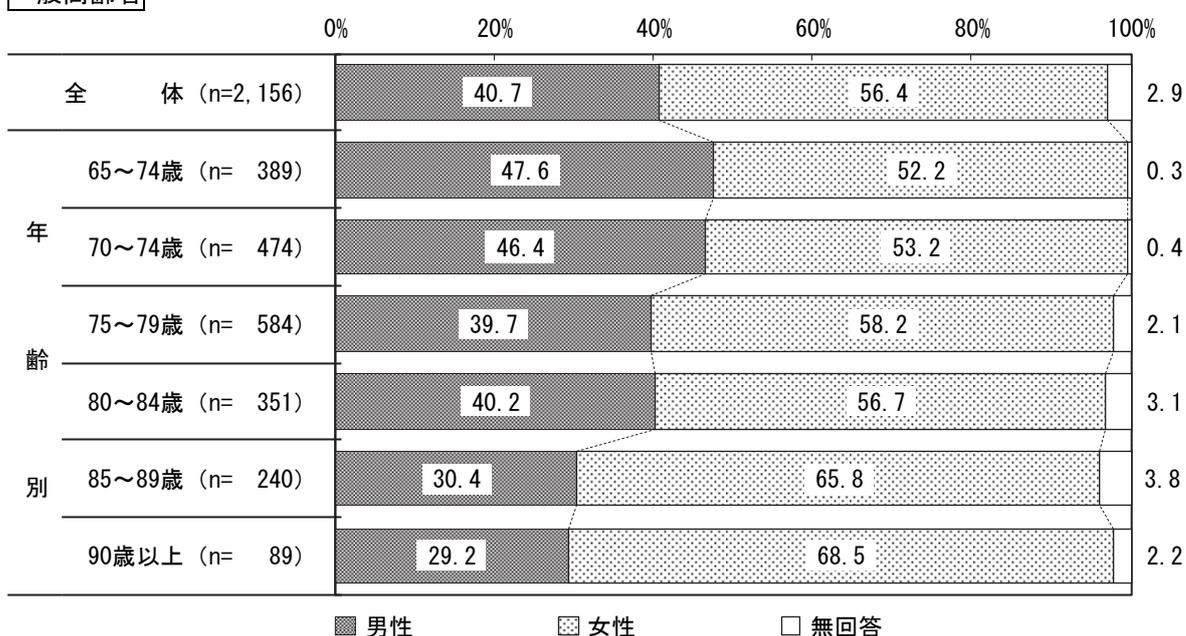
### 1 性別・年齢

#### (1) 性別

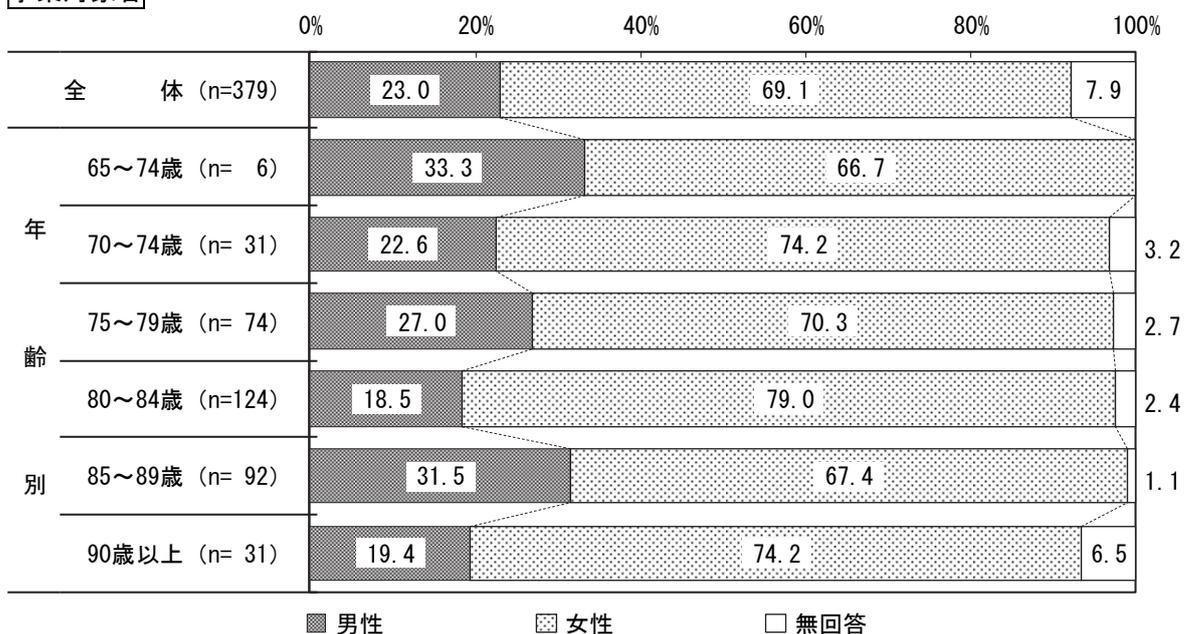
調査対象者の性別は、一般高齢者、事業対象者、在宅要支援・要介護認定者、施設等入居・入所者のいずれにおいても、女性が50%を超え、男性に比べて高い比率を占めています。

図表2-1 性別

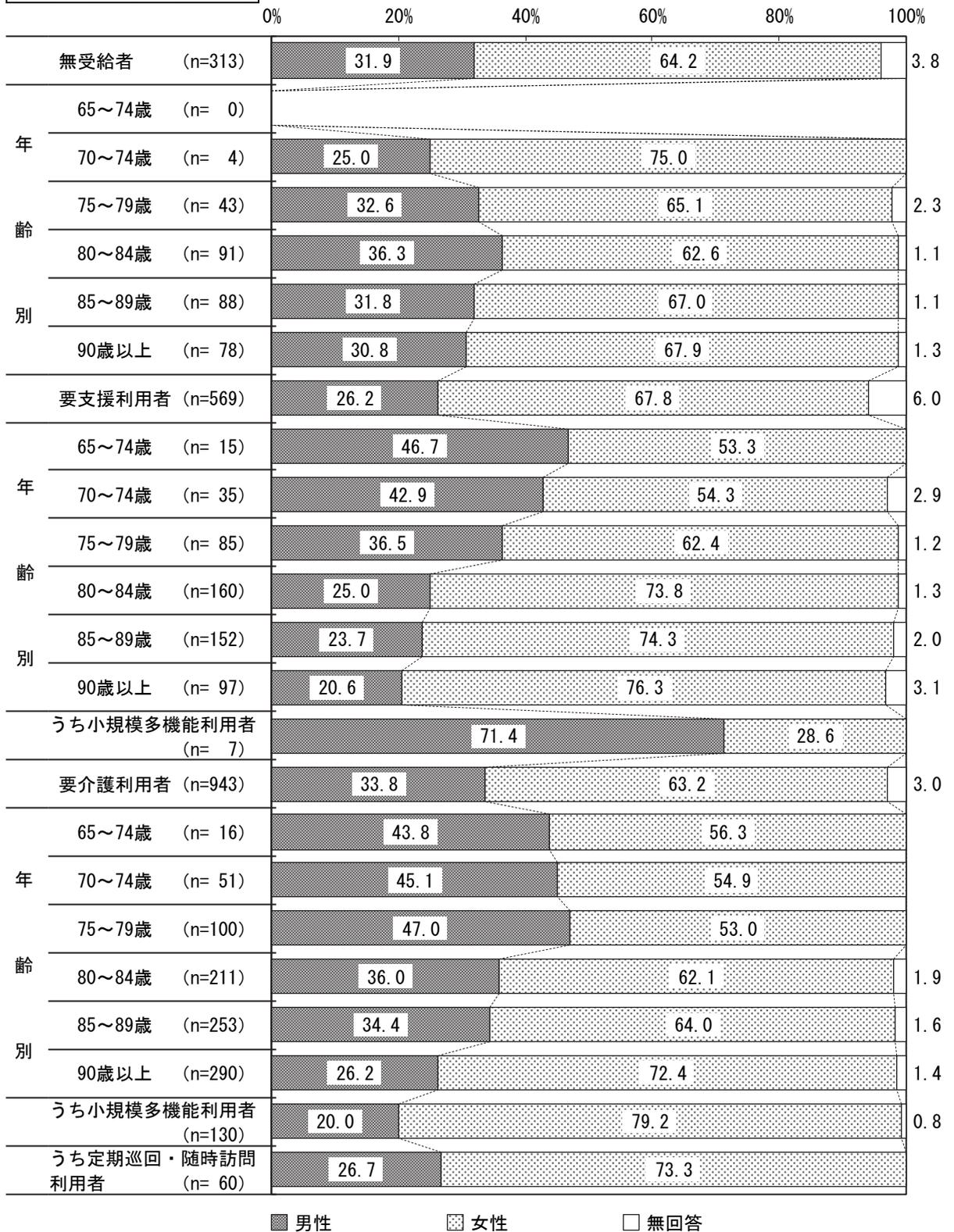
#### 一般高齢者



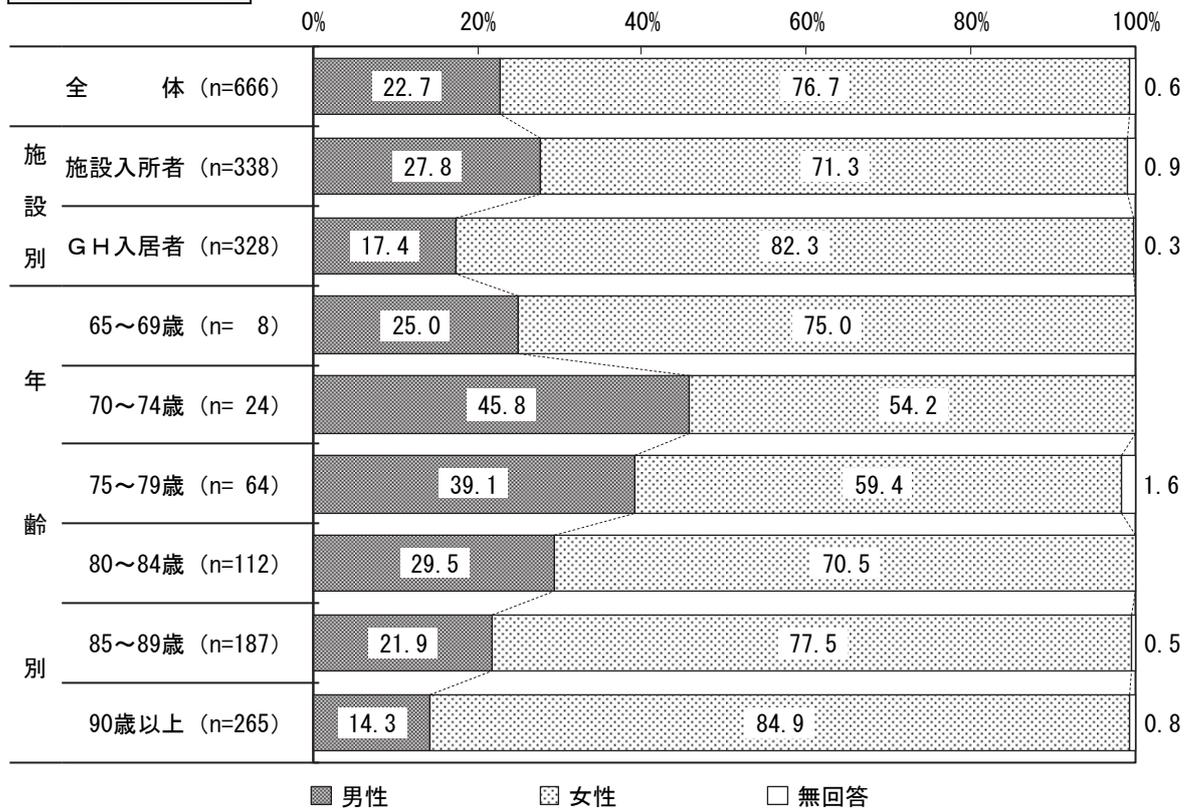
#### 事業対象者



在宅要支援・要介護認定者



施設等入居・入所者

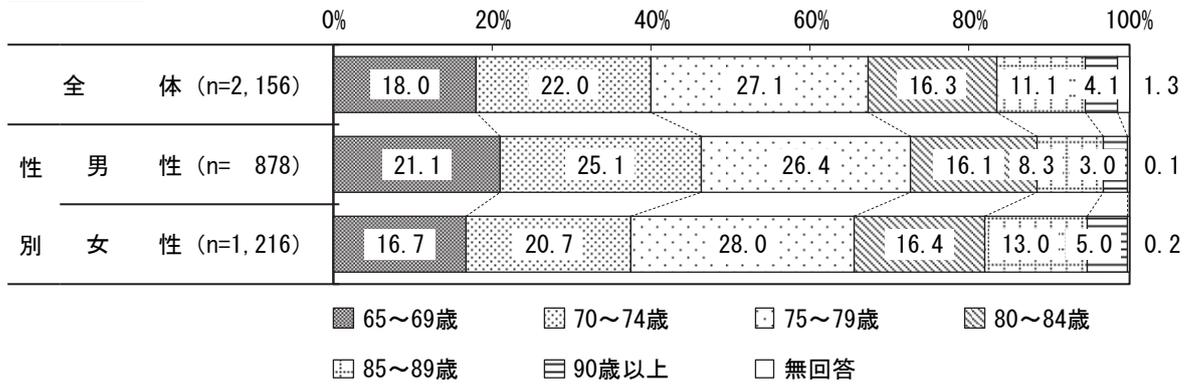


(2) 年齢

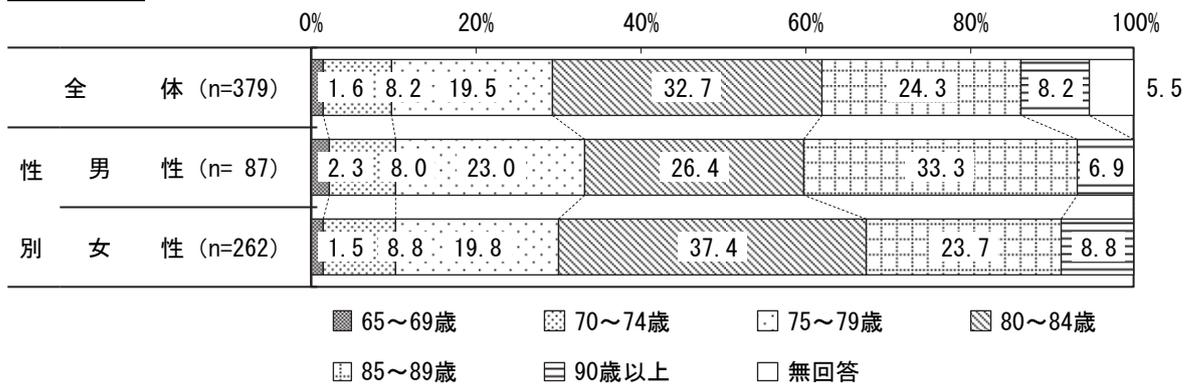
調査対象者の年齢は、一般高齢者では、75歳以上の後期高齢者が60%程度となっていますが、事業対象者と在宅要支援・要介護認定者、施設等入居・入所者では、75歳以上の後期高齢者が80%以上を占めています。

図表2-2 年齢

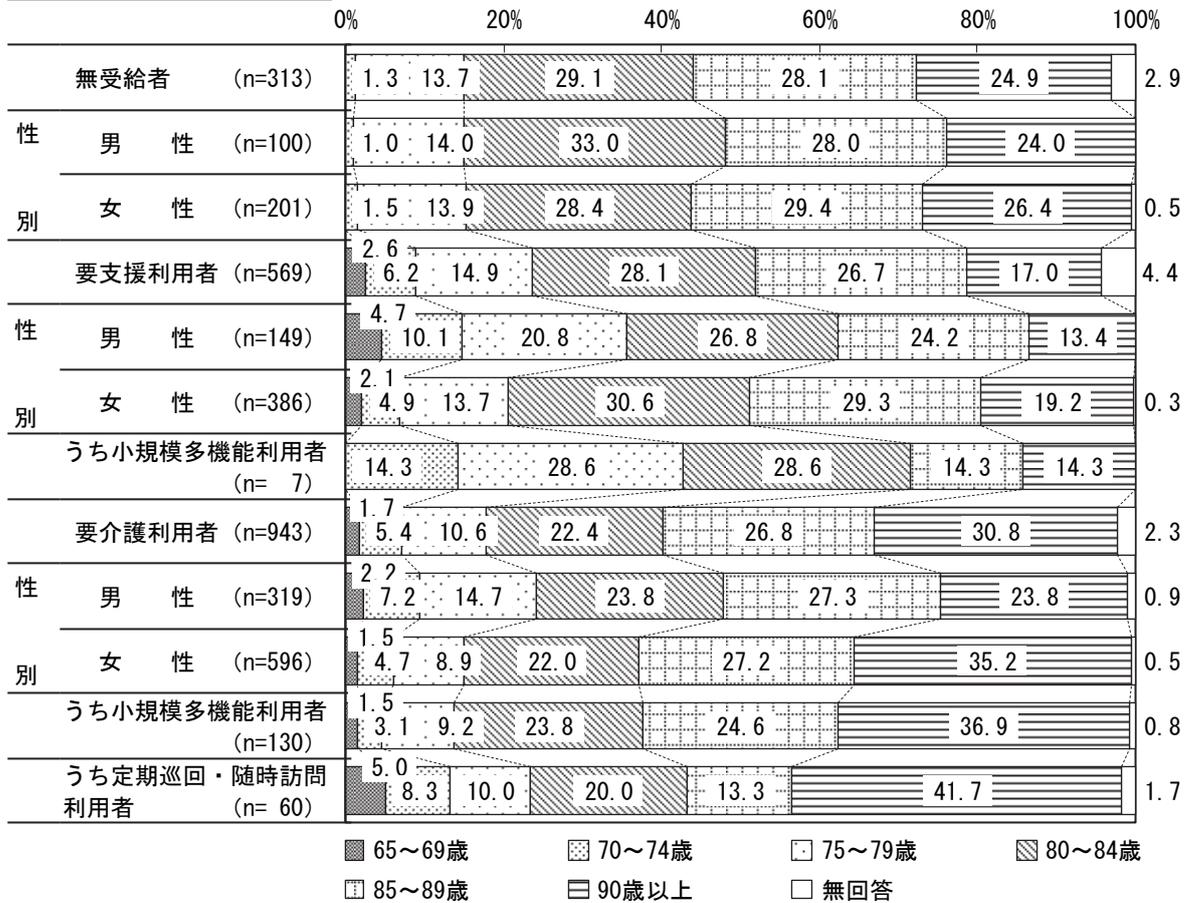
一般高齢者



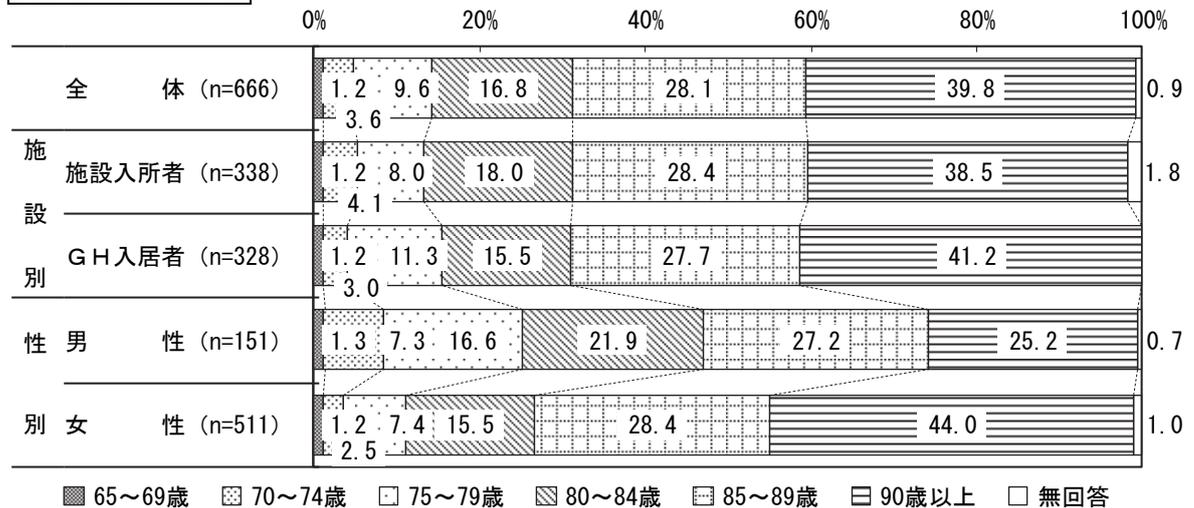
事業対象者



在宅要支援・要介護認定者



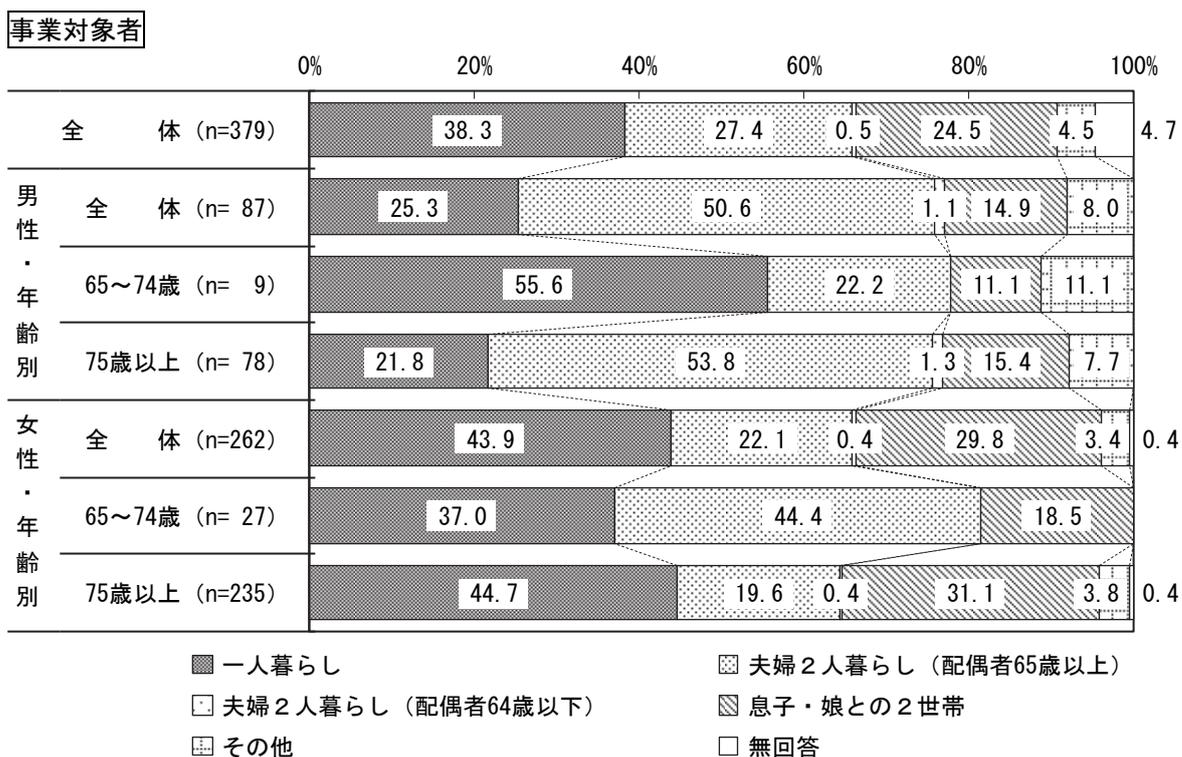
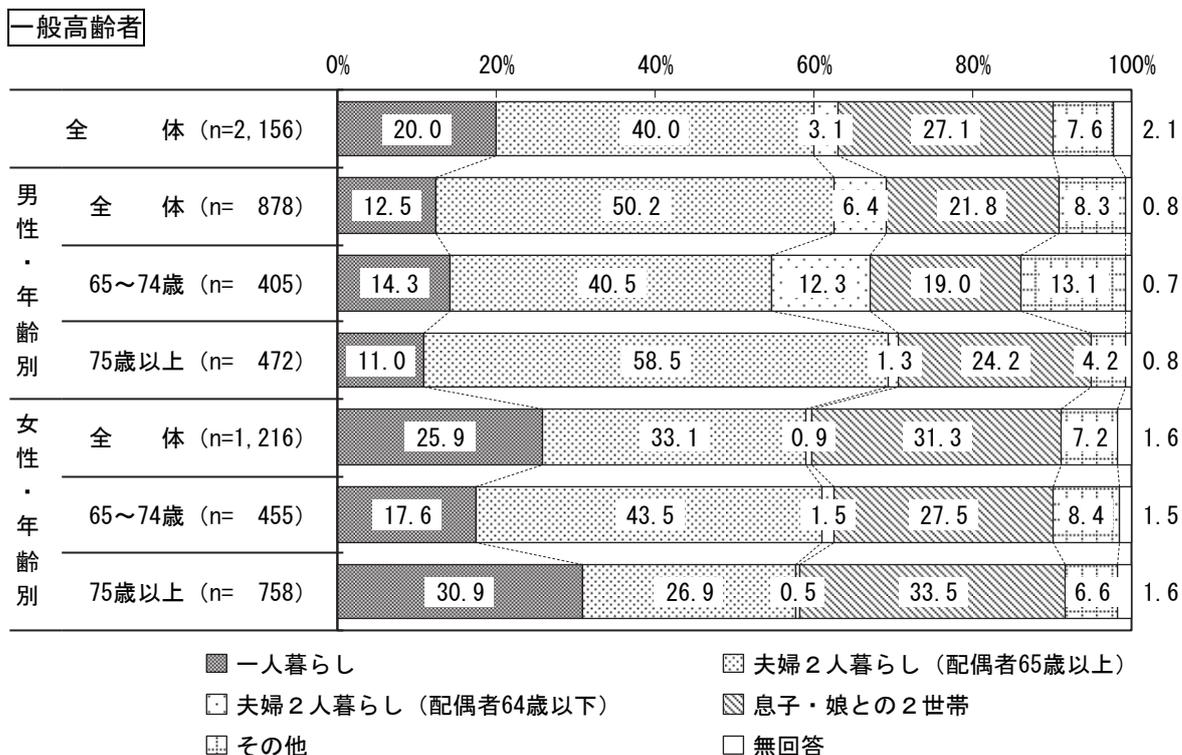
施設等入居・入所者



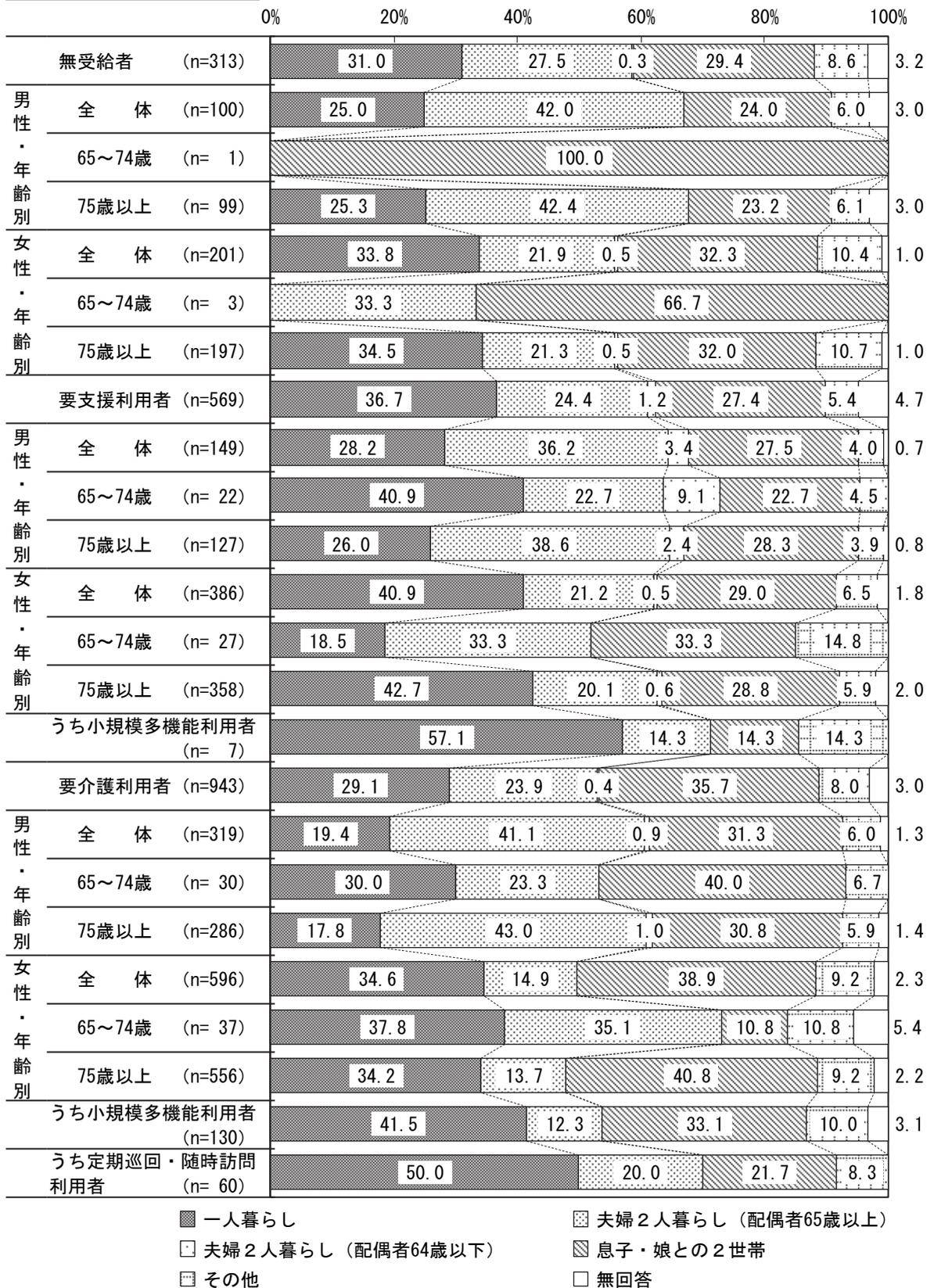
## 2 家族構成

家族構成については、一般高齢者では65歳以上の「夫婦2人暮らし」、事業対象者と介護保険サービスの無受給者、要支援利用者では「一人暮らし」、要介護利用者では「息子・娘との2世帯」が最も高い比率を占めています。

図表2-3 家族構成



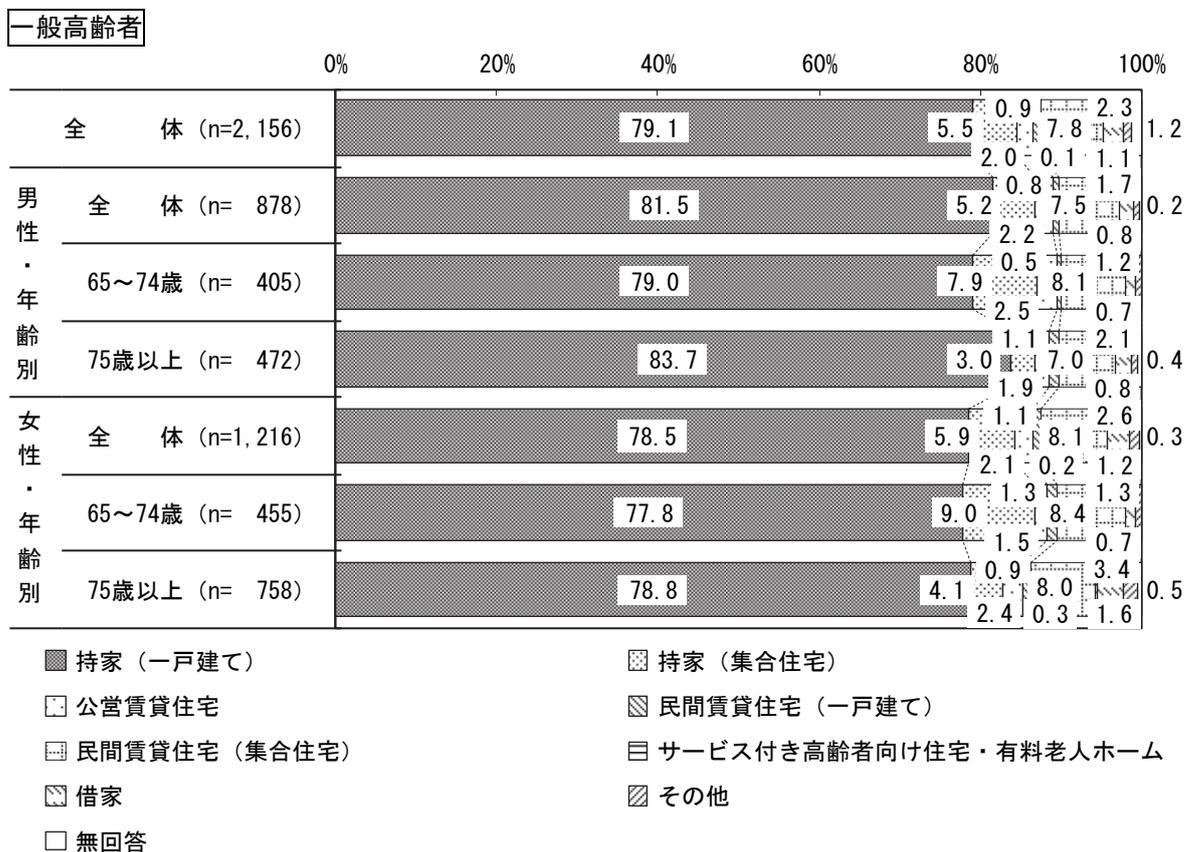
在宅要支援・要介護認定者



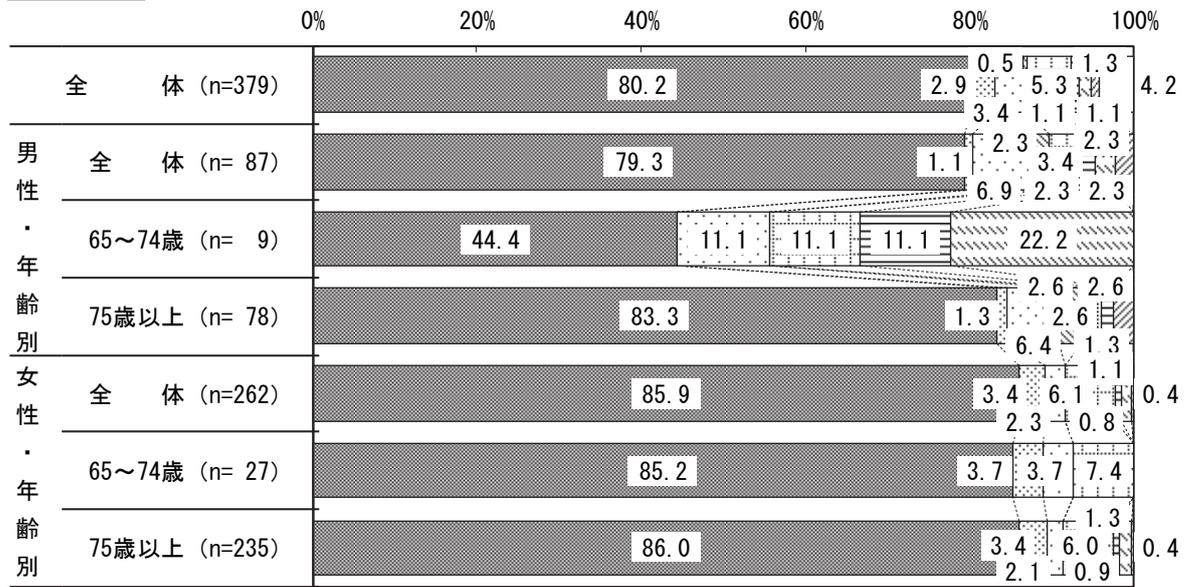
### 3 住まい等

住まいについては、一般高齢者、事業対象者、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、一戸建ての「持家」が70～80%程度を占めています。

図表2-4 住まい

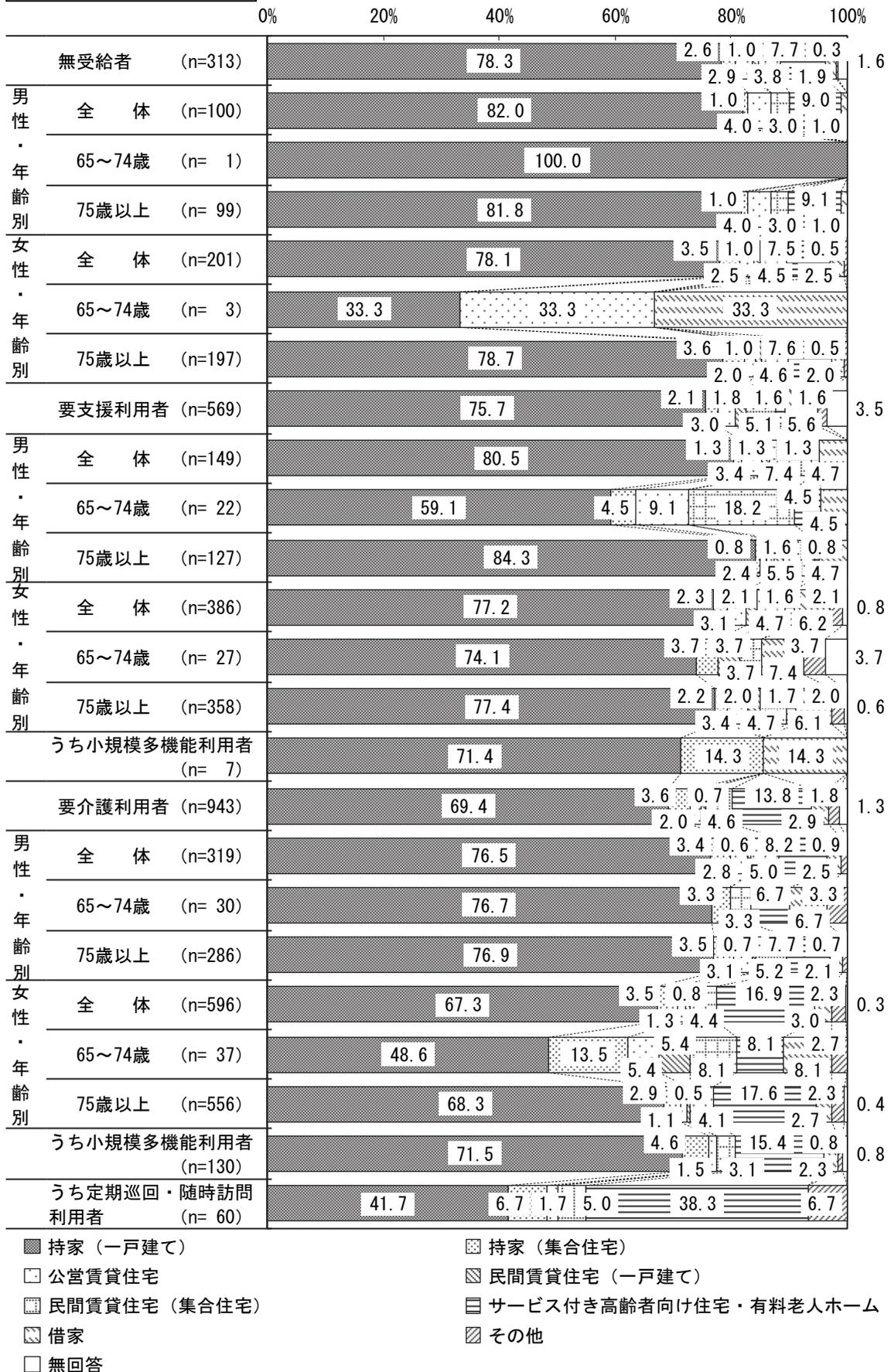


事業対象者



- 持家 (一戸建て)
- 公営賃貸住宅
- ▨ 民間賃貸住宅 (集合住宅)
- ▨ 借家
- 無回答
- ▨ 持家 (集合住宅)
- ▨ 民間賃貸住宅 (一戸建て)
- ▨ サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム
- ▨ その他

在宅要支援・要介護認定者



## 4 居住地区

調査対象者のうち、一般高齢者と事業対象者、在宅要支援・要介護認定者（（看護）小規模多機能型居宅介護・定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用者を除く）の分布を地域包括支援センター担当地域（19 地域）別にみると、図表 2-6 のとおりとなります。

図表 2-5 居住地区

区分	地域包括支援センター名	地区	一般高齢者 (n=2,156)	事業対象者 (n=379)	在宅要支援・要介護認定者		
					無受給者 (n=313)	要支援利用者 (n=562)	要介護利用者 (n=753)
中央	中央北	金華・京町 明德・本郷	5.5	5.5	6.7	5.7	6.6
	中央西	徹明・木之本	3.0	3.2	2.9	3.2	3.3
	白梅華	梅林・白山 華陽	5.8	5.3	6.7	5.5	5.0
西部	島城西	島・城西	3.1	5.0	4.5	4.6	2.1
	清流	早田・則武	5.6	4.7	3.5	3.0	4.9
	西部	木田・七郷 合渡	4.3	2.9	4.8	3.6	4.0
	岐北	黒野・方県 西郷・網代	6.7	6.9	7.7	6.8	7.4
北部	長良	長良・長良西 長良東	7.7	7.1	5.8	7.7	8.8
	北部	鷺山・常磐	4.5	4.5	4.5	5.2	3.5
	岩野田	岩野田 岩野田北	3.8	4.0	4.2	3.7	4.1
	北東部	藍川・三輪南 三輪北	5.3	5.5	3.8	4.8	5.2
南部	三里本荘	本荘・三里	5.3	4.7	5.1	5.0	4.5
	精華	市橋・鏡島	5.4	4.7	5.1	4.8	6.1
	境川	鶉・日置江 柳津町	5.6	6.1	4.8	6.6	5.2
	南部	加納東 加納西・茜部	6.4	6.3	6.1	6.0	5.0
	厚見	厚見	3.4	2.6	2.6	3.2	3.5
東部	長森南	長森南	3.4	3.2	3.2	2.8	2.9
	長森	日野・長森北 長森東・長森西	7.1	7.7	7.3	6.9	6.6
	東部	岩・芥見 芥見東・芥見南	6.1	5.3	6.4	6.4	7.0
無回答			2.1	4.7	4.5	4.4	4.1

---

---

## 第3章 介護の実態

### 1 介護の状況について

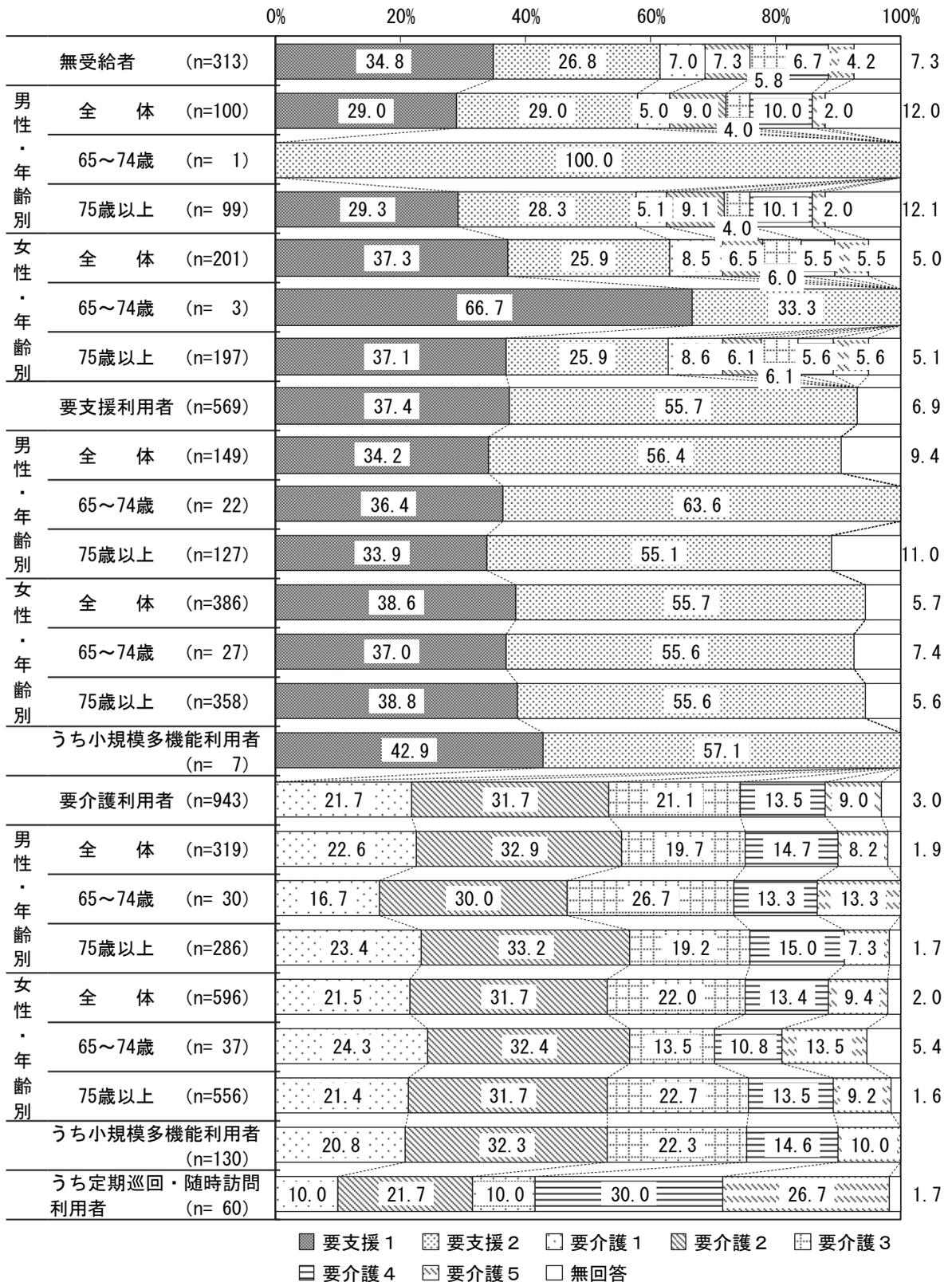
#### (1) 要支援・要介護度

要支援・要介護度については、介護保険サービスの無受給者では、「要支援1」が最も高く、「要支援2」と合わせると、60%以上を占めています。また、要支援利用者では「要支援2」が55.7%、要介護利用者では「要介護2」が31.7%と、それぞれにおいて最も高くなっています。要介護利用者では、次いで、「要介護1」(21.7%)、「要介護3」(21.1%)、「要介護4」(13.5%)、「要介護5」(9.0%)の順となっています。なお、要介護利用者のうち、小規模多機能型居宅介護利用者では「要介護2」(32.3%)、定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用者では「要介護4」(30.0%)が最も高くなっています。

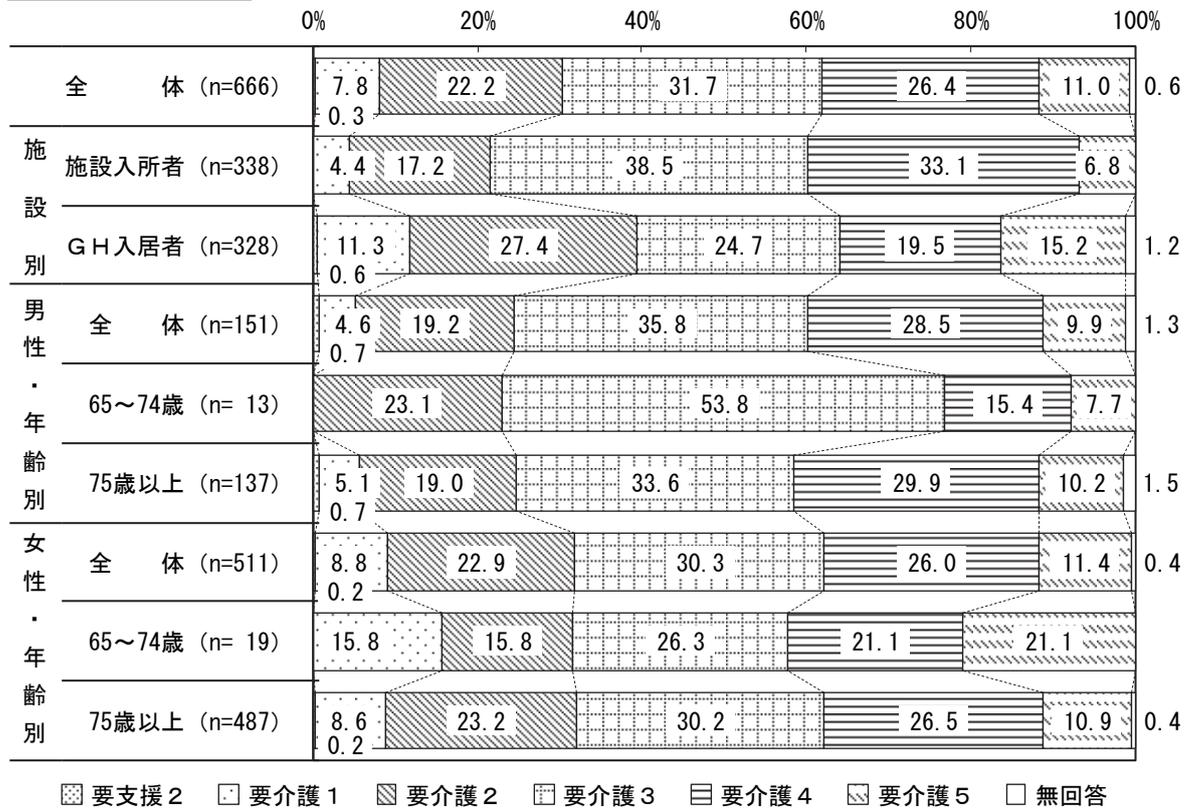
一方、施設等入居・入所者では、「要介護3」が31.7%と最も高く、次いで、「要介護4」(26.4%)、「要介護2」(22.2%)、「要介護5」(11.0%)、「要介護1」(7.8%)の順となっています。施設別にみると、「要介護1」と「要介護2」、「要介護5」は施設入所者に比べてグループホーム入居者のほうが高く、「要介護3」と「要介護4」はグループホーム入居者に比べて施設入所者のほうが高くなっています。

図表3-1 要支援・要介護度

在宅要支援・要介護認定者



施設等入居・入所者

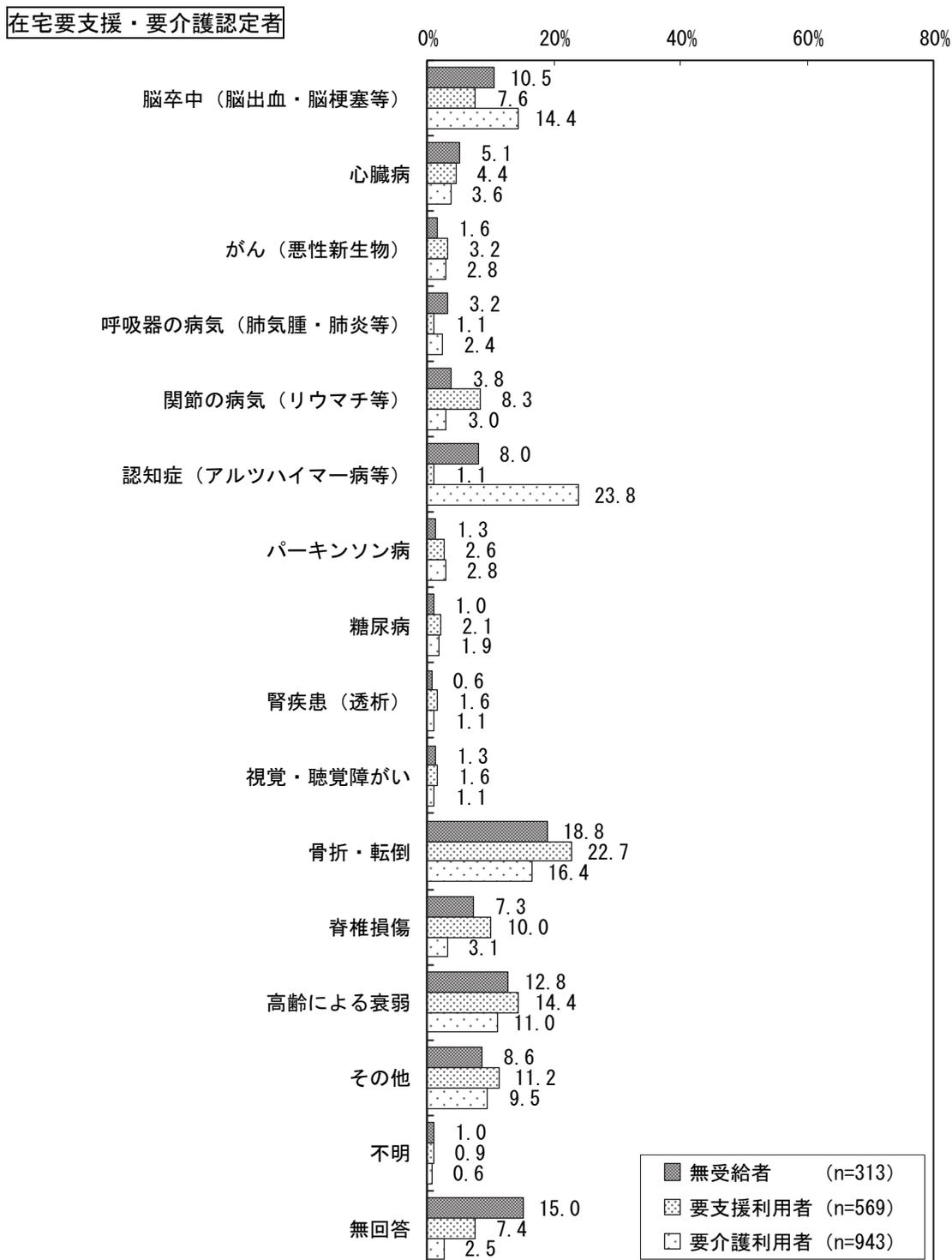


## (2) 介護が必要になった主な原因

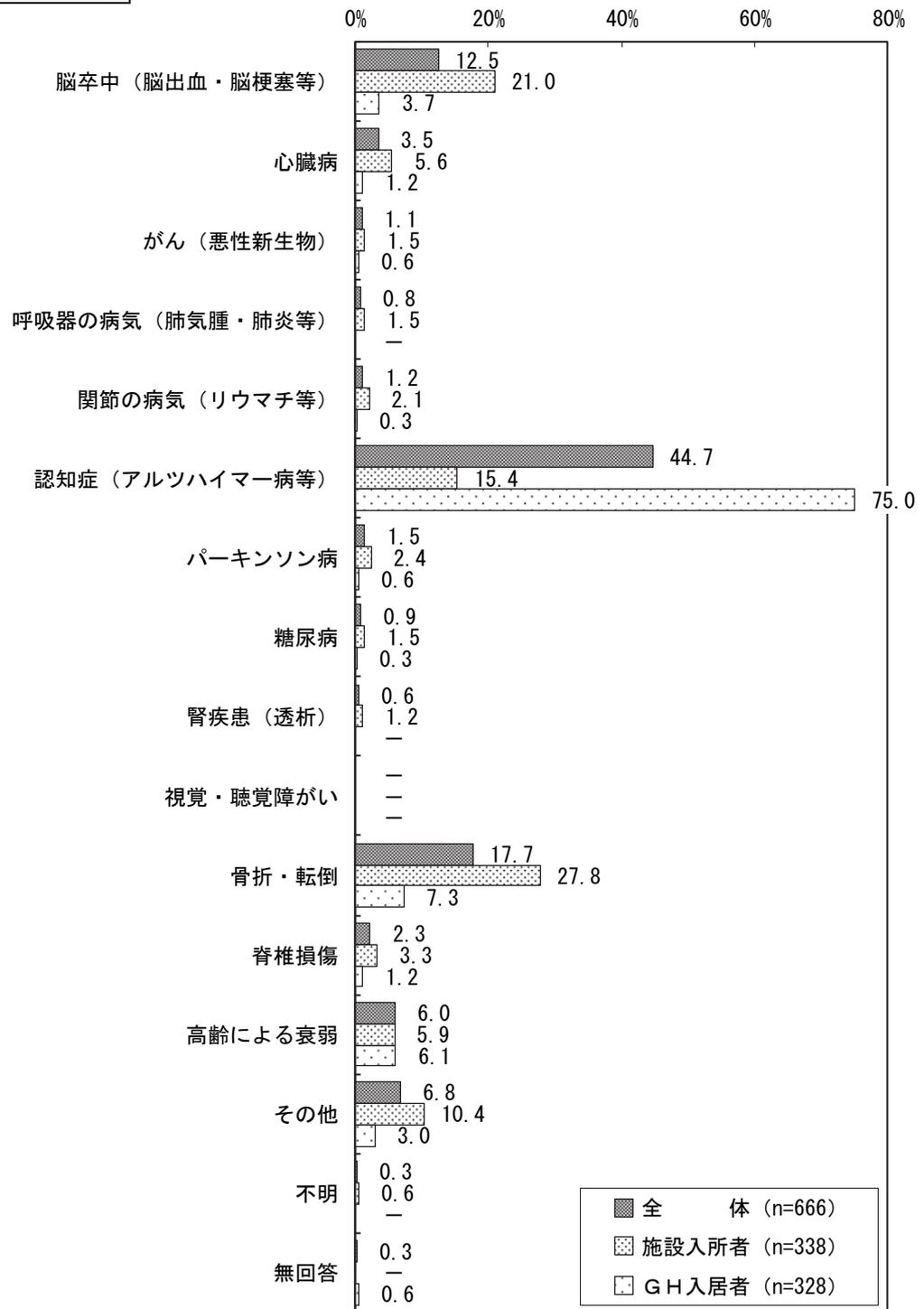
介護が必要になった主な要因としては、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者では「骨折・転倒」(18.8%、22.7%)、要介護利用者ではアルツハイマー病等による「認知症」(23.8%)が最も高くなっています。

一方、施設入所者では「骨折・転倒」(27.8%)が最も高く、グループホーム入居者では「認知症」が75.0%と顕著に高くなっています。

図表3-2 介護が必要になった主な原因



施設等入居・入所者



介護が必要になった主な要因を要支援・要介護度別にみると、介護保険サービスの無受給者、在宅要支援・要介護認定者、施設等入居・入所者のいずれにおいても、要介護5では「認知症」が最も高くなっています。

なお、要介護利用者のうち、小規模多機能型居宅介護と定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用者も「認知症」が最も高くなっています。

図表3-3 介護が必要になった主な原因（要支援・要介護度別）

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	関節の病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患 (透析)
無受給者	要支援1 (n=109)	11.0	5.5	1.8	3.7	4.6	3.7	-	0.9	-
	要支援2 (n=84)	9.5	8.3	3.6	2.4	3.6	-	-	-	1.2
	要介護1 (n=22)	13.6	-	-	4.5	4.5	27.3	-	-	-
	要介護2 (n=23)	-	-	-	8.7	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3
	要介護3 (n=18)	-	11.1	-	5.6	-	22.2	5.6	-	-
	要介護4 (n=21)	28.6	-	-	-	4.8	23.8	4.8	-	-
要介護5 (n=13)	23.1	-	-	-	-	38.5	7.7	-	-	
要利用者	要支援1 (n=213)	5.6	4.2	1.4	1.4	6.6	0.5	1.4	2.3	1.4
	要支援2 (n=317)	9.8	4.4	4.1	0.9	9.5	1.3	3.5	1.9	1.9
うち小規模多機能利用者 (n=7)		14.3	-	-	-	-	28.6	-	14.3	-
要介護利用者	要介護1 (n=205)	9.3	5.9	2.0	2.4	2.4	29.3	1.0	2.0	1.0
	要介護2 (n=299)	15.7	2.7	4.0	3.3	4.3	22.1	1.7	2.7	0.7
	要介護3 (n=199)	13.6	3.5	3.0	2.5	3.0	22.6	5.0	1.5	2.0
	要介護4 (n=127)	18.9	3.9	2.4	2.4	2.4	15.0	3.9	1.6	0.8
	要介護5 (n=85)	22.4	1.2	1.2	-	1.2	37.6	4.7	-	-
うち小規模多機能利用者 (n=130)		12.3	5.4	1.5	0.8	0.8	36.2	0.8	-	1.5
うち定期巡回・随時対応利用者 (n=60)		11.7	3.3	5.0	1.7	1.7	26.7	3.3	-	-

(単位：%)

区 分		視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
無受給者	要支援1 (n=109)	0.9	15.6	9.2	13.8	8.3	1.8	19.3
	要支援2 (n= 84)	1.2	27.4	9.5	19.0	7.1	1.2	6.0
	要介護1 (n= 22)	4.5	27.3	-	4.5	9.1	-	4.5
	要介護2 (n= 23)	4.3	13.0	4.3	21.7	21.7	-	-
	要介護3 (n= 18)	-	22.2	11.1	11.1	5.6	-	5.6
	要介護4 (n= 21)	-	14.3	4.8	4.8	9.5	-	4.8
	要介護5 (n= 13)	-	7.7	7.7	-	15.4	-	-
要利用者	要支援1 (n=213)	2.3	25.4	7.0	19.7	13.1	1.4	6.1
	要支援2 (n=317)	1.3	22.4	12.9	11.7	10.1	0.6	3.8
うち小規模多機能利用者 (n= 7)			14.3	-	-	28.6	-	-
要介護利用者	要介護1 (n=205)	0.5	15.6	2.4	14.6	11.2	-	0.5
	要介護2 (n=299)	2.0	15.1	3.0	9.0	12.0	0.7	1.0
	要介護3 (n=199)	1.0	18.6	3.5	11.1	7.0	1.0	1.0
	要介護4 (n=127)	-	22.8	3.9	14.2	7.9	-	-
	要介護5 (n= 85)	1.2	9.4	3.5	5.9	8.2	2.4	1.2
うち小規模多機能利用者 (n=130)		1.5	23.1	-	9.2	6.9	-	-
うち定期巡回・随時対応利用者 (n= 60)		-	13.3	3.3	16.7	10.0	-	3.3

施設等入居・入所者

(単位：%)

区 分	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	関節の病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患 (透析)
要支援2 (n= 2)	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
要介護1 (n= 52)	3.8	1.9	1.9	1.9	-	55.8	-	-	-
要介護2 (n=148)	11.5	3.4	0.7	-	-	54.1	0.7	0.7	-
要介護3 (n=211)	12.8	4.3	0.5	0.9	1.4	38.9	1.4	0.9	1.4
要介護4 (n=176)	16.5	2.8	2.3	0.6	1.7	36.4	1.7	1.7	0.6
要介護5 (n= 73)	11.0	4.1	-	1.4	2.7	52.1	4.1	-	-

区 分	視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
要支援2 (n= 2)	-	-	-	-	-	-	-
要介護1 (n= 52)	-	19.2	-	3.8	7.7	1.9	1.9
要介護2 (n=148)	-	14.2	2.7	7.4	4.7	-	-
要介護3 (n=211)	-	19.4	2.4	7.1	8.1	0.5	-
要介護4 (n=176)	-	21.0	2.8	5.7	6.3	-	-
要介護5 (n= 73)	-	12.3	1.4	2.7	8.2	-	-

---

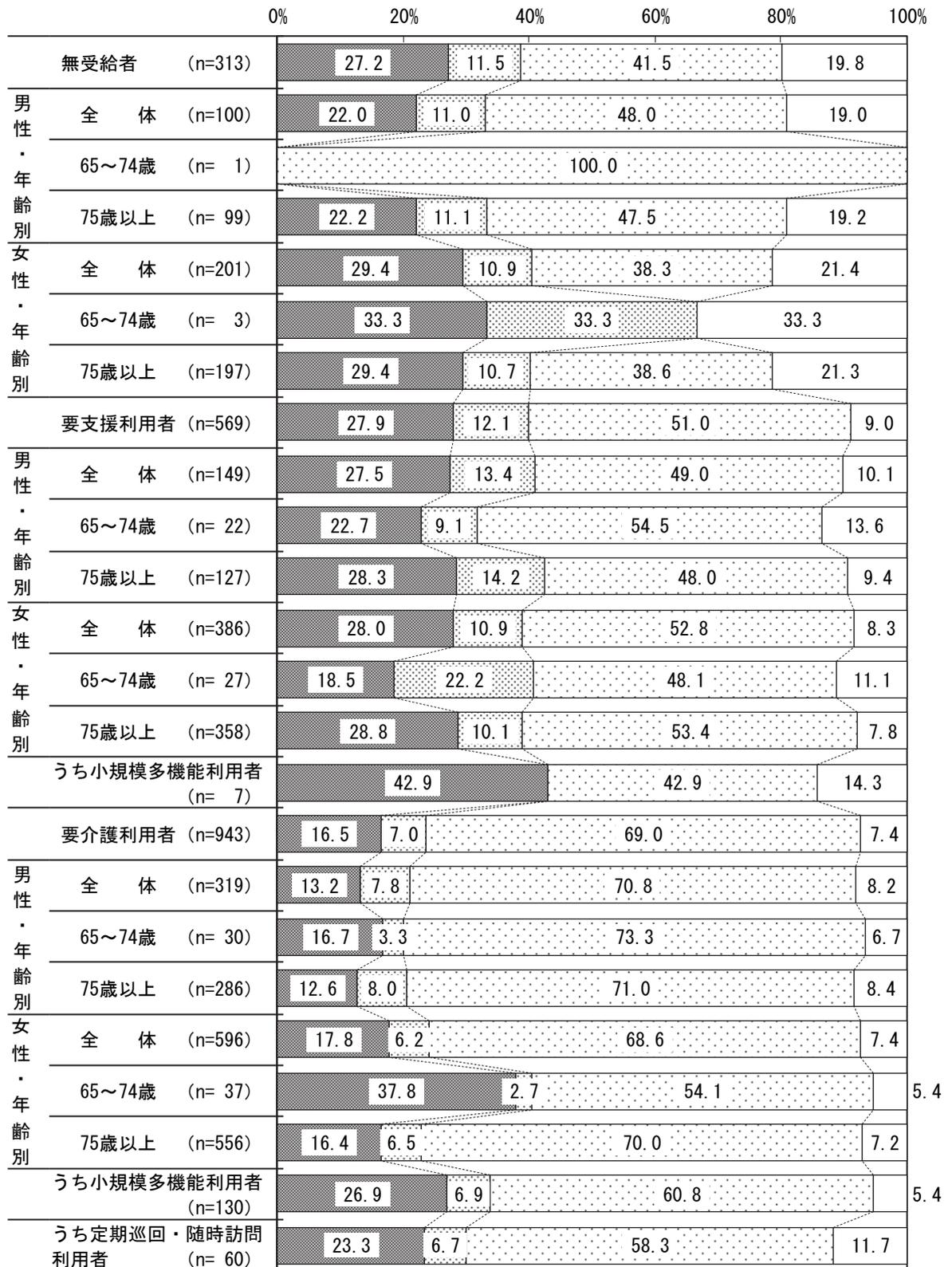
### (3) 家族等による介護の状況

家族や親族などから「介護を受けている」のは、介護保険サービスの無受給者では41.5%、要支援利用者では51.0%、要介護利用者では69.0%を占めている一方、事業対象者では11.3%、一般高齢者では5.0%と低くなっています。

なお、「介護を受けている」比率が高い要介護利用者について、性別にみても、あまり差異はみられませんが、要介護利用者のうち、小規模多機能型居宅介護と定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用者では60%程度と、比較的低くなっています。

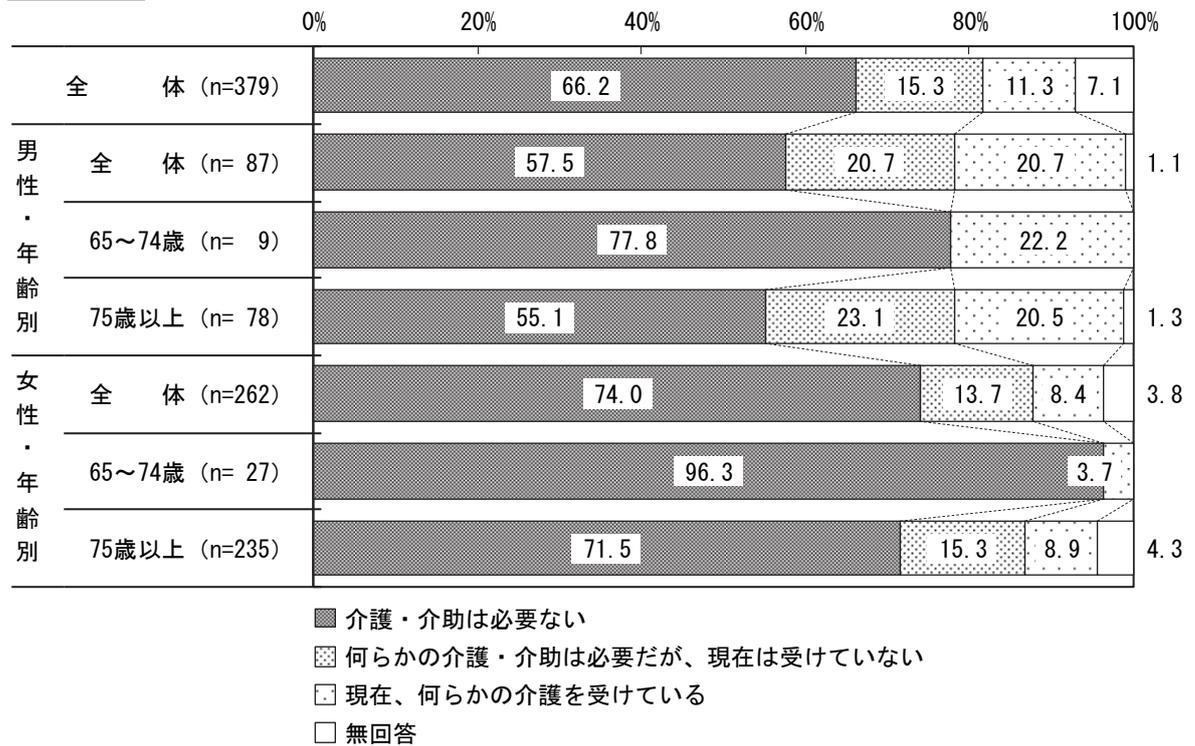
図表3-4 家族等から介護を受けているか

在宅要支援・要介護認定者

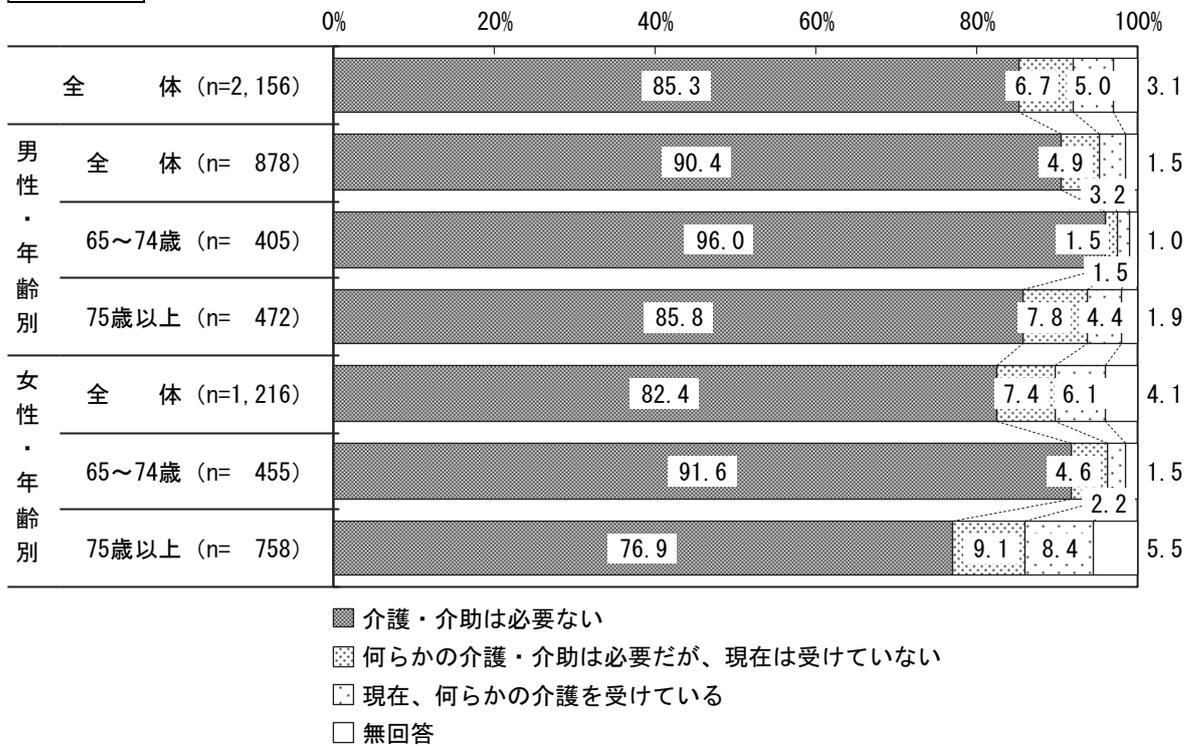


- 介護・介助者はいない
- ▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 家族や親族などの介護を受けている
- 無回答

事業対象者



一般高齢者

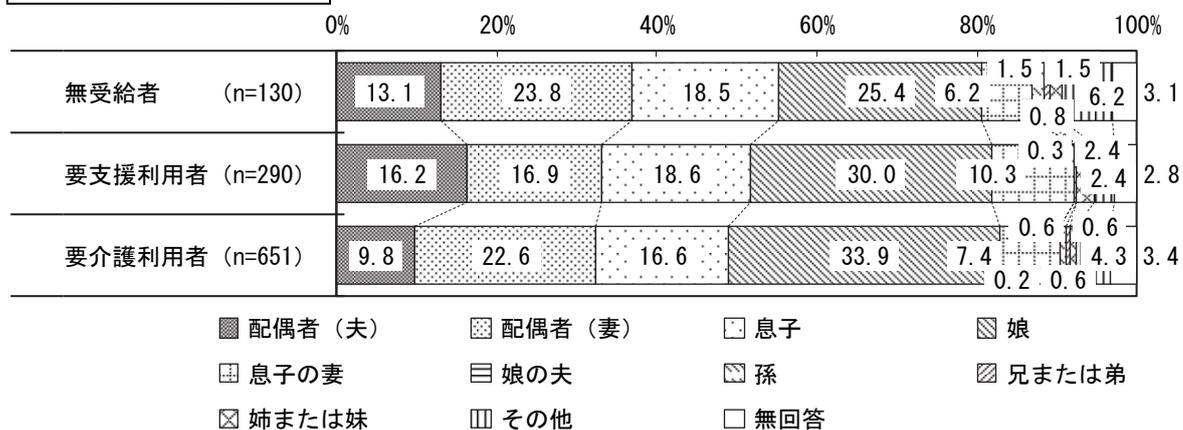


(4) 主な介護者と介護等の状況

主な介護者は、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、「娘」が最も高くなっています。

図表3-5 主な介護者

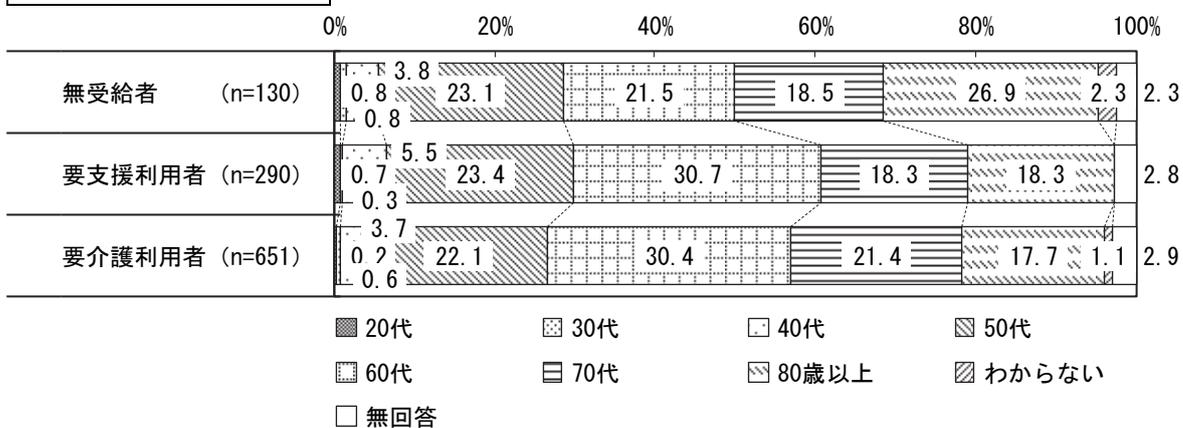
在宅要支援・要介護認定者



主な介護者の年齢は、介護保険サービスの無受給者では「80歳以上」(26.9%)、要支援利用者と要介護利用者では「60代」(30.7%、30.4%)が最も高くなっています。

図表3-6 主な介護者の年齢

在宅要支援・要介護認定者

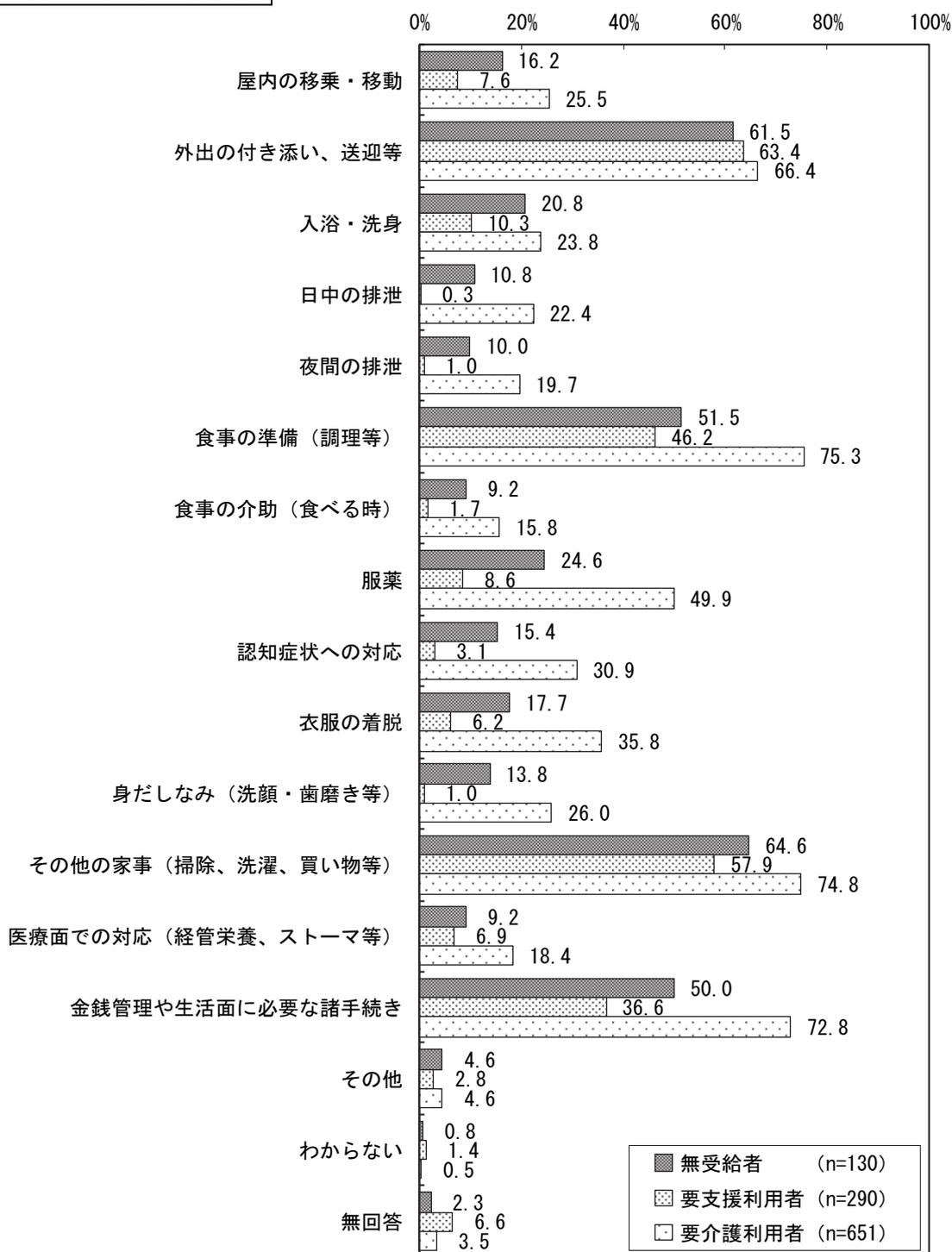


介護の内容としては、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、「外出の付き添い、送迎等」と調理等の「食事の準備」、掃除、洗濯、買い物等の「その他の家事」が50%程度を占めて高くなっています。

このほか、要介護利用者では「服薬」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、要支援利用者でも「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が高くなっています。

図表3-7 介護の内容（複数回答）

在宅要支援・要介護認定者



介護の内容を要支援・要介護度別にみると、要支援・要介護利用者では重度ほど50%を超える項目が多くなっています。

図表3-8 介護の内容（要支援・要介護度別、複数回答）

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	入浴・洗身	日中の排泄	夜間の排泄	食事の準備（調理等）	食事の介助（食べる時）	服薬	認知症状への対応
無受給者	要支援1 (n=22)	4.5	68.2	13.6	-	-	45.5	-	9.1	-
	要支援2 (n=45)	6.7	60.0	17.8	4.4	4.4	37.8	4.4	6.7	2.2
	要介護1 (n=11)	18.2	63.6	-	-	-	45.5	-	36.4	18.2
	要介護2 (n=14)	28.6	57.1	14.3	-	-	57.1	-	14.3	7.1
	要介護3 (n=12)	25.0	91.7	58.3	25.0	16.7	75.0	33.3	66.7	58.3
	要介護4 (n=12)	41.7	41.7	50.0	41.7	50.0	75.0	8.3	58.3	33.3
	要介護5 (n=7)	42.9	42.9	14.3	42.9	28.6	57.1	57.1	57.1	57.1
要支援者	要支援1 (n=91)	4.4	53.8	9.9	-	2.2	37.4	1.1	2.2	3.3
	要支援2 (n=185)	8.6	69.2	10.3	0.5	0.5	50.3	2.2	11.4	2.2
うち小規模多機能利用者 (n=3)			66.7	-	-	-	33.3	33.3	33.3	66.7
要介護利用者	要介護1 (n=141)	9.9	63.1	16.3	2.1	2.1	73.0	4.3	41.8	29.8
	要介護2 (n=205)	13.2	66.3	19.0	6.3	6.3	74.6	3.4	42.4	29.8
	要介護3 (n=145)	31.0	79.3	31.7	30.3	26.9	77.9	15.9	55.9	34.5
	要介護4 (n=88)	51.1	63.6	30.7	54.5	45.5	78.4	35.2	62.5	23.9
	要介護5 (n=58)	53.4	46.6	31.0	62.1	53.4	70.7	60.3	67.2	43.1
うち小規模多機能利用者 (n=79)		30.4	60.8	17.7	29.1	27.8	70.9	27.8	51.9	41.8
うち定期巡回・随時対応利用者 (n=35)		20.0	42.9	14.3	20.0	17.1	51.4	8.6	28.6	22.9

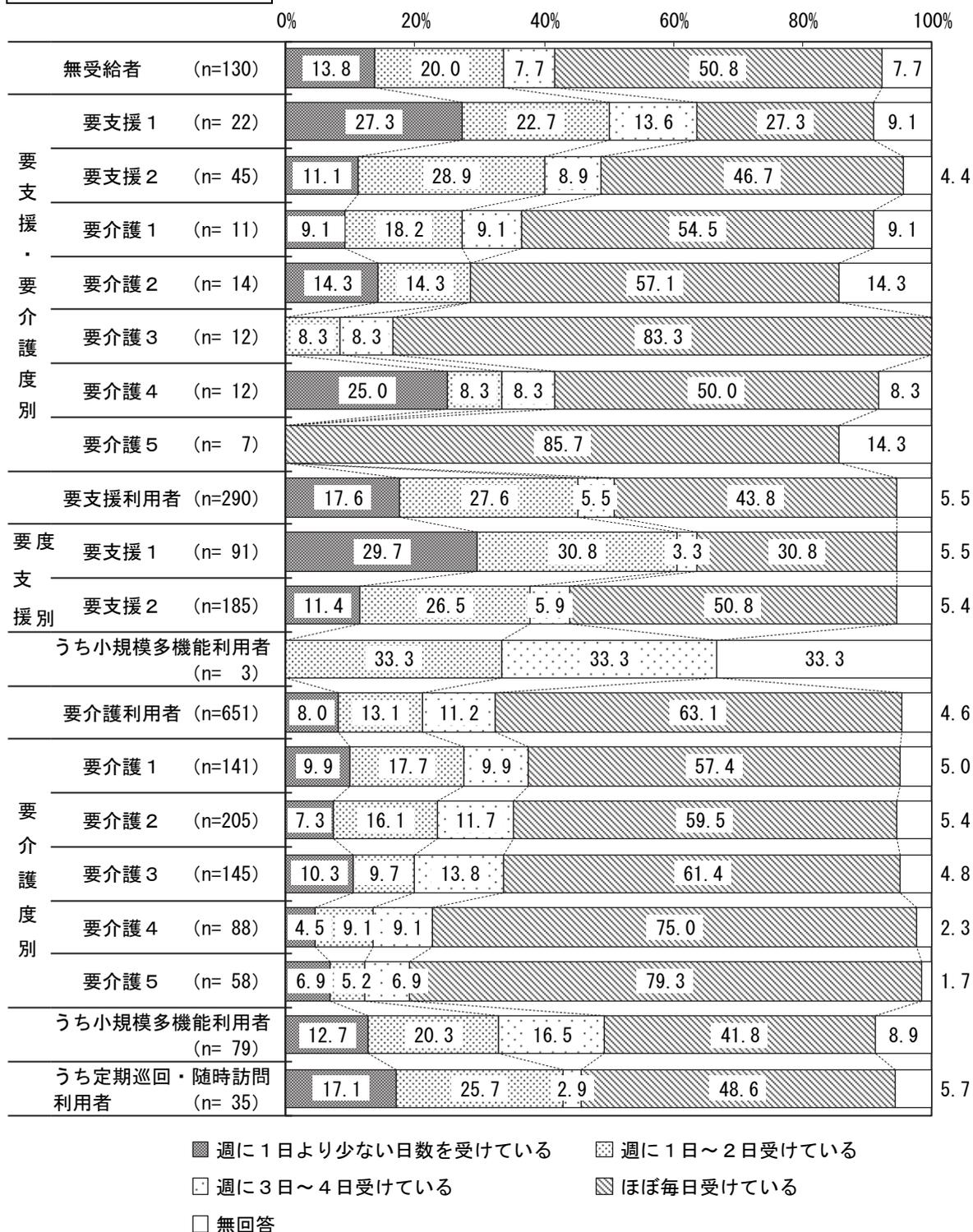
(単位：%)

区 分		衣服の着脱	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物等)	医療面での対応 (経管栄養、 ストーマ等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
無受給者	要支援1 (n= 22)	4.5	-	68.2	4.5	31.8	-	4.5	-
	要支援2 (n= 45)	4.4	4.4	62.2	8.9	42.2	4.4	-	-
	要介護1 (n= 11)	-	-	63.6	-	63.6	9.1	-	9.1
	要介護2 (n= 14)	14.3	21.4	57.1	-	42.9	-	-	7.1
	要介護3 (n= 12)	41.7	33.3	91.7	16.7	83.3	-	-	-
	要介護4 (n= 12)	66.7	33.3	66.7	16.7	66.7	25.0	-	-
要介護5 (n= 7)	57.1	42.9	57.1	14.3	71.4	-	-	14.3	
要利用者	要支援1 (n= 91)	2.2	-	50.5	3.3	28.6	1.1	1.1	11.0
	要支援2 (n=185)	8.6	1.6	61.6	8.1	40.0	3.2	1.1	4.3
うち小規模多機能 利用者 (n= 3)			-	66.7	-	66.7	-	-	33.3
要介護利用者	要介護1 (n=141)	14.2	11.3	73.8	14.9	69.5	2.8	1.4	2.8
	要介護2 (n=205)	23.4	12.7	75.1	14.6	67.3	3.9	0.5	3.4
	要介護3 (n=145)	51.0	35.2	75.9	19.3	76.6	4.8	-	3.4
	要介護4 (n= 88)	59.1	45.5	77.3	20.5	79.5	3.4	-	2.3
	要介護5 (n= 58)	62.1	62.1	69.0	34.5	81.0	13.8	-	5.2
うち小規模多機能 利用者 (n= 79)		35.4	35.4	70.9	16.5	79.7	8.9	2.5	7.6
うち定期巡回・ 随時対応利用者 (n= 35)		22.9	22.9	68.6	22.9	82.9	2.9	-	2.9

介護の頻度については、「ほぼ毎日」が、要介護利用者が 63.1%、要支援利用者が 43.8%となっており、介護保険サービスの無受給者でも 50.8%に及んでいます。これを要支援・要介護度別にみると、要支援・要介護利用者では重度ほど高くなっています。

図表 3-9 介護の頻度

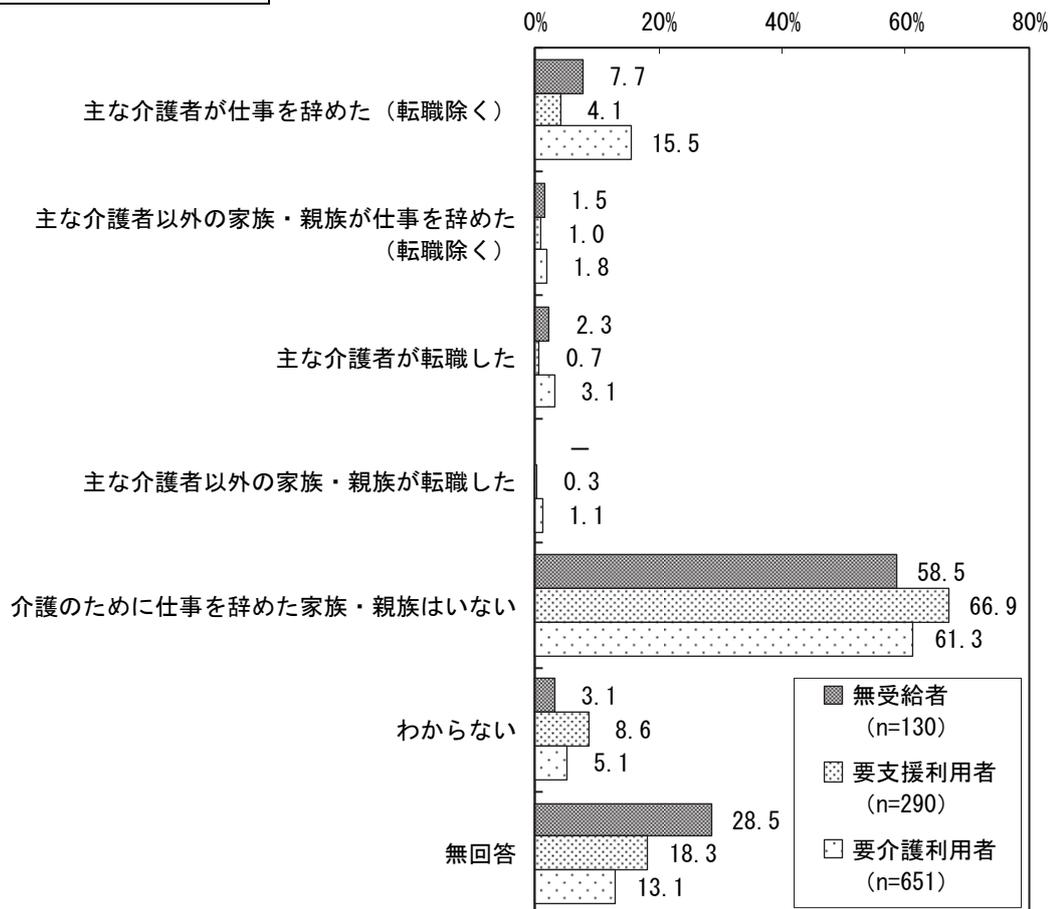
在宅要支援・要介護認定者



介護による家族等の就労への影響については、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が60%程度を占めています。なお、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」以外の選択項目では、要介護利用者の「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」が15.5%となっています。

図表3-10 介護による家族等の就労への影響（複数回答）

在宅要支援・要介護認定者



介護による家族等の就労への影響について、要支援・要介護度別にみると、要支援・要介護利用者では、重度ほど「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が低い傾向にあります。

図表3-11 介護による家族等の就労への影響（要支援・要介護度別、複数回答）

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族 が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族 が転職した	介護のために仕事を辞めた 家族・親族はいない	わからない	無回答
無受給者	要支援1 (n= 22)	4.5	4.5	-	-	77.3	-	18.2
	要支援2 (n= 45)	13.3	2.2	4.4	-	51.1	2.2	28.9
	要介護1 (n= 11)	9.1	-	-	-	63.6	-	27.3
	要介護2 (n= 14)	-	-	-	-	57.1	-	42.9
	要介護3 (n= 12)	8.3	-	-	-	66.7	-	25.0
	要介護4 (n= 12)	-	-	-	-	75.0	8.3	16.7
要介護5 (n= 7)	14.3	-	-	-	28.6	14.3	42.9	
要利用者	要支援1 (n= 91)	2.2	1.1	1.1	-	64.8	9.9	20.9
	要支援2 (n=185)	5.4	1.1	0.5	0.5	68.1	6.5	17.8
うち小規模多機能 利用者 (n= 3)		-	-	-	-	33.3	-	66.7
要介護利用者	要介護1 (n=141)	14.2	0.7	1.4	1.4	63.8	4.3	14.2
	要介護2 (n=205)	15.6	2.4	2.4	2.0	63.4	5.9	9.8
	要介護3 (n=145)	13.8	2.8	4.8	0.7	60.7	5.5	13.1
	要介護4 (n= 88)	15.9	1.1	3.4	-	59.1	6.8	14.8
	要介護5 (n= 58)	24.1	1.7	5.2	-	53.4	-	15.5
うち小規模多機能 利用者 (n= 79)		15.2	-	2.5	-	59.5	6.3	16.5
うち定期巡回・ 随時対応利用者 (n= 35)		22.9	-	2.9	-	60.0	2.9	11.4

---

---

## 2 主な介護者の状況について

### (1) 主な介護者の就労状況等

在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対して就労状況をたずねたところ、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせた《働いている》は、介護保険サービスの無受給者では 33.8%、要支援利用者では 36.2%、要介護利用者では 41.1%となっています。一方、「働いていない」は、介護保険サービスの無受給者では 43.1%、要支援利用者では 33.1%、要介護利用者では 45.0%となっています。

要支援・要介護度別にみると、要支援・要介護利用者では、重度ほど「働いていない」が高い傾向にあります。

図表 3-12 主な介護者の就労状況等

在宅要支援・要介護認定者

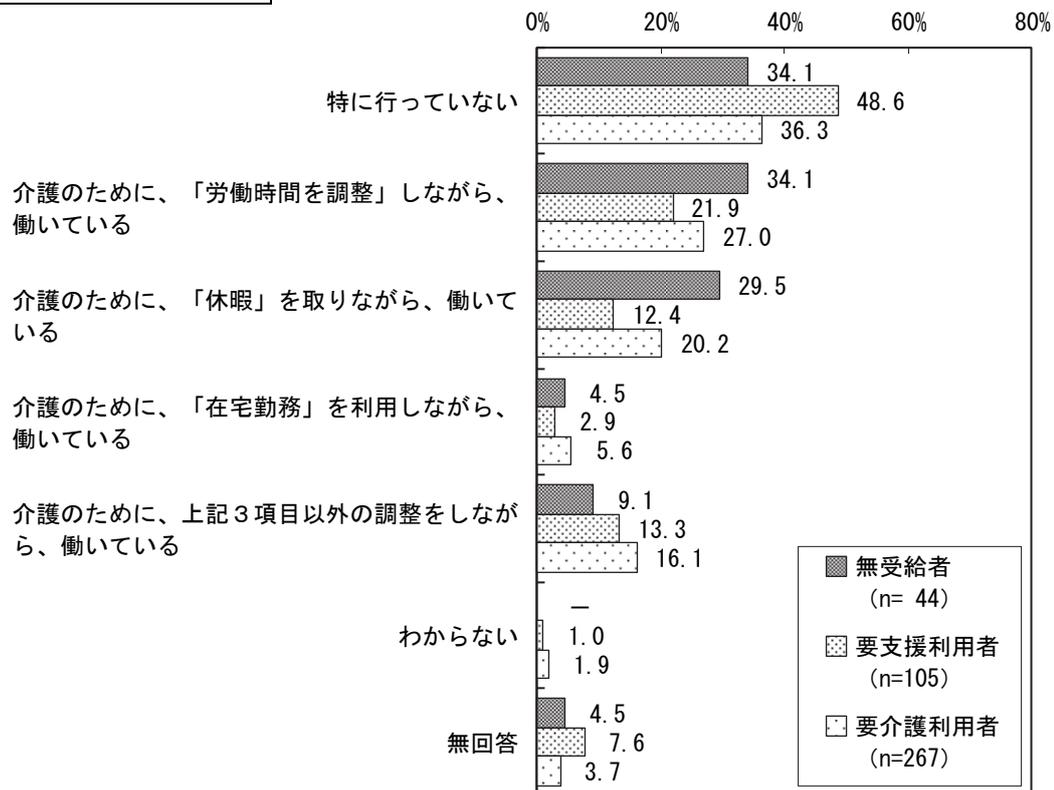


5.1

《働いている》と答えた主な介護者に対し、働き方を調整しているかたずねたところ、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、「特に行っていない」が最も高くなっています。なお、介護保険サービスの無受給者では、「特に行っていない」とともに、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」も高くなっています。

図表 3-13 主な介護者の就労調整の状況（複数回答）

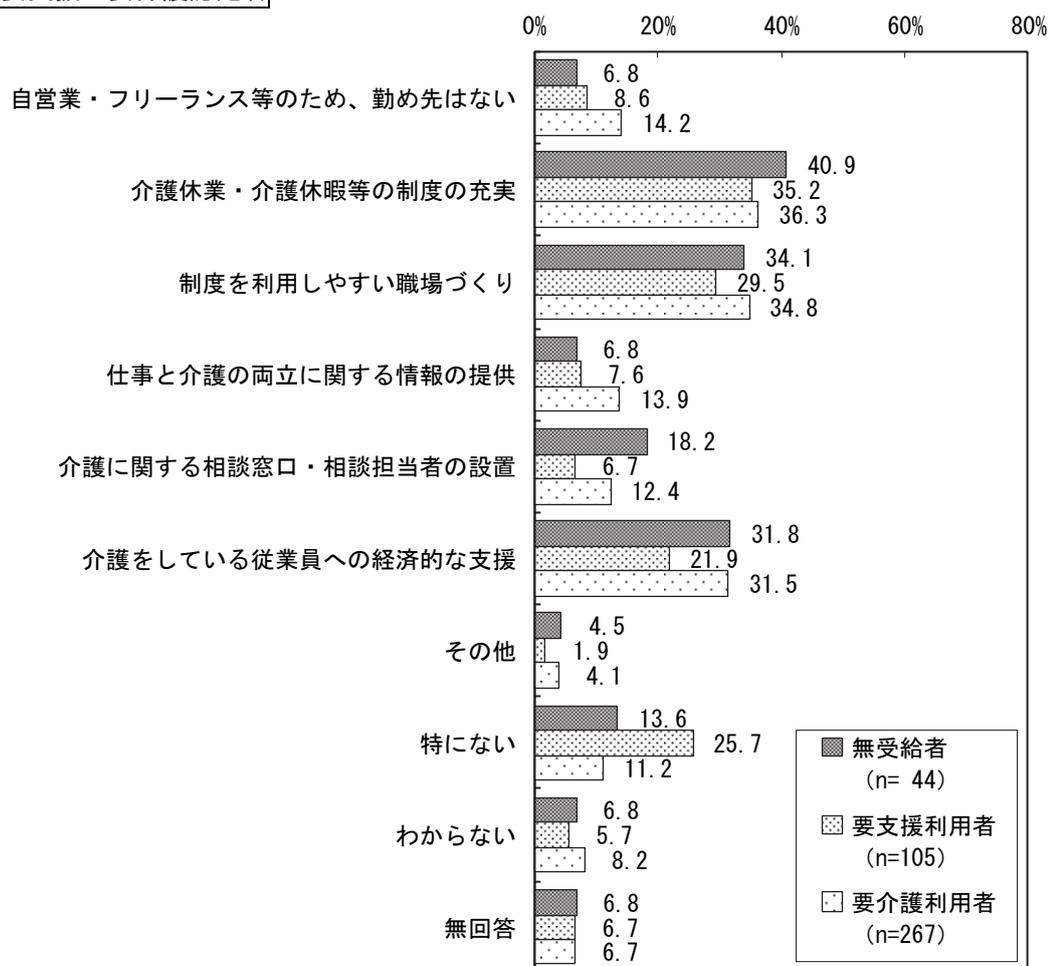
在宅要支援・要介護認定者



《働いている》と答えた主な介護者に対し、仕事と介護を両立するために勤務先からあるとよい効果的な支援についてたずねたところ、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高く、次いで、「制度を利用しやすい職場づくり」、「介護をしている従業員への経済的な支援」の順となっています。

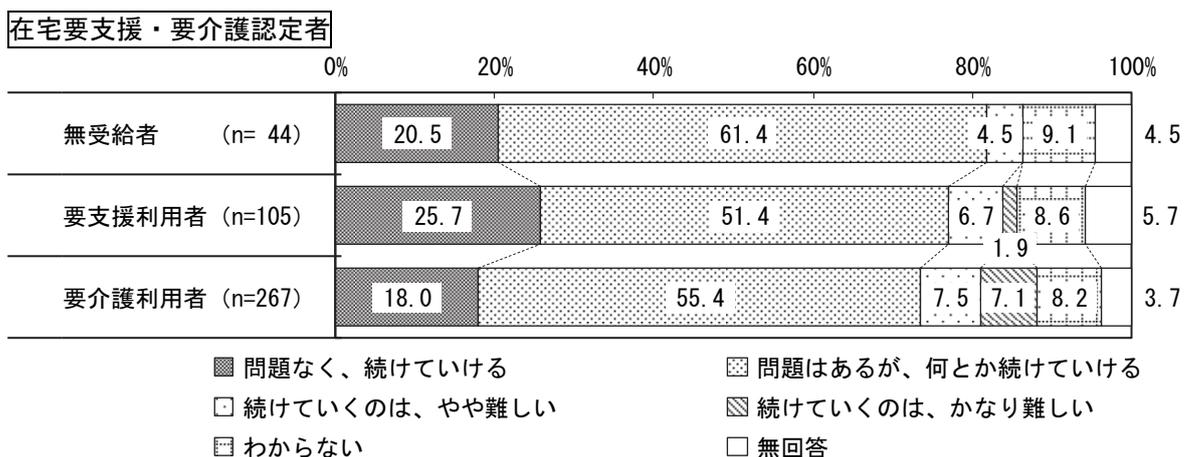
図表3-14 仕事と介護を両立するために勤務先からあるとよい効果的な支援（複数回答）

在宅要支援・要介護認定者



《働いている》と答えた主な介護者に対し、今後も働きながら介護を続けられそうかたずねたところ、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた《続けていける》は、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、70%以上を占めています。《続けていくのは、やや難しい》と《続けていくのは、かなり難しい》を合わせた《続けていくのは難しい》は、要介護利用者が14.6%と比較的高くなっています。

図表3-15 今後も就労しながら介護を続けられそうか

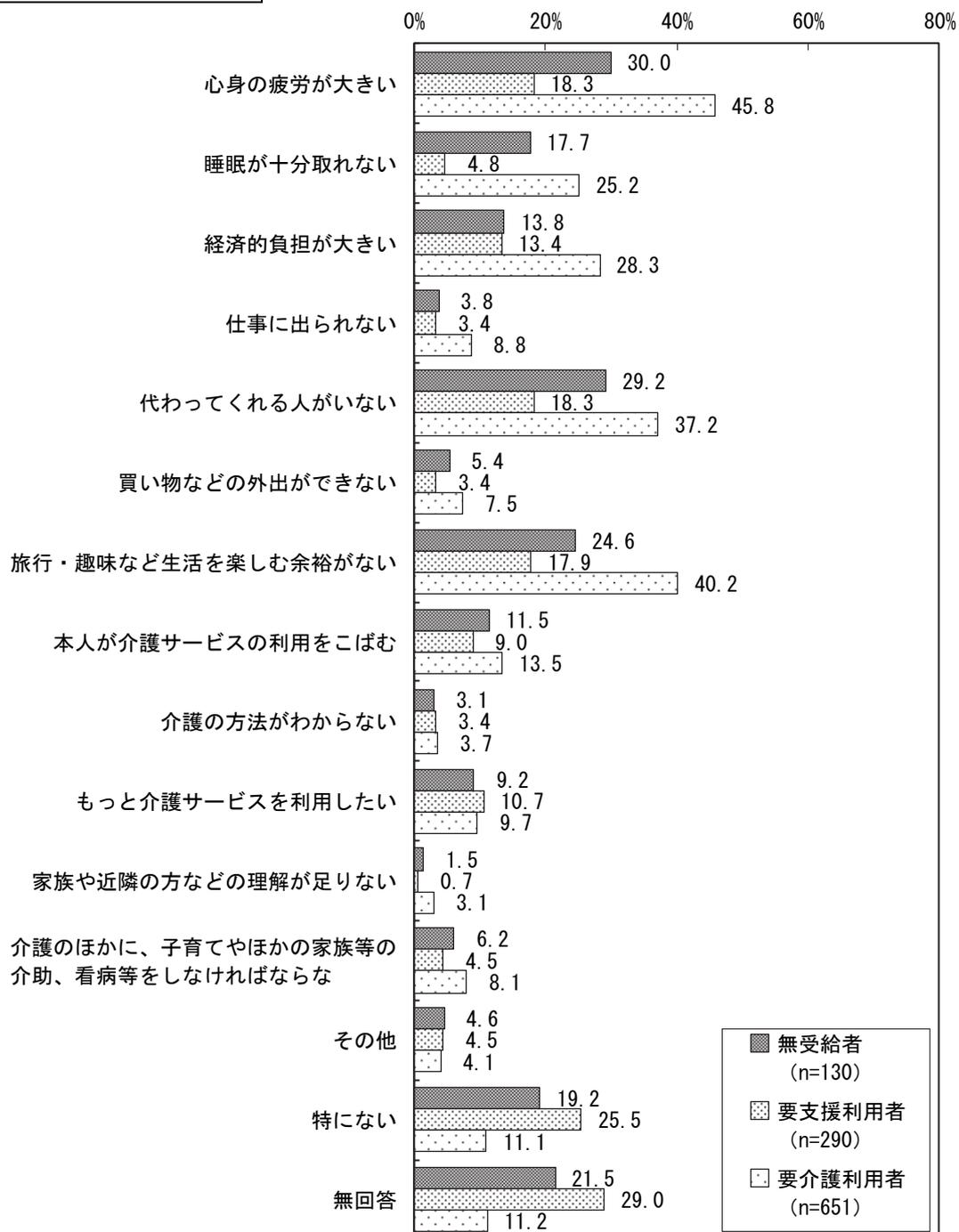


(2) 主な介護者の困りごと等

在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対し、介護する上で困っていることをたずねたところ、多くの項目において要介護利用者が比較的高く、「心身の疲労が大きい」(45.8%)、「旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない」(40.2%)、が特に高くなっています。

図表3-16 主な介護者が介護する上で困っていること（複数回答）

在宅要支援・要介護認定者



介護する上で困っていることについて要支援・要介護度別にみると、要介護利用者では、「心身の疲労が大きい」は、重度ほど低い傾向にあります。

図表3-17 主な介護者が介護する上で困っていること（要支援・要介護度別、複数回答）

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		心身の疲労が大きい	睡眠が十分取れない	経済的負担が大きい	仕事に出られない	代わってくれる人がいない	買い物などの外出ができない	旅行・趣味など生活を楽しむ余裕がない	本人が介護サービスの利用をこぼむ	介護の方法がわからない
無受給者	要支援1 (n=22)	22.7	9.1	-	-	36.4	4.5	22.7	13.6	-
	要支援2 (n=45)	20.0	13.3	8.9	2.2	26.7	-	13.3	13.3	2.2
	要介護1 (n=11)	27.3	27.3	27.3	-	18.2	-	36.4	27.3	-
	要介護2 (n=14)	42.9	14.3	21.4	7.1	14.3	7.1	35.7	7.1	-
	要介護3 (n=12)	41.7	16.7	8.3	8.3	41.7	25.0	50.0	-	-
	要介護4 (n=12)	41.7	33.3	8.3	-	50.0	-	25.0	-	8.3
	要介護5 (n=7)	71.4	57.1	85.7	28.6	42.9	28.6	28.6	-	28.6
要利用者	要支援1 (n=91)	13.2	2.2	8.8	1.1	11.0	2.2	12.1	8.8	2.2
	要支援2 (n=185)	20.0	5.9	15.1	3.8	20.5	3.8	20.0	9.2	4.3
うち小規模多機能利用者 (n=3)		66.7	33.3	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3
要介護利用者	要介護1 (n=141)	50.4	19.1	15.6	6.4	27.7	4.3	38.3	19.1	4.3
	要介護2 (n=205)	42.0	16.6	24.9	10.7	39.5	5.4	42.0	14.1	3.4
	要介護3 (n=145)	55.2	29.7	37.9	6.9	42.1	9.7	37.9	13.8	3.4
	要介護4 (n=88)	39.8	42.0	39.8	10.2	35.2	6.8	42.0	8.0	2.3
	要介護5 (n=58)	39.7	34.5	34.5	12.1	41.4	19.0	43.1	3.4	6.9
うち小規模多機能利用者 (n=79)		55.7	27.8	31.6	20.3	43.0	11.4	40.5	13.9	8.9
うち定期巡回・随時対応利用者 (n=35)		54.3	31.4	37.1	14.3	42.9	11.4	51.4	20.0	-

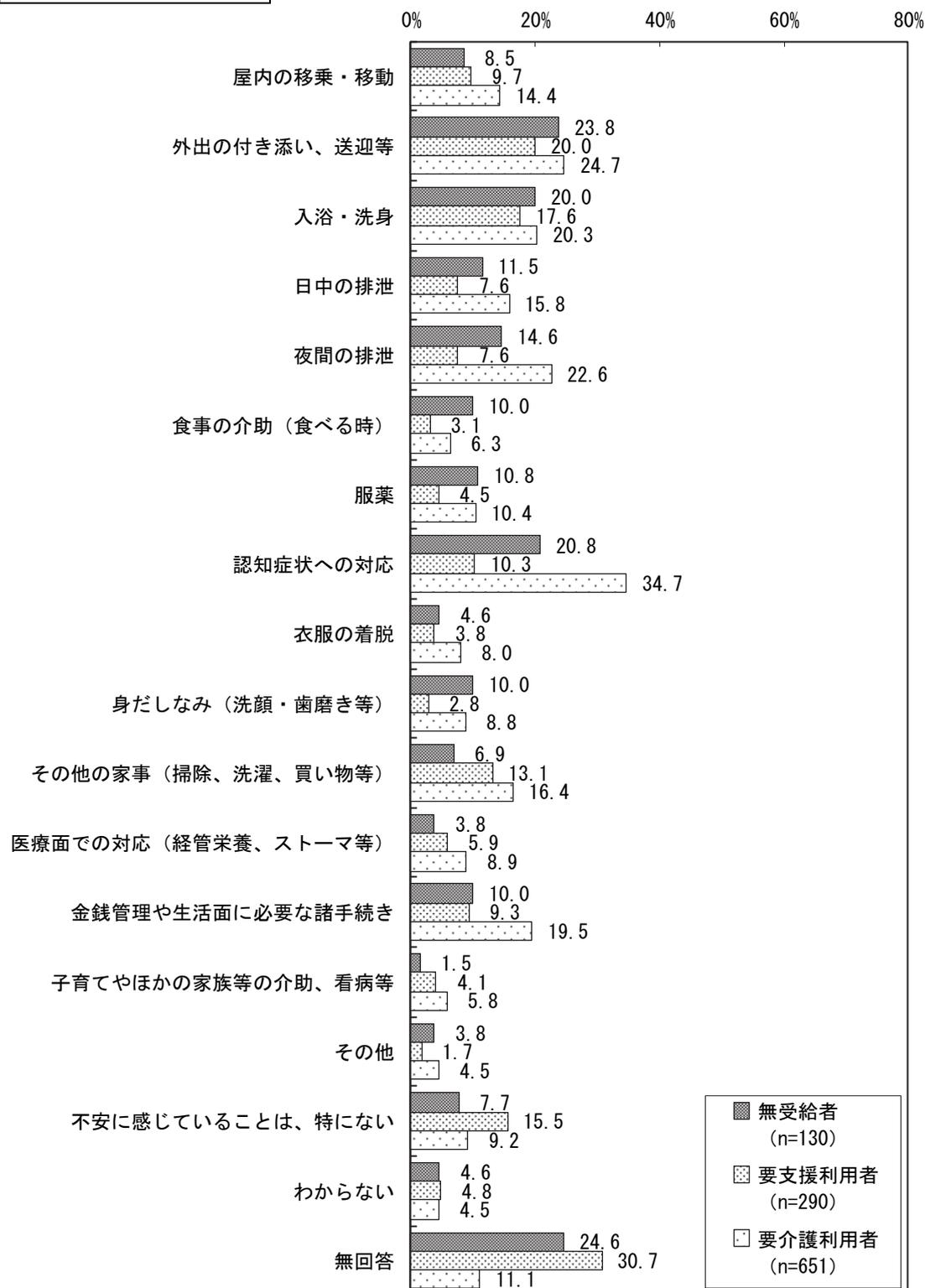
(単位：%)

区 分		もっと介護サービスを利用したい	家族や近隣の方などの理解が足りない	介護のほかに、子育てやほかの家族等の 介助、看病等をしなければならぬ	その他	特 に な い	無 回 答
無 受 給 者	要支援 1 (n= 22)	13.6	-	9.1	4.5	22.7	9.1
	要支援 2 (n= 45)	6.7	2.2	2.2	2.2	28.9	26.7
	要介護 1 (n= 11)	-	-	-	-	9.1	27.3
	要介護 2 (n= 14)	14.3	-	7.1	-	14.3	14.3
	要介護 3 (n= 12)	16.7	-	25.0	25.0	8.3	16.7
	要介護 4 (n= 12)	-	8.3	-	8.3	16.7	25.0
	要介護 5 (n= 7)	28.6	-	14.3	-	-	14.3
要 支 援 者	要支援 1 (n= 91)	9.9	-	4.4	7.7	25.3	36.3
	要支援 2 (n=185)	10.8	0.5	4.9	2.2	26.5	25.9
うち小規模多機能 利用者 (n= 3)		-	-	33.3	-	-	-
要 介 護 利 用 者	要介護 1 (n=141)	12.8	1.4	6.4	3.5	9.9	12.1
	要介護 2 (n=205)	11.7	5.4	10.2	4.4	14.1	11.2
	要介護 3 (n=145)	9.0	2.8	8.3	4.1	9.0	9.7
	要介護 4 (n= 88)	5.7	1.1	6.8	3.4	10.2	10.2
	要介護 5 (n= 58)	5.2	3.4	5.2	6.9	12.1	10.3
うち小規模多機能 利用者 (n= 79)		7.6	3.8	8.9	3.8	11.4	5.1
うち定期巡回・ 随時対応利用者 (n= 35)		5.7	2.9	14.3	2.9	8.6	11.4

在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対し、今の生活を継続していく上で不安を感じる介護等についてたずねたところ、「無回答」を除くと、要介護利用者では「認知症への対応」(34.7%)、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者では「外出の付き添い、送迎等」(23.8%、20.0%)が最も高くなっています。

図表3-18 主な介護者が今後不安を感じる介護等(3つまで回答)

在宅要支援・要介護認定者



今後不安に感じる介護等について要支援・要介護度別にみると、要介護利用者では、「認知症状への対応」は、重度ほど低い傾向にあります。

図表3-19 主な介護者が今後不安に感じる介護等（要支援・要介護度別、3つまで回答）

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	入浴・洗身	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	服薬	認知症状への対応	衣服の着脱
無受給者	要支援1 (n=22)	4.5	45.5	9.1	9.1	4.5	4.5	-	13.6	4.5
	要支援2 (n=45)	8.9	17.8	22.2	2.2	13.3	2.2	8.9	15.6	-
	要介護1 (n=11)	9.1	27.3	18.2	9.1	9.1	18.2	27.3	36.4	9.1
	要介護2 (n=14)	7.1	21.4	21.4	14.3	14.3	7.1	-	14.3	7.1
	要介護3 (n=12)	8.3	25.0	33.3	25.0	16.7	25.0	16.7	41.7	16.7
	要介護4 (n=12)	8.3	8.3	16.7	16.7	25.0	-	8.3	25.0	-
	要介護5 (n=7)	14.3	28.6	14.3	42.9	42.9	71.4	28.6	28.6	14.3
要利用者	要支援1 (n=91)	4.4	17.6	12.1	3.3	2.2	1.1	4.4	6.6	-
	要支援2 (n=185)	13.0	22.2	20.5	9.7	10.3	4.3	4.3	11.4	5.4
うち小規模多機能利用者 (n=3)		33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	66.7	-
要介護利用者	要介護1 (n=141)	9.9	23.4	27.7	12.1	18.4	2.1	12.1	42.6	7.8
	要介護2 (n=205)	13.7	25.4	20.0	15.1	18.5	2.9	11.7	31.2	6.3
	要介護3 (n=145)	18.6	32.4	20.0	20.7	33.8	9.7	13.1	39.3	11.0
	要介護4 (n=88)	15.9	20.5	15.9	20.5	26.1	10.2	4.5	30.7	6.8
	要介護5 (n=58)	17.2	13.8	10.3	8.6	12.1	15.5	5.2	25.9	8.6
うち小規模多機能利用者 (n=79)		12.7	19.0	15.2	15.2	27.8	5.1	8.9	43.0	2.5
うち定期巡回・随時対応利用者 (n=35)		11.4	14.3	11.4	8.6	14.3	8.6	2.9	28.6	5.7

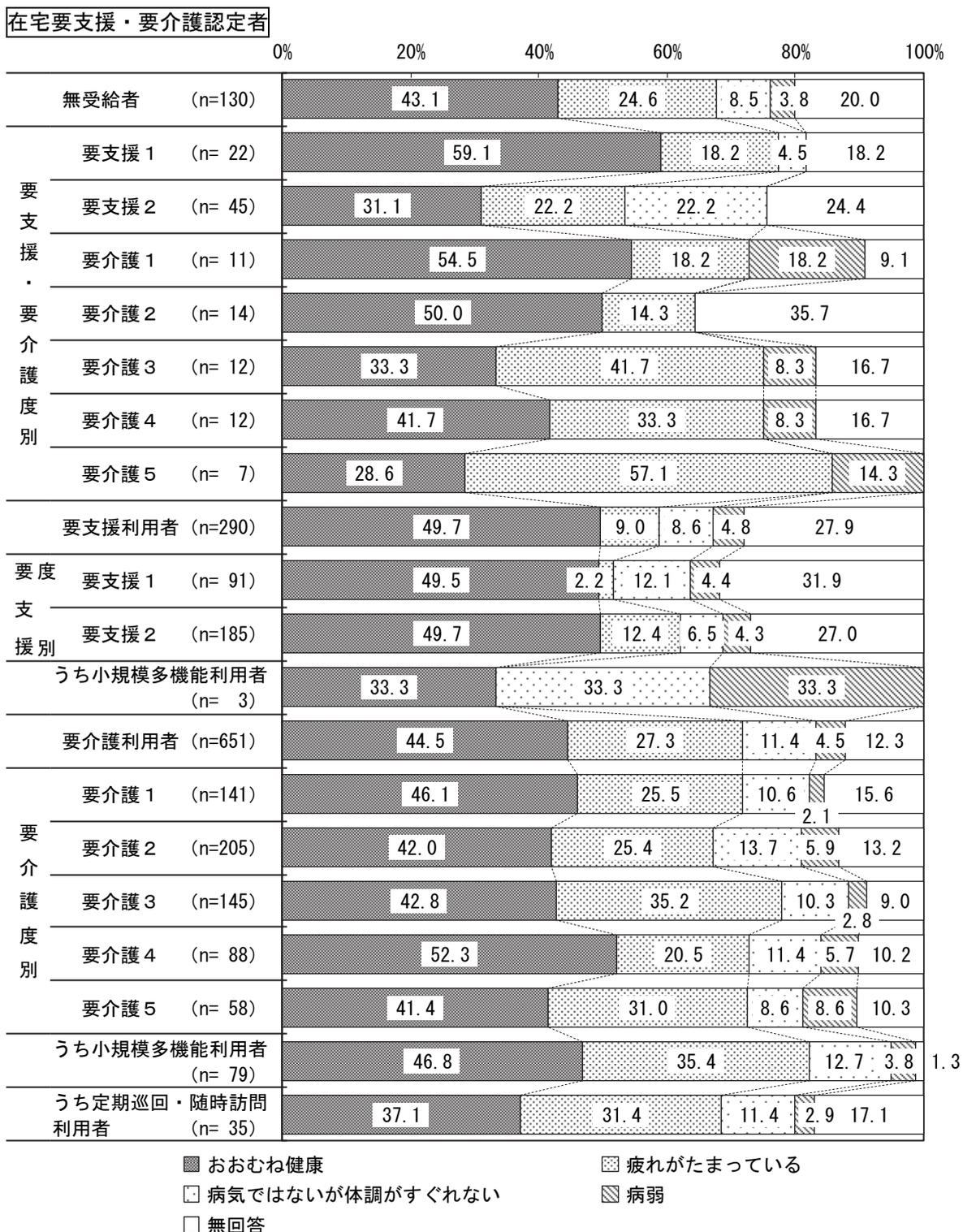
(単位：%)

区 分		身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物等)	医療面での対応 (経管栄養、 ストーマ等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	子育てやほかの家族 等の介助、看病等	その他	不安に感じている ことは、特にな い	わからない	無回答
無受給者	要支援1 (n= 22)	4.5	18.2	9.1	13.6	9.1	4.5	13.6	9.1	9.1
	要支援2 (n= 45)	11.1	4.4	2.2	8.9	-	2.2	11.1	2.2	31.1
	要介護1 (n= 11)	-	9.1	-	-	-	-	-	-	36.4
	要介護2 (n= 14)	7.1	7.1	7.1	7.1	-	7.1	-	7.1	14.3
	要介護3 (n= 12)	8.3	8.3	-	25.0	-	8.3	8.3	-	25.0
	要介護4 (n= 12)	16.7	-	8.3	-	-	8.3	-	8.3	25.0
	要介護5 (n= 7)	28.6	-	-	28.6	-	-	14.3	-	14.3
要利用者	要支援1 (n= 91)	2.2	12.1	1.1	9.9	5.5	3.3	16.5	6.6	37.4
	要支援2 (n=185)	3.2	13.5	8.6	9.2	3.2	1.1	14.6	3.2	28.1
うち小規模多機能 利用者 (n= 3)		33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-
要介護利用者	要介護1 (n=141)	7.8	20.6	6.4	17.0	4.3	4.3	6.4	5.7	12.8
	要介護2 (n=205)	8.8	20.0	8.8	18.0	5.4	4.9	11.2	3.9	10.7
	要介護3 (n=145)	11.0	13.1	9.0	22.8	8.3	4.1	6.2	3.4	9.7
	要介護4 (n= 88)	6.8	10.2	12.5	22.7	5.7	2.3	11.4	2.3	9.1
	要介護5 (n= 58)	10.3	10.3	10.3	15.5	5.2	8.6	13.8	10.3	10.3
うち小規模多機能 利用者 (n= 79)		8.9	21.5	5.1	21.5	6.3	6.3	5.1	5.1	3.8
うち定期巡回・ 随時対応利用者 (n= 35)		2.9	20.0	8.6	17.1	11.4	2.9	8.6	5.7	14.3

(3) 主な介護者の健康状態等

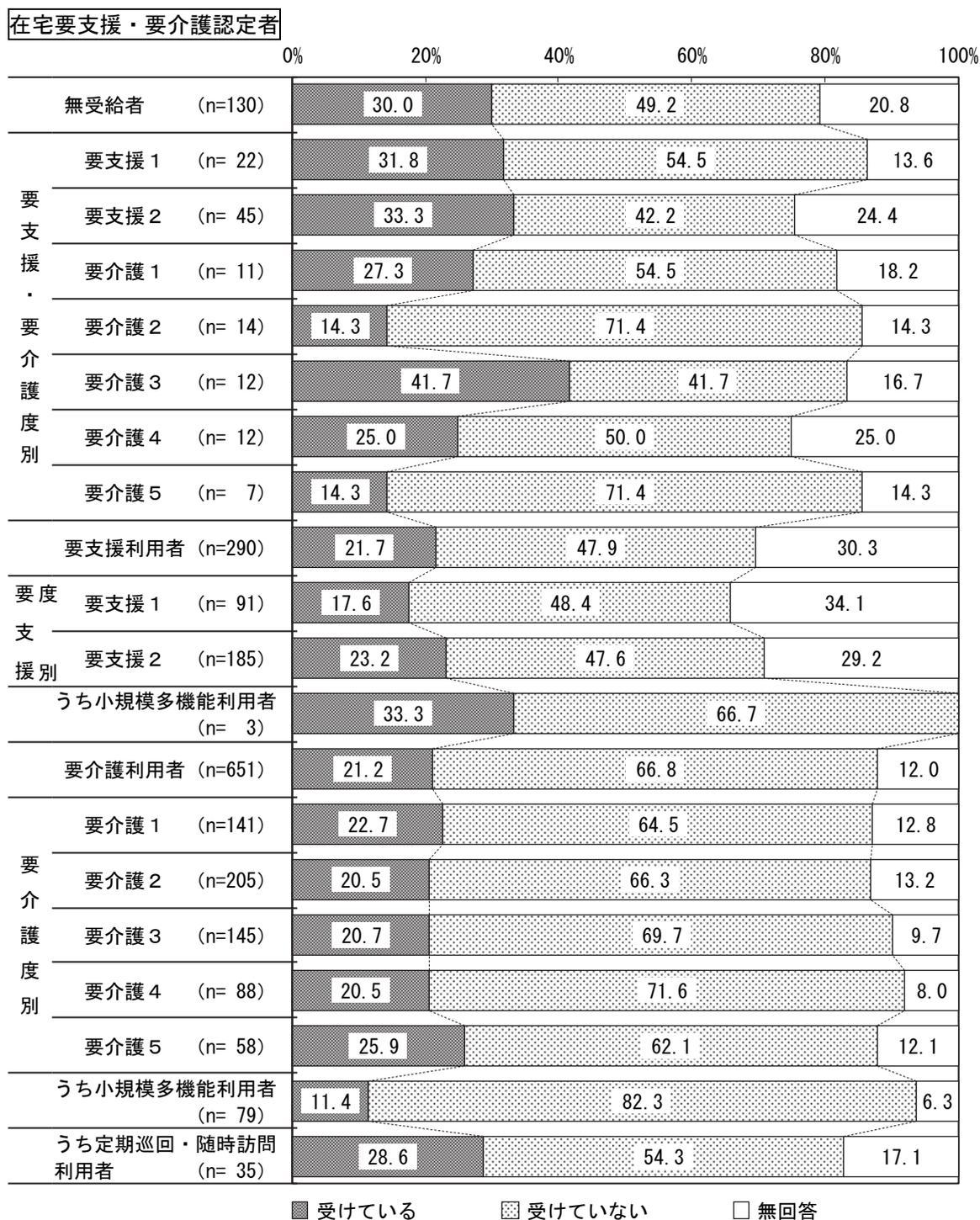
在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対して健康状況をたずねたところ、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、「おおむね健康」が40%台を占めていますが、介護保険サービスの無受給者と要介護利用者では、「疲れがたまっている」が20%台あります。

図表3-20 主な介護者の健康状態



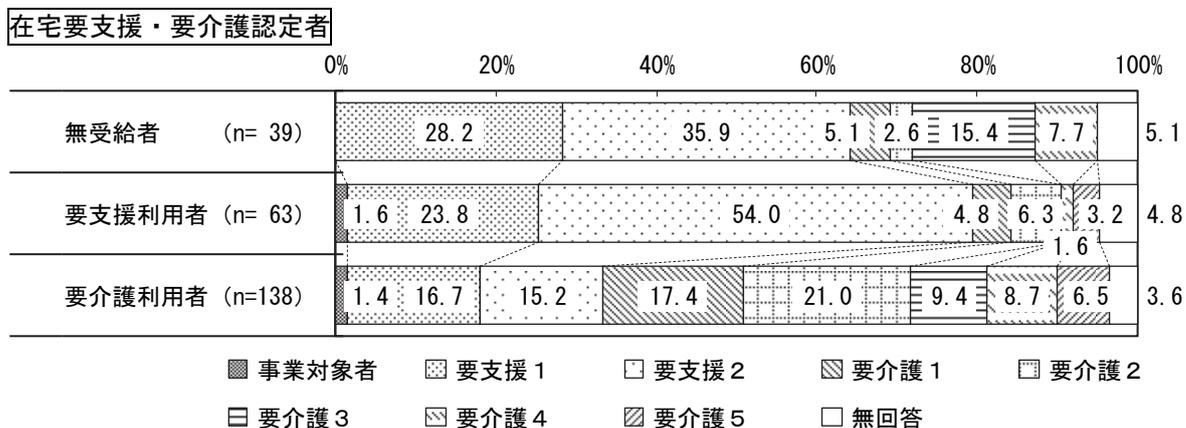
調査対象者を主に介護している人の要支援、要介護の認定状況をたずねたところ、「受けている」は、介護保険サービスの無受給者の 30.0%に対し、要支援利用者では 21.7%、要介護利用者では 21.2%となっています。

図表 3-21 主な介護者の要支援・要介護認定の有無



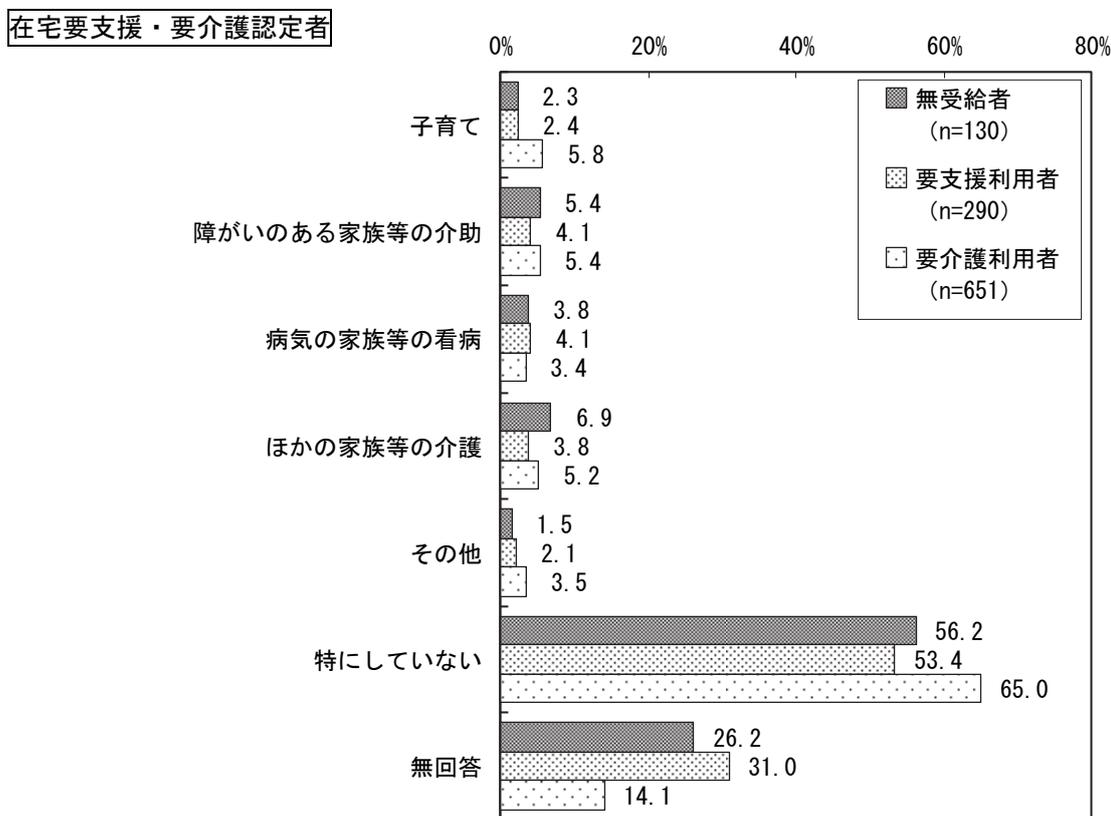
自らも要支援・要介護認定を「受けている」人の要支援・要介護認定度については、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者では「要支援1」と「要支援2」の《要支援》で60%以上、要介護利用者では「要介護1」から「要介護5」までの《要介護》で60%以上を占めています。

図表3-22 主な介護者の要支援・要介護度



調査対象者を主に介護している人に、ほかに子育てや障がいのある家族等の介助、病気の家族等の看病などを同時にしているかたずねたところ、「子育て」をはじめとする「特にしていない」以外の選択項目は、いずれも10%を下回っています。

図表3-23 主な介護者によるダブルケアの状況（複数回答）



図表 3-24 主な介護者によるダブルケアの状況（要支援・要介護度別、複数回答）

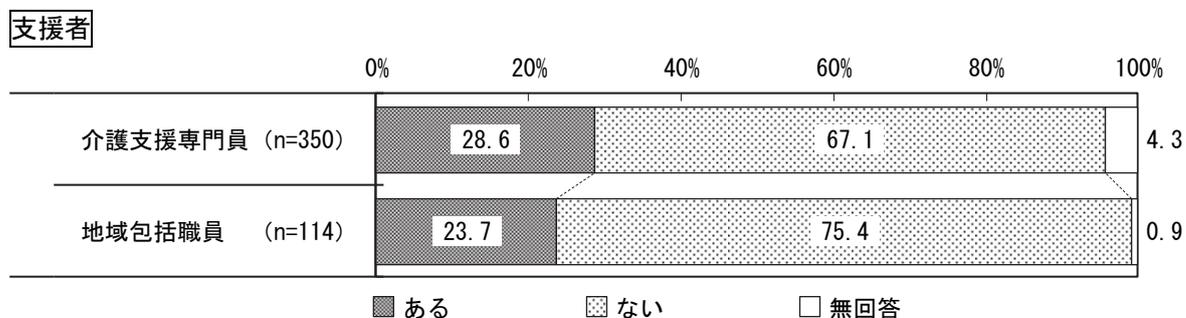
在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		子育て	障がいのある家族等の介助	病気の家族等の看病	ほかの家族等の介護	その他	特にしていない	無回答
無受給者	要支援 1 (n= 22)	4.5	-	-	9.1	4.5	68.2	13.6
	要支援 2 (n= 45)	2.2	6.7	6.7	11.1	-	46.7	31.1
	要介護 1 (n= 11)	-	9.1	-	9.1	-	54.5	27.3
	要介護 2 (n= 14)	-	7.1	-	-	-	78.6	14.3
	要介護 3 (n= 12)	-	16.7	-	-	8.3	58.3	16.7
	要介護 4 (n= 12)	-	-	-	-	-	58.3	41.7
	要介護 5 (n= 7)	14.3	-	14.3	14.3	-	57.1	14.3
要支援利用者	要支援 1 (n= 91)	3.3	3.3	7.7	3.3	2.2	46.2	37.4
	要支援 2 (n=185)	1.6	4.9	2.7	3.8	2.2	57.3	27.6
うち小規模多機能利用者 (n= 3)		-	-	-	33.3	-	66.7	-
要介護利用者	要介護 1 (n=141)	7.8	4.3	2.1	4.3	2.8	63.8	15.6
	要介護 2 (n=205)	5.4	7.3	4.4	3.9	3.4	65.4	13.7
	要介護 3 (n=145)	8.3	2.8	4.8	4.1	2.8	66.2	12.4
	要介護 4 (n= 88)	2.3	6.8	1.1	11.4	5.7	63.6	11.4
	要介護 5 (n= 58)	1.7	5.2	1.7	3.4	3.4	69.0	15.5
うち小規模多機能利用者 (n= 79)		7.6	3.8	-	3.8	3.8	77.2	5.1
うち定期巡回・随時対応利用者 (n= 35)		11.4	5.7	2.9	5.7	-	60.0	17.1

介護支援専門員（ケアマネジャー）と地域包括支援センター職員に、介護と子育て、障がいのある家族等の介助、ほかの家族等の介護や看病などの「ダブルケア」と思われるケースに関わったことがあるかたずねたところ、「ある」は、介護支援専門員（ケアマネジャー）が 28.6%、地域包括支援センター職員が 23.7%となっています。

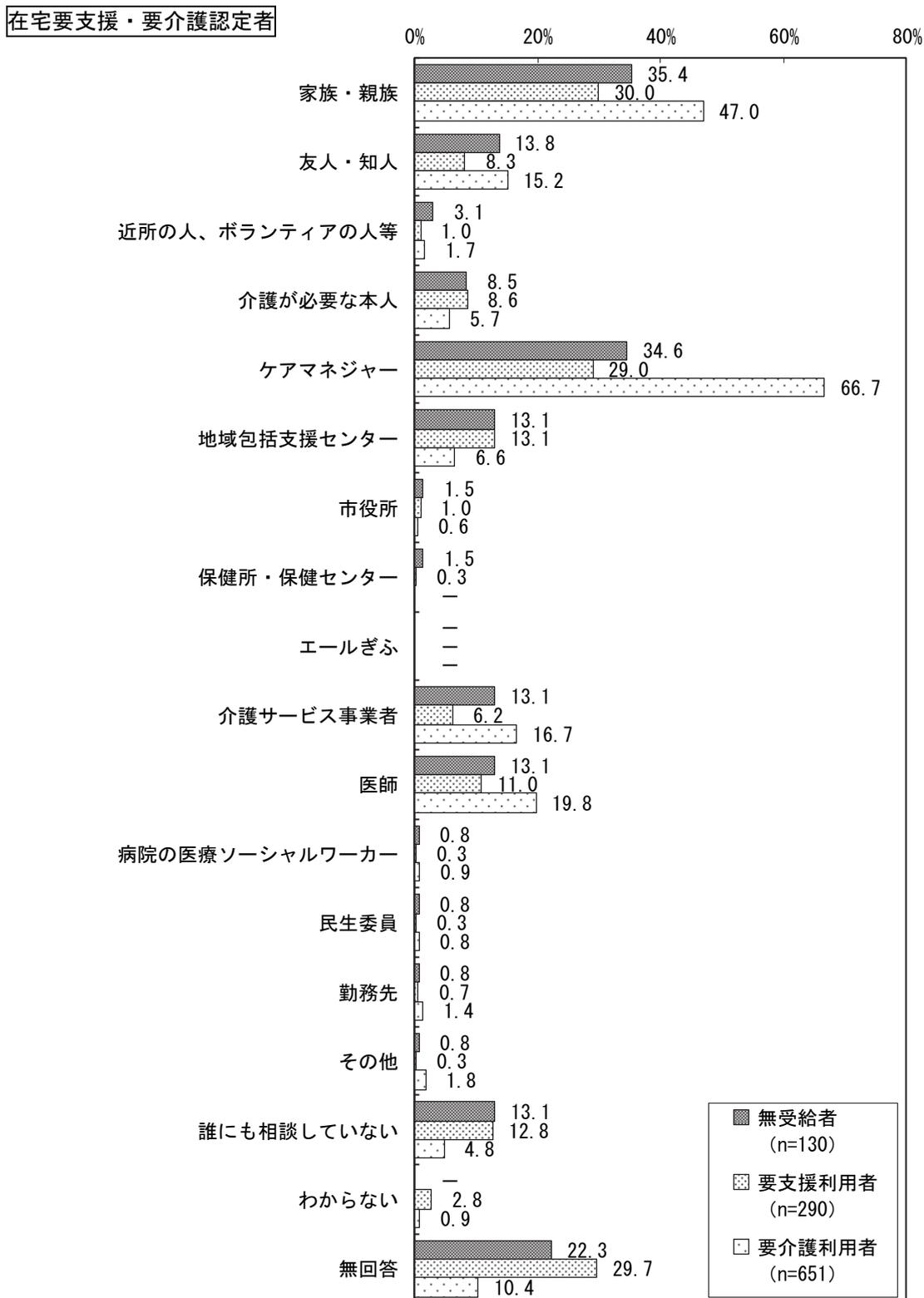
**図表 3-25** ダブルケアと思われるケースに関わった経験



(4) 主な介護者の相談相手

調査対象者を主に介護している人の介護についての相談相手としては、要介護利用者では「ケアマネジャー」(66.7%)が最も高く、介護保険サービスの無受給者と要支援利用者では「家族・親族」(35.4%、30.0%)が最も高くなっています。

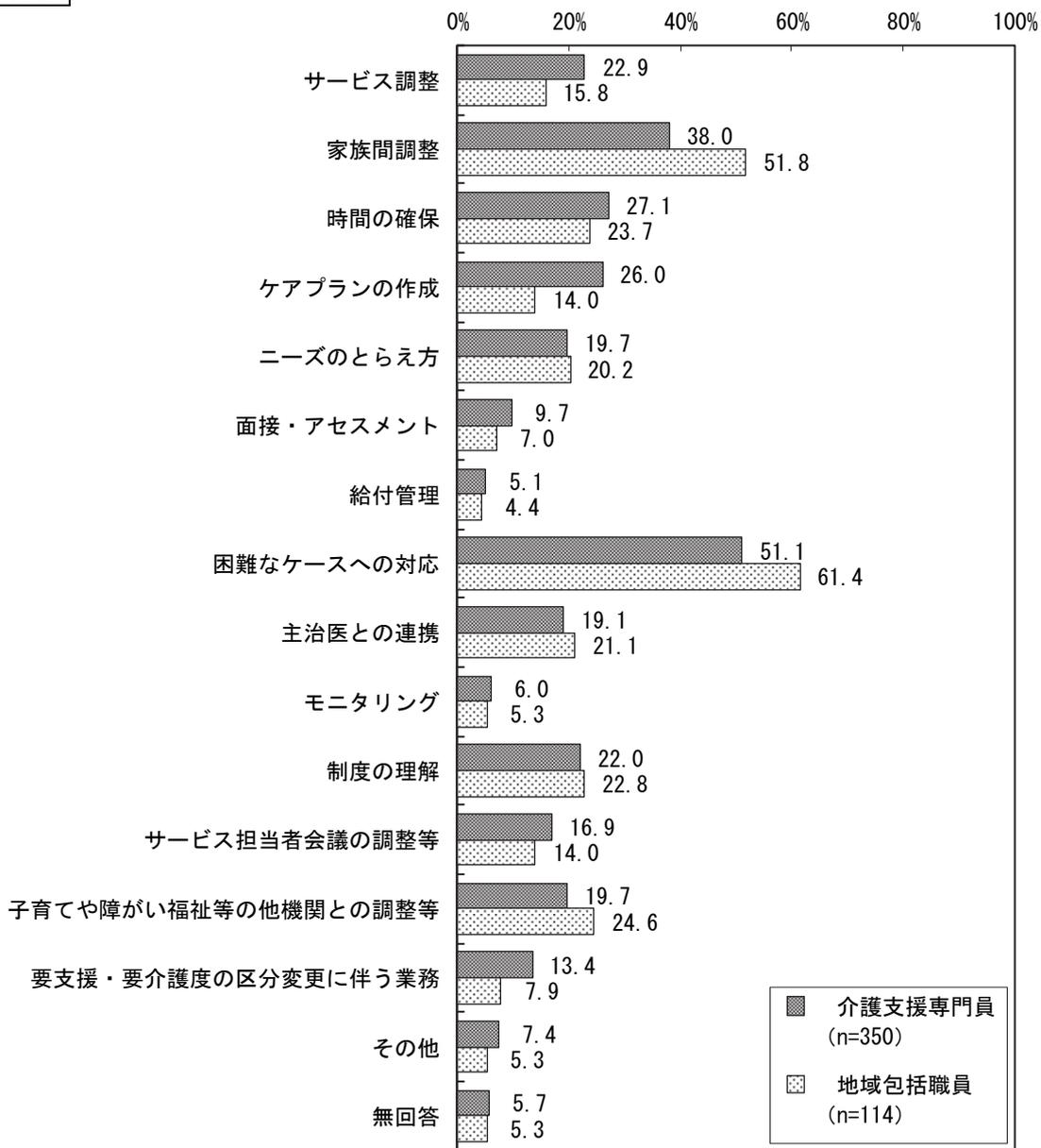
図表3-26 主な介護者の介護についての相談相手(複数回答)



介護支援専門員（ケアマネジャー）と地域包括支援センター職員に、介護予防ケアマネジメントとして難しいことは何かたずねたところ、ともに、「困難なケースへの対応」が最も高く、50%を超えています。このほか、地域包括支援センター職員では「家族間調整」も50%を超えています。

図表3-27 介護予防ケアマネジメントで難しいこと（複数回答）

支援者



### 3 認知症への対策等について

#### (1) 認知症状の有無

調査対象者を主に介護している人に、調査対象者は認知症の診断を受けたことがあるかたずねたところ、「ある」は、要介護利用者では37.3%を占める一方、介護保険サービスの無受給者では19.2%、要支援利用者では7.2%となっています。

図表3-28 調査対象者は認知症の診断を受けたことがあるか

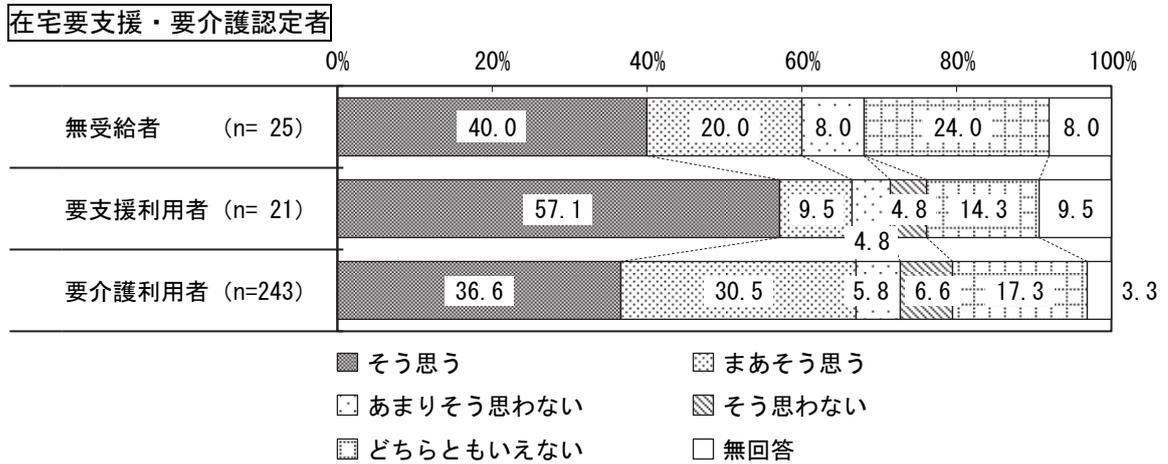
在宅要支援・要介護認定者



2.5

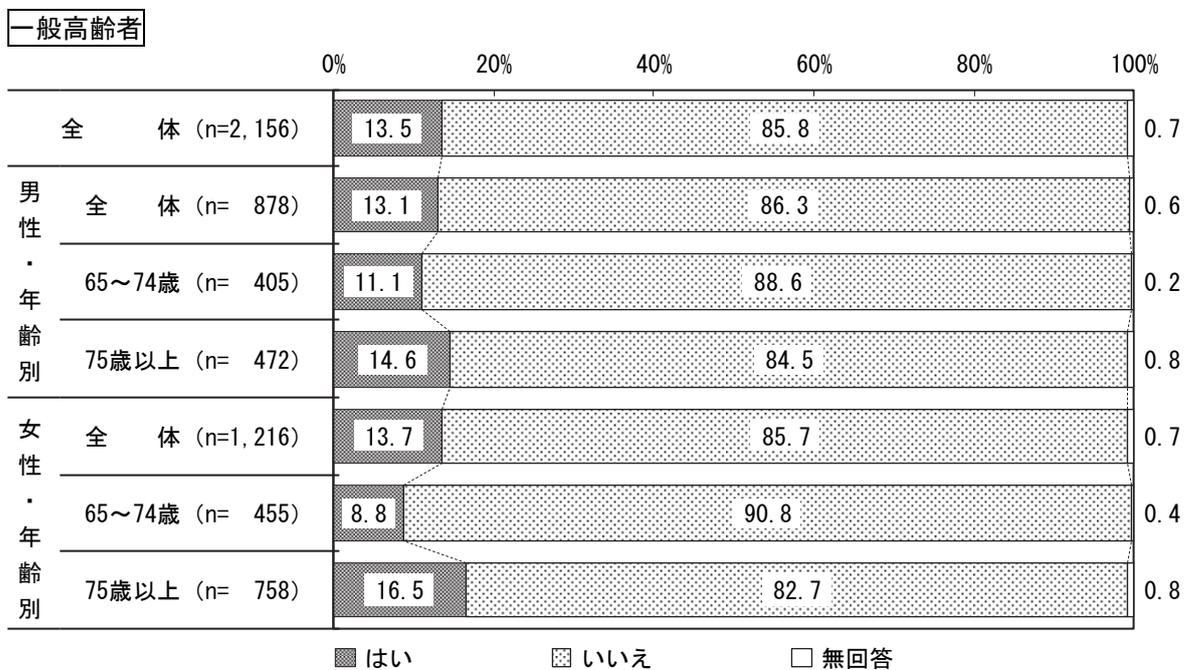
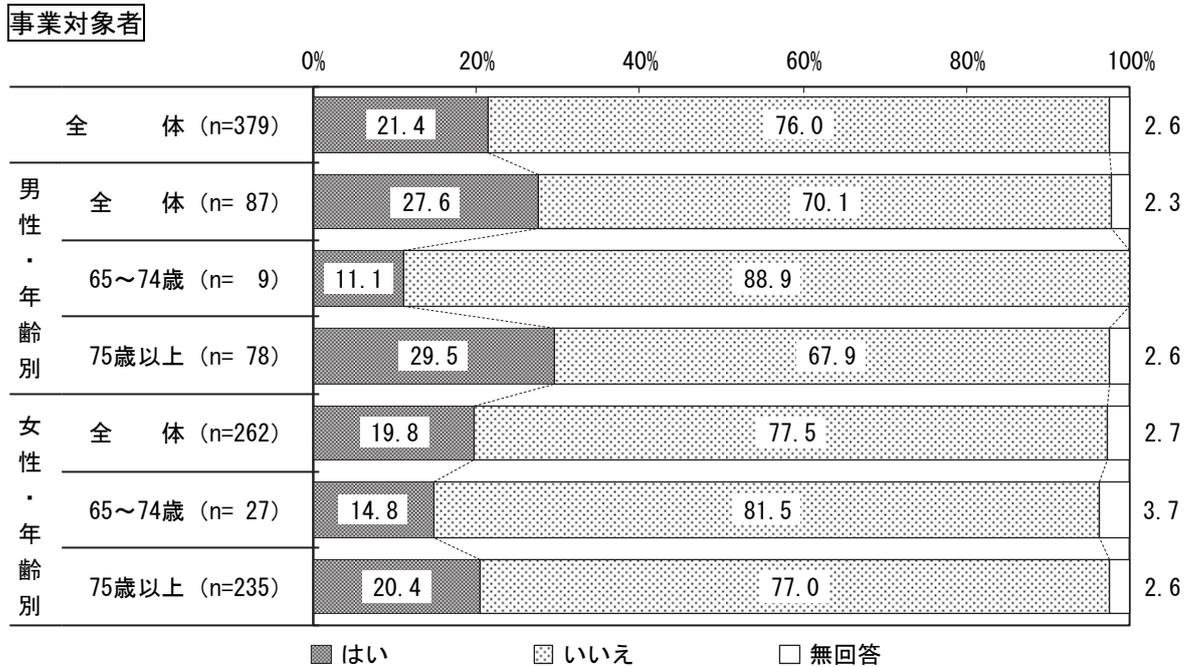
調査対象者が認知症の診断を受けたことが「ある」と回答した人に、調査対象者は認知症であっても、自分らしく暮らしているかたずねたところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた《自分らしく暮らしていると思う》は、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、60%以上を占めています。

図表 3-29 調査対象者は認知症でも自分らしく暮らしていると思うか



一般高齢者と事業対象者の本人やその家族における認知症の症状の有無について、ある（「はい」）は、事業対象者では21.4%、一般高齢者では13.5%となっています。なお、事業対象者では、ある（「はい」）は、女性に比べて男性のほうが高くなっています。

図表3-30 自分や家族に認知症の症状があるか

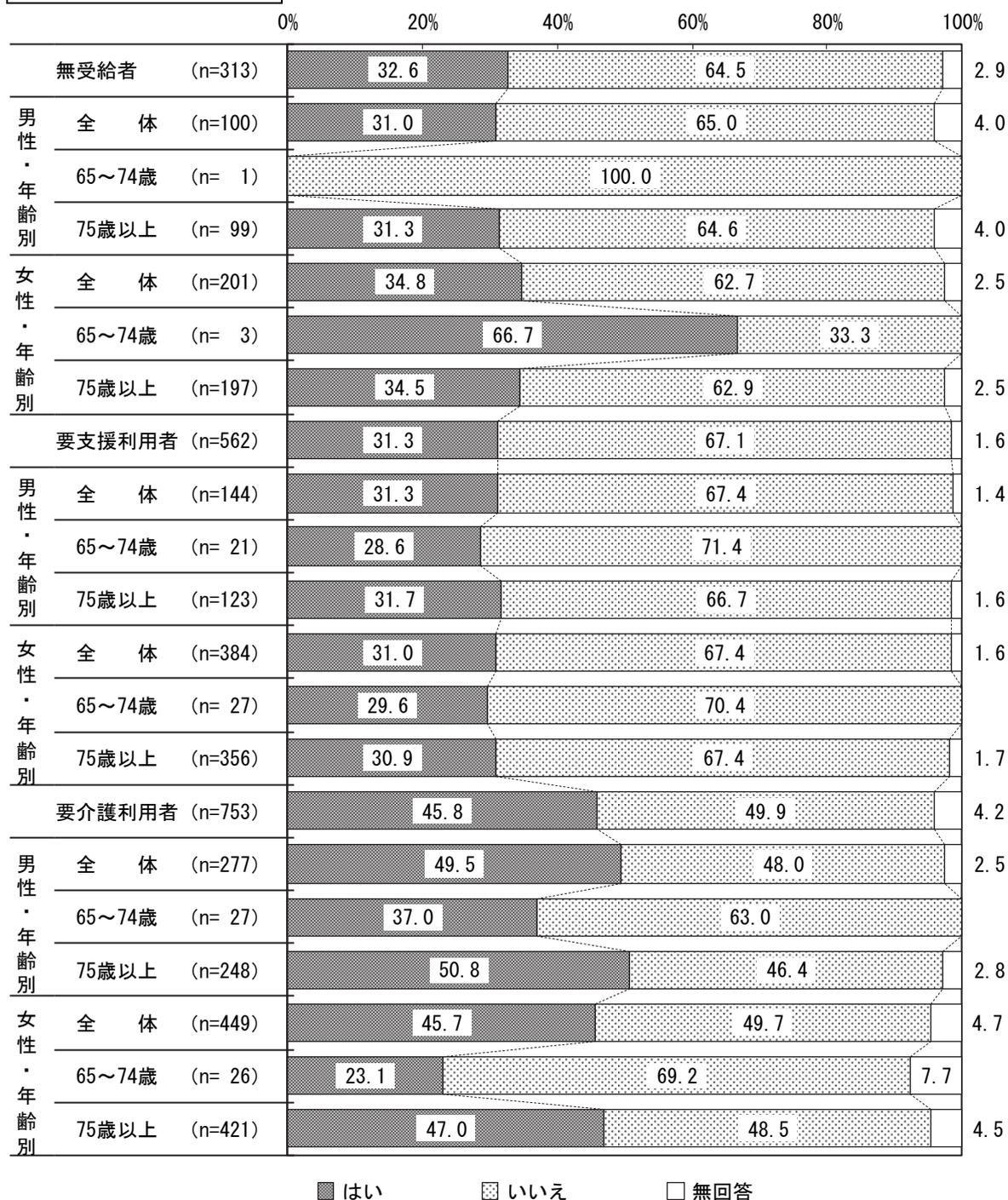


(2) 認知症に関する相談窓口等の周知状況

認知症に関する相談窓口について知っている（「はい」）は、要介護利用者が45.8%、要支援利用者が31.3%、無受給者が32.6%となっています。性別にみても、大きな差異はみられません。

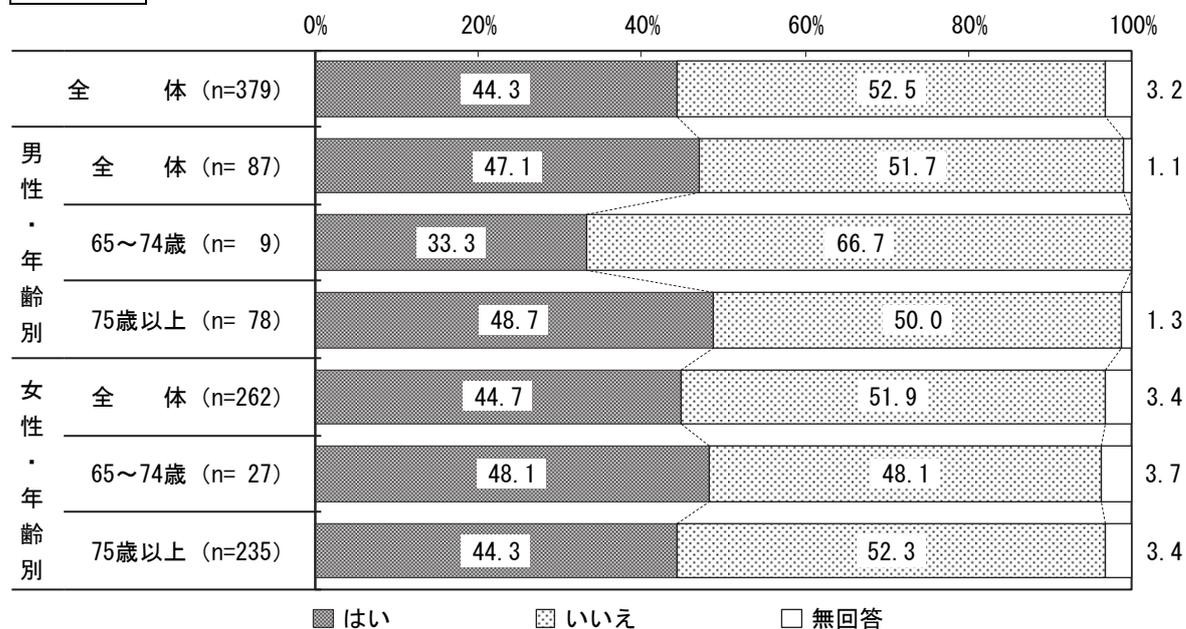
図表3-31 認知症に関する相談窓口の周知度

在宅要支援・要介護認定者

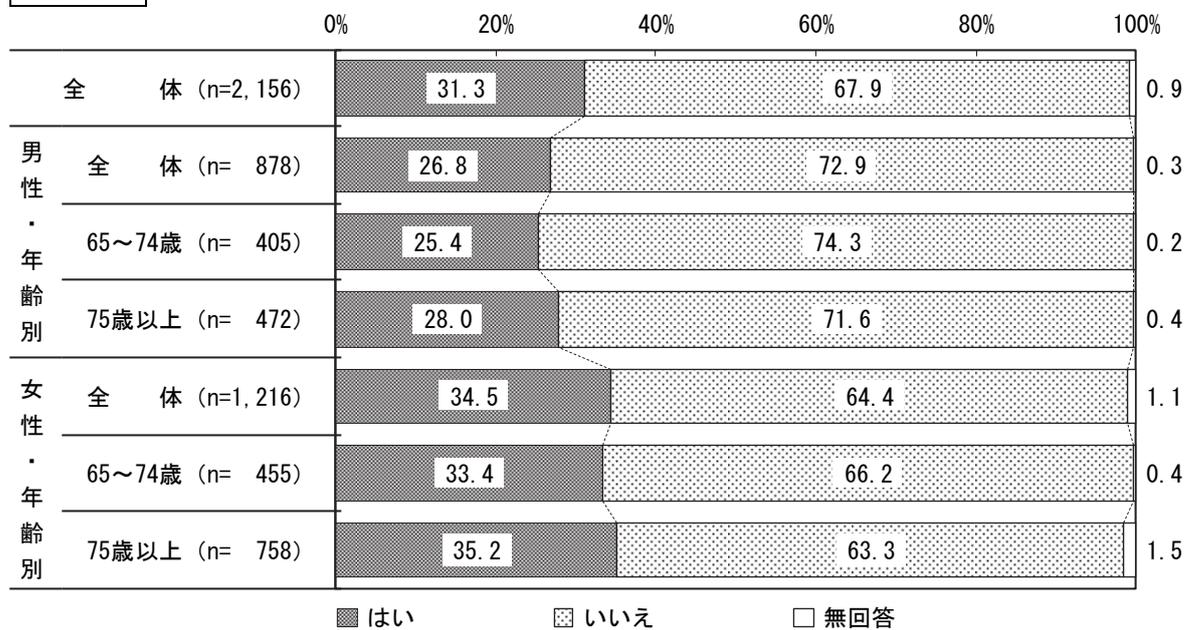


知っている（「はい」）は、事業対象者では44.3%、一般高齢者では31.3%となっています。なお、一般高齢者では、知っている（「はい」）は、女性に比べて男性のほうが低くなっています。

**事業対象者**



**一般高齢者**



---

### (3) 新しい認知症観の周知状況

認知症については、令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の制定過程において、「認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」という考え方が示されました。

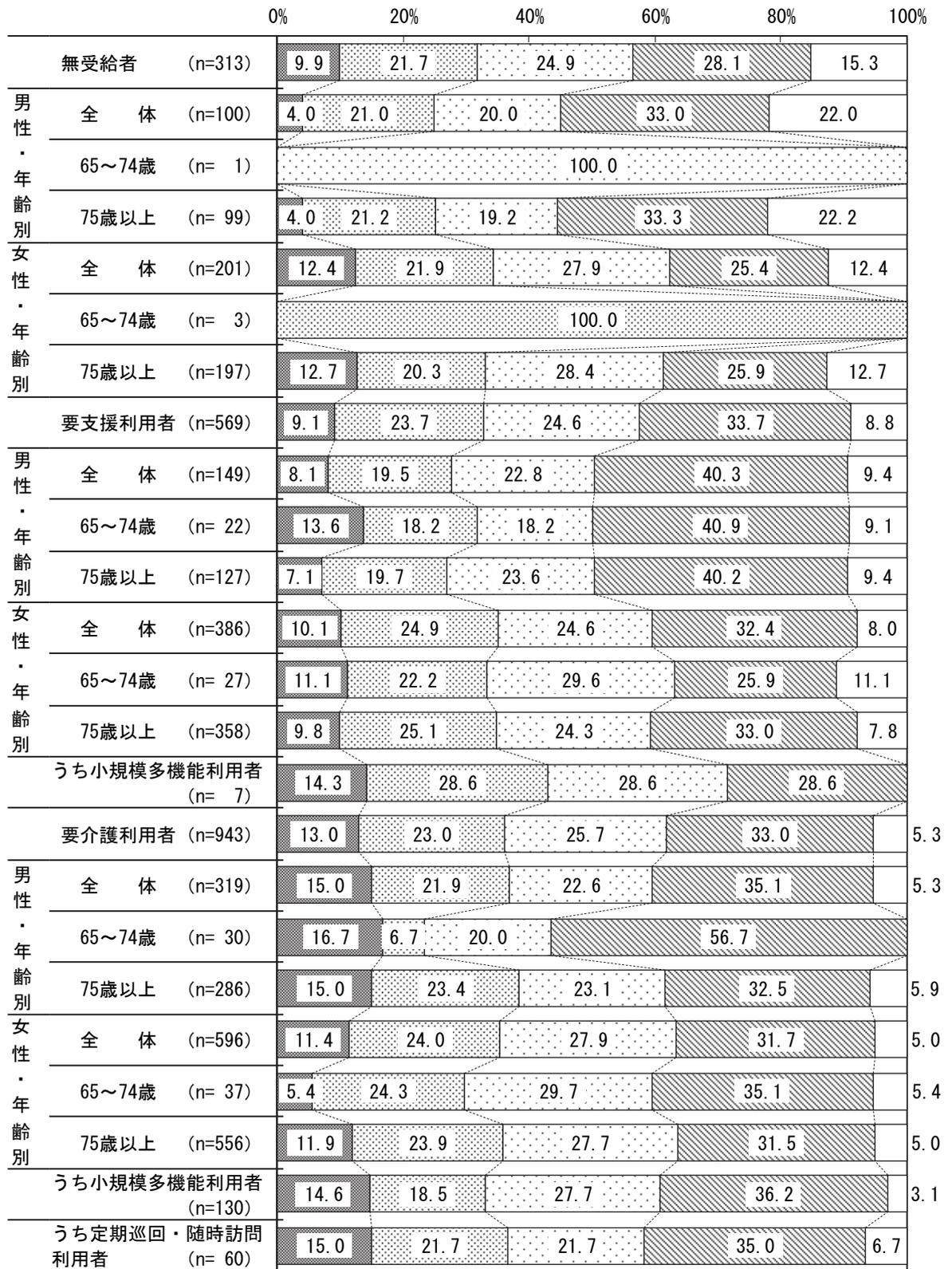
この考え方について知っているかたずねたところ、「知っており、理解している」と「知っているが、よくわからない」を合わせた《知っている》は、要介護利用者では36.0%、要支援利用者では32.8%、無受給者では31.6%となっています。これを性別にみると、無受給者と要支援利用者では、女性に比べて男性のほうが低くなっています。

また、「知っており、理解している」と「聞いたことはないが、理解はできる」を合わせた《理解している・できる》は、要介護利用者では38.7%、要支援利用者では33.7%、無受給者では34.8%となっています。これを性別にみると、無受給者では、女性に比べて男性のほうが低くなっています。

なお、「聞いたことがなく、全くわからない」も、いずれも30%程度あります。

図表 3-32 新しい認知症観の周知度

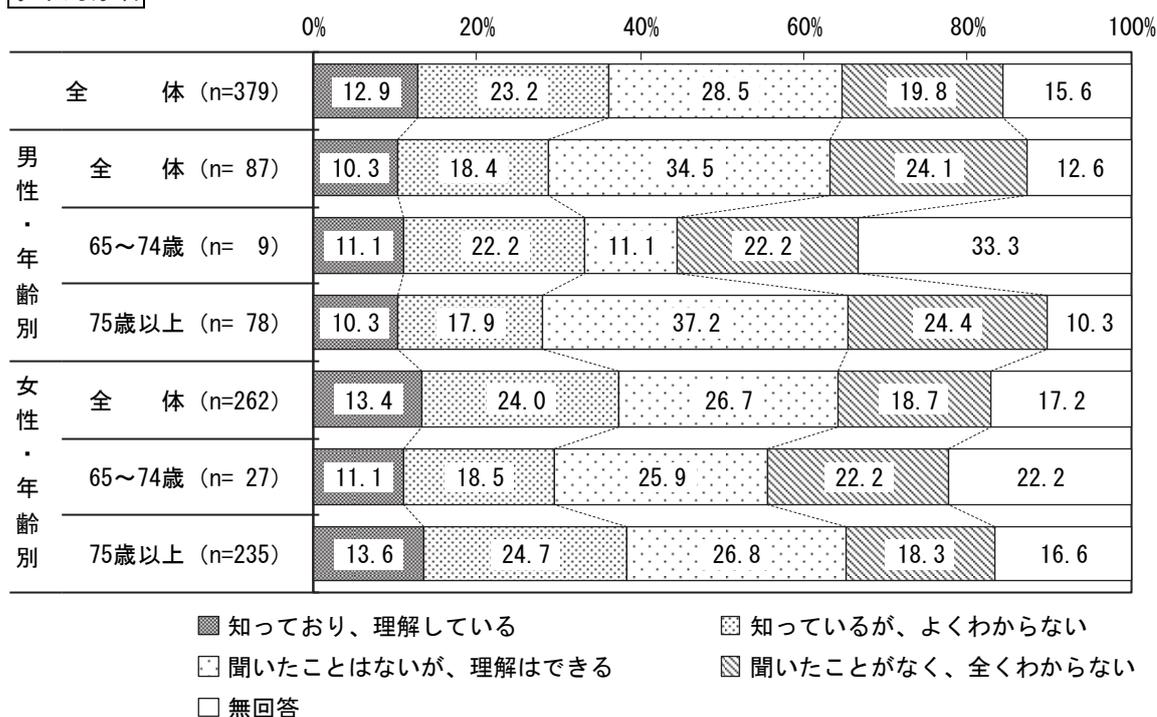
在宅要介護認定者等



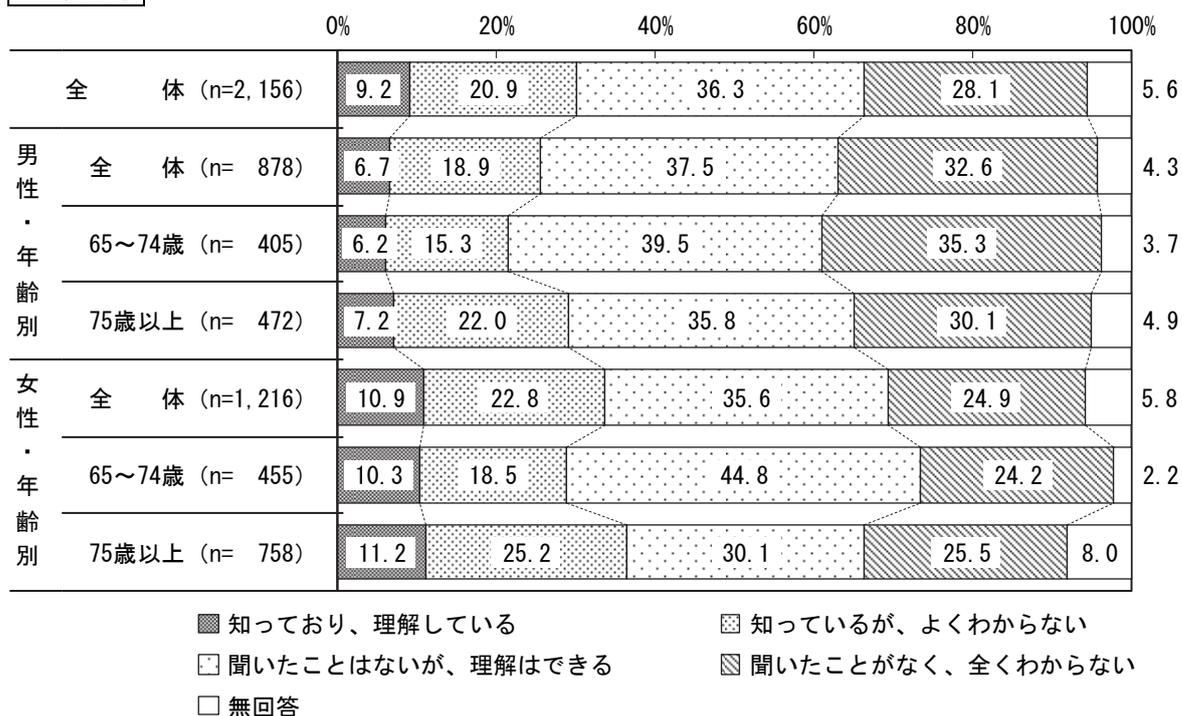
- 知っており、理解している
- 聞いたことはないが、理解はできる
- 無回答
- 知っているが、よくわからない
- 聞いたことがなく、全くわからない

《知っている》は、事業対象者では 36.1%、一般高齢者では 30.1%、《理解している・できる》は、事業対象者では 41.4%、一般高齢者では 45.5%となっています。《知っている》を性別にみると、いずれも女性に比べて男性のほうが低くなっていますが、《理解している・できる》をみると、事業対象者で女性に比べて男性のほうが低くなっています。

### 事業対象者



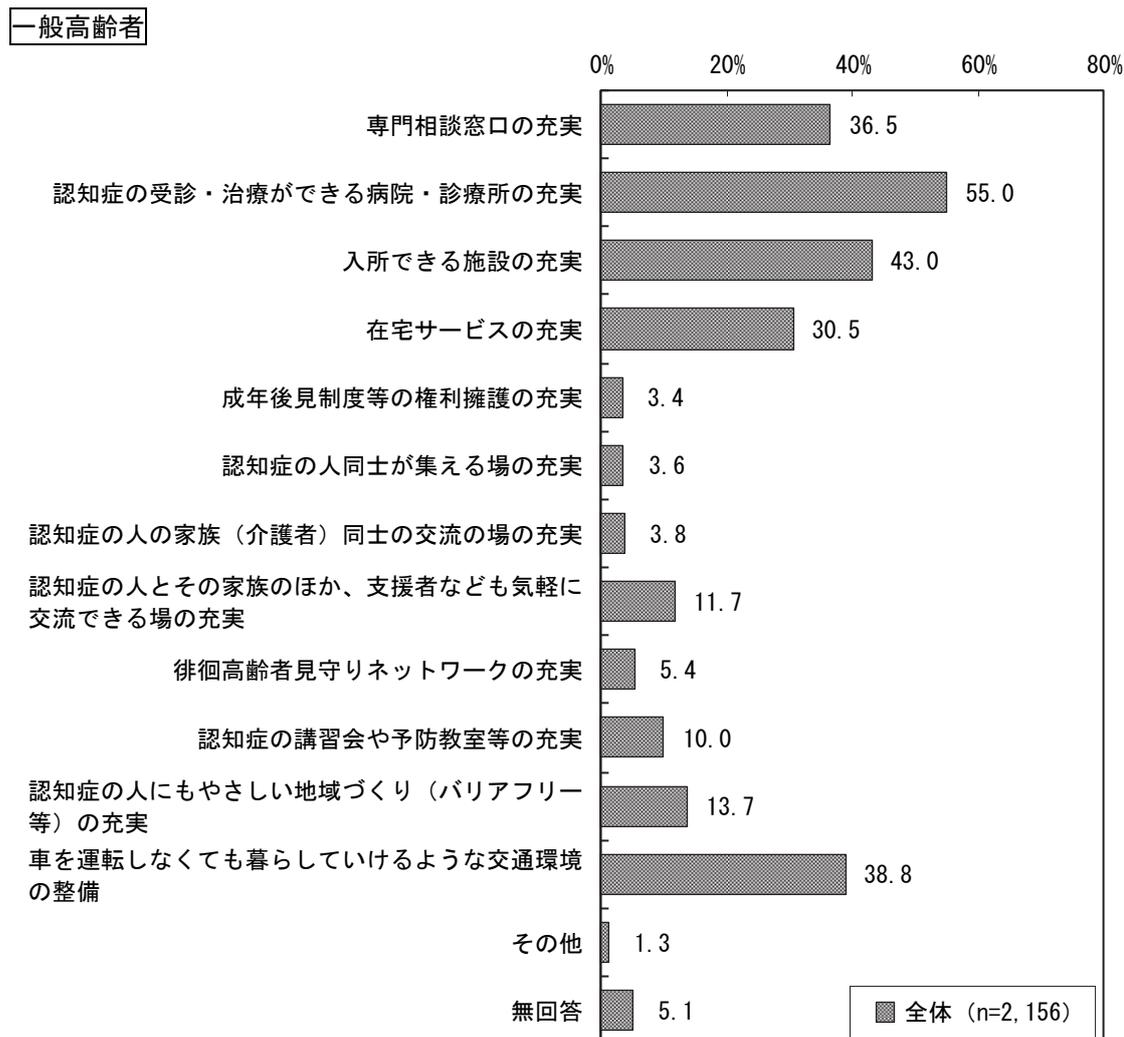
### 一般高齢者



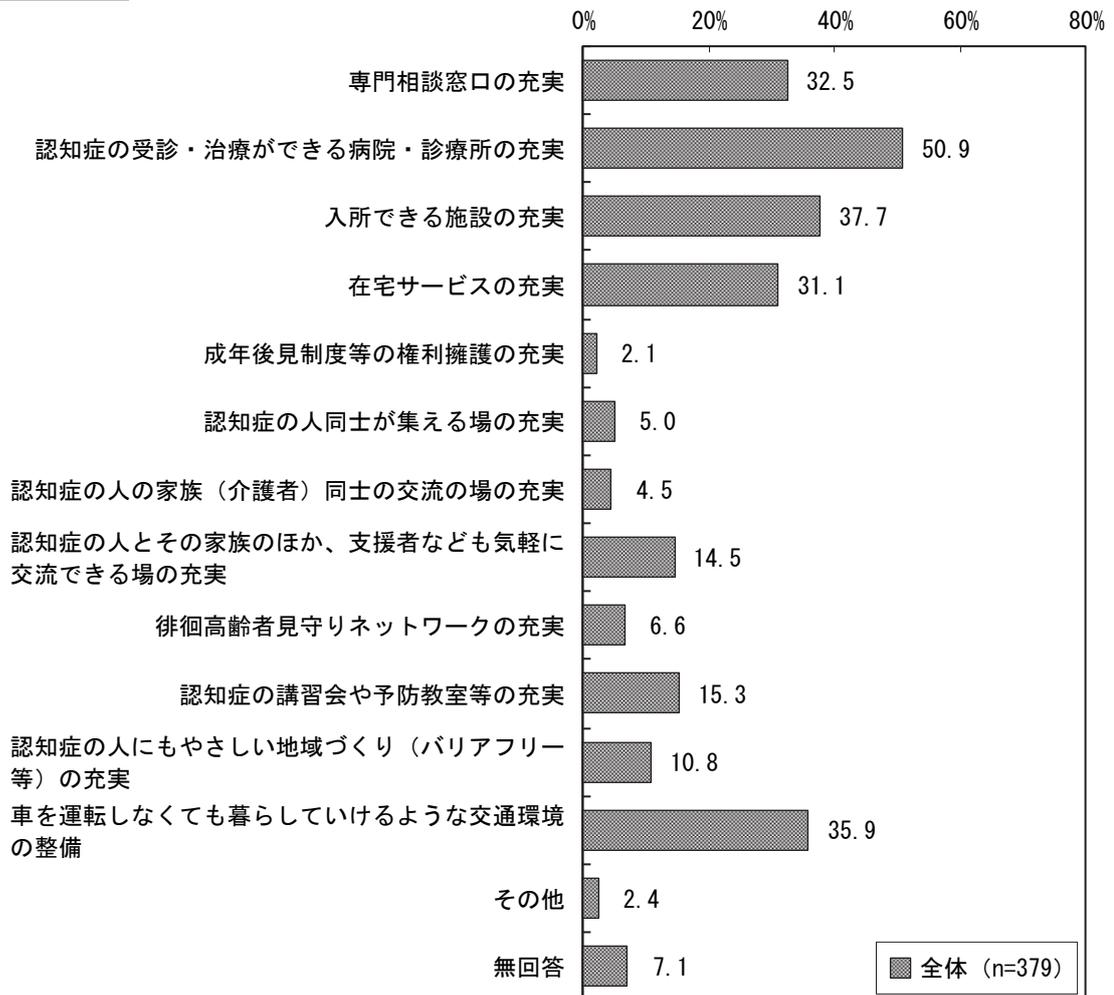
#### (4) 認知症への対策

今後、認知症高齢者の増加が見込まれているため、認知症になっても安心して暮らせるために充実することについてたずねたところ、一般高齢者、事業対象者とも、「認知症の受診・治療ができる病院・診療所の充実」が50%を越えて最も高く、次いで、「入所できる施設の充実」、「車を運転しなくても暮らしていけるような交通環境の整備」、「専門相談窓口の充実」、「在宅サービスの充実」の順となっています。

図表3-33 認知症になっても安心して暮らせるために充実すること（3つまで回答）



事業対象者



認知症になっても安心して暮らせるために充実することについて要支援・要介護度別にみると、事業対象者の「認知症の受診・治療ができる病院・診療所の充実」では、女性に比べて男性のほうが高くなっています。

図表3-34 認知症になっても安心して暮らせるために充実すること（性別・年齢別、3つまで回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		専門相談窓口の充実	認知症の受診・治療ができる病院・診療所の充実	入所できる施設の充実	在宅サービスの充実	成年後見制度等の権利擁護の充実	認知症の人同士が集える場の充実	認知症の人の家族（介護者）同士の交流の場の充実	認知症の人とその家族のほか、支援者なども気軽に交流できる場の充実	徘徊高齢者見守りネットワークの充実	認知症の講習会や予防教室等の充実	認知症の人にもやさしい地域づくり（バリアフリー等）の充実	車を運転しなくても暮らしていけるような交通環境の整備	その他	無回答
男 性	全 体 (n= 878)	37.7	56.8	43.6	32.3	4.4	2.8	3.1	9.3	6.0	8.9	11.5	38.3	1.3	4.8
	65～74 歳 (n= 405)	36.5	59.5	46.7	30.1	4.4	2.2	3.7	8.6	6.9	10.1	14.1	39.3	1.5	2.7
	75 歳以上 (n= 472)	38.8	54.7	41.1	34.1	4.4	3.4	2.5	10.0	5.3	7.8	9.3	37.5	1.1	6.6
女 性	全 体 (n=1,216)	36.1	54.4	42.7	29.6	2.6	4.4	4.5	13.3	4.9	10.9	15.1	38.8	1.2	4.8
	65～74 歳 (n= 455)	36.7	57.1	48.4	31.6	2.0	3.7	4.2	14.5	4.2	8.4	15.4	42.2	1.8	2.6
	75 歳以上 (n= 758)	35.8	52.6	39.4	28.5	3.0	4.7	4.7	12.7	5.4	12.4	15.0	36.5	0.8	6.1

事業対象者

(単位：%)

区 分		専門相談窓口の充実	認知症の受診・治療ができる病院・診療所の充実	入所できる施設の充実	在宅サービスの充実	成年後見制度等の権利擁護の充実	認知症の人の同士の集える場の充実	認知症の人の家族（介護者）同士の交流の場の充実	認知症の人とその家族のほか、支援者なども気軽に交流できる場の充実	徘徊高齢者見守りネットワークの充実	認知症の講習会や予防教室等の充実	認知症の人にもやさしい地域づくり（バリアフリー等）の充実	車を運転しなくても暮らしていけるような交通環境の整備	その他	無回答
男 性	全 体 (n= 87)	34.5	58.6	40.2	36.8	3.4	4.6	5.7	14.9	8.0	12.6	6.9	39.1	2.3	3.4
	65～74 歳 (n= 9)	66.7	77.8	55.6	55.6	-	-	-	11.1	11.1	-	11.1	33.3	-	-
	75 歳以上 (n= 78)	30.8	56.4	38.5	34.6	3.8	5.1	6.4	15.4	7.7	14.1	6.4	39.7	2.6	3.8
女 性	全 体 (n=262)	31.3	48.5	37.8	29.0	1.9	5.3	3.8	14.5	6.1	16.0	12.6	35.5	2.3	8.0
	65～74 歳 (n= 27)	48.1	44.4	40.7	37.0	3.7	7.4	-	11.1	-	11.1	7.4	40.7	3.7	3.7
	75 歳以上 (n=235)	29.4	48.9	37.4	28.1	1.7	5.1	4.3	14.9	6.8	16.6	13.2	34.9	2.1	8.5

## 4 介護（予防）サービスの利用等について

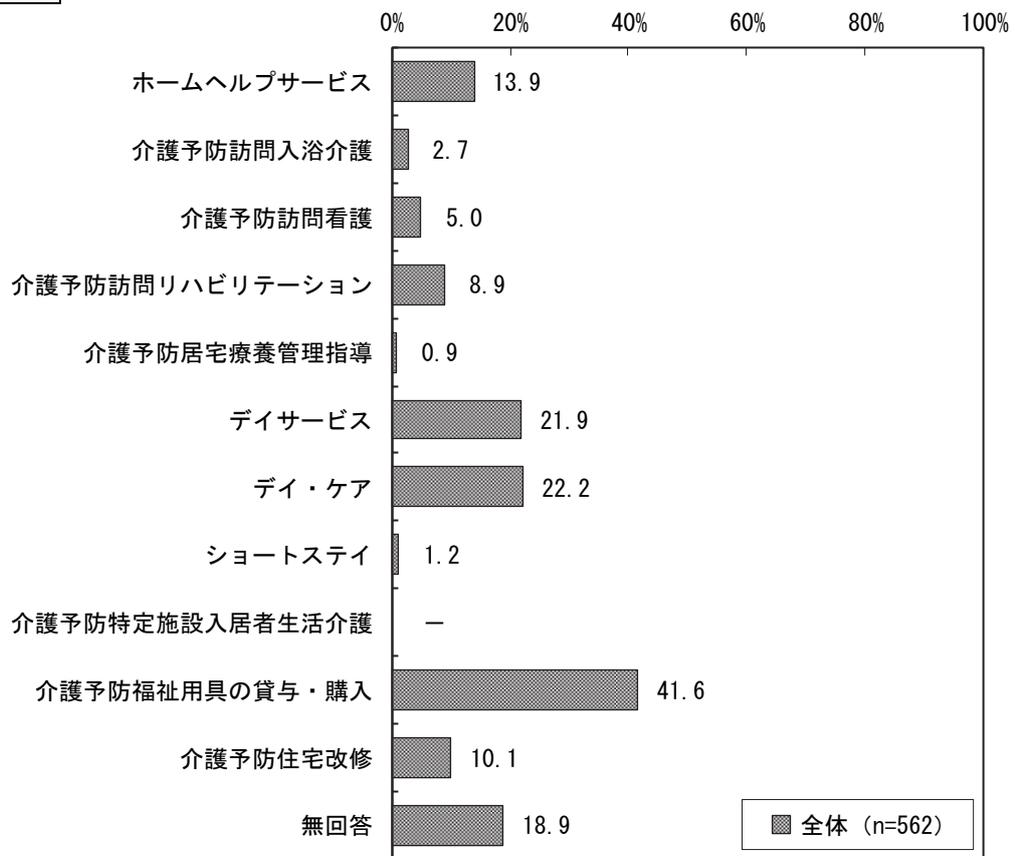
### (1) サービスの利用状況

利用している介護予防サービスは、「介護予防福祉用具の貸与・購入」が41.6%と最も高く、次いで、「デイ・ケア」(22.2%)、「デイサービス」(21.9%)の順となっています。

要支援度別にみると、「デイサービス」は、要支援1に比べて要支援2のほうが高くなっています。

図表3-35 利用している介護予防サービス（複数回答）

要支援利用者



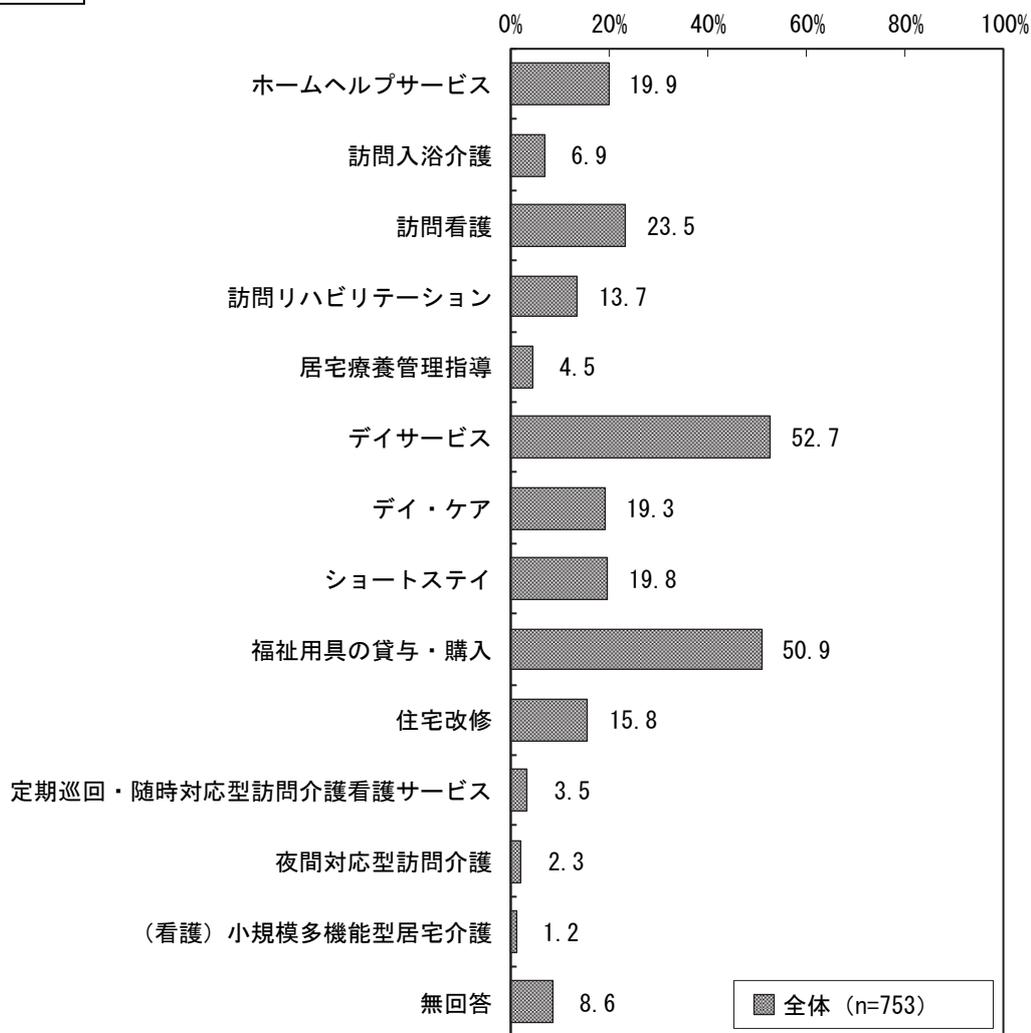
(単位：%)

区分	ホームヘルプサービス	介護予防訪問入浴	介護予防訪問看護	介護予防訪問リハビリテーション	介護予防居宅療養管理指導	デイサービス	デイ・ケア	ショートステイ	介護予防特定施設入居者生活介護	介護予防福祉用具の貸与・購入	介護予防住宅改修	無回答
要支援1 (n=210)	12.4	1.0	3.8	6.7	0.5	15.7	19.5	1.0	—	40.0	8.6	24.3
要支援2 (n=313)	15.0	3.8	5.4	10.9	1.3	26.5	24.9	1.3	—	45.0	12.1	12.1

利用している介護サービスは、「デイサービス」が 52.7%と最も高く、次いで、「福祉用具の貸与・購入」(50.9%)、「訪問看護」(23.5%)、「ホームヘルプサービス」(19.9%)、「ショートステイ」(19.8%)、「デイ・ケア」(19.3%) の順となっています。

図表 3-36 利用している介護サービス（複数回答）

要介護利用者



利用している介護サービスを要介護度別にみると、「福祉用具の貸与・購入」や「訪問看護」などでは重度ほど高い傾向にあります。

図表 3-37 利用している介護サービス（要介護度別、複数回答）

要介護利用者

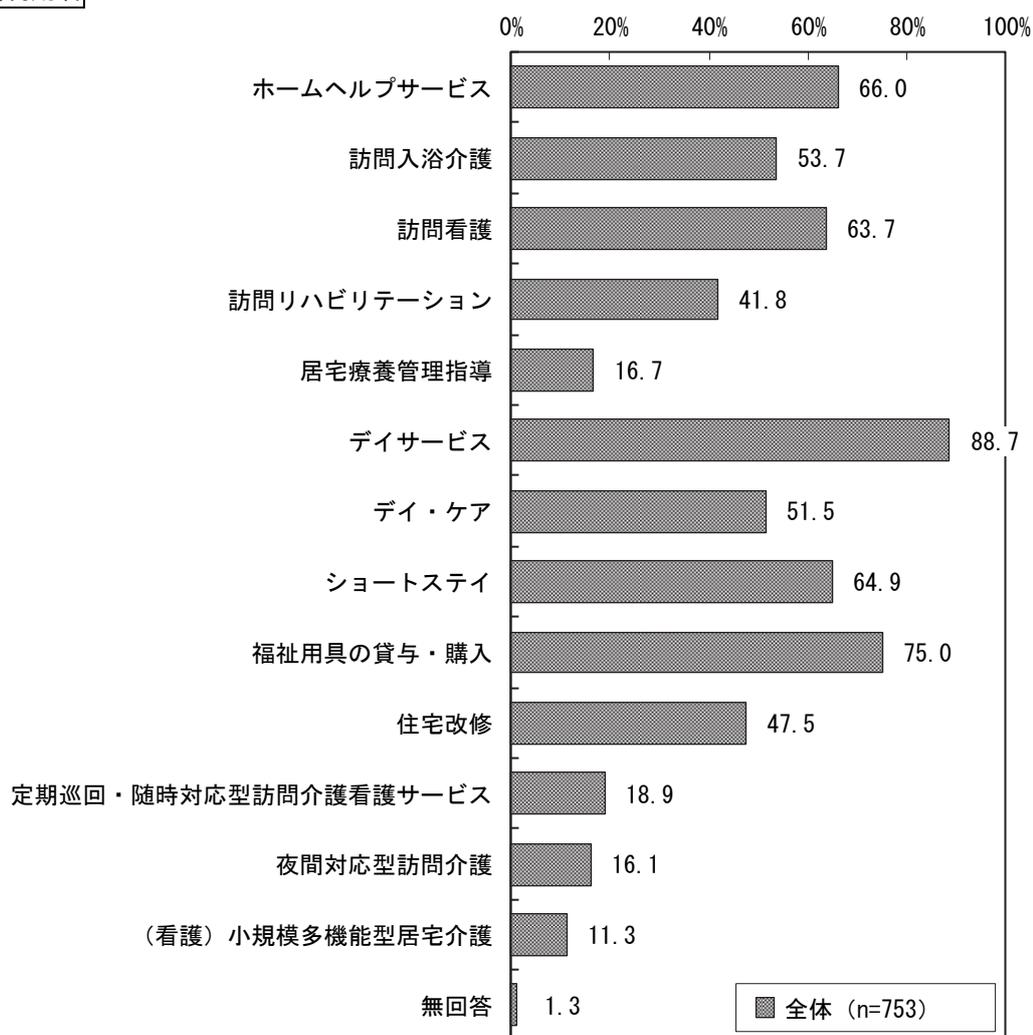
(単位：%)

区 分	ホームヘルプサービス	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	デイサービス	デイ・ケア	ショートステイ	福祉用具の貸与・購入	住宅改修	定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス	夜間対応型訪問介護	(看護) 小規模多機能型居宅介護	無回答
要介護 1 (n=172)	9.3	3.5	13.4	8.7	3.5	55.2	16.3	15.7	37.2	13.4	1.7	0.6	0.6	8.1
要介護 2 (n=244)	21.7	6.1	18.0	11.9	4.9	49.6	25.0	12.3	52.0	15.6	3.3	2.0	1.6	7.8
要介護 3 (n=164)	20.1	7.3	22.0	14.6	3.7	56.1	17.7	28.7	53.0	18.3	2.4	3.0	1.2	7.3
要介護 4 (n= 90)	28.9	14.4	44.4	20.0	5.6	48.9	21.1	32.2	62.2	14.4	3.3	1.1	1.1	8.9
要介護 5 (n= 56)	25.0	7.1	48.2	23.2	8.9	58.9	7.1	26.8	60.7	17.9	8.9	8.9	1.8	10.7

知っている介護サービスとしても、「デイサービス」(88.7%)が最も高く、次いで、「福祉用具の貸与・購入」(75.0%)、「ホームヘルプサービス」(66.0%)、「ショートステイ」(64.9%)、「訪問看護」(63.7%)など、多くのサービスで高くなっている一方、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」(18.9%)や「夜間対応型訪問介護」(16.1%)、「(看護)小規模多機能型居宅介護」(11.3%)などは低くなっています。

図表3-38 知っている介護サービス（複数回答）

要介護利用者



知っている介護サービスを要介護度別にみると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」や「夜間対応型訪問介護」、「(看護)小規模多機能型居宅介護」などは重度ほど高い傾向にあります。

図表3-39 知っている介護サービス（要介護度別、複数回答）

要介護利用者

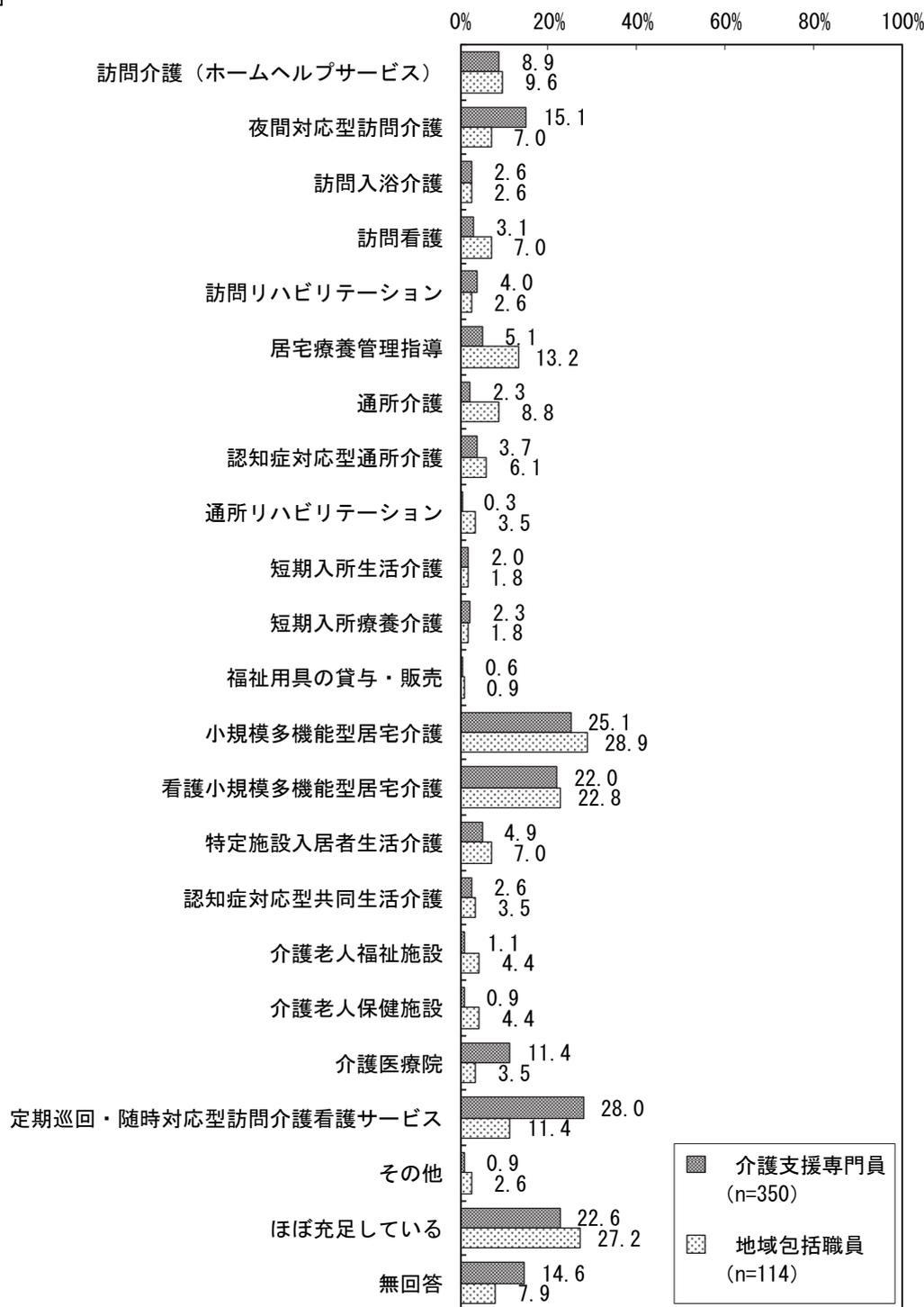
(単位：%)

区 分	ホームヘルプサービス	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	デイサービス	デイ・ケア	ショートステイ	福祉用具の貸与・購入	住宅改修	定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス	夜間対応型訪問介護	(看護)小規模多機能型居宅介護	無回答
要介護1 (n=172)	56.4	43.6	54.7	32.6	13.4	89.0	45.3	62.8	67.4	41.3	14.5	9.3	6.4	0.6
要介護2 (n=244)	67.6	56.1	61.1	41.4	16.4	86.5	57.8	62.7	77.9	48.4	17.2	12.7	11.1	2.5
要介護3 (n=164)	65.9	55.5	65.9	43.3	14.0	92.7	52.4	70.1	76.2	48.8	17.7	17.1	11.6	0.6
要介護4 (n=90)	74.4	58.9	77.8	53.3	24.4	86.7	48.9	66.7	78.9	52.2	22.2	22.2	11.1	-
要介護5 (n=56)	76.8	62.5	78.6	48.2	26.8	91.1	48.2	69.6	78.6	51.8	33.9	33.9	23.2	1.8

介護支援専門員（ケアマネジャー）と地域包括支援センター職員に、サービス内容等の理解不足により利用が進まないと思う介護サービスについてたずねたところ、「ほぼ充足している」とともに、「小規模多機能型居宅介護」と「看護小規模多機能型居宅介護」がそれぞれ20%台となっています。このほか、介護支援専門員（ケアマネジャー）では「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」も20%台となっています。

図表3-40 サービス内容等の理解不足により利用が進まないと思う介護サービス（複数回答）

支援者

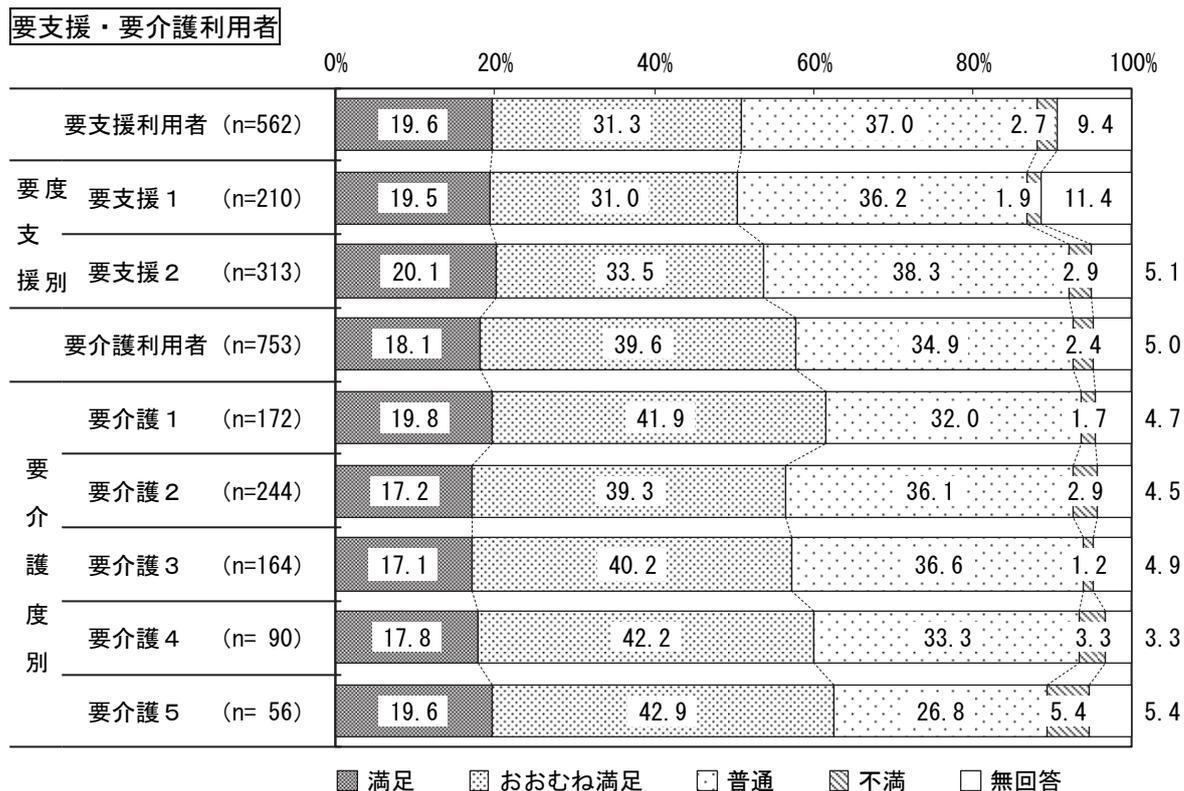


(2) 利用しているサービスの満足度

利用しているサービスの満足度は、「満足」と「おおむね満足」を合わせると、要支援利用者では50.9%、要介護利用者では57.7%を占め、それぞれ「普通」を上回っています。

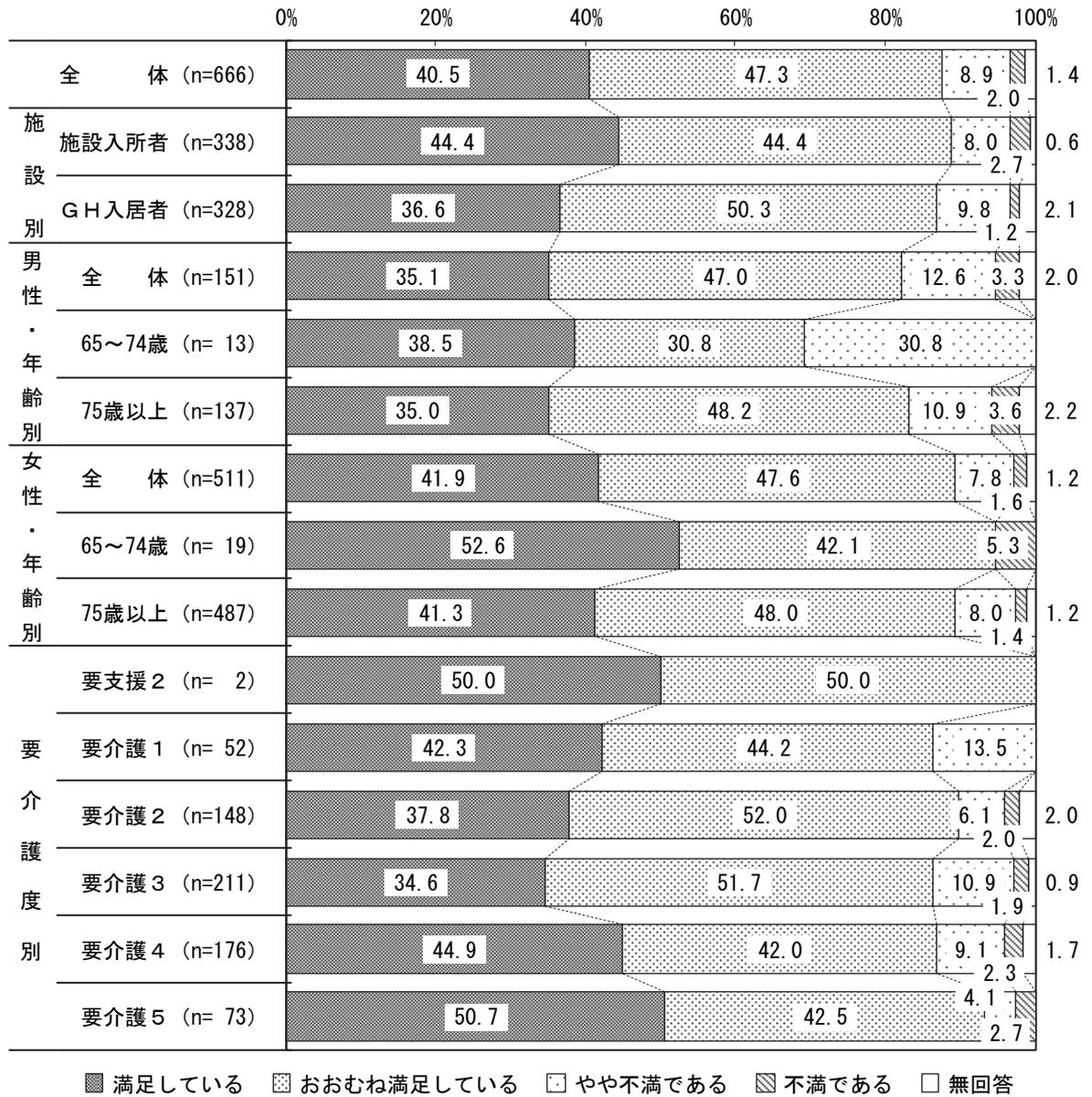
要支援・要介護度別にみると、「満足」と「おおむね満足」の合計は、重度ほど高い傾向にあります。

図表3-41 利用しているサービスの満足度



施設入所者とグループホーム入居者では、「満足」と「おおむね満足」を合わせると、80%を超えて非常に高くなっています。

**施設等入居・入所者**

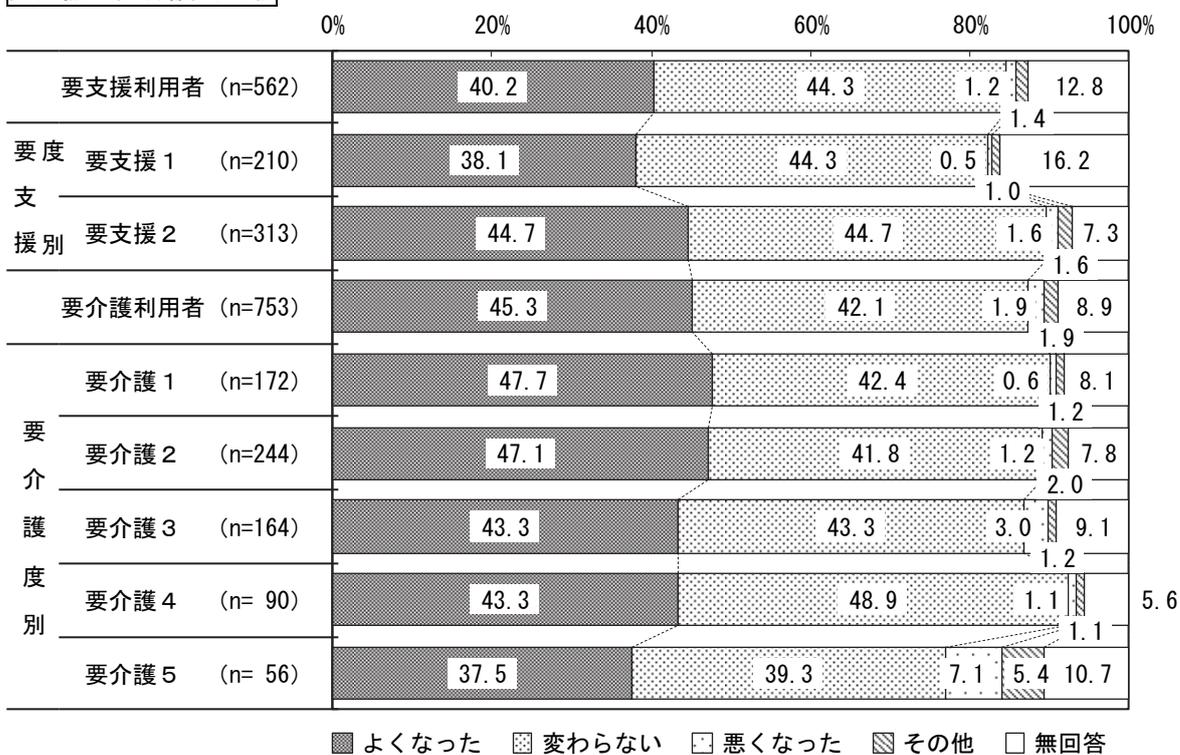


(3) サービスの利用後の変化

サービス利用後の身体的・精神的な変化については、要支援利用者、要介護利用者とも、「よくなった」が40%以上あるものの、「変わらない」も同程度となっています。

図表3-42 サービス利用後の身体的・精神的な変化

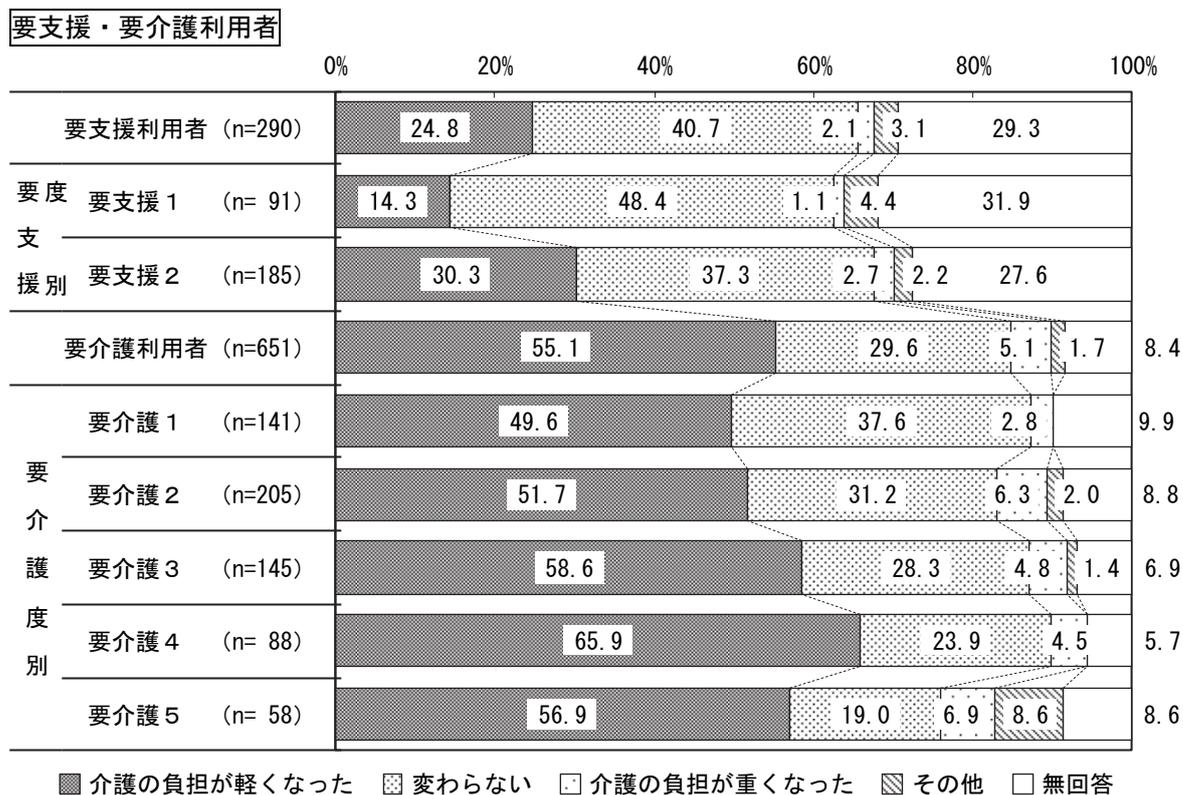
要支援・要介護利用者



在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対しても、サービス利用後の介護負担の肉体的・精神的な変化についてたずねたところ、要支援利用者では「変わらない」が40%程度を占めている一方、要介護利用者では「介護の負担が軽くなった」が50%以上を占めています。

要支援・要介護度別にみると、「変わらない」は重度ほど低い傾向にあります。

図表3-43 サービス利用後の主な介護者の肉体的・精神的な変化



(4) サービスの充実に向けて

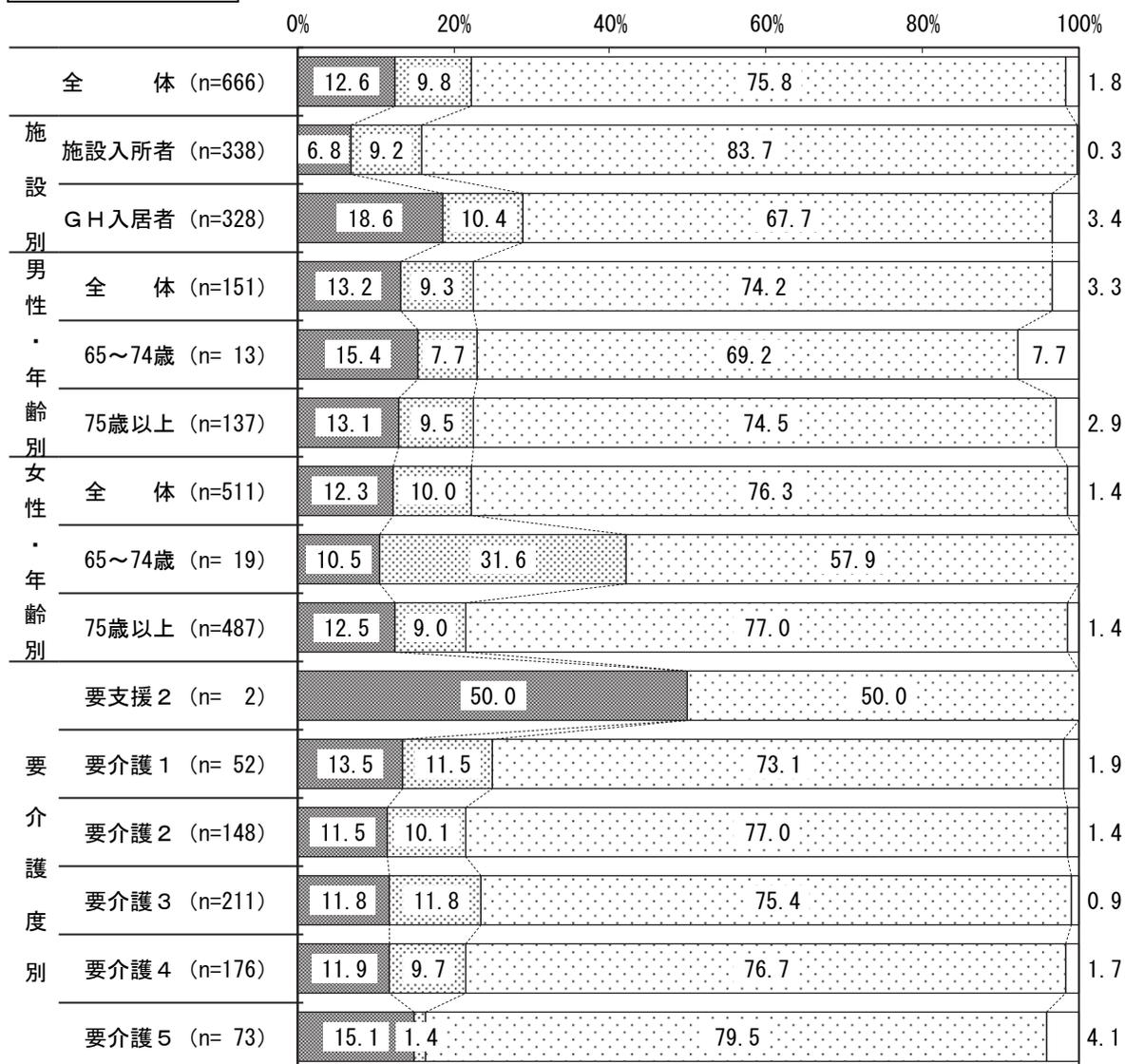
介護サービスの充実と保険料に対する考え方については、在宅要支援・要介護認定者では、「どちらともいえない」が最も高く、60%程度を占めていますが、「サービスは充実していても保険料が安い方がよい」に比べて「保険料は高くてもサービスが充実している方がよい」のほうが高くなっています。

図表3-44 介護サービスの充実と保険料に対する考え方



施設等入居・入所者でも、「どちらともいえない」が最も高く、60%以上を占めていますが、施設入所者については、「保険料は高くてもサービスが充実している方がよい」に比べて「サービスは充実していなくても保険料が安い方がよい」のほうが高くなっています。

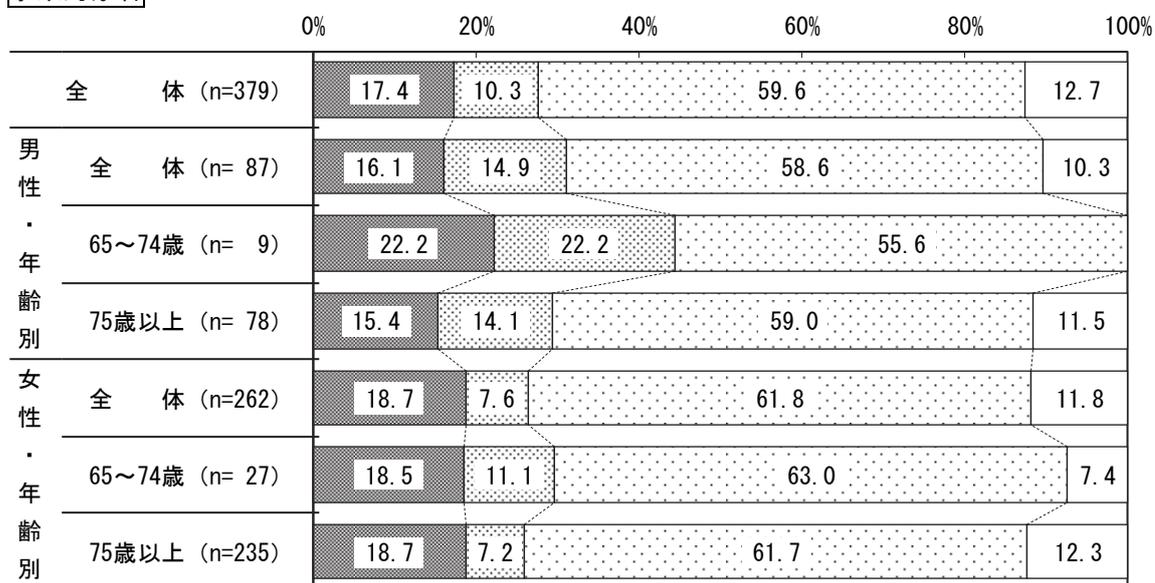
施設等入居・入所者



- 保険料は高くてもサービスが充実している方がよい
- ▨ サービスは充実していなくても保険料が安い方がよい
- どちらともいえない
- 無回答

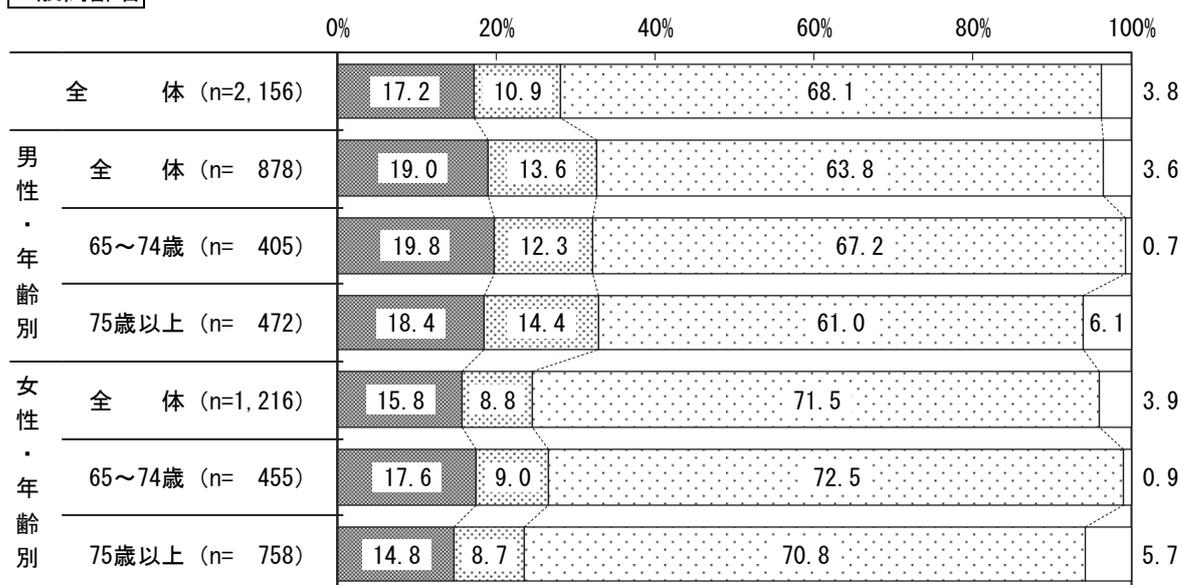
事業対象者、一般高齢者では、ともに、「どちらともいえない」が最も高く、60%程度を占めていますが、「サービスは充実していても保険料が安い方がよい」に比べて「保険料は高くてもサービスが充実している方がよい」が高くなっています。

**事業対象者**



- 保険料は高くてもサービスが充実している方がよい
- ▨ サービスは充実していても保険料が安い方がよい
- ▤ どちらともいえない
- 無回答

**一般高齢者**

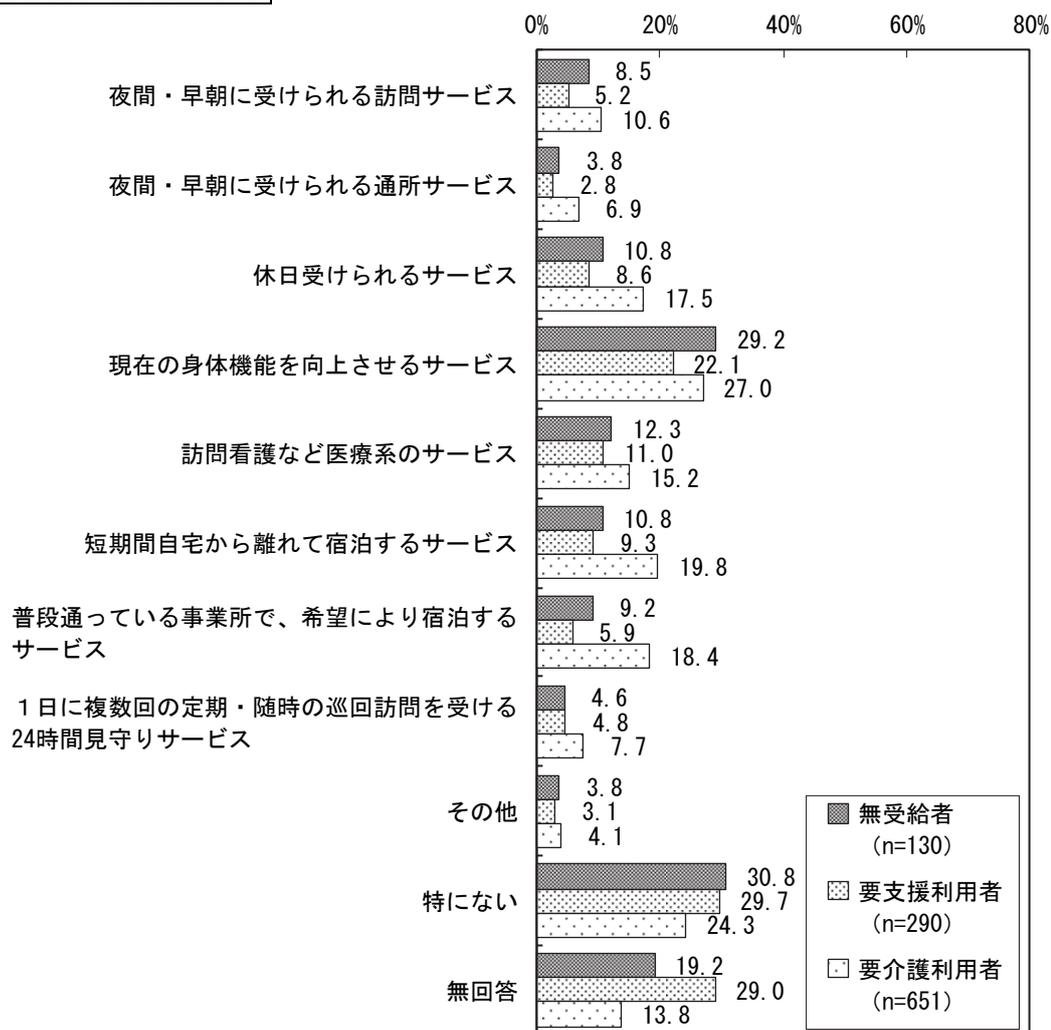


- 保険料は高くてもサービスが充実している方がよい
- ▨ サービスは充実していても保険料が安い方がよい
- ▤ どちらともいえない
- 無回答

在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対し、在宅での介護を継続する上で、増やしたいまたは新たに利用したいサービスをたずねたところ、「無回答」と「特にない」を除くと、いずれも、「現在の身体機能を向上させるサービス」が最も高くなっています。

図表3-45 在宅での介護を継続する上で、増やしたいまたは新たに利用したいサービス（複数回答）

在宅要支援・要介護認定者



図表 3-46 在宅での介護を継続する上で、増やしたいまたは新たに利用したいサービス（要支援・要介護度別、複数回答）

在宅要支援・要介護認定者

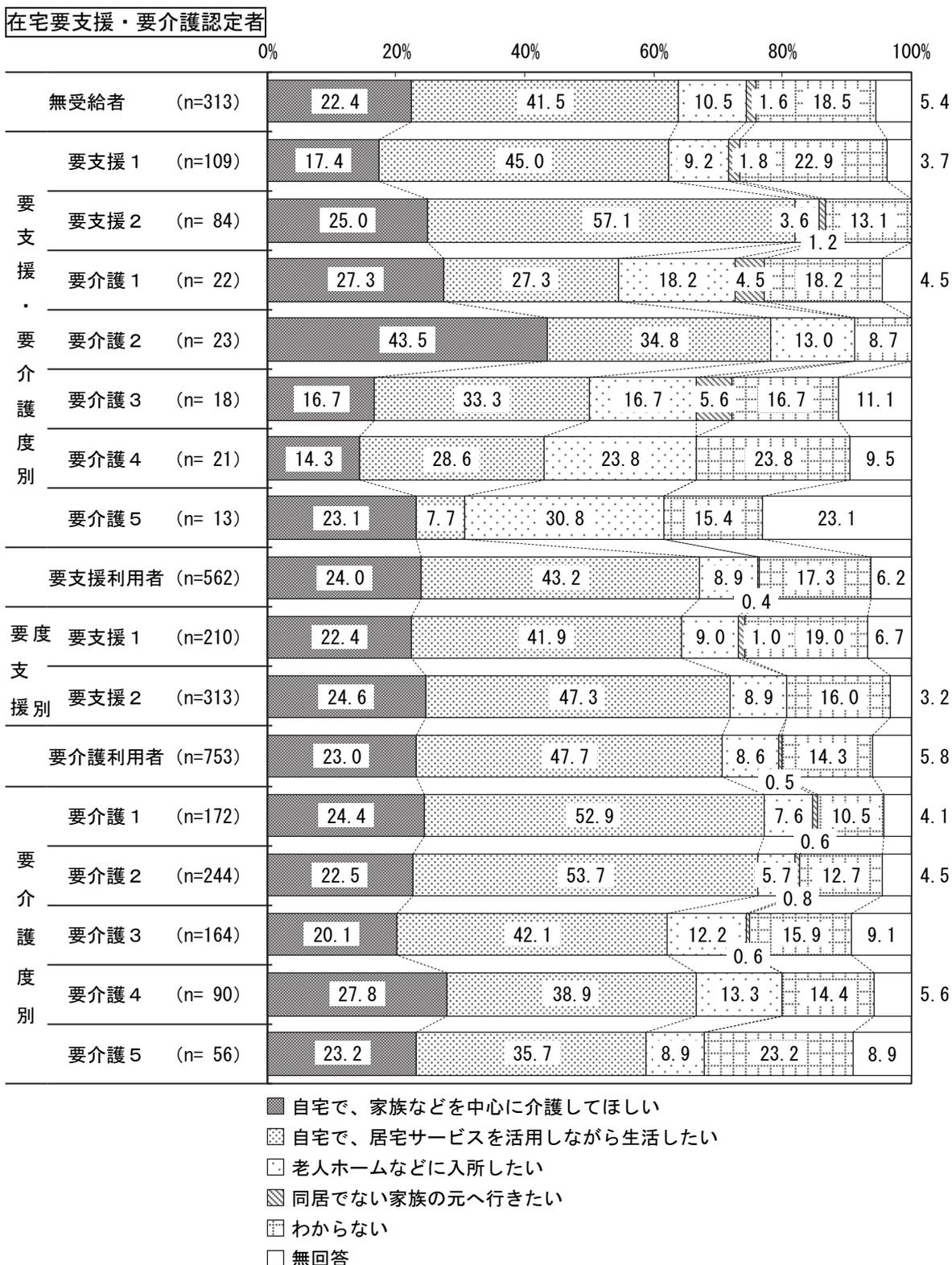
(単位：%)

区 分		夜間・早朝に受けられる訪問サービス	夜間・早朝に受けられる通所サービス	休日受けられるサービス	現在の身体機能を向上させるサービス	訪問看護など医療系のサービス	短期間自宅から離れて宿泊するサービス	普段通っている事業所で、希望により宿泊するサービス	1日に複数回の巡回訪問を受ける24時間見守りサービス	その他	特にない	無回答
無受給者	要支援1 (n= 22)	-	-	13.6	31.8	18.2	13.6	18.2	-	4.5	31.8	13.6
	要支援2 (n= 45)	8.9	4.4	4.4	24.4	8.9	8.9	6.7	2.2	4.4	33.3	26.7
	要介護1 (n= 11)	-	9.1	-	45.5	-	9.1	9.1	9.1	-	27.3	18.2
	要介護2 (n= 14)	7.1	-	21.4	35.7	21.4	14.3	7.1	-	7.1	35.7	7.1
	要介護3 (n= 12)	8.3	-	8.3	25.0	8.3	16.7	16.7	16.7	8.3	33.3	-
	要介護4 (n= 12)	8.3	-	16.7	25.0	16.7	-	8.3	8.3	-	25.0	41.7
	要介護5 (n= 7)	28.6	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6	-	14.3	-	14.3	14.3
要利用者	要支援1 (n= 91)	1.1	1.1	4.4	22.0	11.0	3.3	1.1	5.5	3.3	27.5	35.2
	要支援2 (n=185)	7.6	3.2	10.3	22.7	11.9	12.4	8.1	4.9	3.2	29.7	25.9
うち小規模多機能利用者 (n= 3)		33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	66.7	33.3	66.7	33.3	-
要介護利用者	要介護1 (n=141)	9.2	8.5	17.7	27.0	17.7	23.4	27.0	6.4	3.5	20.6	16.3
	要介護2 (n=205)	8.3	3.4	15.1	24.9	12.7	20.0	15.6	7.3	5.4	27.8	13.2
	要介護3 (n=145)	14.5	6.9	22.8	29.0	15.9	18.6	21.4	8.3	2.8	22.1	11.0
	要介護4 (n= 88)	13.6	12.5	17.0	28.4	17.0	23.9	15.9	10.2	3.4	22.7	15.9
	要介護5 (n= 58)	6.9	5.2	10.3	27.6	13.8	10.3	6.9	3.4	6.9	31.0	10.3
うち小規模多機能利用者 (n= 79)		13.9	11.4	10.1	29.1	19.0	13.9	20.3	11.4	3.8	30.4	12.7
うち定期巡回・随時対応利用者 (n= 35)		8.6	8.6	8.6	20.0	5.7	5.7	-	11.4	17.1	17.1	31.4

(5) 今後の暮らし方

今後の暮らし方については、在宅要支援・要介護認定者のいずれにおいても、「自宅で、居宅サービスを活用しながら生活したい」が40%以上を占めて最も高くなっています。

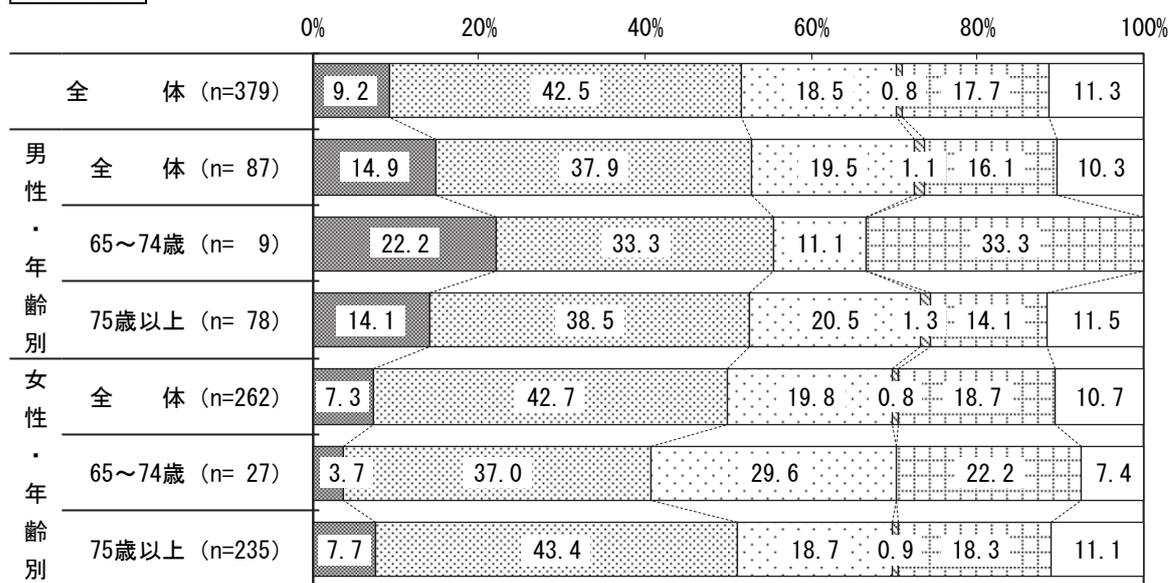
図表3-47 今後どこで、どのように生活を送りたいか



事業対象者には、今後介護が必要になった場合の暮らし方についてたずねたところ、「自宅で、居宅サービスを活用しながら生活したい」が42.5%と最も高くなっています。次いで、「老人ホームなどに入所したい」が18.5%となっており、要支援・要介護利用者よりも高くなっています。

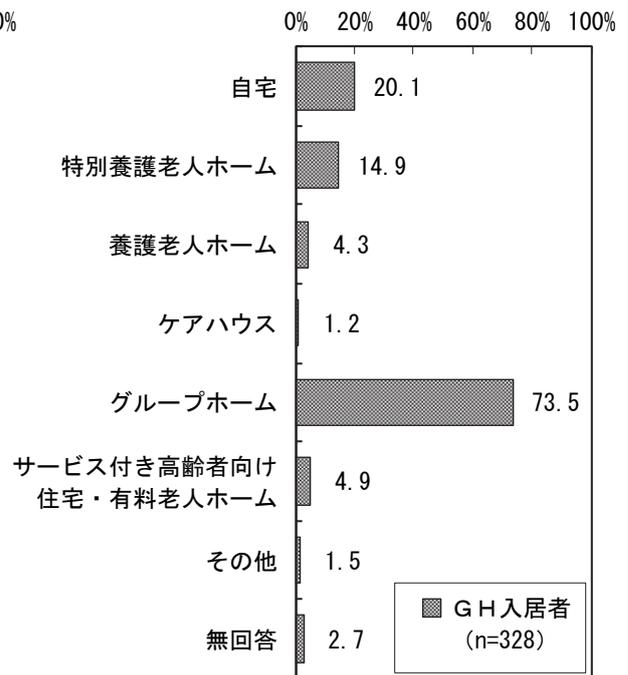
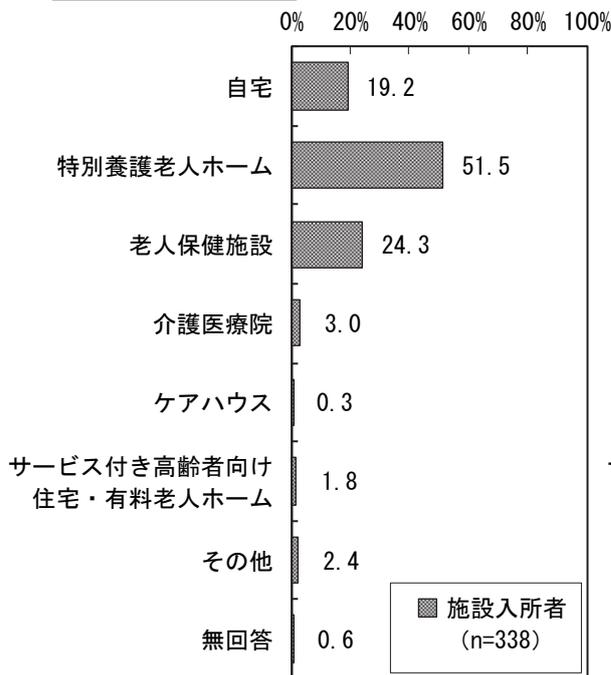
また、施設等入居・入所者には、今後どこで暮らしたいか複数回答でたずねたところ、施設入所者では「特別養護老人ホーム」、グループホーム入居者では「グループホーム」が引き続き高く、要介護度別にみると、「特別養護老人ホーム」では重度ほど高い一方、「老人保健施設」では重度ほど低くなっています。

**事業対象者**



- 自宅で、家族などを中心に介護してほしい
- ▨ 自宅で、居宅サービスを活用しながら生活したい
- ▩ 老人ホームなどに入所したい
- ▧ 同居でない家族の元へ行きたい
- ▦ わからない
- 無回答

施設等入居・入所者 (複数回答)

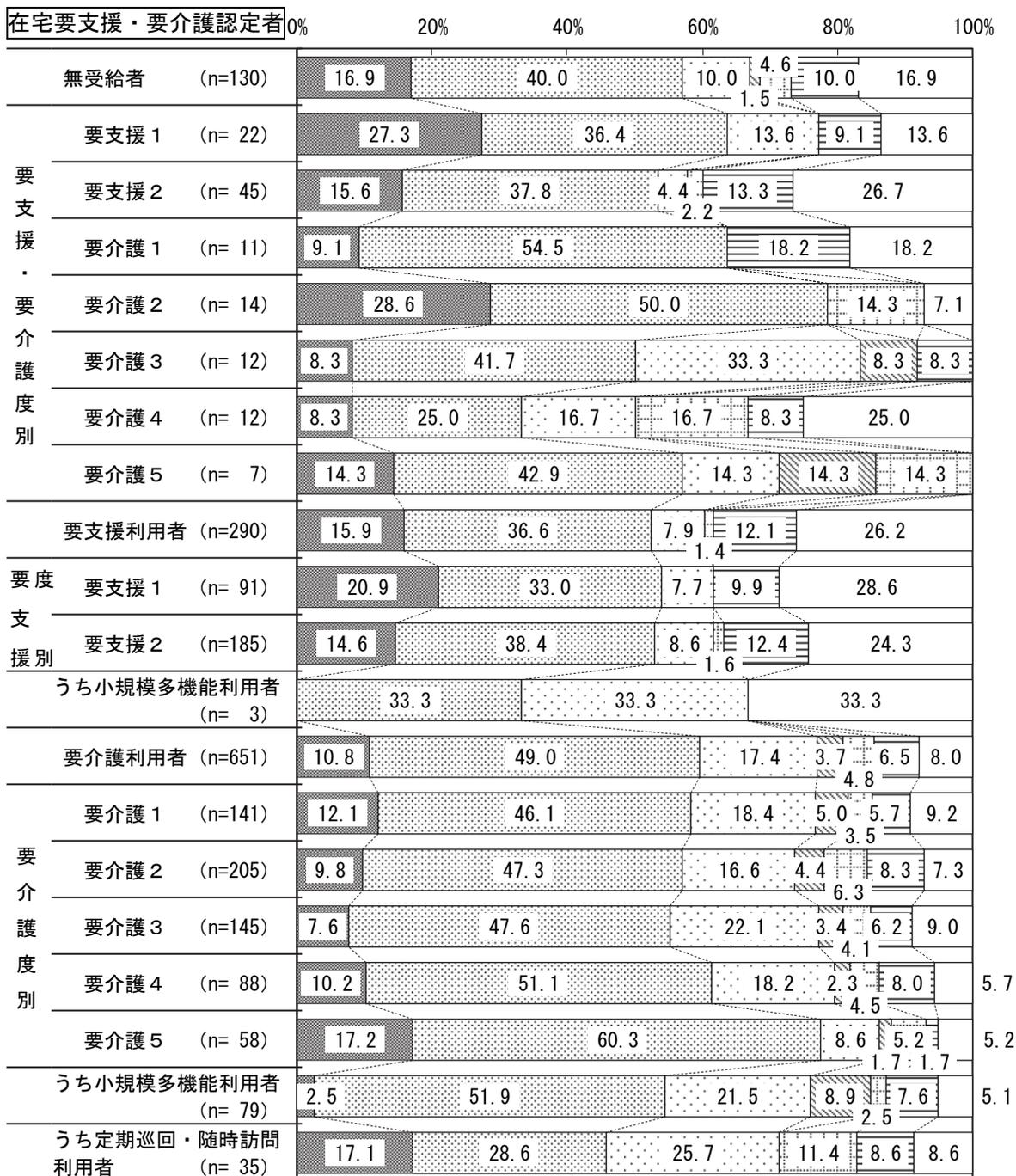


(単位：%)

区分		自宅	特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護医療院	ケアハウス	サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	その他	無回答
施設入所者	要介護1 (n=15)	6.7	13.3	66.7	-	-	13.3	6.7	-
	要介護2 (n=58)	22.4	31.0	44.8	-	-	-	1.7	1.7
	要介護3 (n=130)	21.5	53.1	21.5	1.5	0.8	3.1	3.1	-
	要介護4 (n=112)	16.1	62.5	14.3	6.3	-	-	1.8	0.9
	要介護5 (n=23)	21.7	65.2	8.7	4.3	-	-	-	-
区分		自宅	特別養護老人ホーム	養護老人ホーム	ケアハウス	グループホーム	サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	その他	無回答
GH入居者	要介護1 (n=37)	18.9	18.9	2.7	2.7	70.3	5.4	2.7	-
	要介護2 (n=90)	17.8	15.6	5.6	2.2	75.6	4.4	1.1	4.4
	要介護3 (n=81)	27.2	17.3	4.9	-	72.8	8.6	-	1.2
	要介護4 (n=64)	12.5	14.1	6.3	-	73.4	4.7	1.6	3.1
	要介護5 (n=50)	20.0	8.0	-	2.0	78.0	-	2.0	4.0

在宅要支援・要介護認定者の調査対象者を主に介護している人に対し、今後の介護についてどのように考えているかたずねたところ、いずれも、「介護保険サービスや福祉サービスを使いながら自宅で介護したい」が最も高くなっています。

図表3-48 今後の介護についてどのように考えているか



- なるべく家族のみで、自宅で介護したい
- ▨ 介護保険サービスや福祉サービスを使いながら自宅で介護したい
- 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等に入所させたい
- ▩ 認知症の方が共同で生活するグループホームに入居させたい
- ▤ その他
- ▥ わからない
- 無回答

施設等への入所・入居の検討状況については、「すでに入所・入居申し込みをしている」は、介護保険サービスの無受給者では10.9%、要支援利用者では1.9%、要介護利用者で18.9%となっています。また、「検討している」は、介護保険サービスの無受給者では7.3%、要支援利用者では11.1%、要介護利用者で15.4%となっています。

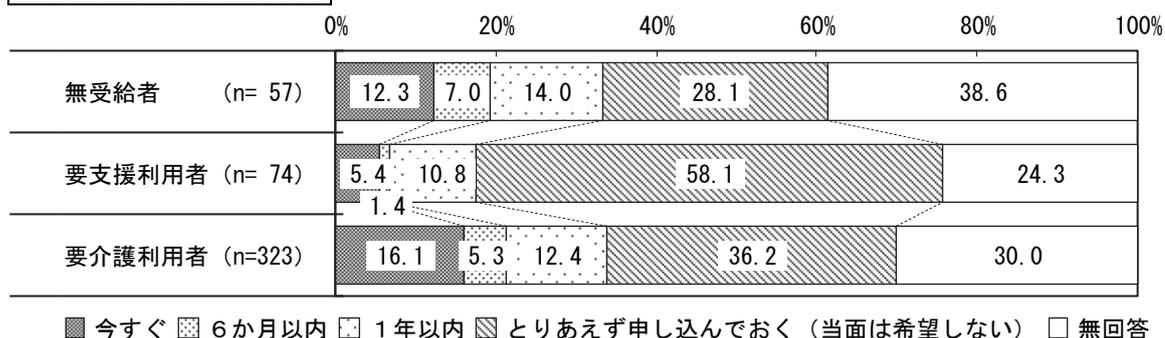
図表3-49 施設等への入所・入居の検討状況



施設等への入所・入居について「検討している」または「すでに入所・入居申し込みをしている」と答えた人に、入所・入居したい時期をたずねたところ、介護保険サービスの無受給者、要支援利用者、要介護利用者のいずれも、「無回答」を除くと、「とりあえず申し込んでおく（当面は希望しない）」が最も高くなっています。なお、「今すぐ」は、介護保険サービスの無受給者が 12.3%、要支援利用者が 5.4%、要介護利用者が 16.1%という状況です。

**図表 3-50 施設等に入所・入居したい時期**

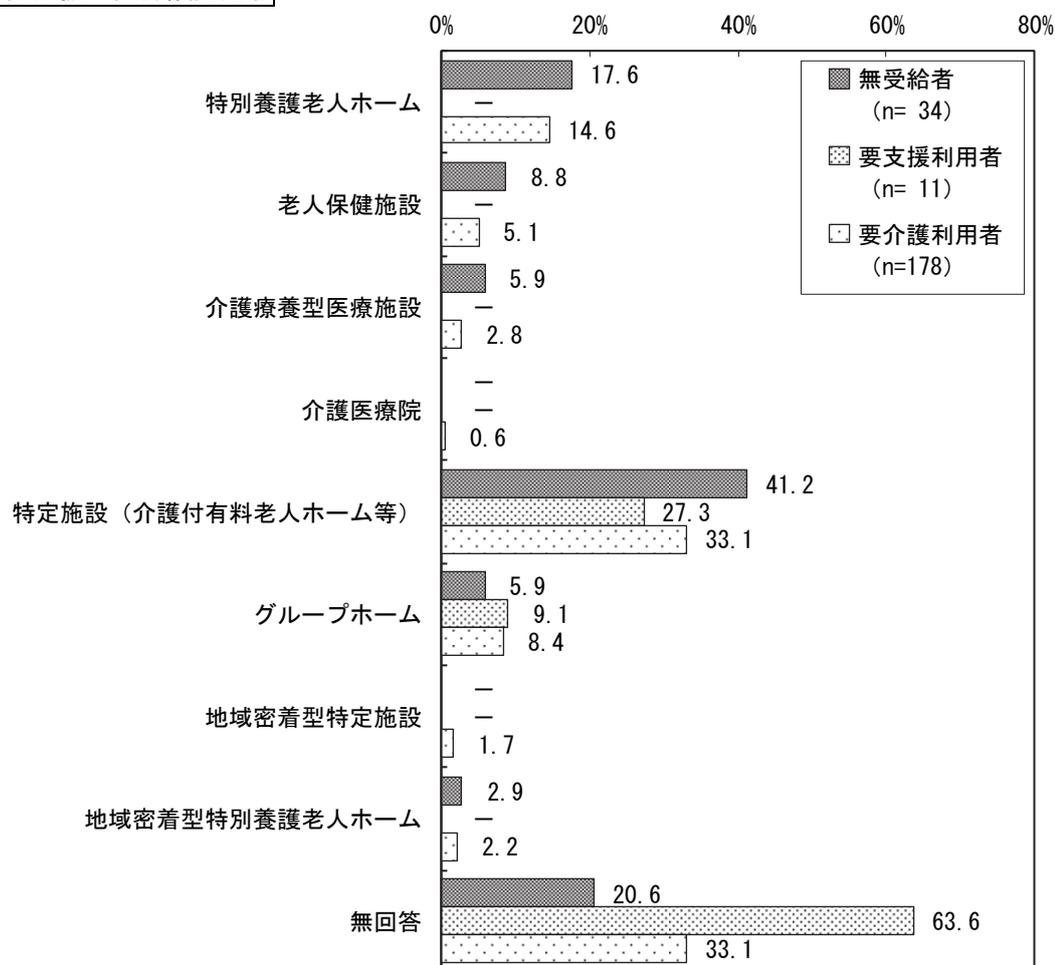
在宅要支援・要介護認定者



待機中の入所・入居施設等の種類としては、「無回答」を除くと、介護保険サービスの無受給者、要支援利用者、要介護利用者のいずれも、要介護利用者の「特定施設（介護付有料老人ホーム等）」が最も高くなっています。

図表 3-51 待機中の入所・入居施設等（複数回答）

在宅要支援・要介護認定者



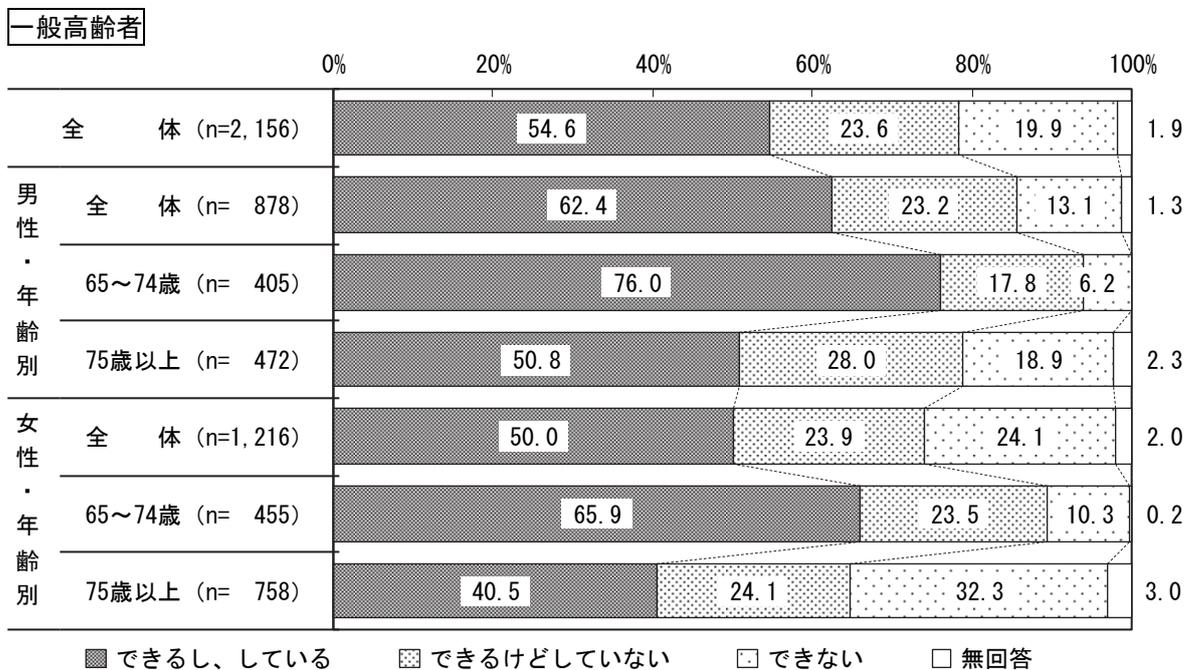
## 第4章 生活の実態

### 1 運動・閉じこもりについて

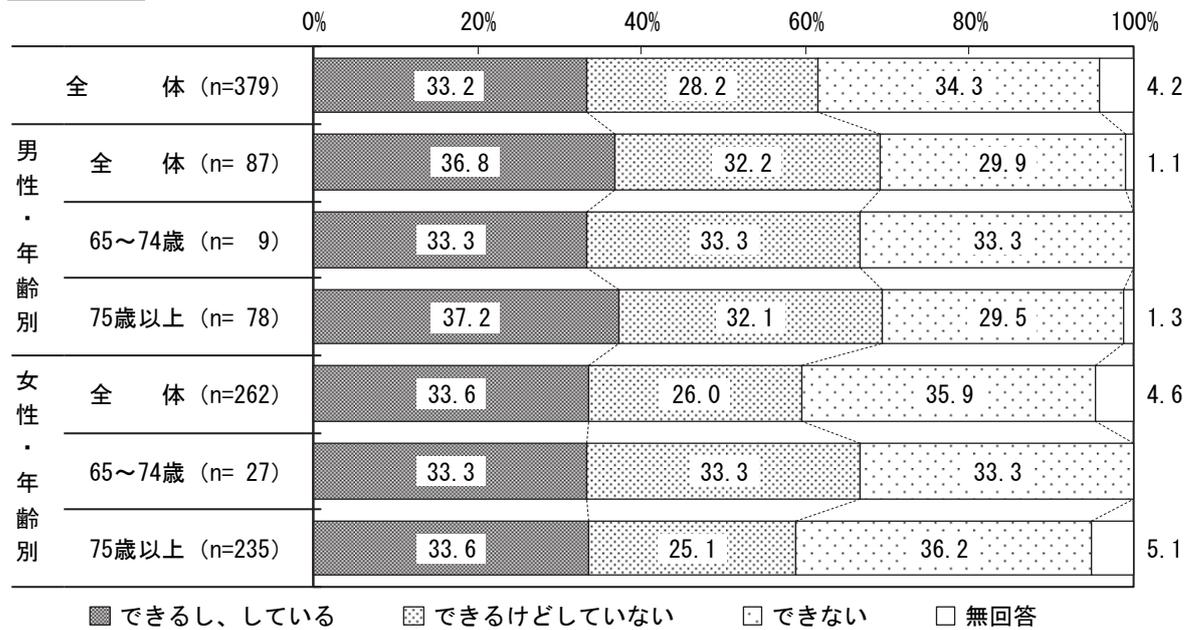
#### (1) 運動器の状況

「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では19.9%、事業対象者では34.3%、介護保険サービスの無受給者では67.7%、要支援利用者では72.6%という順で高くなっています。これを性別にみると、一般高齢者と事業対象者、要支援利用者では、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

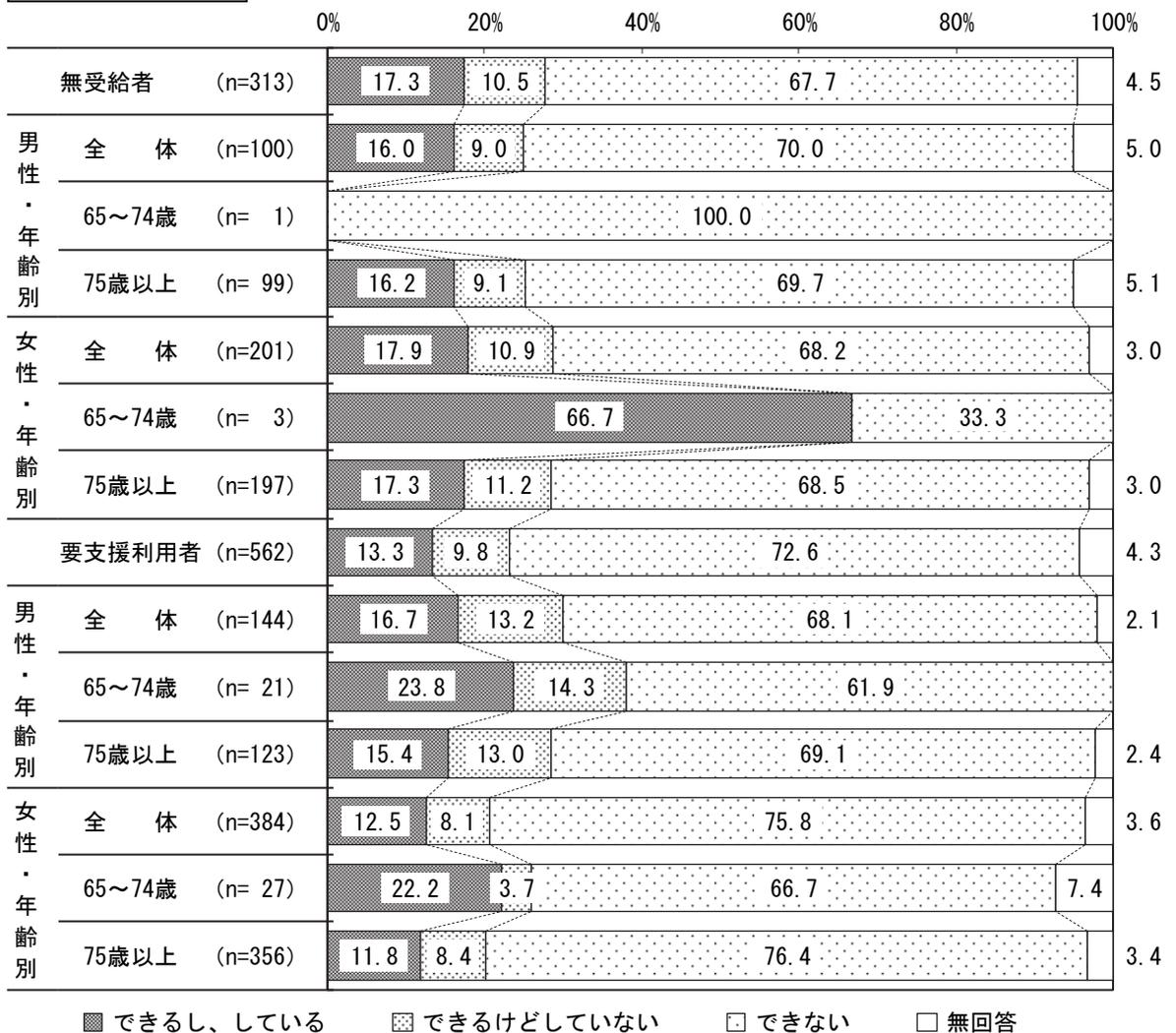
図表4-1 手すり等につたわずに階段を昇れるか



事業対象者

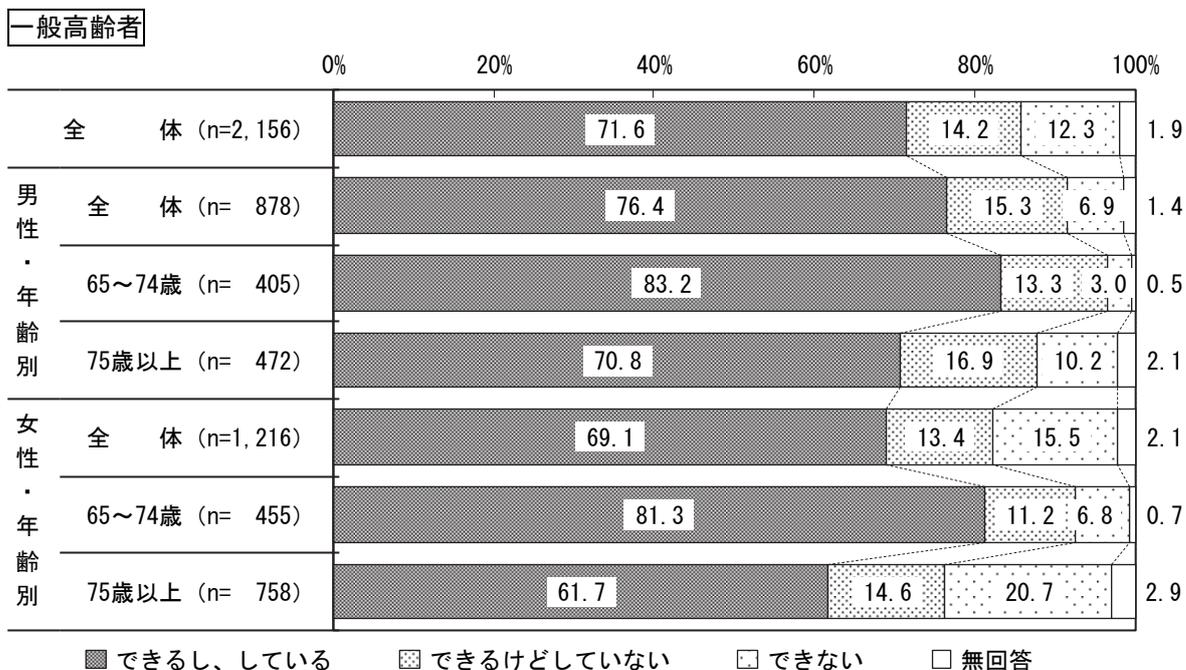


在宅要支援認定者等

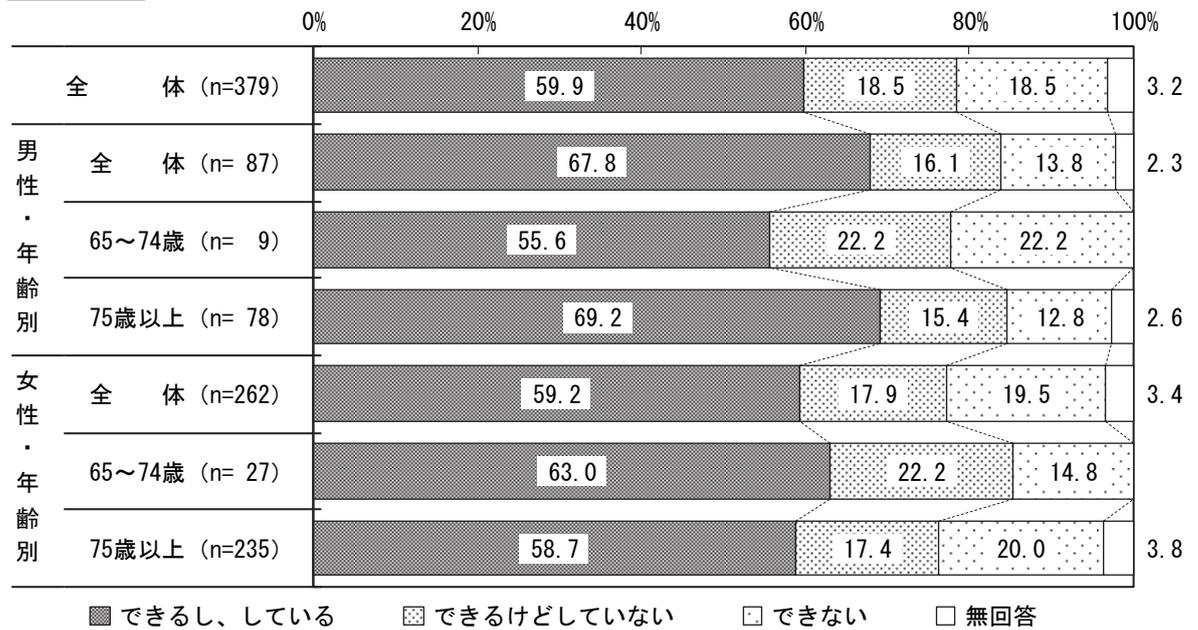


「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では12.3%、事業対象者では18.5%、介護保険サービスの無受給者では54.6%、要支援利用者では57.1%という順で高くなっています。これを性別にみると、いずれも男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

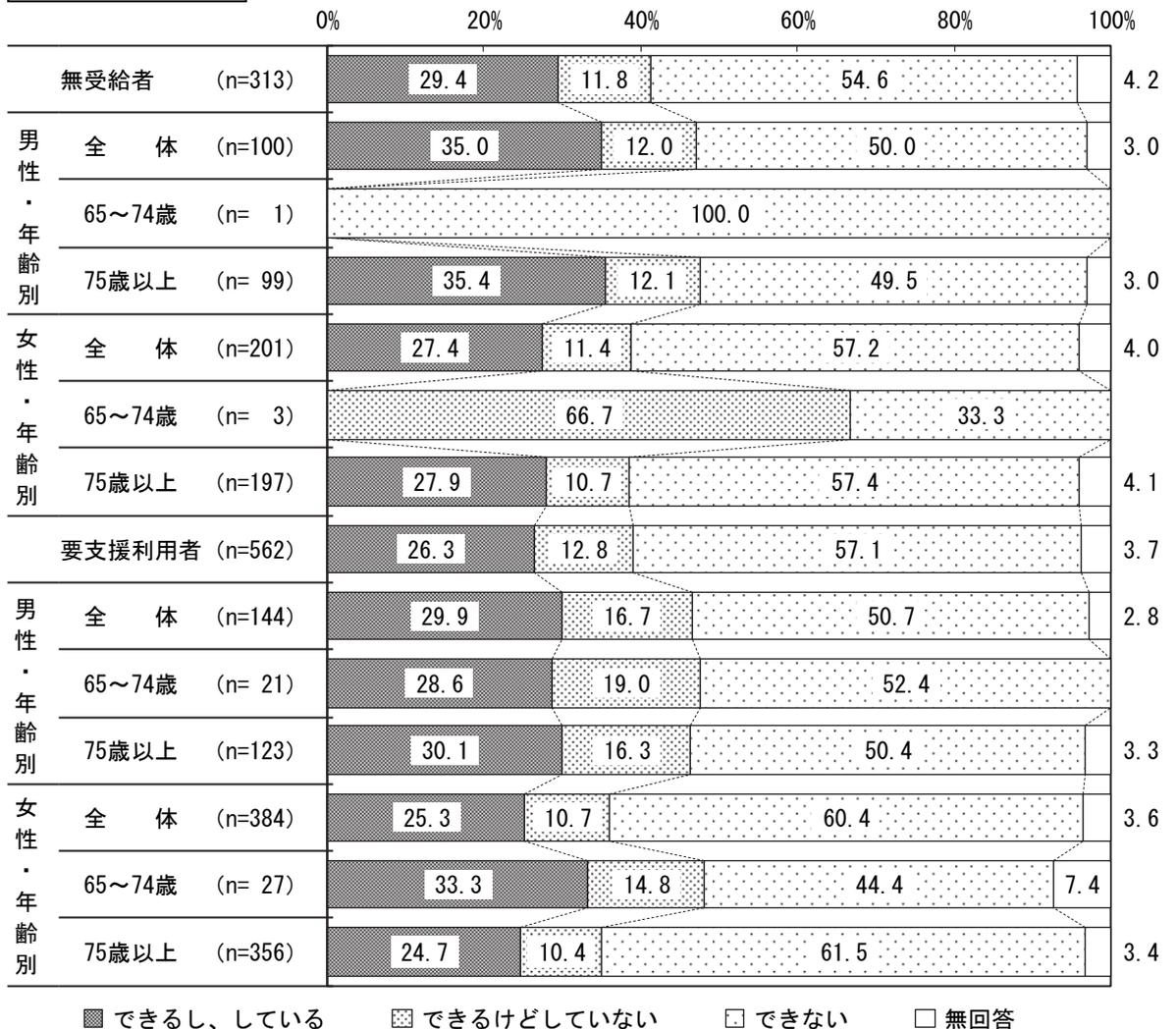
図表4-2 何もつかまらず椅子から立ち上がれるか



事業対象者

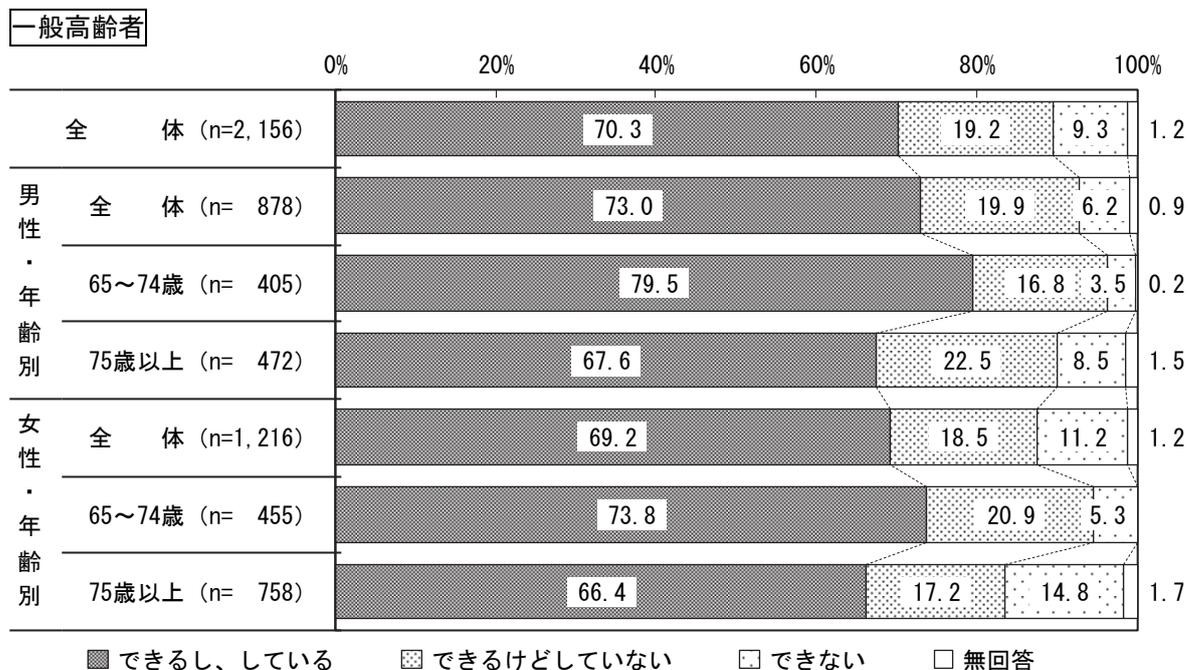


在宅要支援認定者等

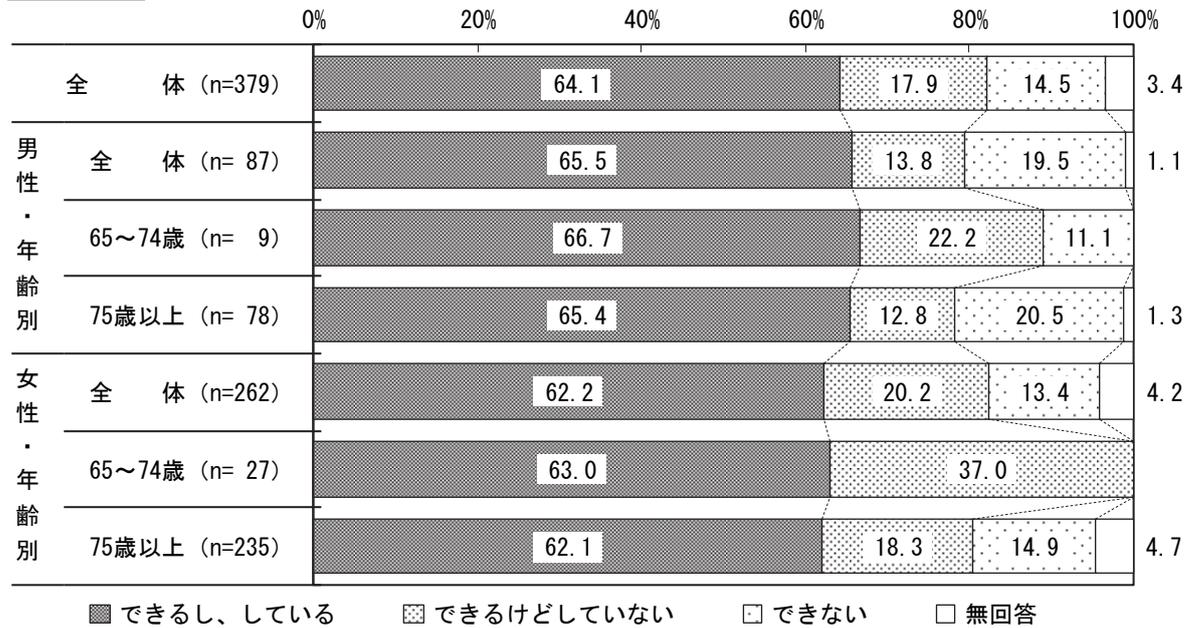


「15分位続けて歩いていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では9.3%、事業対象者では14.5%、介護保険サービスの無受給者では43.1%、要支援利用者では44.8%という順で高くなっています。これを性別にみると、一般高齢者では男性に比べて女性が5ポイント高い一方、事業対象者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

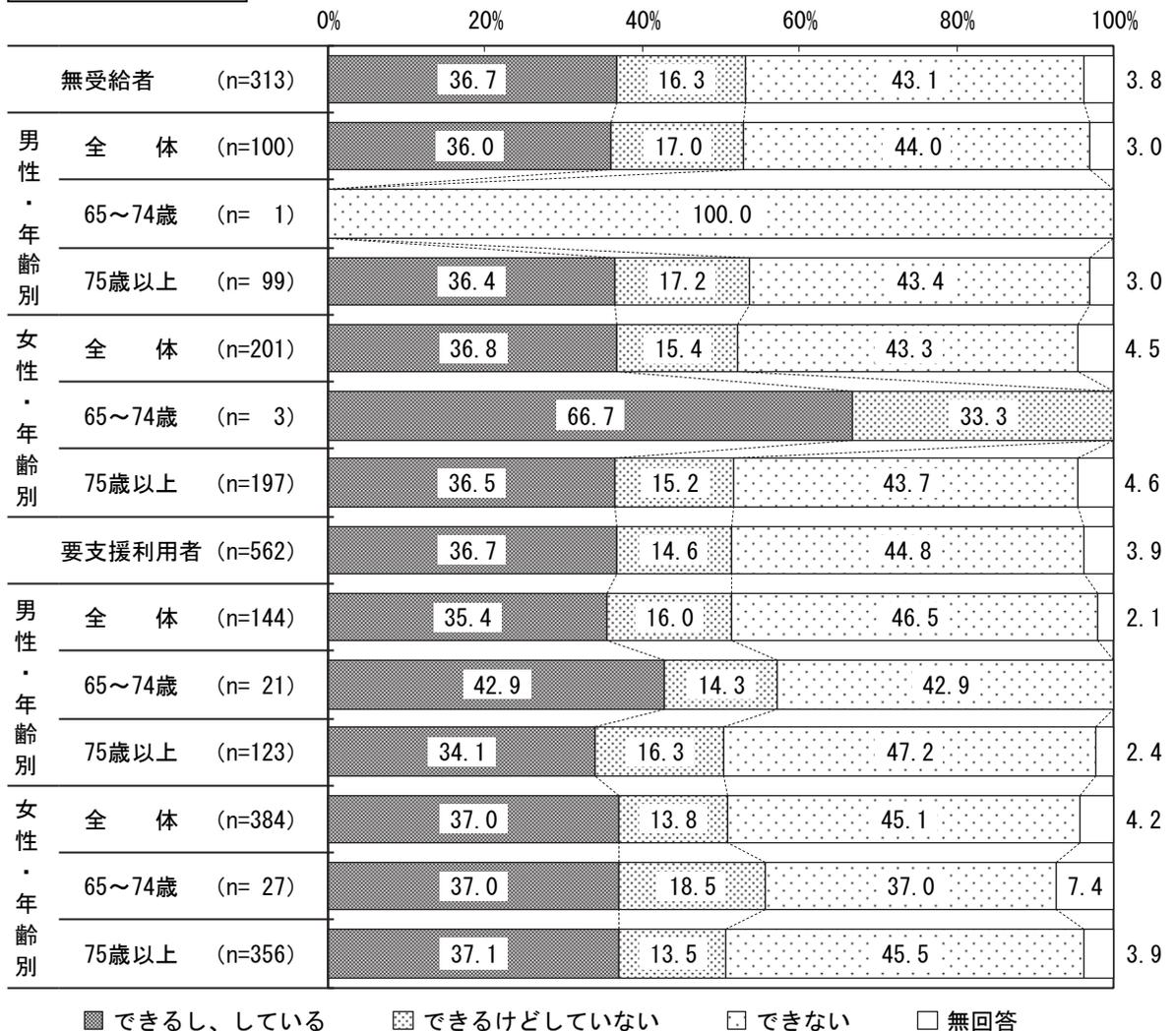
図表4-3 15分位歩き続けられるか



**事業対象者**

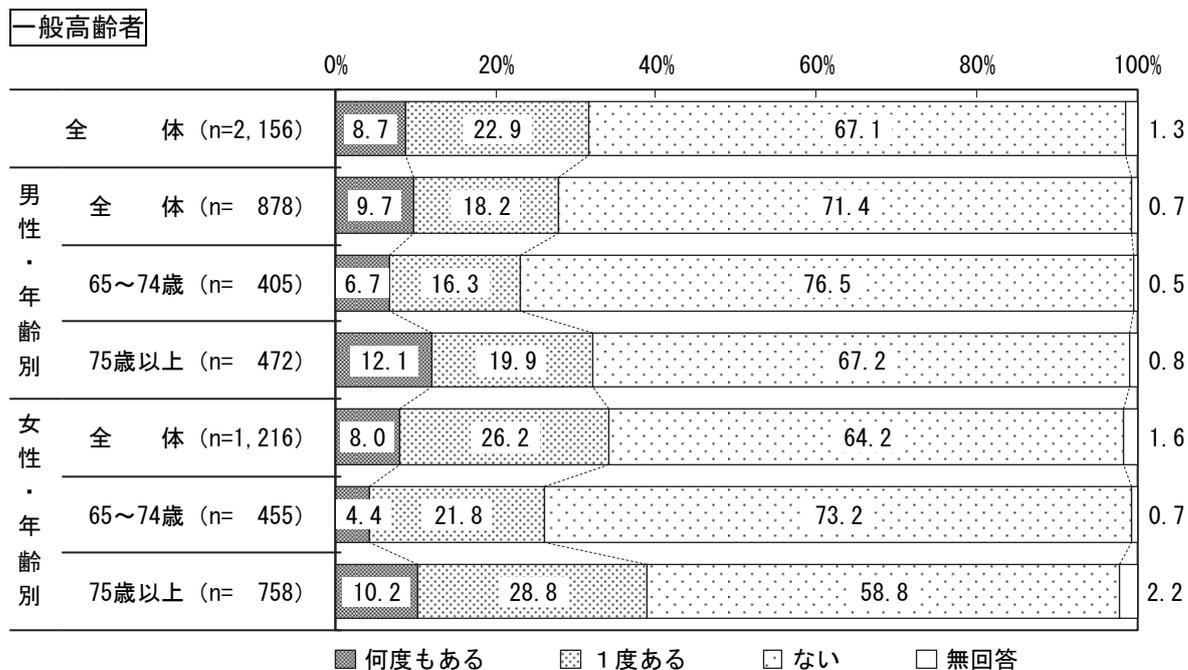


**在宅要支援認定者等**

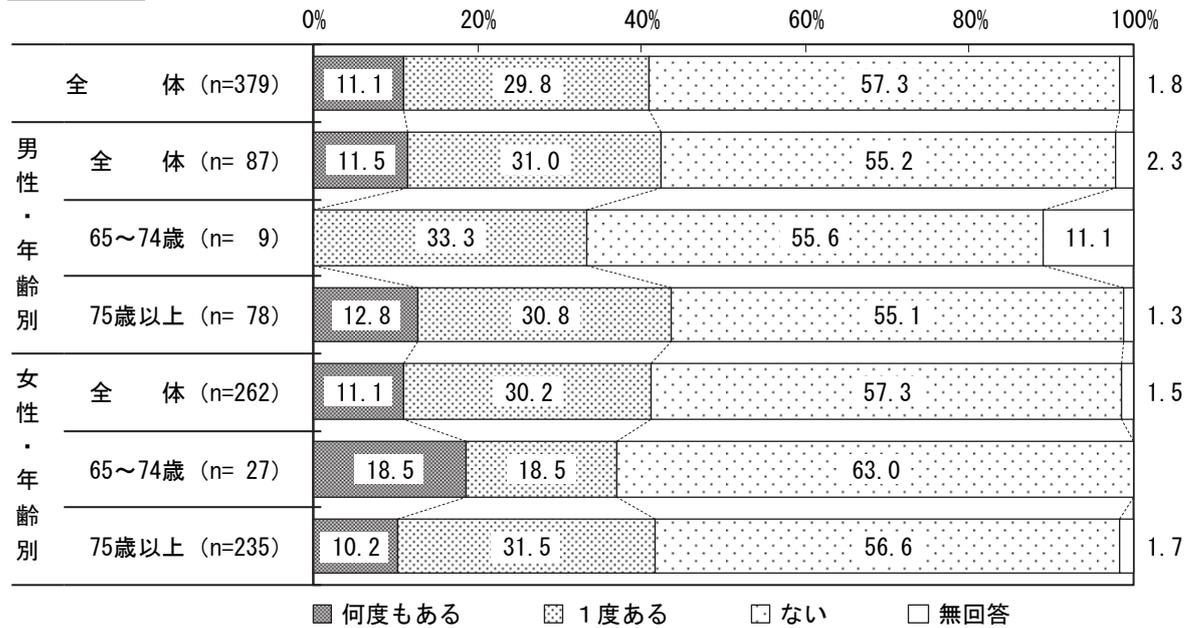


「過去1年間に転んだ経験がありますか」という質問に対し、「何度もある」と「1度ある」を合わせた《ある》と答えた人は、一般高齢者では31.6%、事業対象者では40.9%、介護保険サービスの無受給者では59.5%、要支援利用者では61.0%という順で高くなっています。性別にみると、一般高齢者では男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

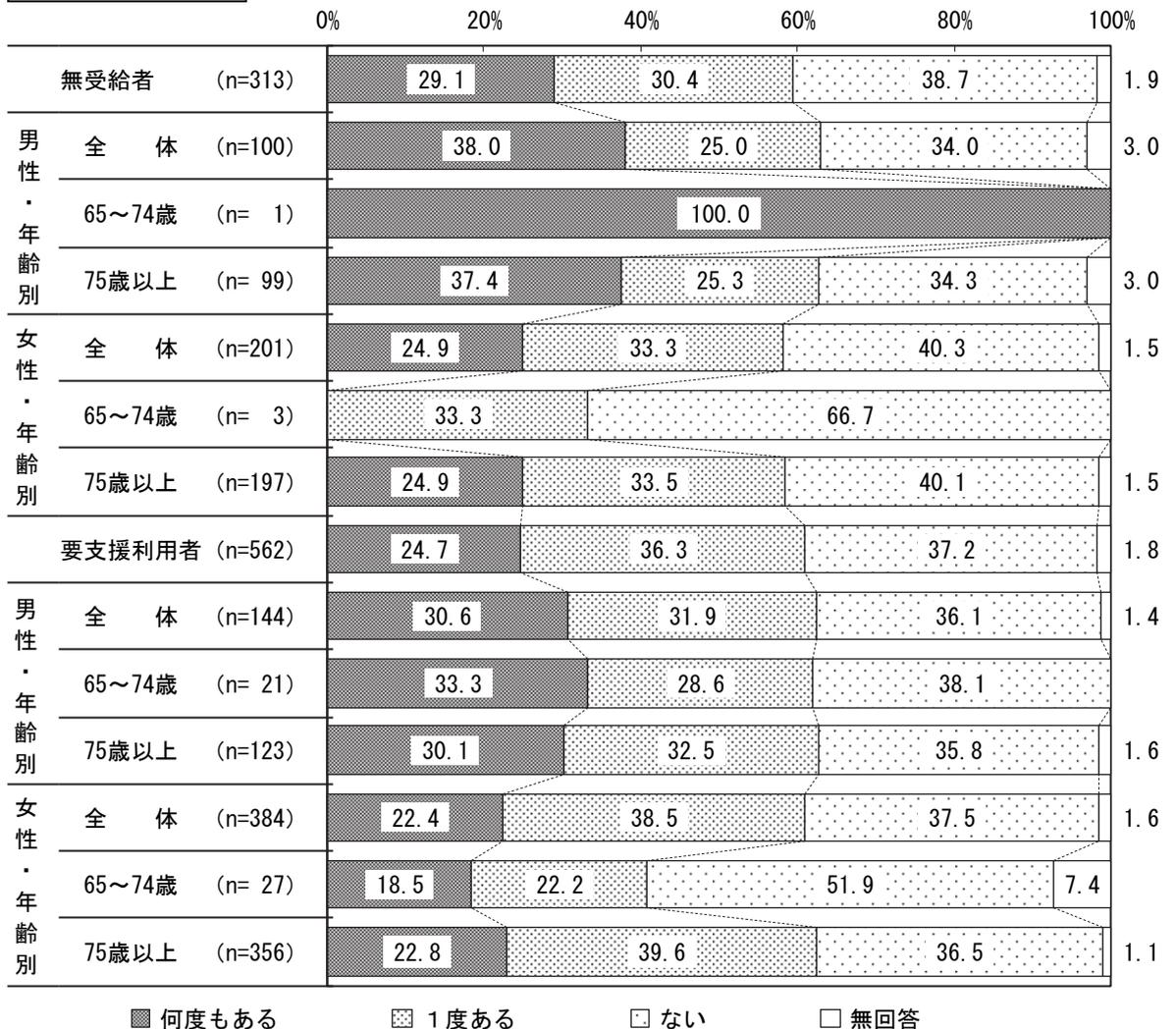
図表4-4 過去1年間の転倒経験



事業対象者



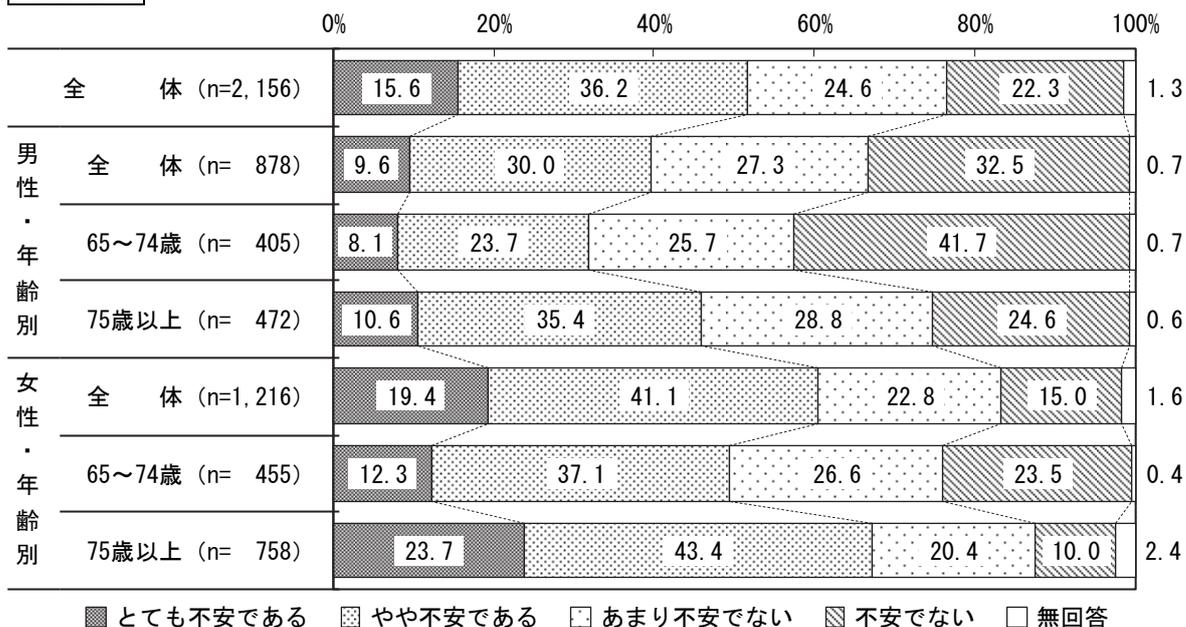
在宅要支援認定者等



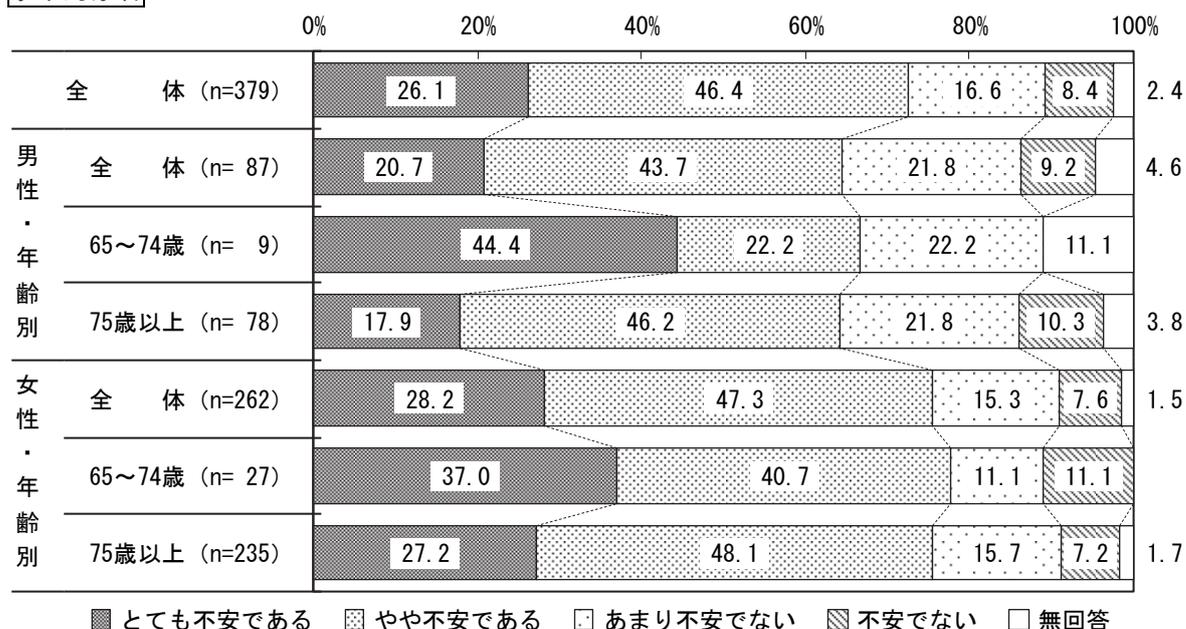
「転倒に対する不安は大きいですか」という質問に対し、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた《不安》と答えた人は、一般高齢者では51.8%、事業対象者では72.5%、介護保険サービスの無受給者では84.9%、要支援利用者では89.5%という順で高くなっています。性別にみると、一般高齢者では男性に比べて女性が20ポイント程度高く、事業対象者と無受給者では男性に比べて女性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-5 転倒への不安感

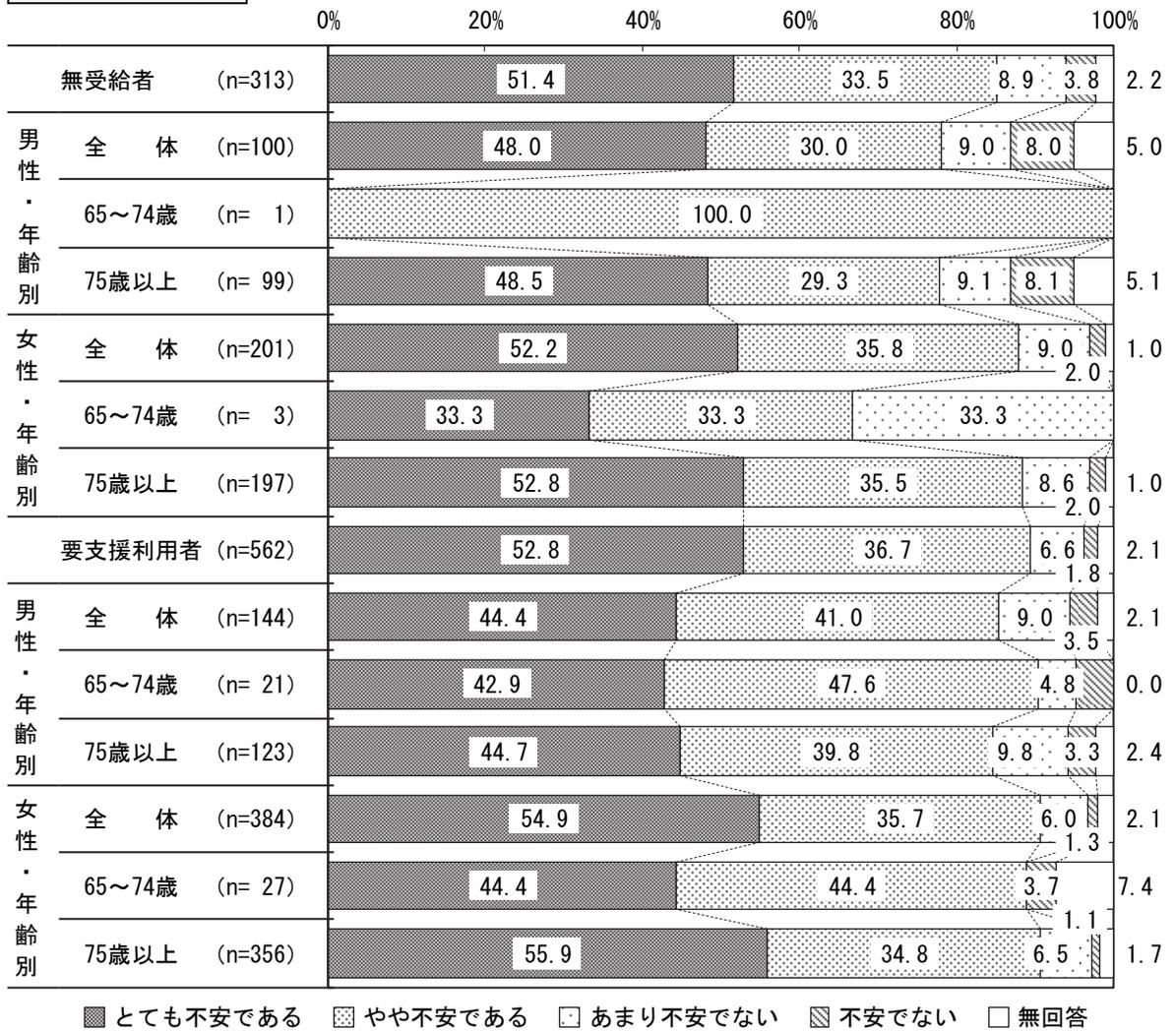
一般高齢者



事業対象者



在宅要支援認定者等

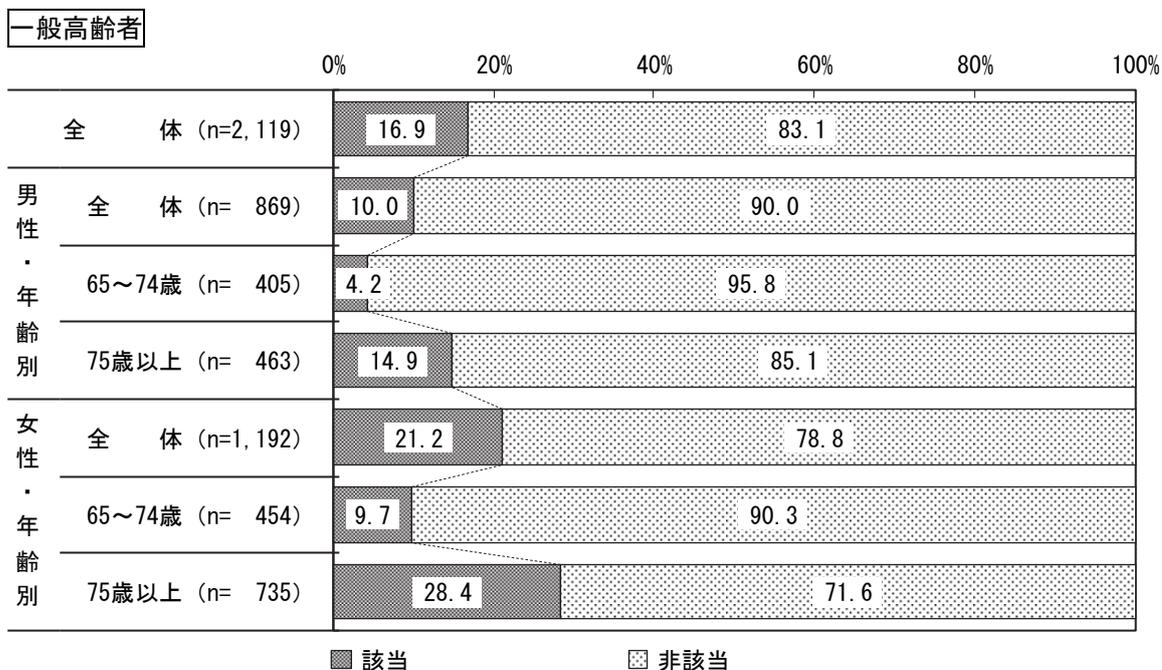


「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」（令和7年8月、厚生労働省老健局）によると、前述の5つの設問のうち3問以上で、該当する選択肢（下の表の□で囲んでいるもの）に回答した一般高齢者は、運動器機能低下者とされています。

設 問	選 択 肢
①階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない <input checked="" type="checkbox"/> 3 できない
②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない <input checked="" type="checkbox"/> 3 できない
③15分位続けて歩いていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない <input checked="" type="checkbox"/> 3 できない
④過去1年間に転んだ経験がありますか	<input checked="" type="checkbox"/> 1 何度もある <input checked="" type="checkbox"/> 2 1度ある 3 ない
⑤転倒に対する不安は大きいですか	<input checked="" type="checkbox"/> 1 とても不安である <input checked="" type="checkbox"/> 2 やや不安である 3 あまり不安でない 4 不安でない

上の表に基づき、一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占める運動器機能低下者をみると、16.9%が該当しています。これを性別にみると、男性に比べて女性が10ポイント以上高くなっています。

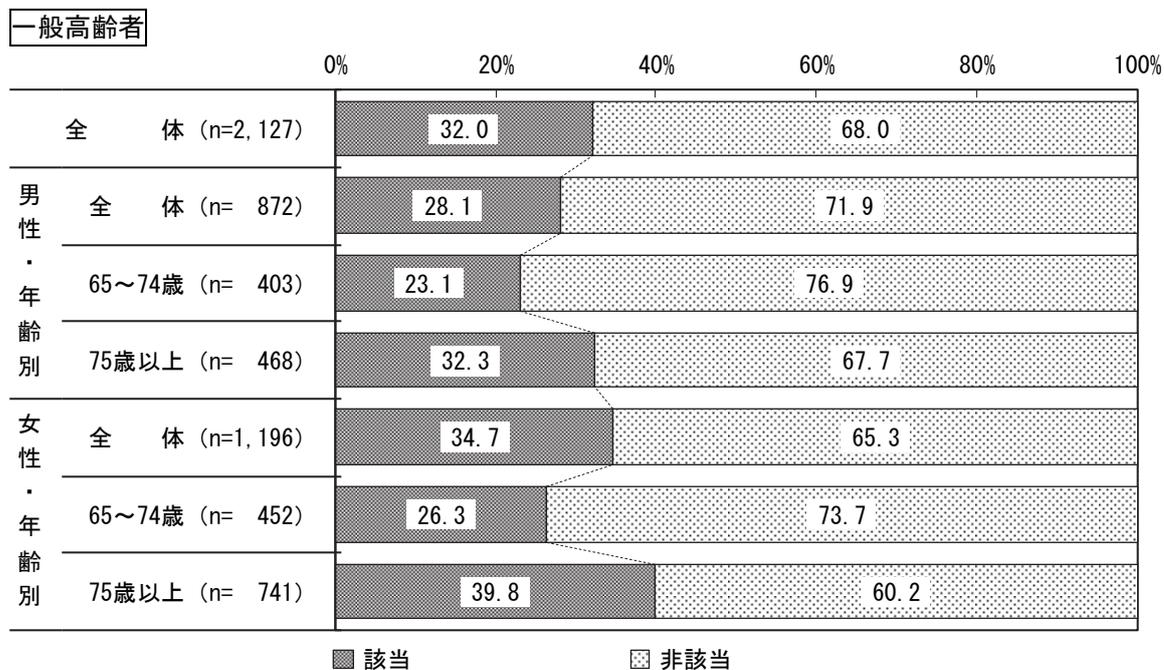
図表4-6 運動器機能低下者



また、前頁の表中の④の該当する選択肢に回答した一般高齢者は、転倒リスク者とされています。

一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占める転倒リスク者をみると、32.0%が該当しています。これを性別にみると、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

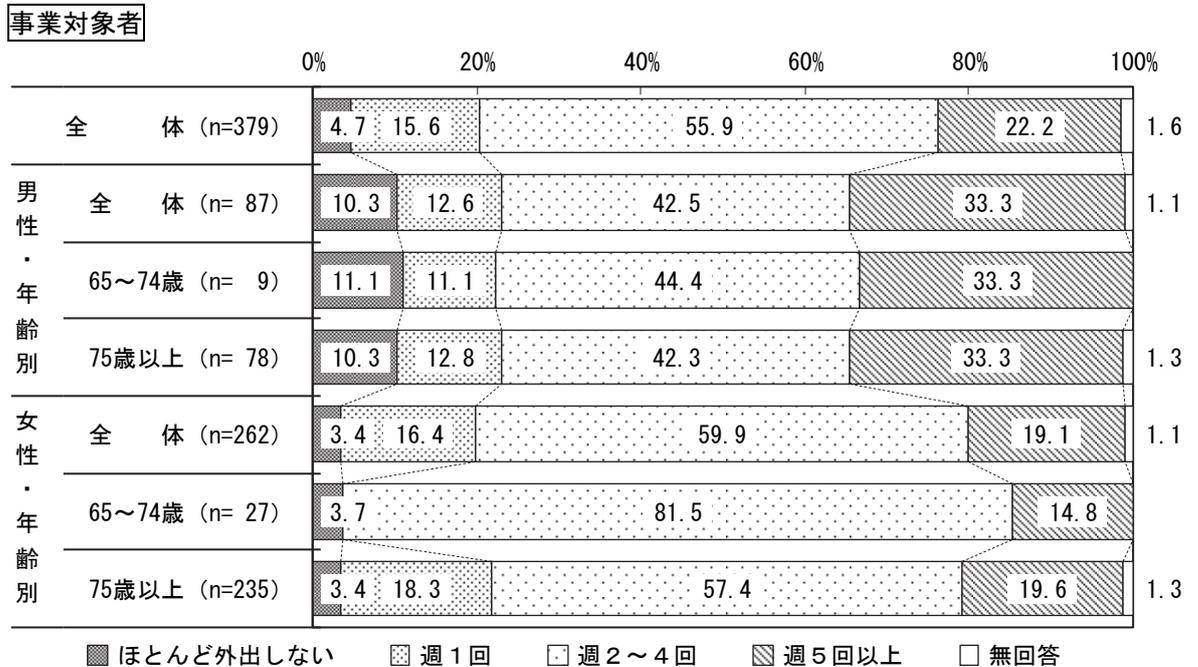
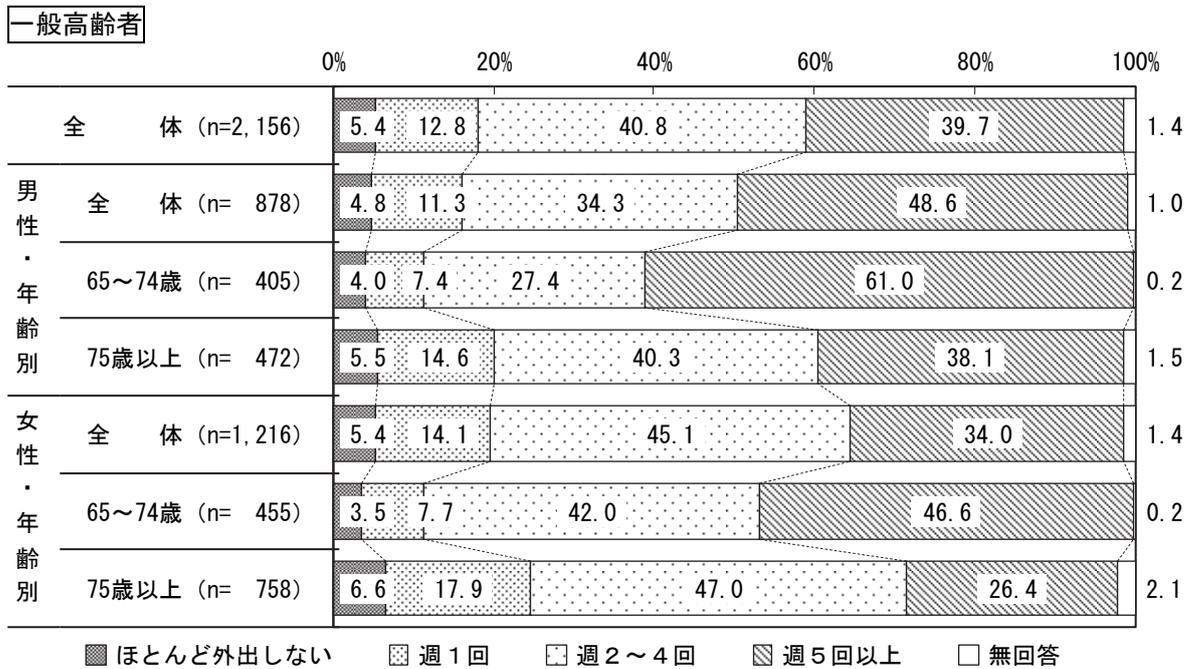
図表4-7 転倒リスク者



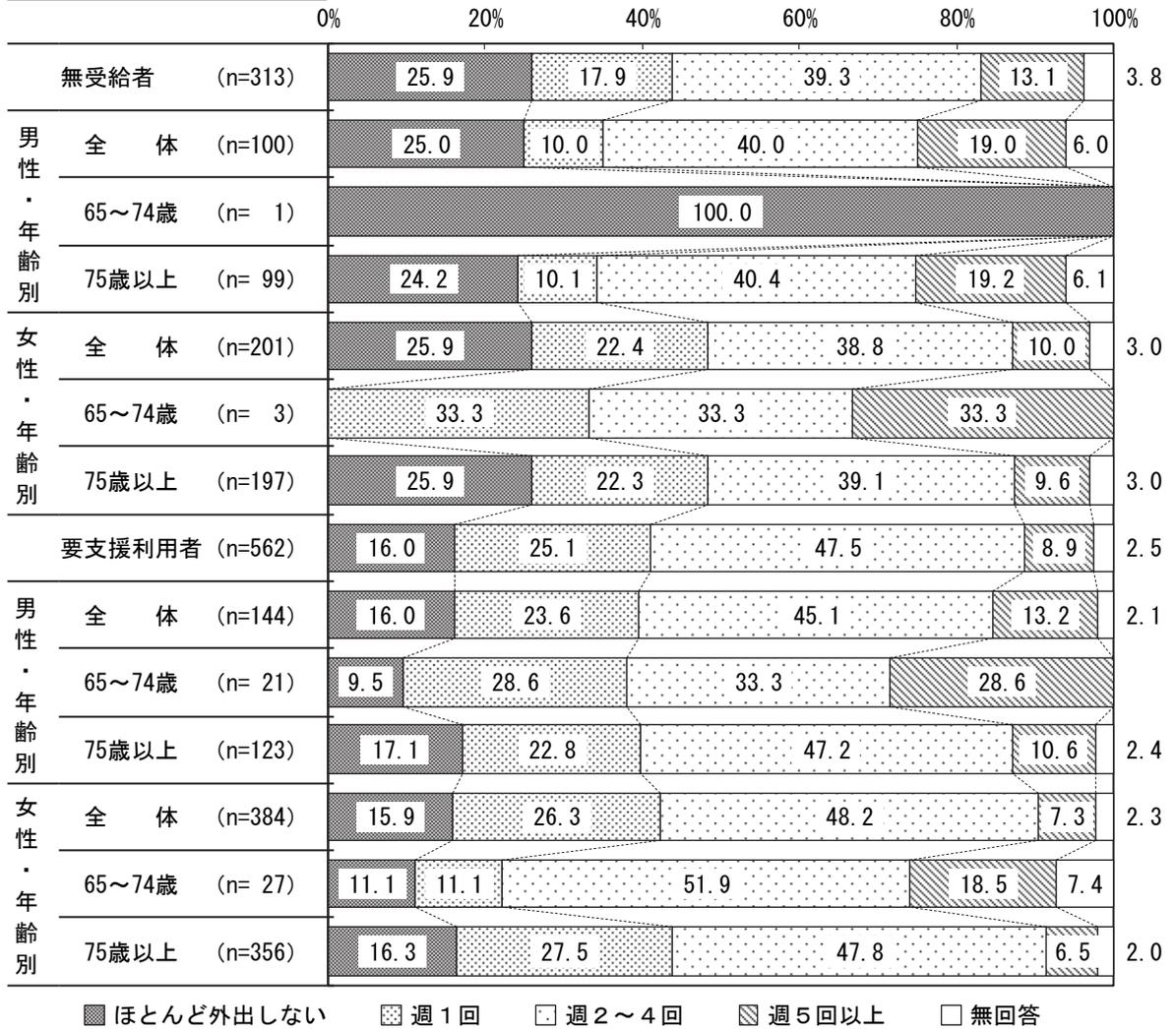
(2) 外出の状況

「週に1回以上は外出していますか」という質問に対し、「ほとんど外出しない」と答えた人は、事業対象者では4.7%、一般高齢者では5.4%、要支援利用者では16.0%、介護保険サービスの無受給者では25.9%という順で高くなっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

図表4-8 外出の頻度（一般高齢者）



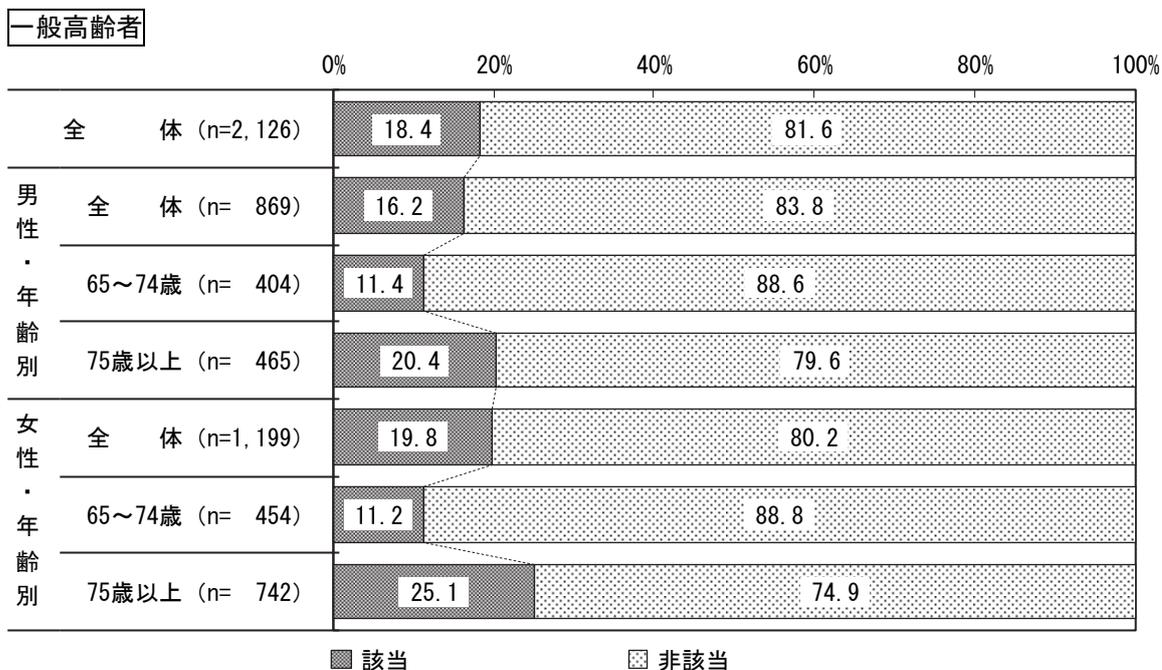
在宅要支援・要介護認定者



「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によると、この設問で「ほとんど外出しない」と「週1回」に回答した一般高齢者は、閉じこもり傾向者とされています。

一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占める閉じこもり傾向者をみると、18.4%が該当しています。これを性別にみても、大きな差異はみられません。

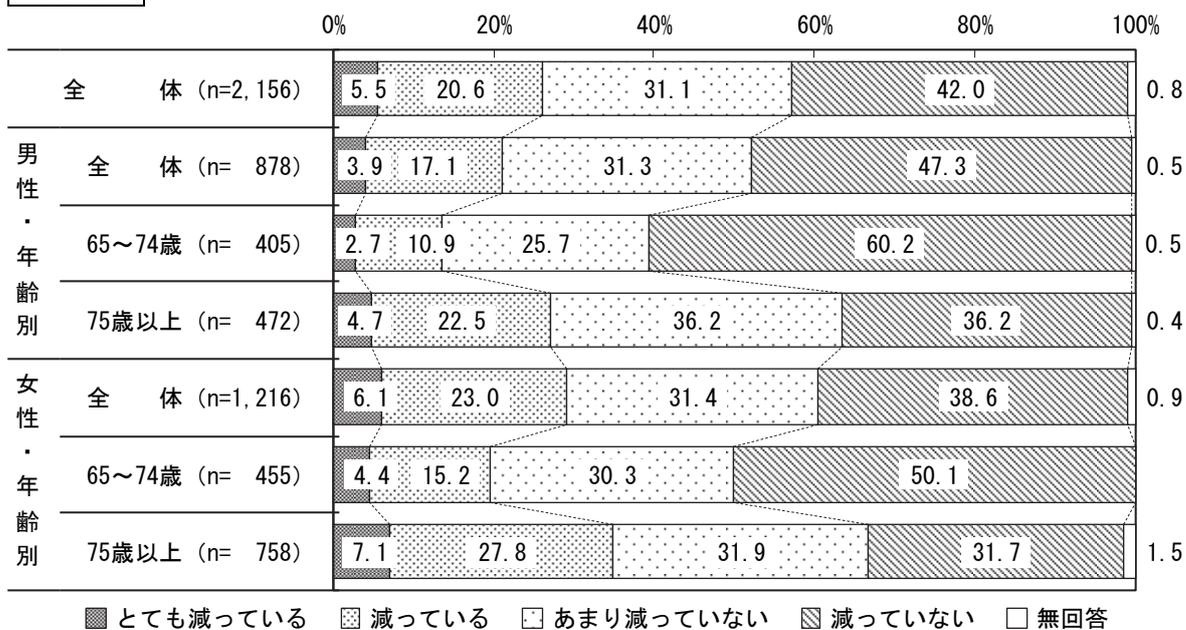
図表4-9 閉じこもり傾向者の把握



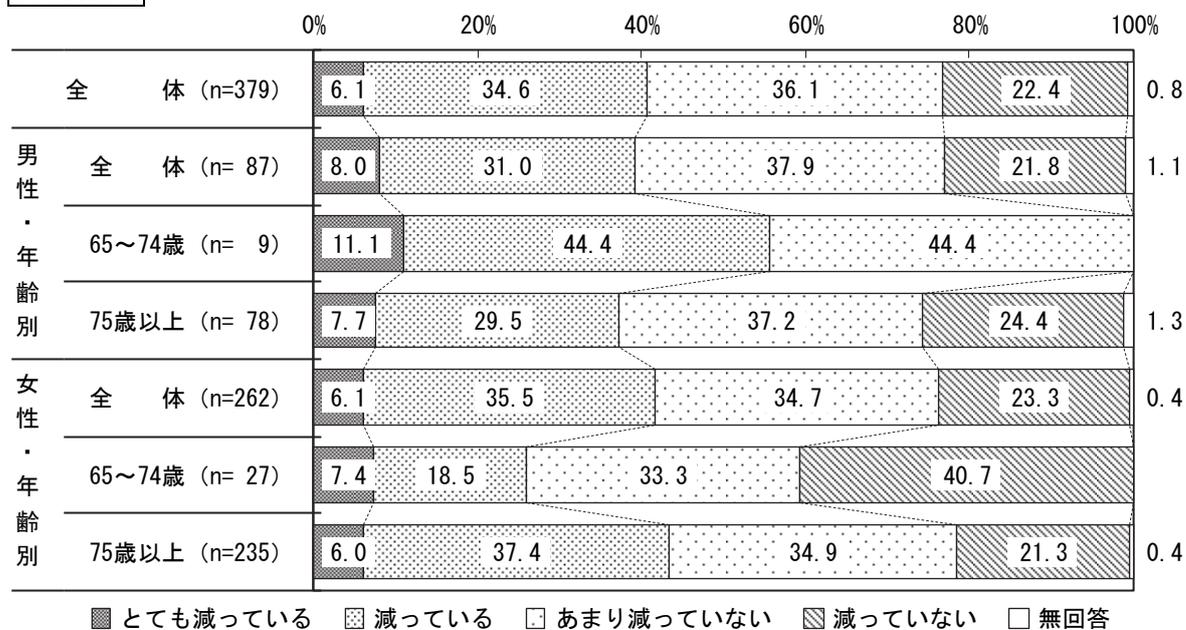
「昨年と比べて外出の回数が減っていますか」という質問に対し、「とても減っている」と「減っている」を合わせると、一般高齢者では26.1%、事業対象者では40.7%、介護保険サービスの無受給者では54.0%、要支援利用者では56.8%という順で高くなっています。これを性別にみると、一般高齢者と無受給者では、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

図表4-10 昨年からの外出回数の変化

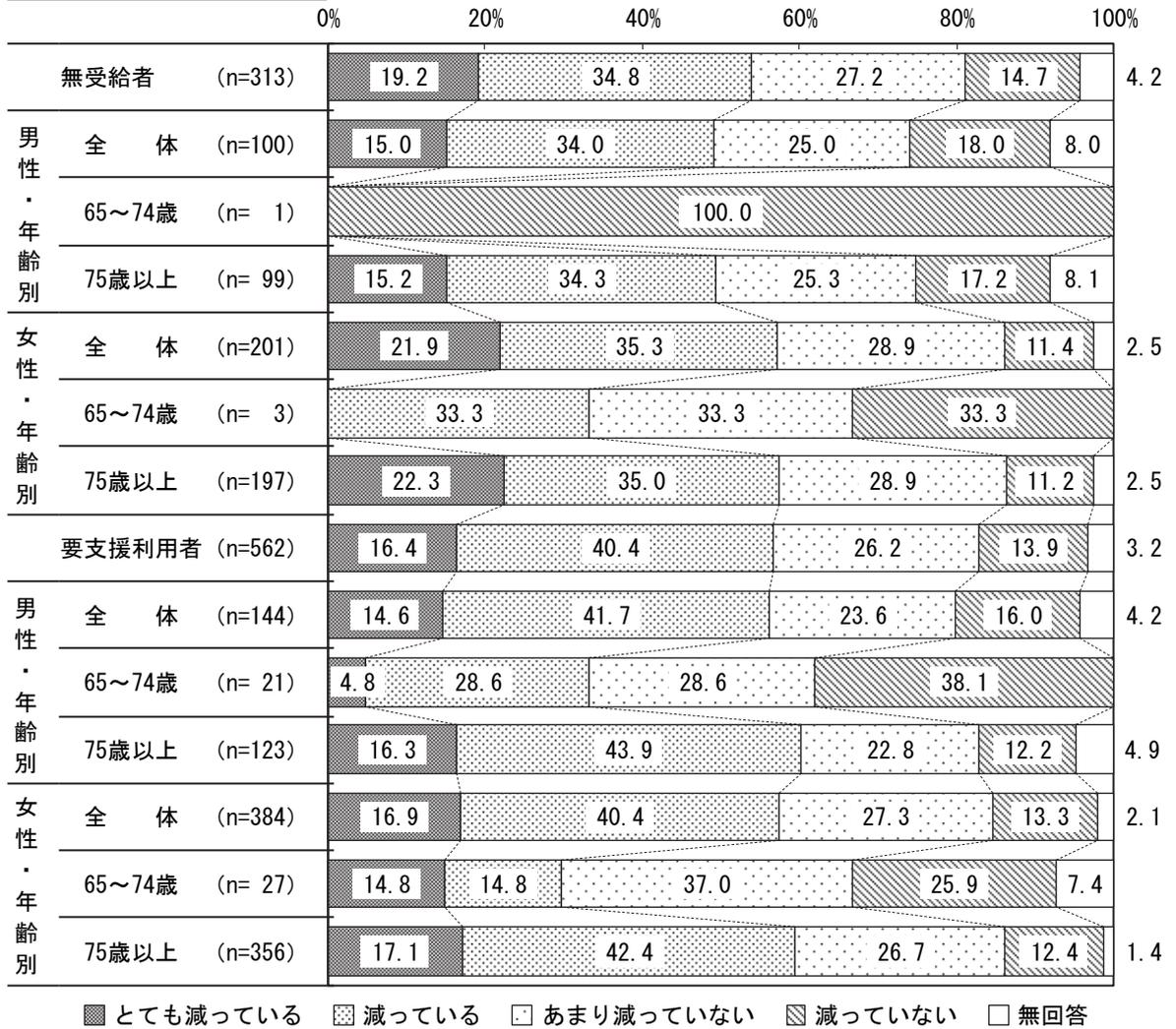
一般高齢者



事業対象者



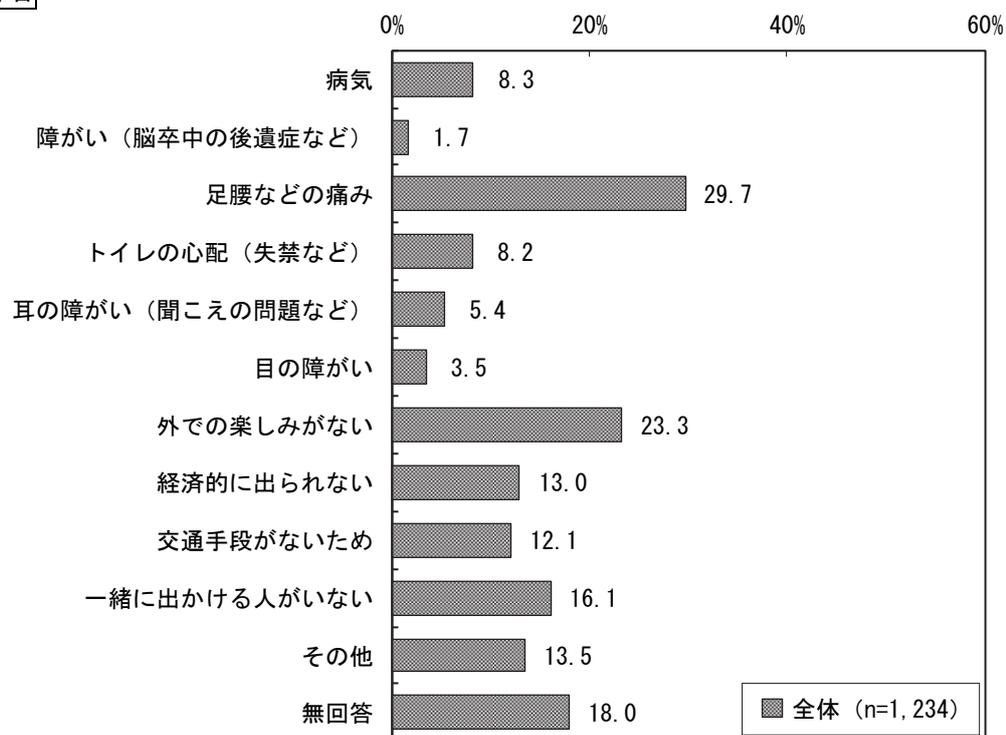
在宅要支援・要介護認定者



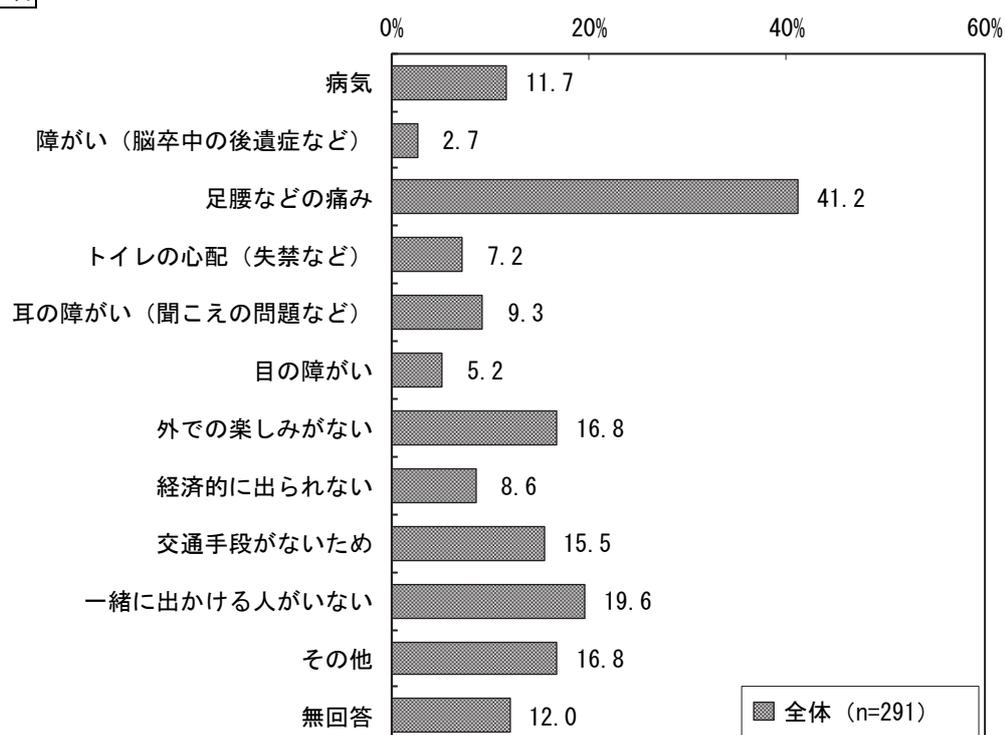
昨年と比べて外出の回数が「とても減っている」または「減っている」、「あまり減っていない」と答えた一般高齢者と事業対象者に減っている理由をたずねたところ、いずれにおいても、「足腰などの痛み」が最も高く、次いで、一般高齢者では「外での楽しみがない」、事業対象者では「一緒に出かける人がいない」が高くなっています。

図表 4-11 外出が減っている理由（複数回答）

一般高齢者



事業対象者



性別にみると、一般高齢者の「足腰などの痛み」は男性に比べて女性が10ポイント程度高く、事業対象者の「外での楽しみがない」は女性に比べて男性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-12 外出が減っている理由（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		病気	障がい (脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	耳の障がい (聞こえの問題など)	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がないため	一緒に出かける人がいない	その他	無回答
男 性	全 体 (n=459)	9.4	2.8	22.4	9.8	5.4	3.9	25.1	14.2	8.1	10.7	14.4	20.7
	65～74歳 (n=159)	8.2	3.8	17.0	7.5	3.1	3.8	29.6	13.2	3.1	11.9	17.0	20.8
	75歳以上 (n=299)	10.0	2.3	25.4	11.0	6.7	4.0	22.7	14.4	10.7	10.0	13.0	20.7
女 性	全 体 (n=736)	7.5	1.0	33.0	6.8	5.0	3.1	21.7	12.6	15.1	19.6	13.5	16.3
	65～74歳 (n=227)	7.0	0.9	20.7	4.0	1.3	1.3	18.1	13.7	11.9	17.6	22.9	18.1
	75歳以上 (n=507)	7.7	1.0	38.7	8.1	6.7	3.9	23.3	12.2	16.2	20.3	9.3	15.6

事業対象者

(単位：%)

区 分		病気	障がい (脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	耳の障がい (聞こえの問題など)	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がないため	一緒に出かける人がいない	その他	無回答
男 性	全 体 (n=67)	13.4	7.5	41.8	6.0	11.9	6.0	26.9	6.0	11.9	22.4	19.4	10.4
	65～74歳 (n=9)	22.2	11.1	33.3	-	11.1	22.2	22.2	11.1	11.1	22.2	-	33.3
	75歳以上 (n=58)	12.1	6.9	43.1	6.9	12.1	3.4	27.6	5.2	12.1	22.4	22.4	6.9
女 性	全 体 (n=200)	11.0	1.0	42.5	7.5	9.5	5.0	14.0	8.5	16.5	18.5	17.5	11.0
	65～74歳 (n=16)	18.8	6.3	50.0	6.3	-	-	12.5	-	18.8	31.3	6.3	12.5
	75歳以上 (n=184)	10.3	0.5	41.8	7.6	10.3	5.4	14.1	9.2	16.3	17.4	18.5	10.9

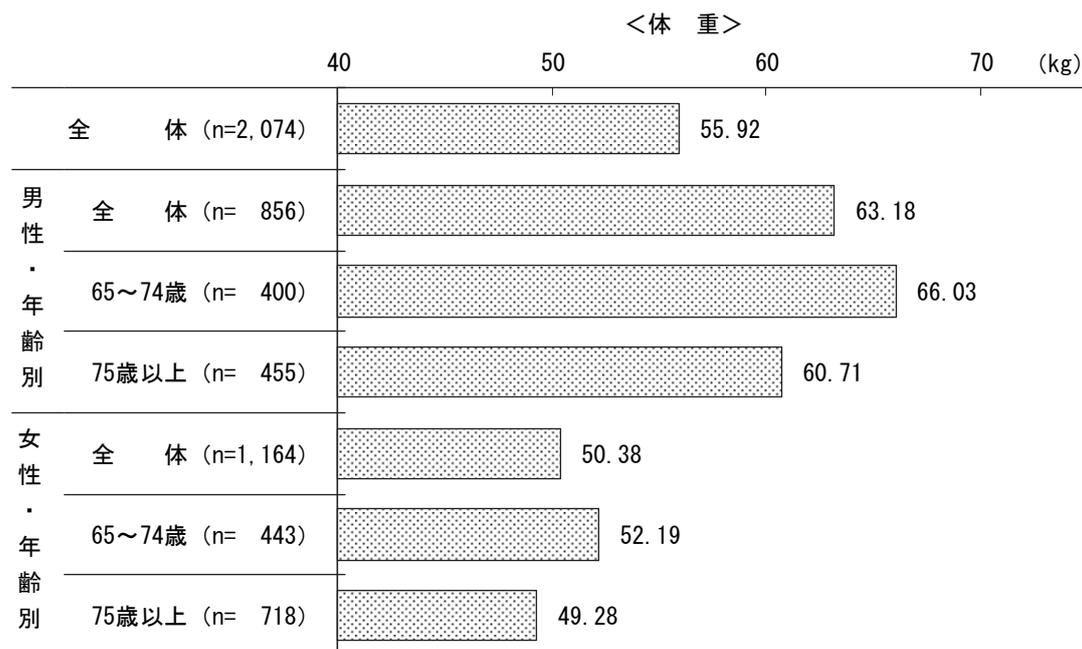
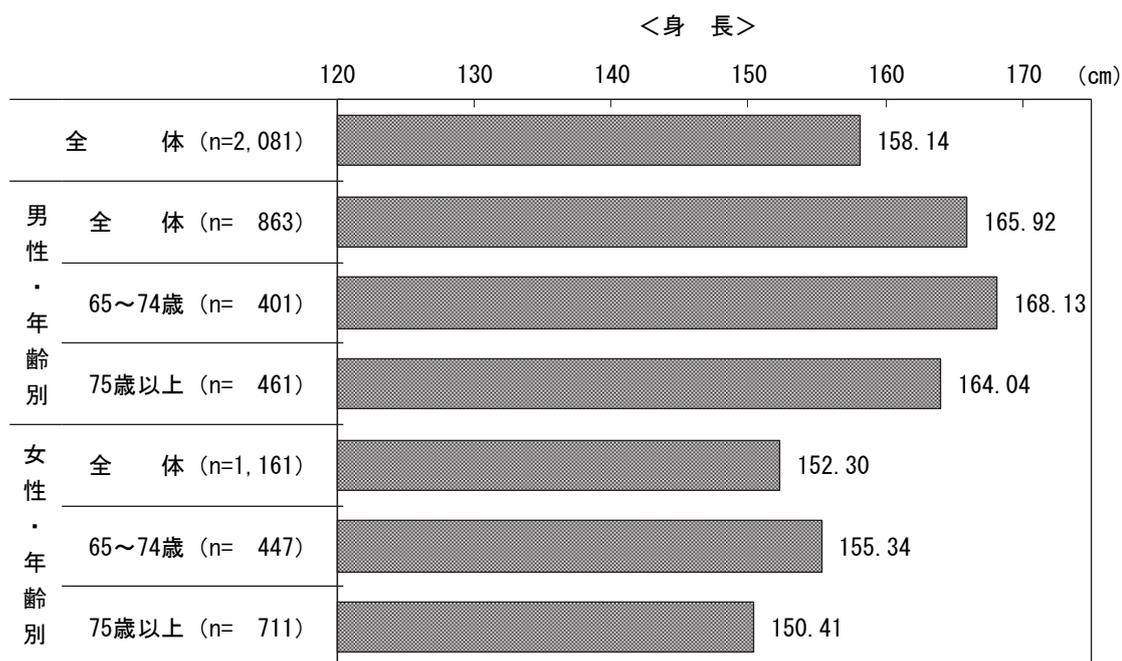
## 2 口腔・栄養について

### (1) 身長・体重

調査対象者の平均身長は、一般高齢者の男性で165.9cm、女性で152.3cm、事業対象者の男性で162.9cm、女性で149.7cm、介護保険サービスの無受給者の男性で162.5cm、女性で149.0cm、要支援利用者の男性で162.9cm、女性で148.6cmとなっています。

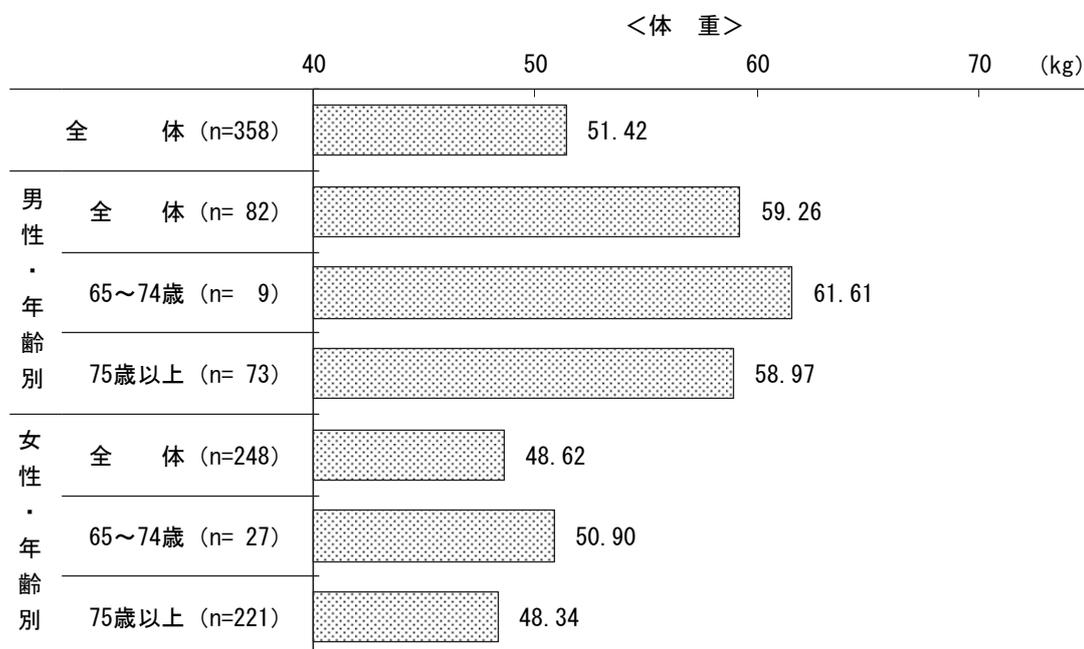
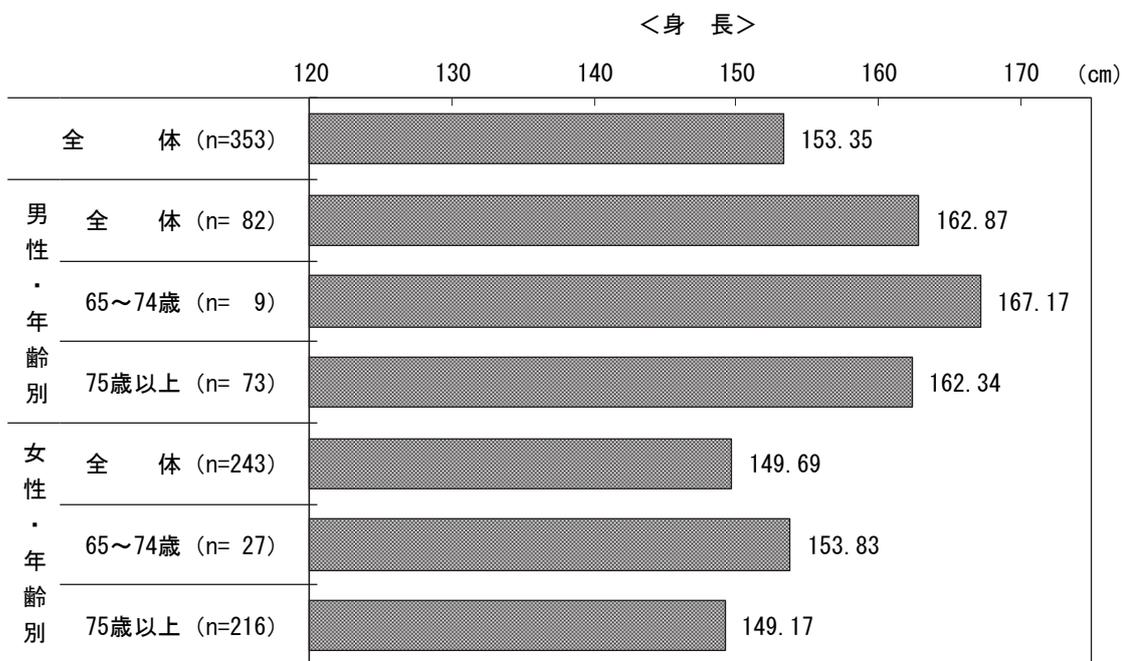
図表4-13 身長・体重（平均）

一般高齢者

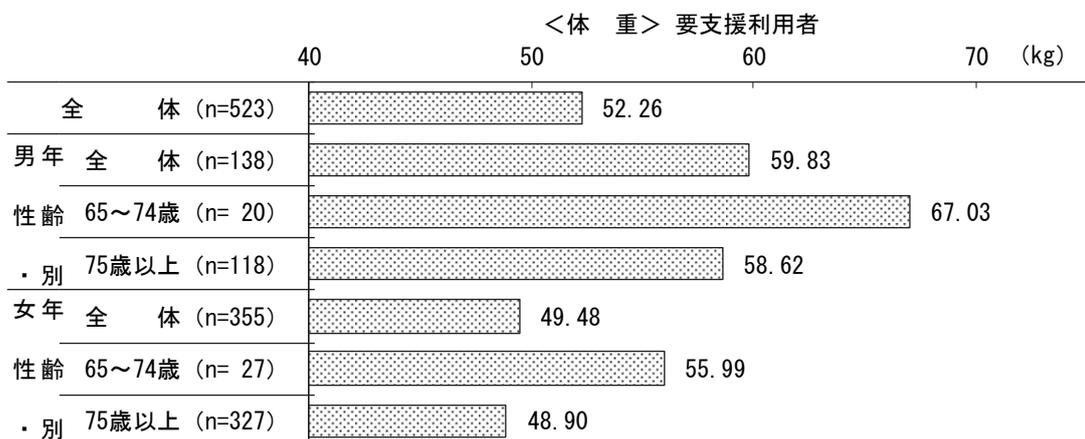
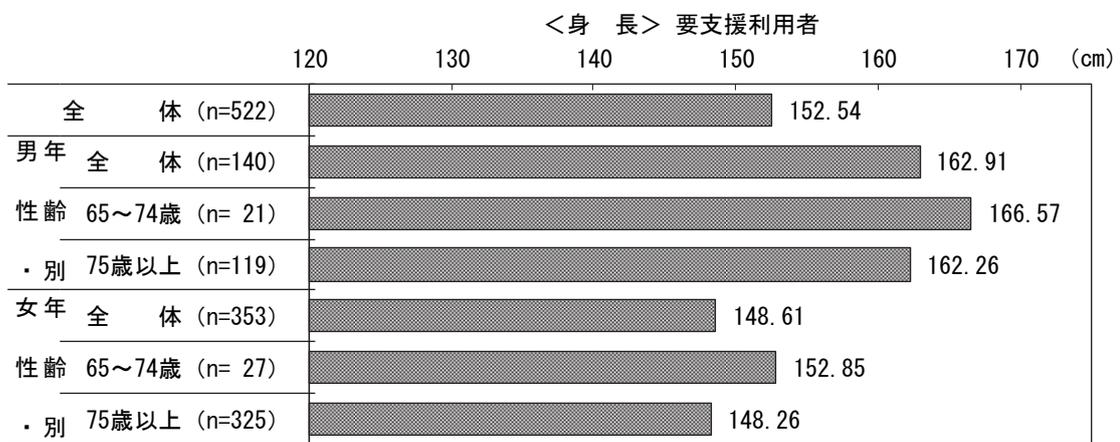
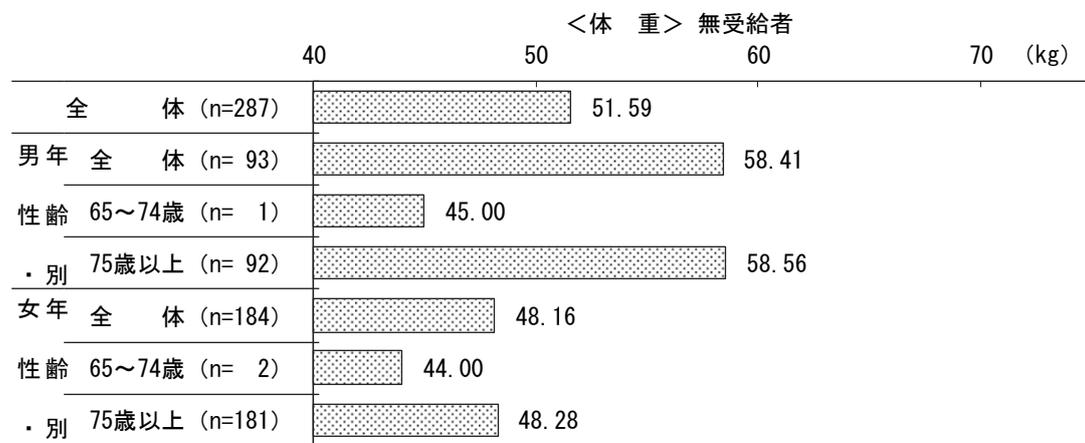
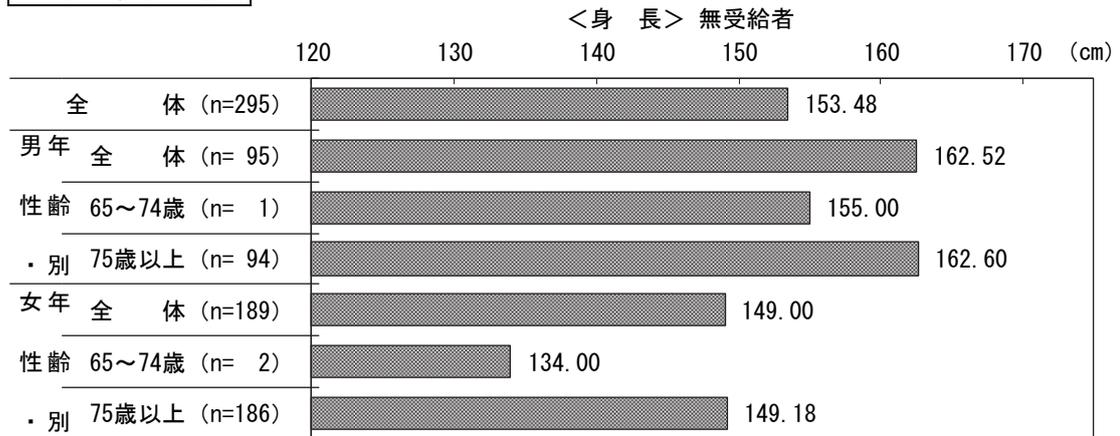


また、調査対象者の平均体重は、一般高齢者の男性で 63.2kg、女性で 50.4kg、事業対象者の男性で 59.3kg、女性で 48.6kg、介護保険サービスの無受給者の男性で 58.4kg、女性で 48.2kg、要支援利用者の男性で 59.8kg、女性で 49.5kg となっています。

**事業対象者**



在宅要支援認定者等

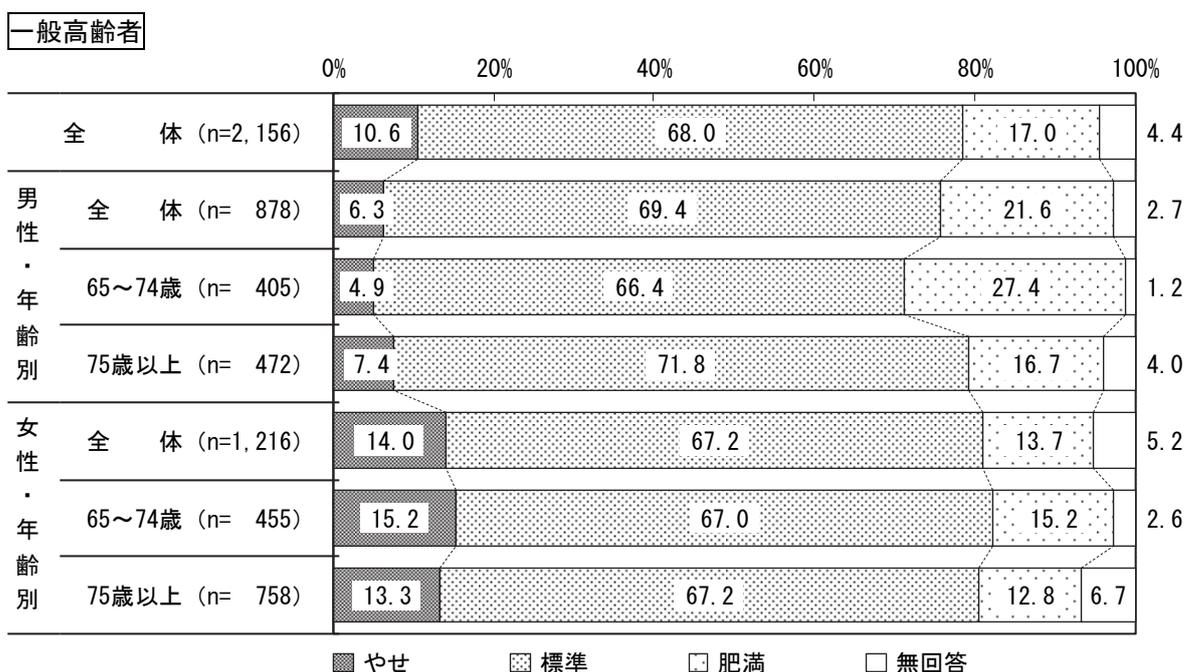


BMIは、国際的に用いられている肥満度を表す体格指数であり、体重(kg)を身長(cm)の二乗で割った数値で、18.5未満が低体重(「やせ」)、25以上が「肥満」とされています。

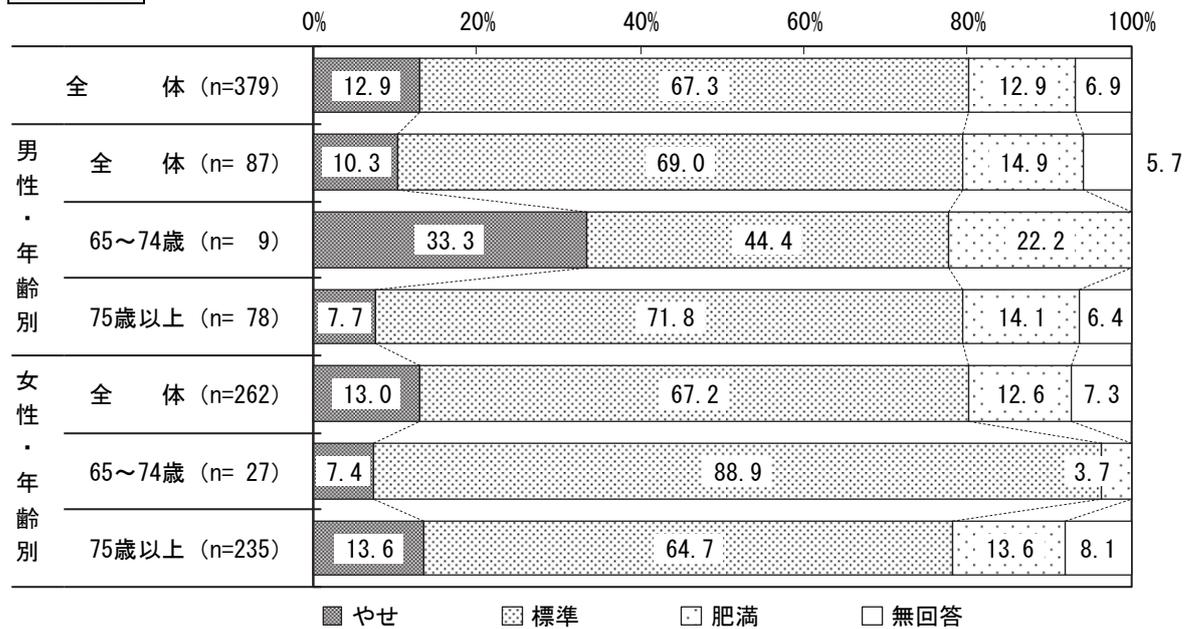
調査対象者のBMIをみると、「やせ」は、一般高齢者の男性で6.3%、女性で14.0%、事業対象者の男性で10.3%、女性で13.0%、介護保険サービスの無受給者の男性で16.0%、女性で18.9%、要支援利用者の男性で13.2%、女性で12.8%となっています。

一方、「肥満」は、一般高齢者の男性で21.6%、女性で13.7%、事業対象者の男性で14.9%、女性で12.6%、介護保険サービスの無受給者の男性で16.0%、女性で15.4%、要支援利用者の男性で25.0%、女性で19.3%となっています。

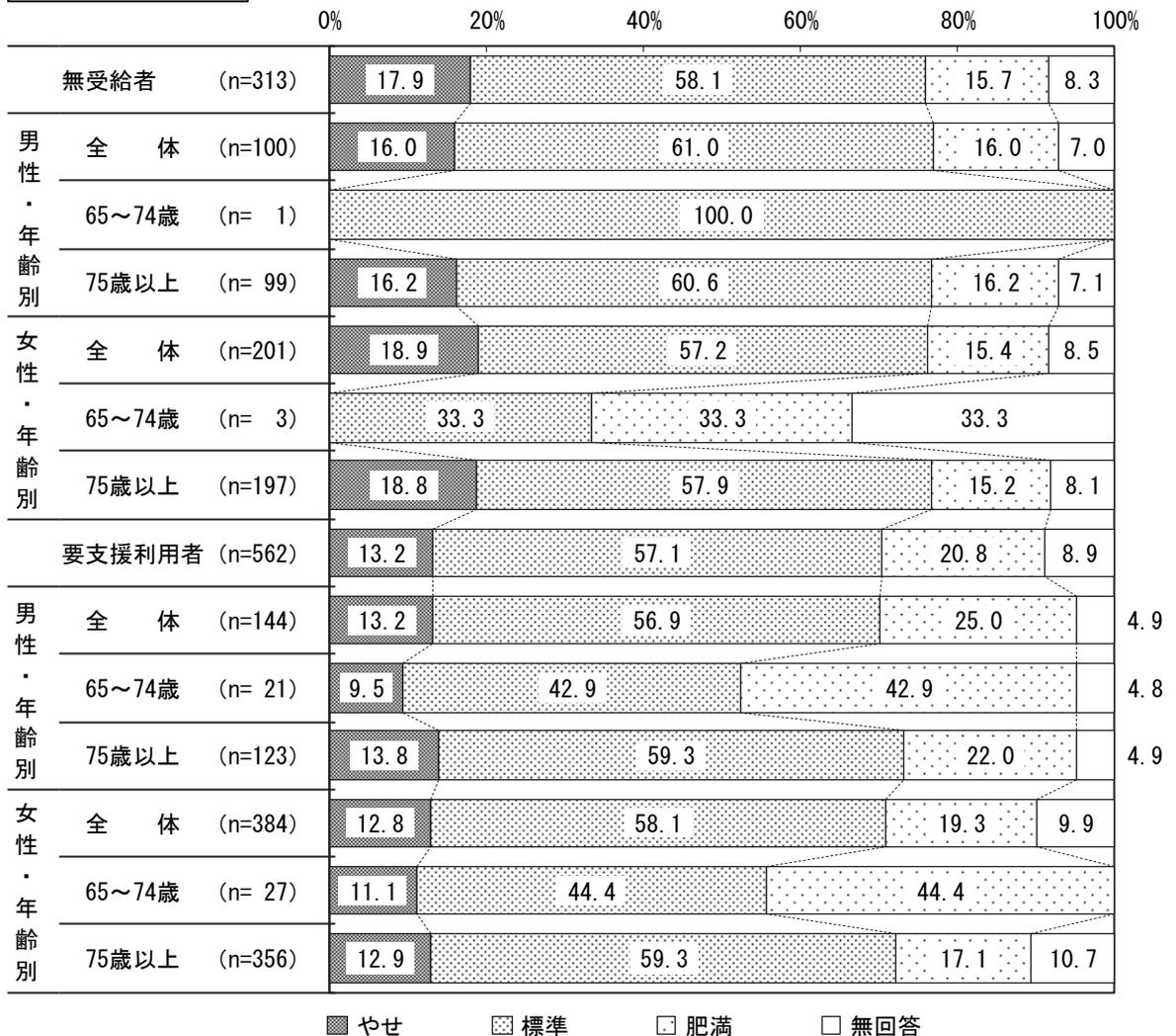
図表4-14 BMI



事業対象者



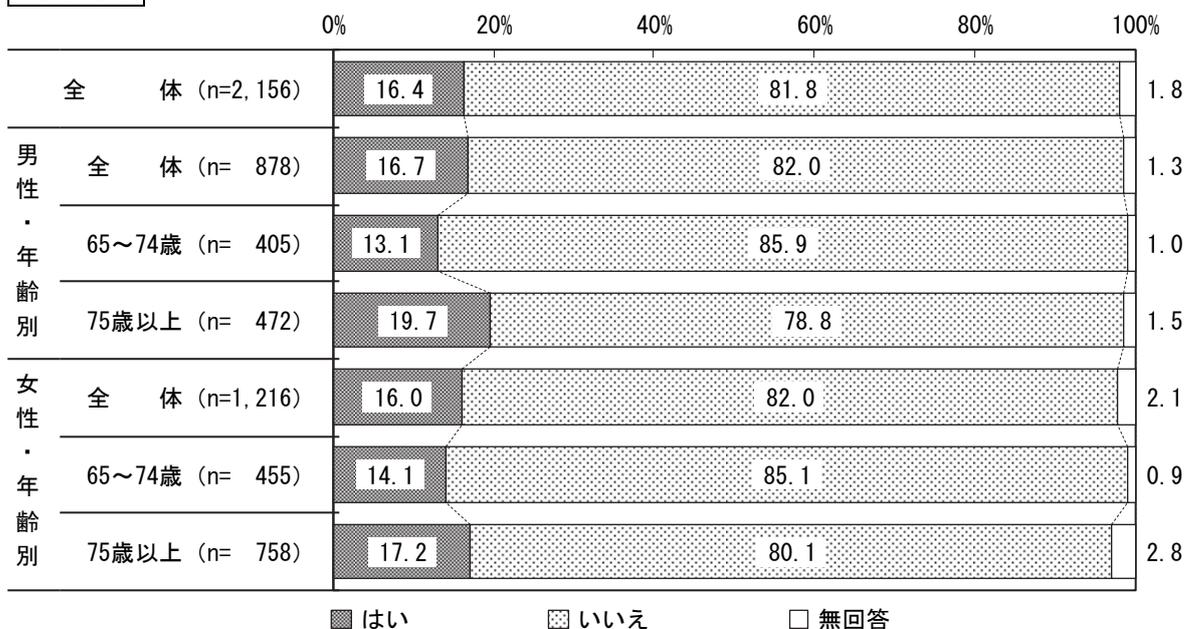
在宅要支援認定者等



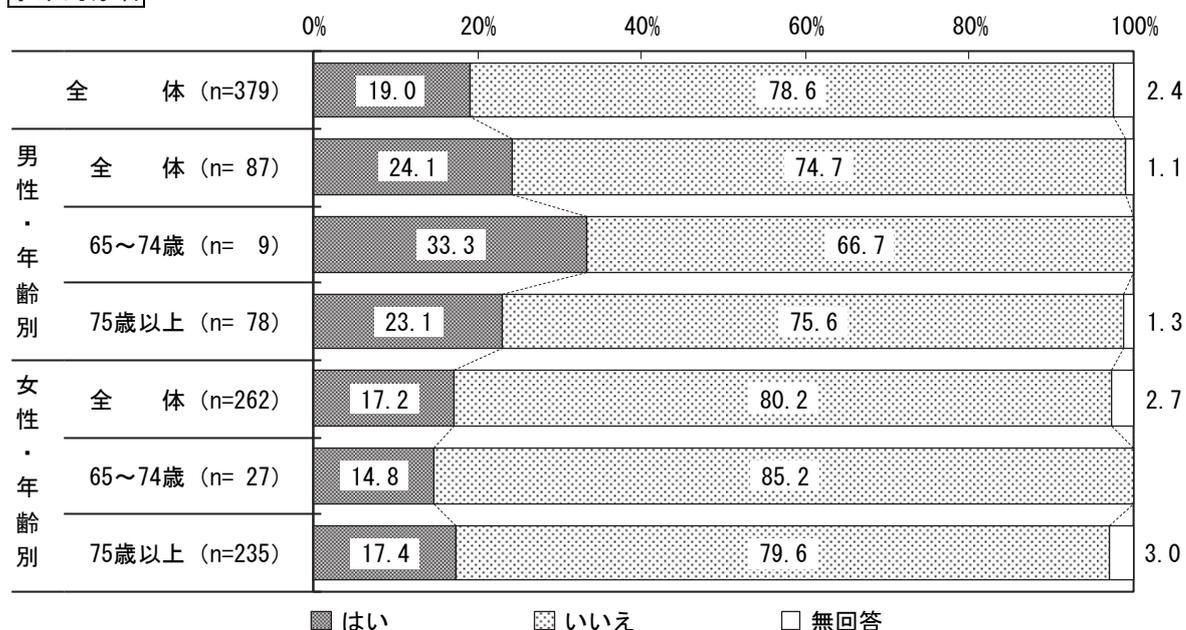
「6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では16.4%、事業対象者では19.0%となっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

図表4-15 半年間で2～3キロの体重の減少があったか

一般高齢者



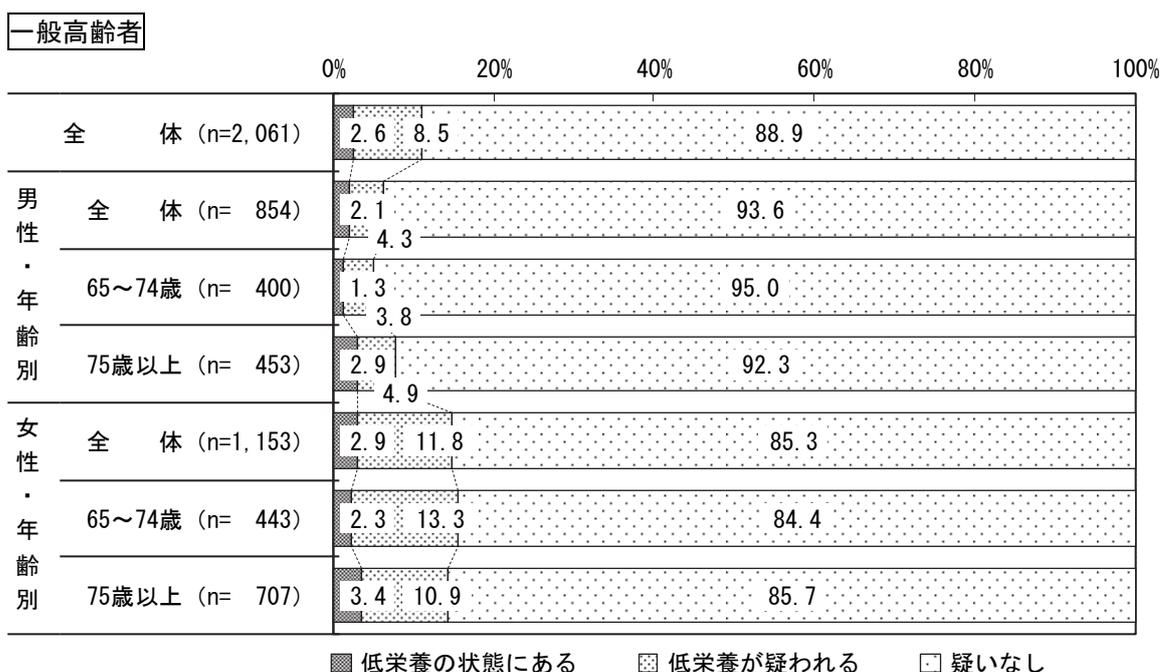
事業対象者



「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によると、この設問で「はい」に回答したBMIが18.5未満（「やせ」）の一般高齢者は、低栄養状態者とされ、BMIが18.5未満（「やせ」）のみの場合は、低栄養が疑われる人とされています。

一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占める低栄養状態者・低栄養が疑われる人をみると、合わせて11.1%が該当しています。これを性別にみると、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

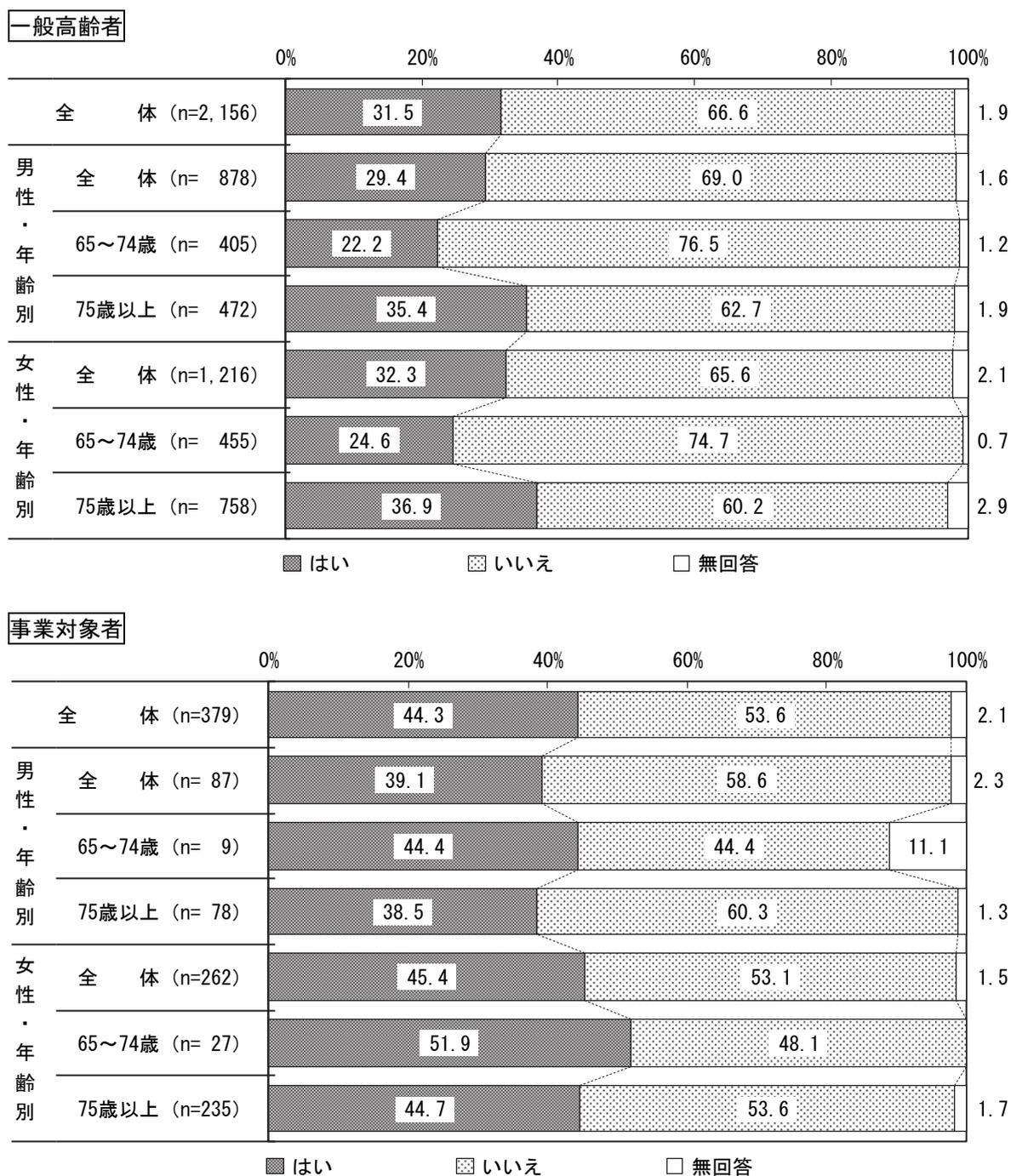
図表4-16 低栄養状態者・低栄養が疑われる人



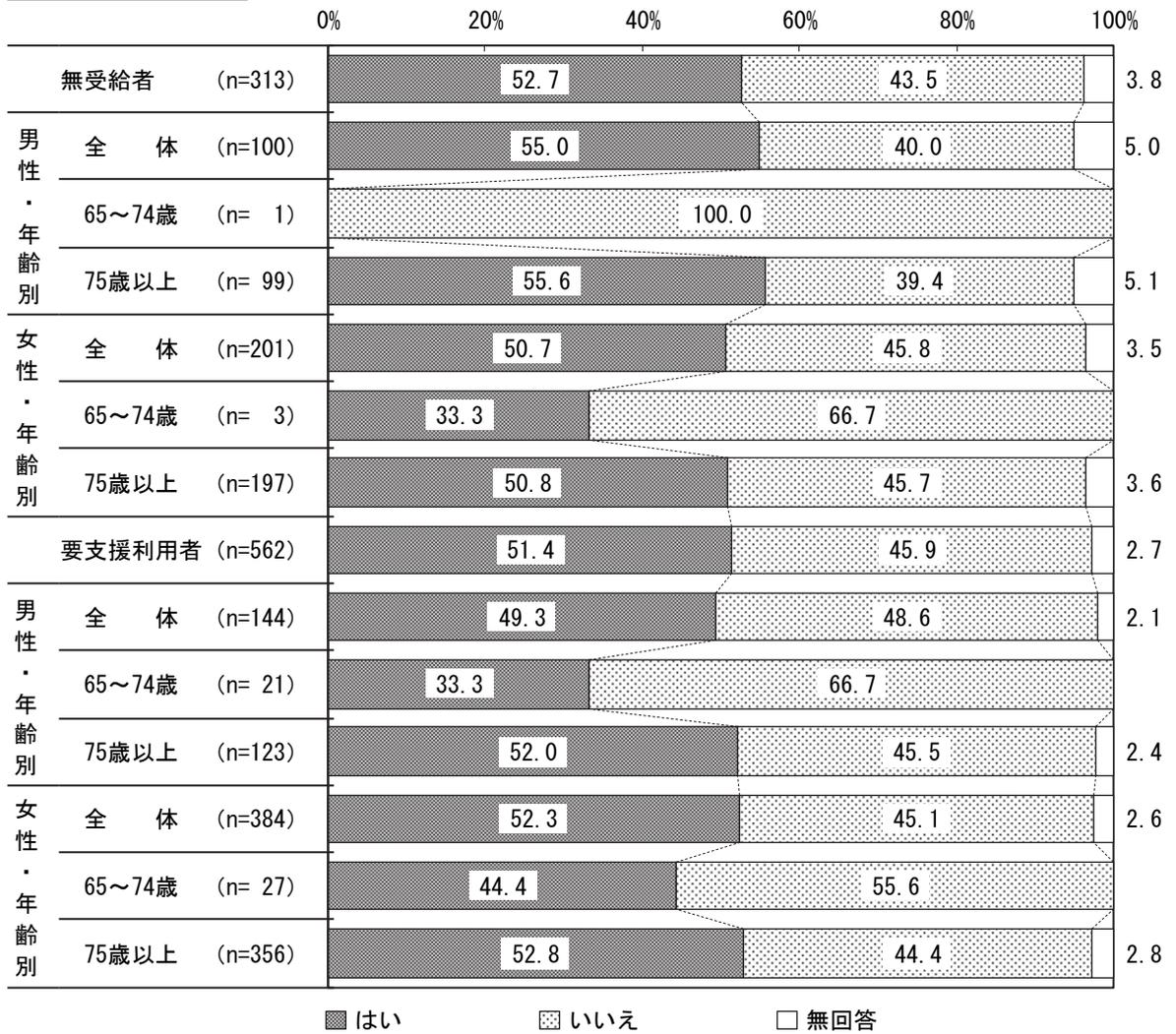
## (2) 食事、口腔の状況

「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では 31.5%、事業対象者では 44.3%、要支援利用者では 51.4%、介護保険サービスの無受給者では 52.7%という順で高くなっています。これを性別にみると、事業対象者では男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

図表 4-17 半年前より固いものが食べにくくなったか



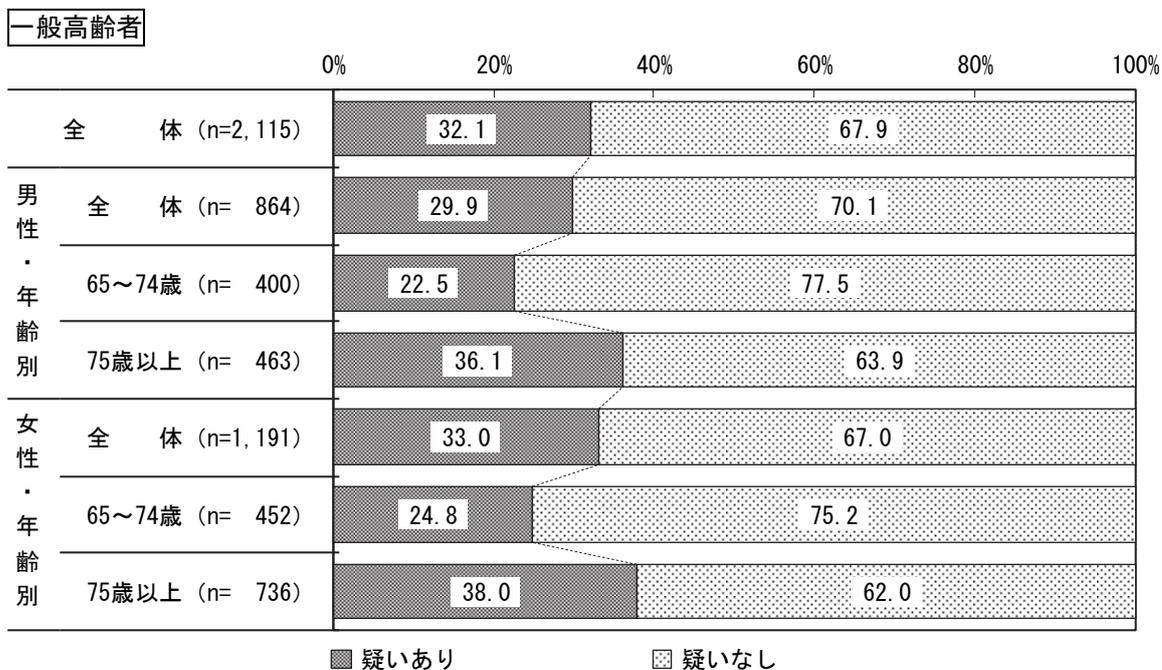
在宅要支援認定者等



「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によると、この設問で「はい」に回答した一般高齢者は、そしゃく機能の低下が疑われる人とされています。

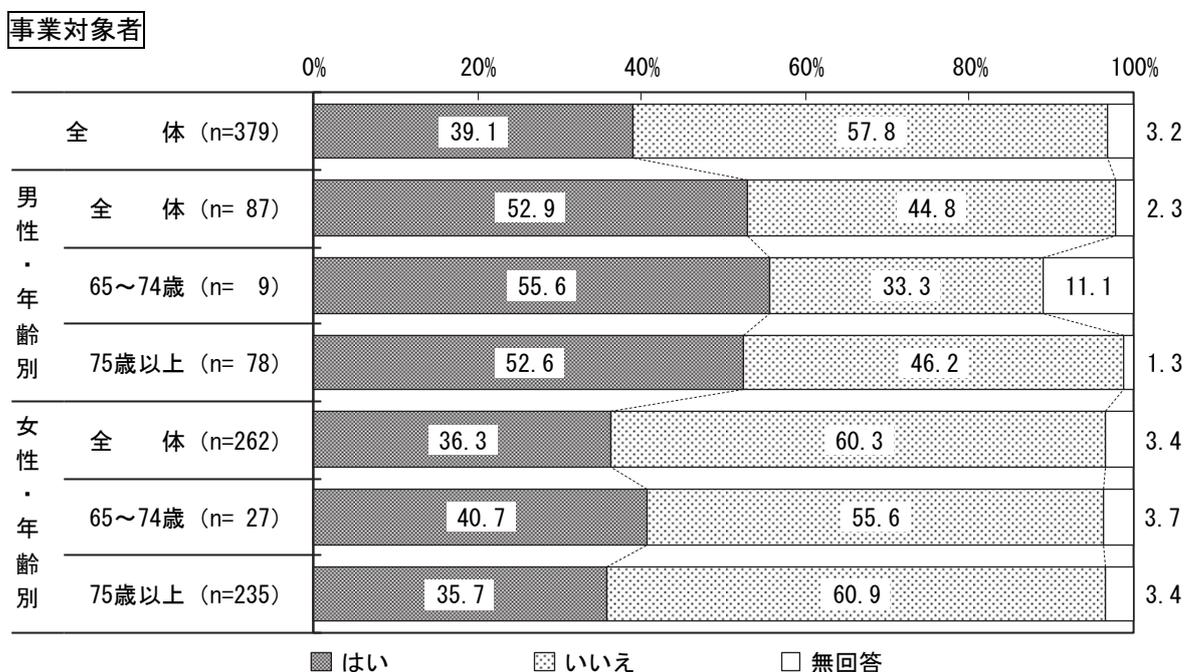
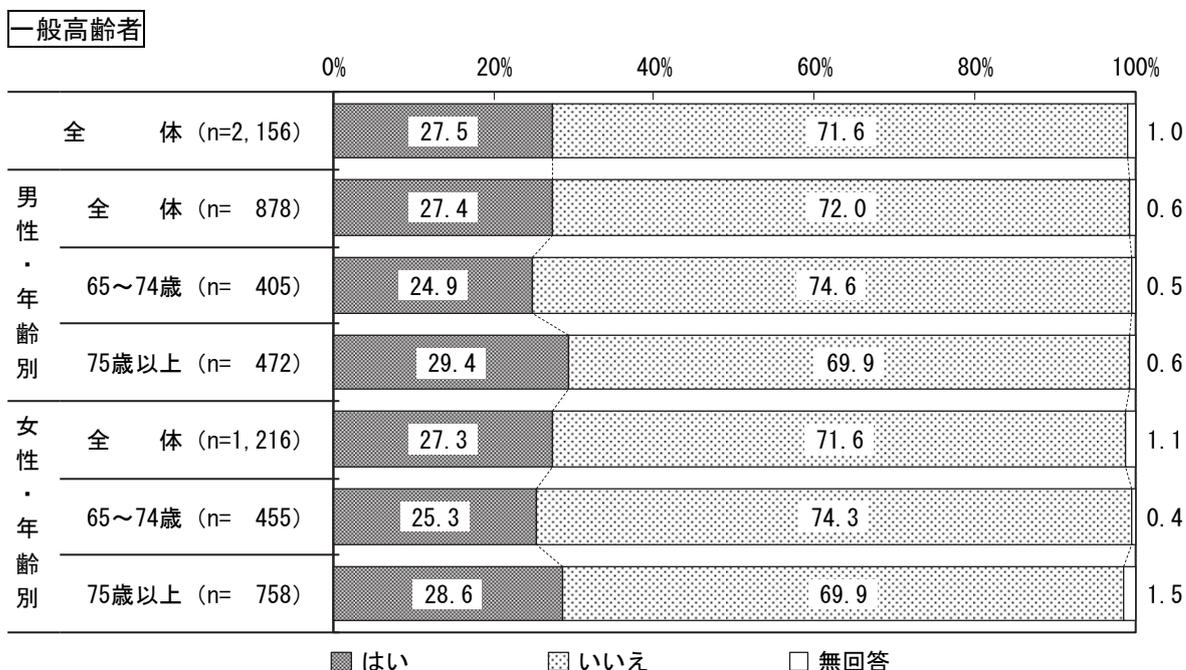
一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占めるそしゃく機能の低下が疑われる人をみてみると、32.1%が該当しています。これを性別にみても、大きな差異はみられません。

**図表 4-18** そしゃく機能の低下が疑われる人



「お茶や汁物等でむせることがありますか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では27.5%、事業対象者では39.1%となっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が15ポイント以上高くなっています。

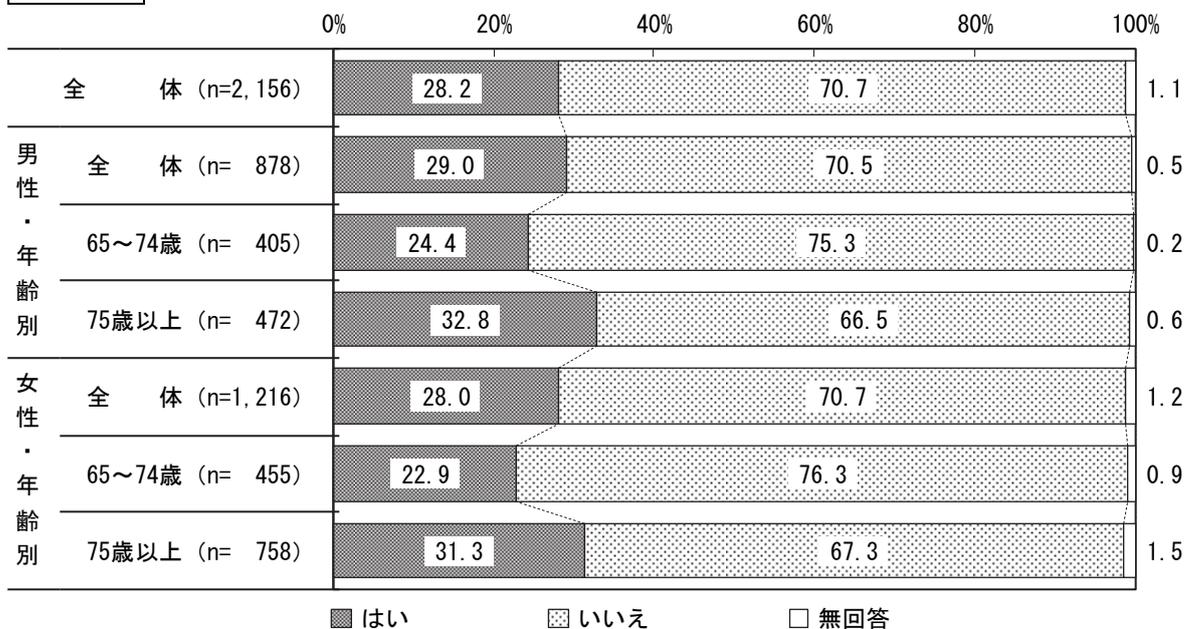
図表4-19 お茶や汁物等でむせることがあるか



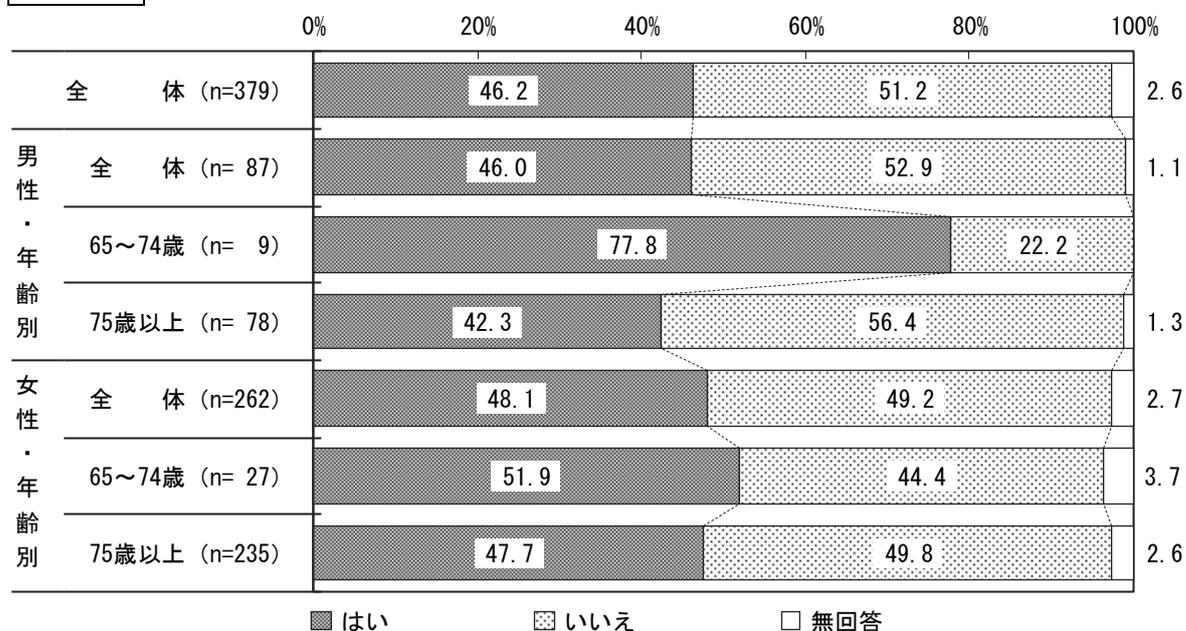
「口の渇きが気になりますか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では28.2%、事業対象者では46.2%となっています。これを性別にみても、あまり差異はみられません。

図表4-20 口の渇きが気になるか

一般高齢者



事業対象者

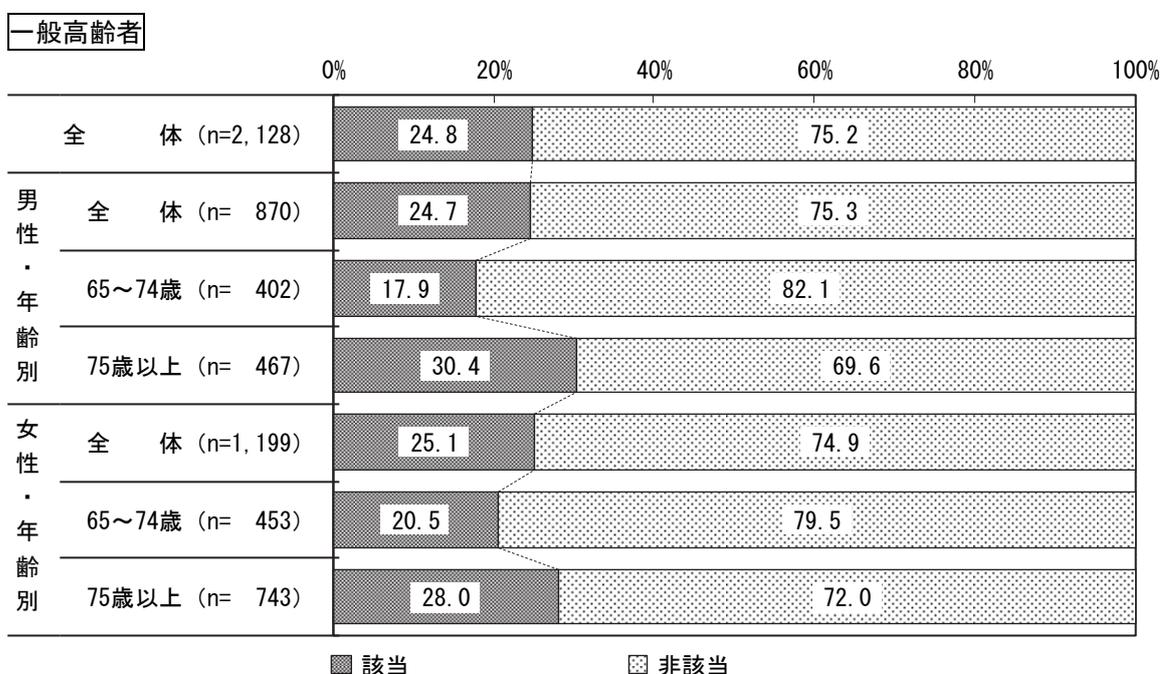


「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によると、前述の3つの設問のうち2問以上で「はい」に回答した一般高齢者は、口腔機能低下者とされています。

設 問	選 択 肢
①半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 はい 2 いいえ
②お茶や汁物等でむせることがありますか	1 はい 2 いいえ
③口の渇きが気になりますか	1 はい 2 いいえ

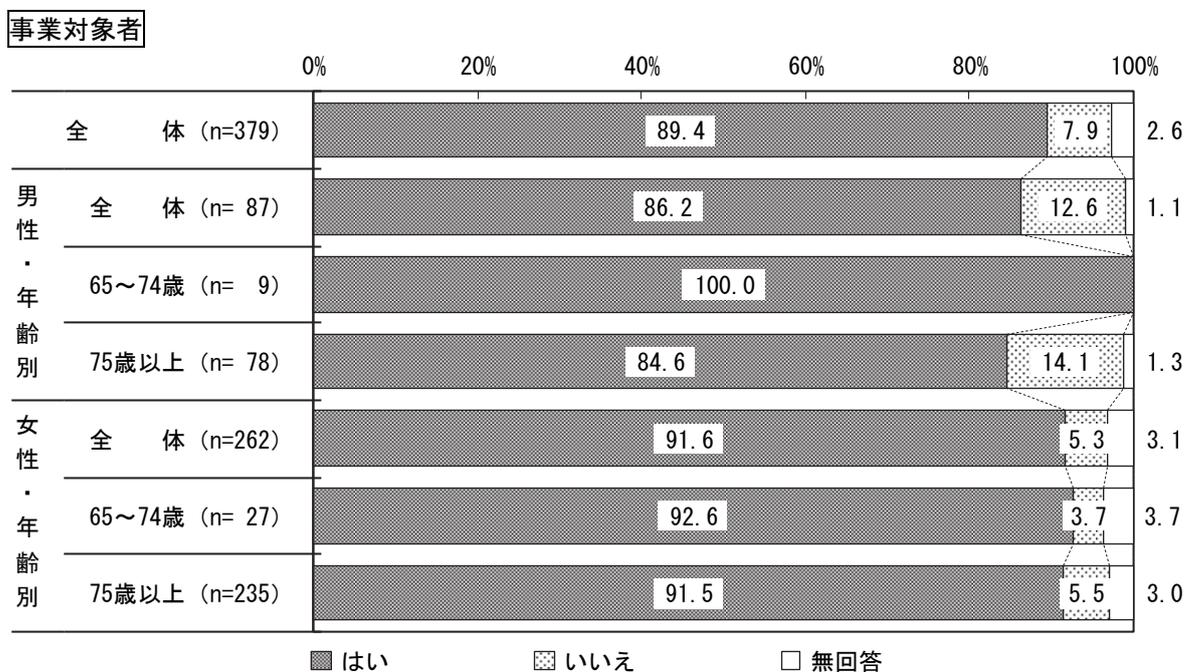
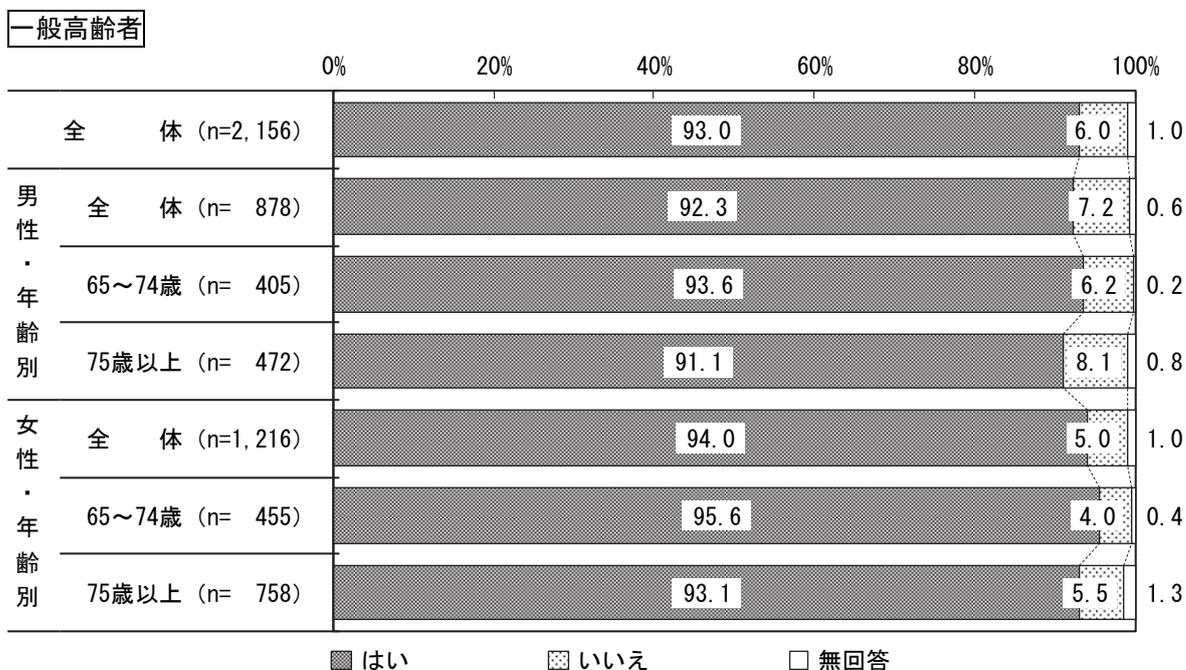
上の表に基づき、一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占める口腔機能低下者をみると、24.8%が該当しています。性別にみても、ほとんど差異はみられません。

図表 4-21 口腔機能低下者



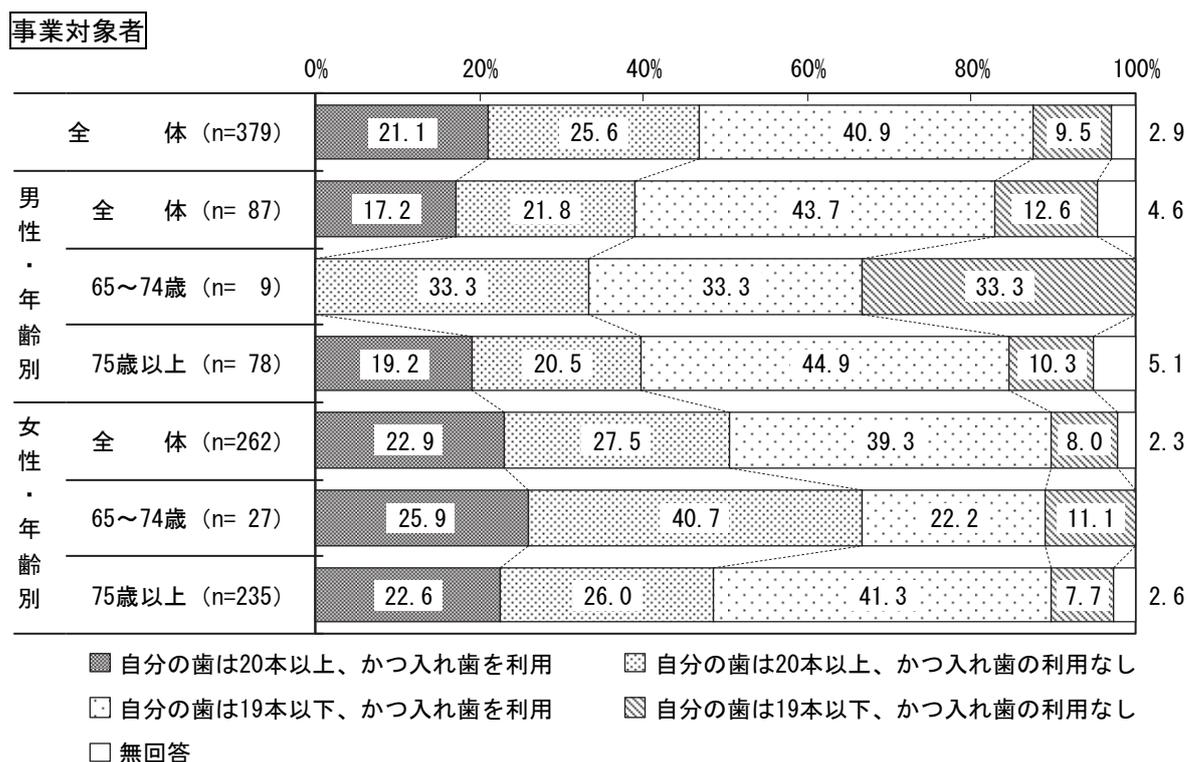
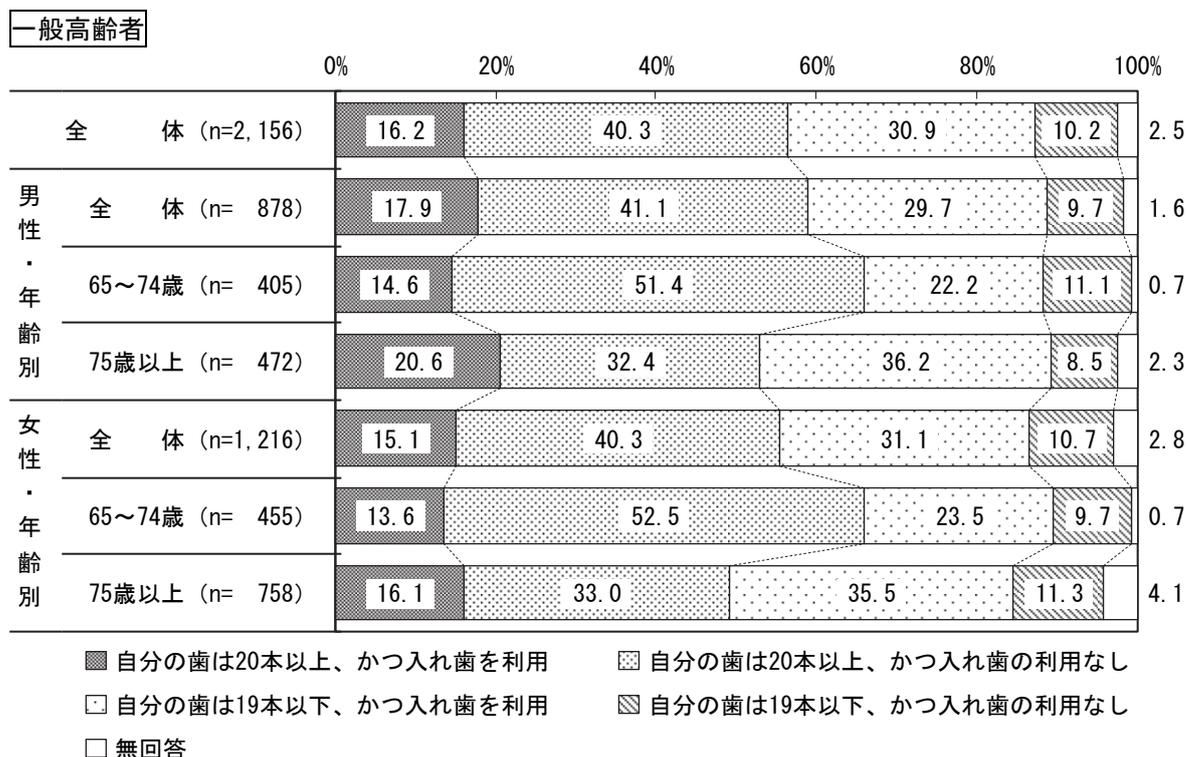
「歯磨きを毎日していますか」（人にやってもらう場合も含む）という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では93.0%、事業対象者では89.4%となっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が5ポイント程度低くなっています。

図表4-22 毎日歯みがきをしているか

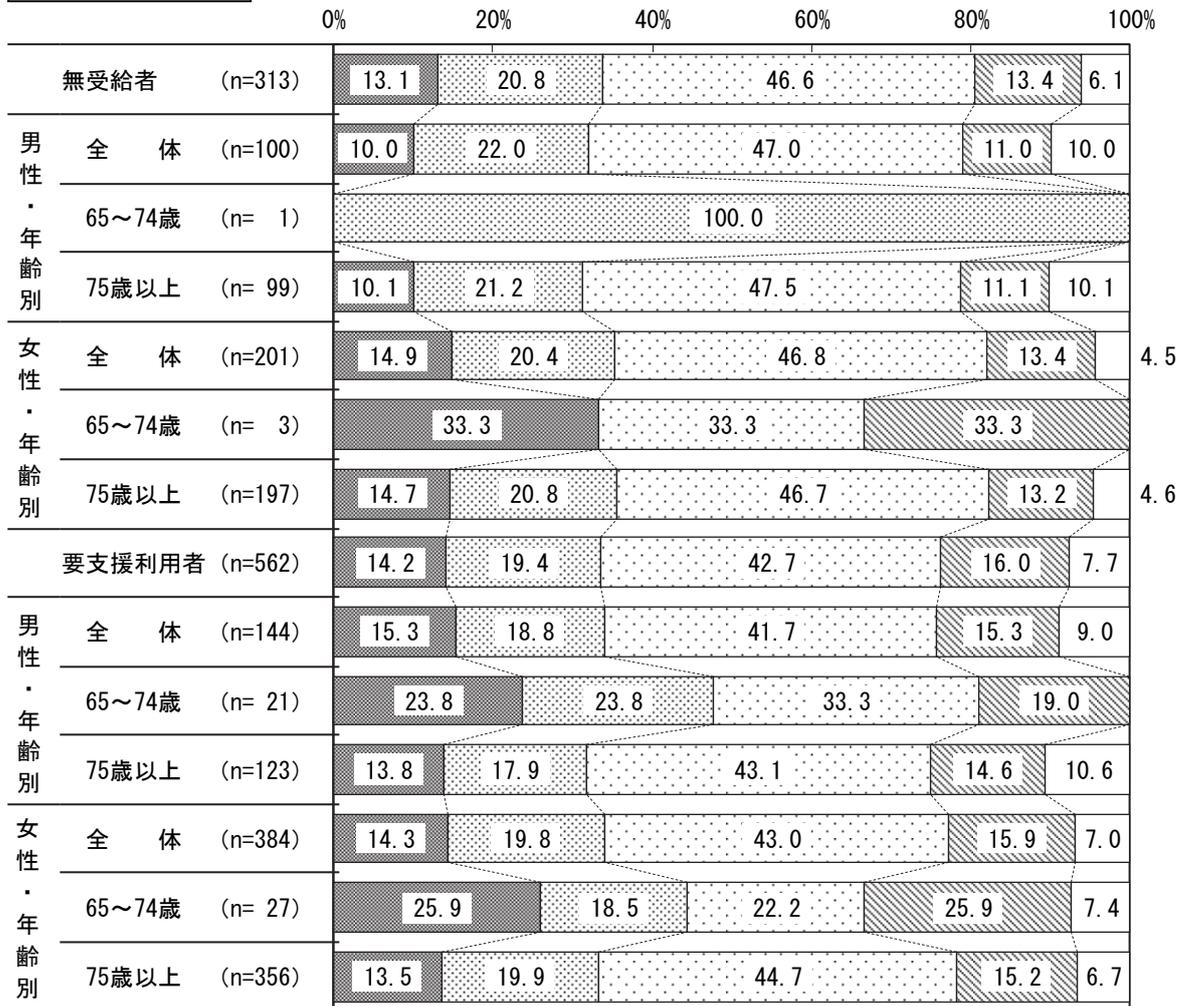


歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は20本以上」は、一般高齢者では56.5%、事業対象者では46.7%、介護保険サービスの無受給者では33.9%、要支援利用者では33.6%という順で低くなっています。一方、「入れ歯を利用」は、一般高齢者では47.1%、要支援利用者では56.9%、無受給者では59.7%、事業対象者では62.0%という順で高くなっています。これを性別にみると、事業対象者の「自分の歯は20本以上」では女性に比べて男性が10ポイント以上低くなっています。

図表4-23 歯の本数と入れ歯の利用状況



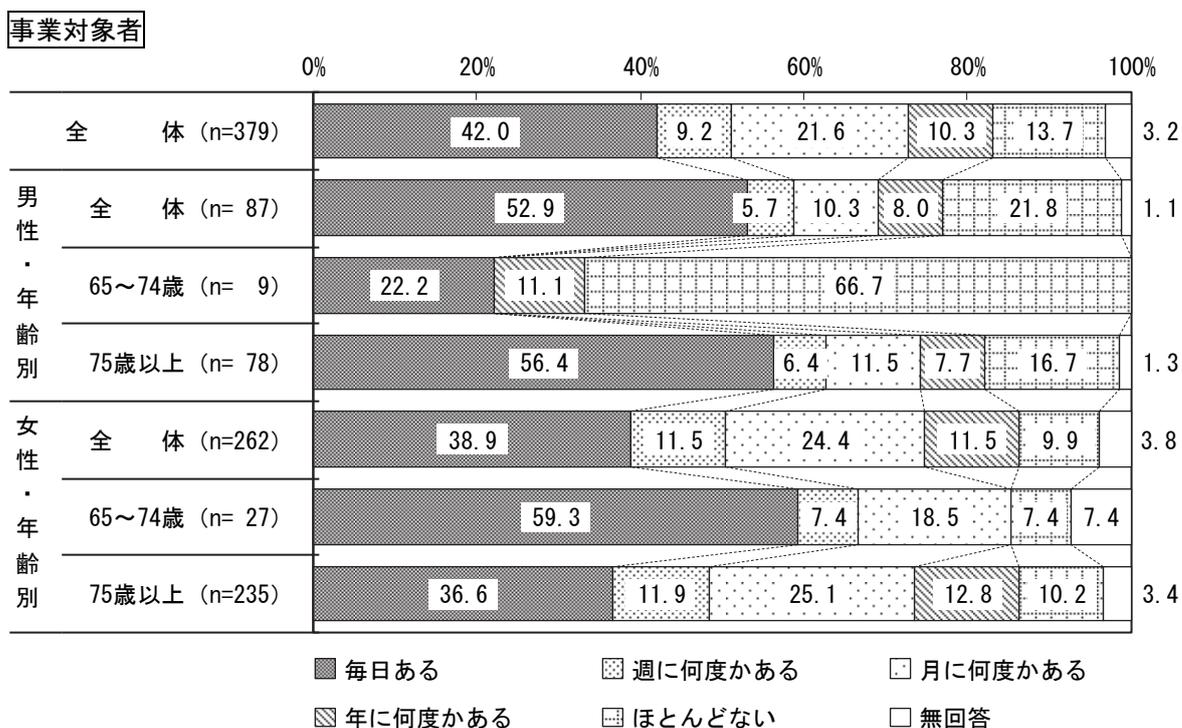
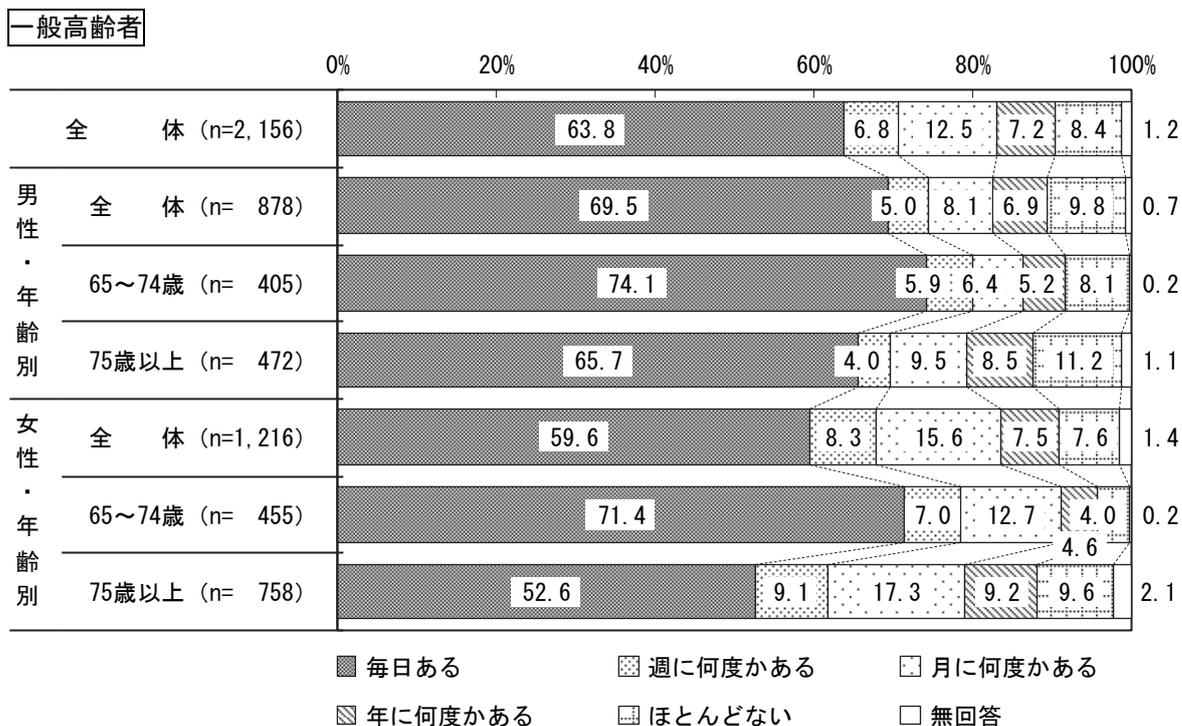
在宅要支援認定者等



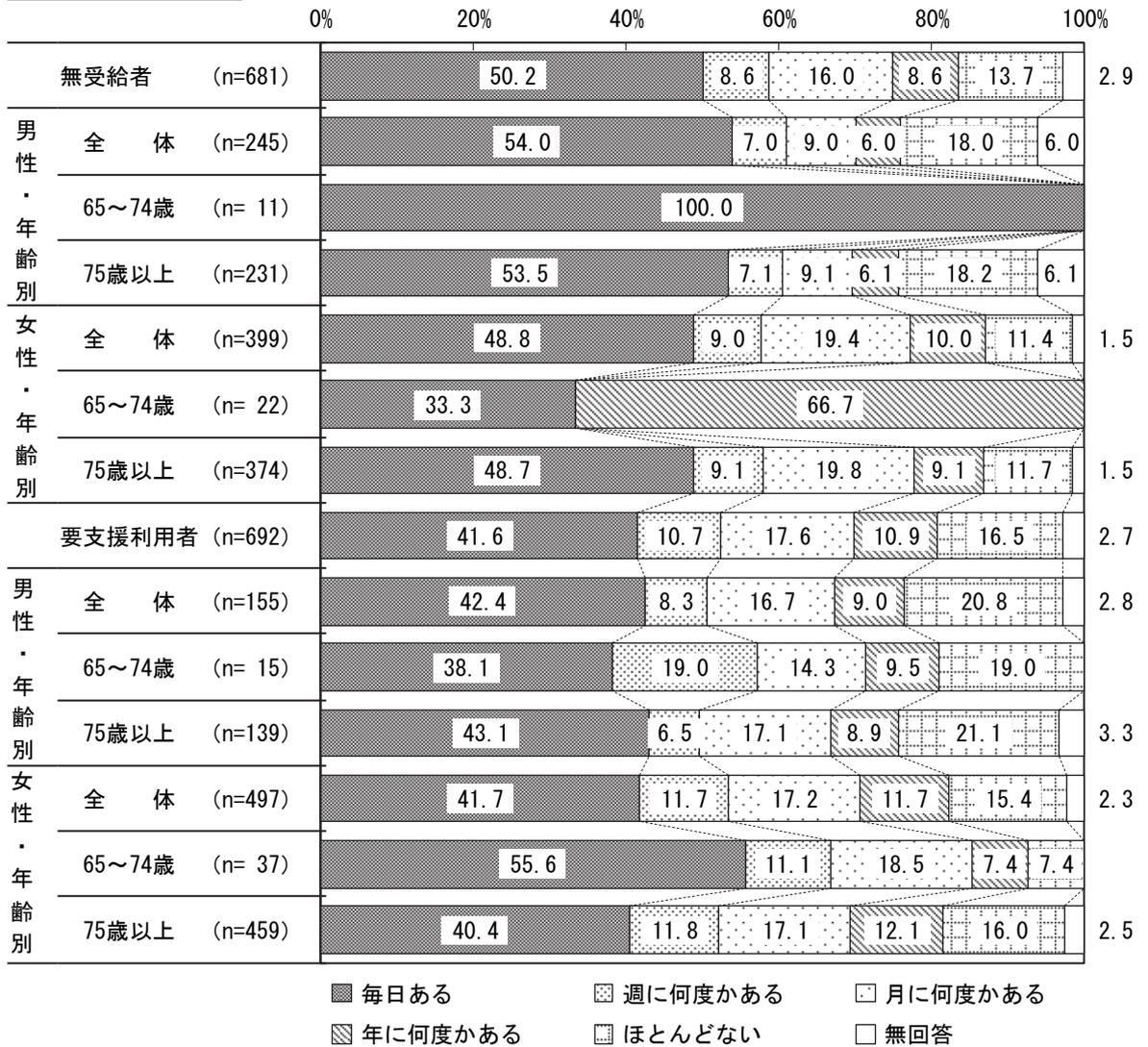
- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- ▨ 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯の利用なし
- ▤ 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- ▧ 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯の利用なし
- 無回答

だれかと一緒に食事をする機会について、「ほとんどない」は、一般高齢者では8.4%、事業対象者と介護保険サービスの無受給者では13.7%、要支援利用者では16.5%となっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が10ポイント以上高く、無受給者と要支援利用者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

図表4-24 だれかと一緒に食事をする機会



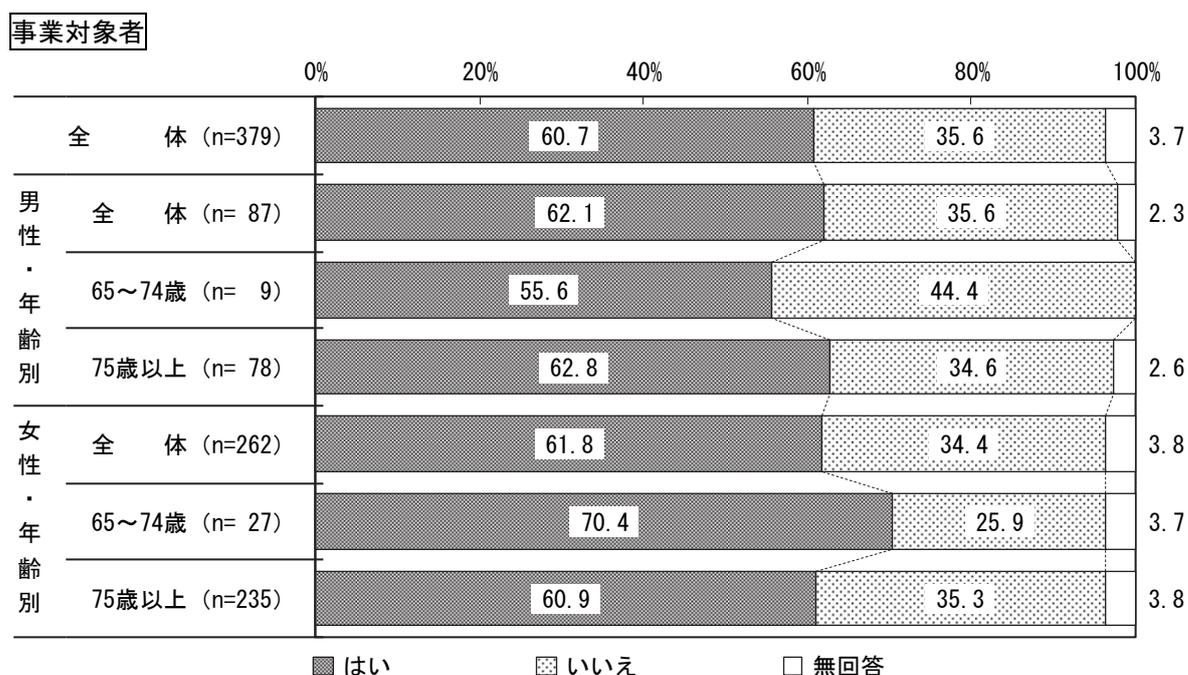
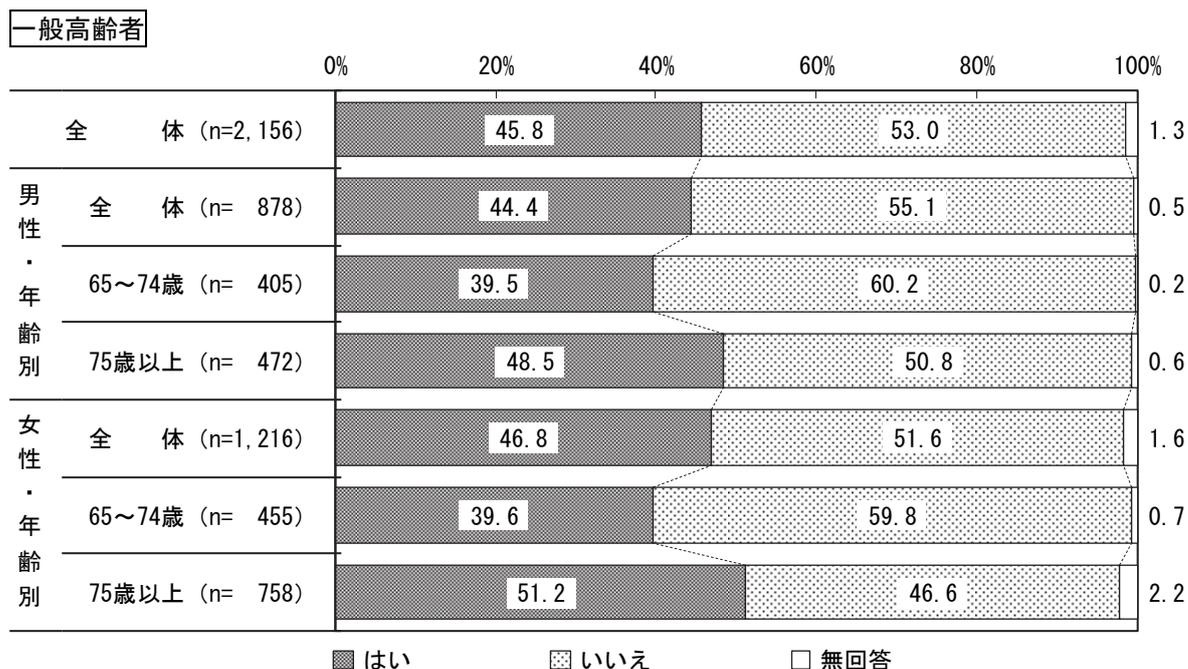
在宅要支援認定者等



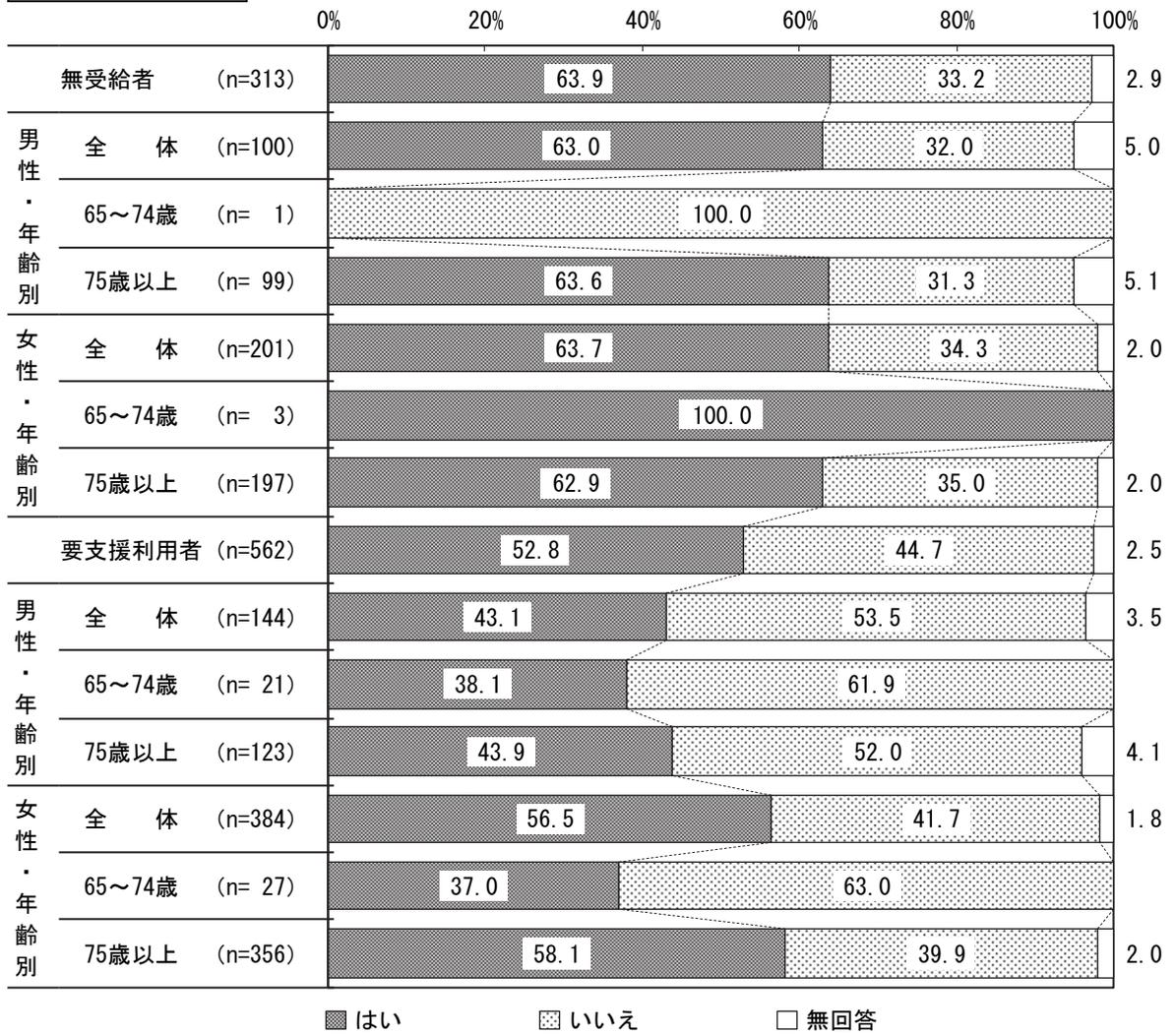
### 3 もの忘れ等について

「もの忘れが多いと感じますか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では45.8%、要支援利用者では52.8%、事業対象者では60.7%、介護保険サービスの無受給者では63.9%となっています。これを性別にみると、要支援利用者では男性に比べて女性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-25 もの忘れが多いか



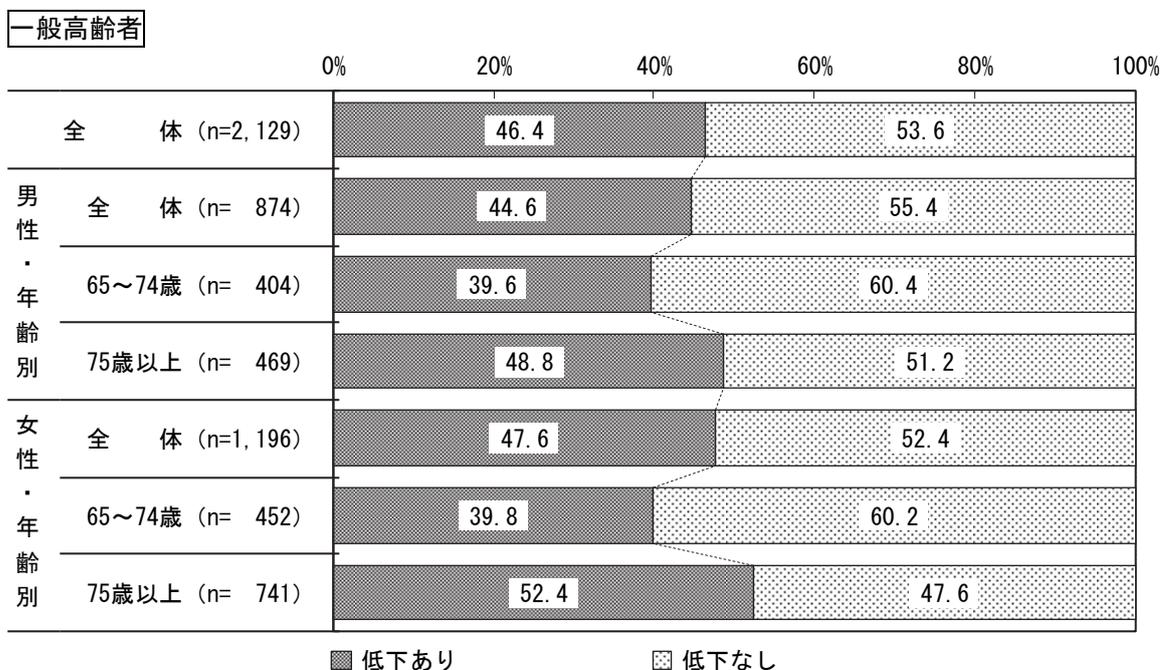
在宅要支援認定者等



「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によると、この設問で「はい」に回答した一般高齢者は、認知機能低下者とされています。

一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占める認知機能低下者をみると、46.4%が該当しています。これを性別にみても、大きな差異はみられません。

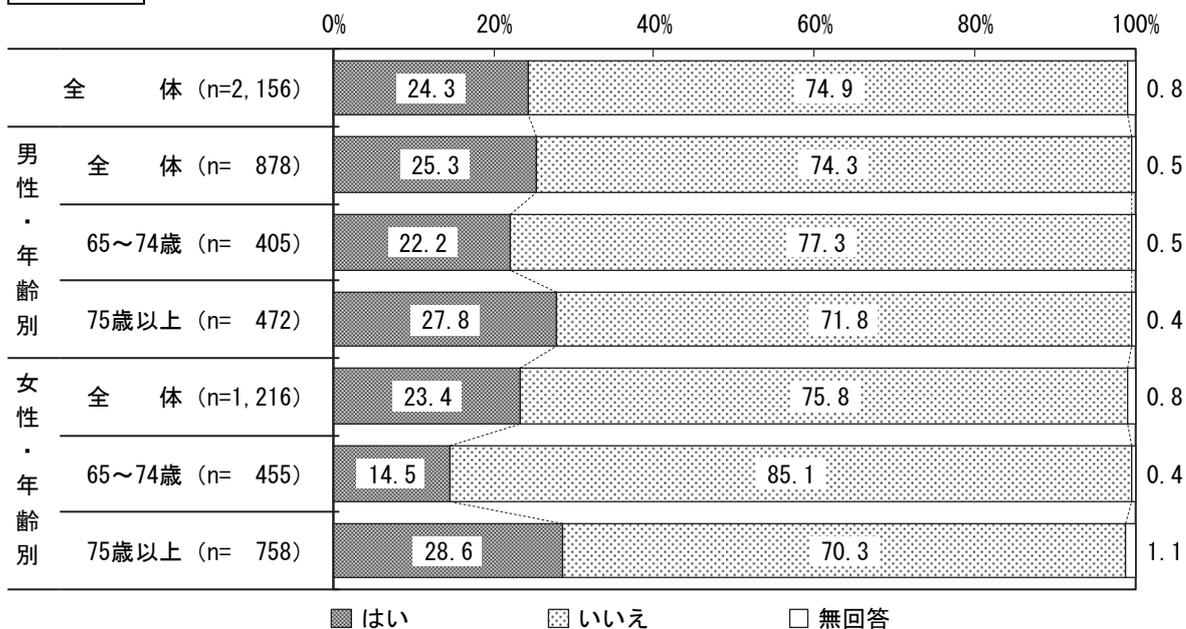
**図表 4-26** 認知機能低下者



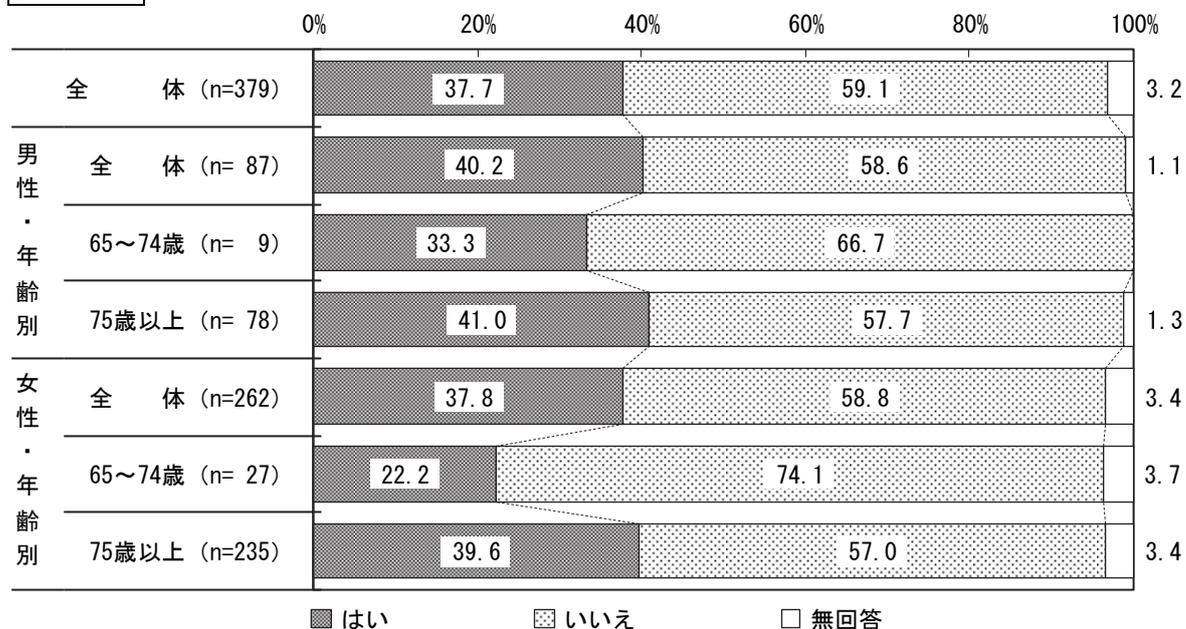
「今日が何月何日かわからない時がありますか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では24.3%、事業対象者では37.7%となっています。これを性別にみても、大きな差異はみられません。

図表4-27 今日の日付がわからないときがあるか

一般高齢者



事業対象者

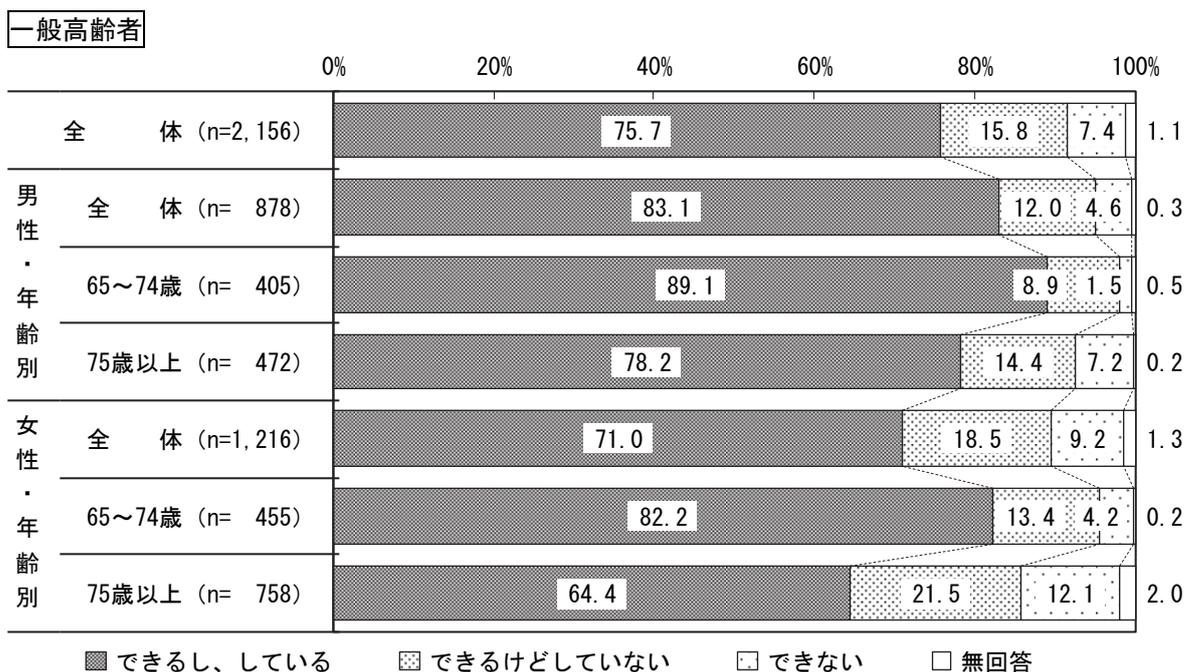


## 4 日常生活について

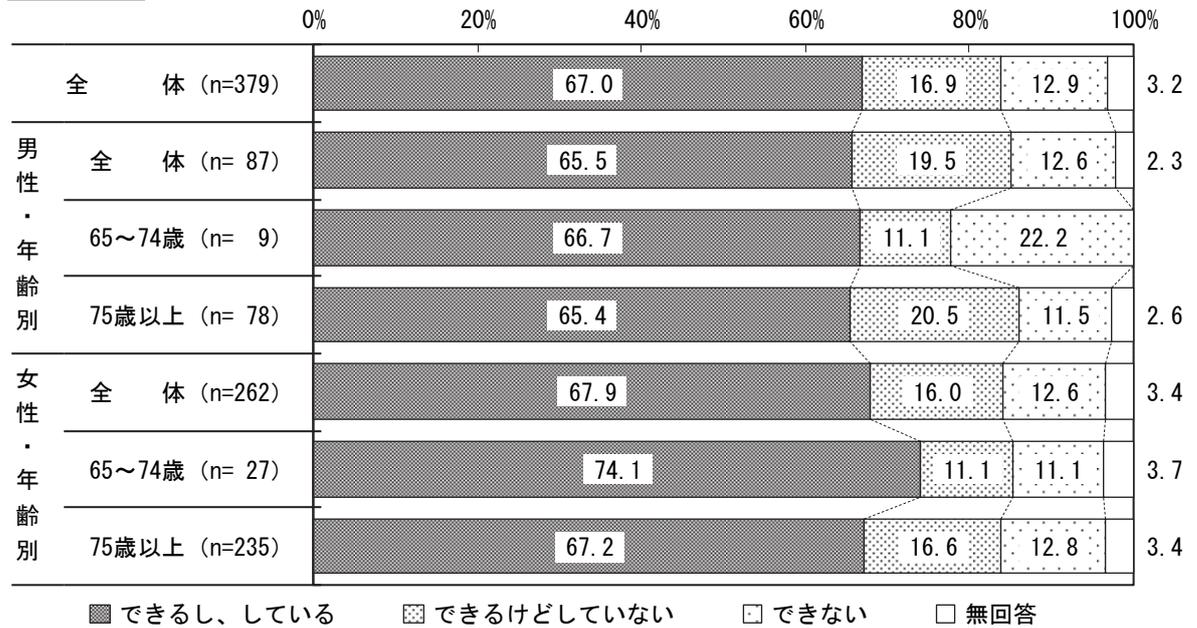
### (1) 買い物等

「バスや電車を使って1人で外出していますか」（自家用車でも可）という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では7.4%、事業対象者では12.9%、介護保険サービスの無受給者では47.6%、要支援利用者では48.2%となっています。これを性別にみると、無受給者と要支援利用者では男性に比べて女性が10ポイント以上高くなっています。

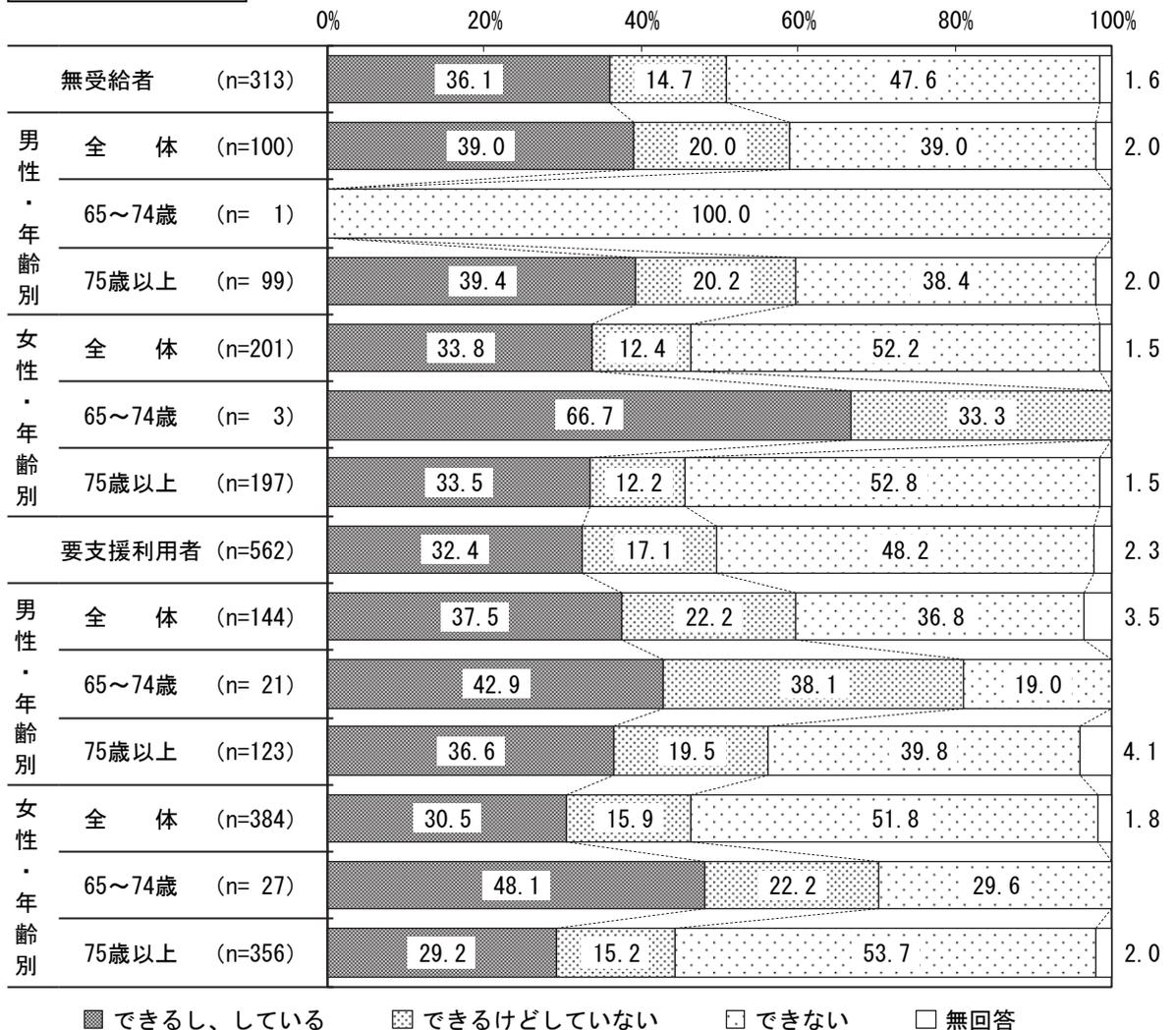
図表4-28 一人で電車や車で外出しているか



事業対象者

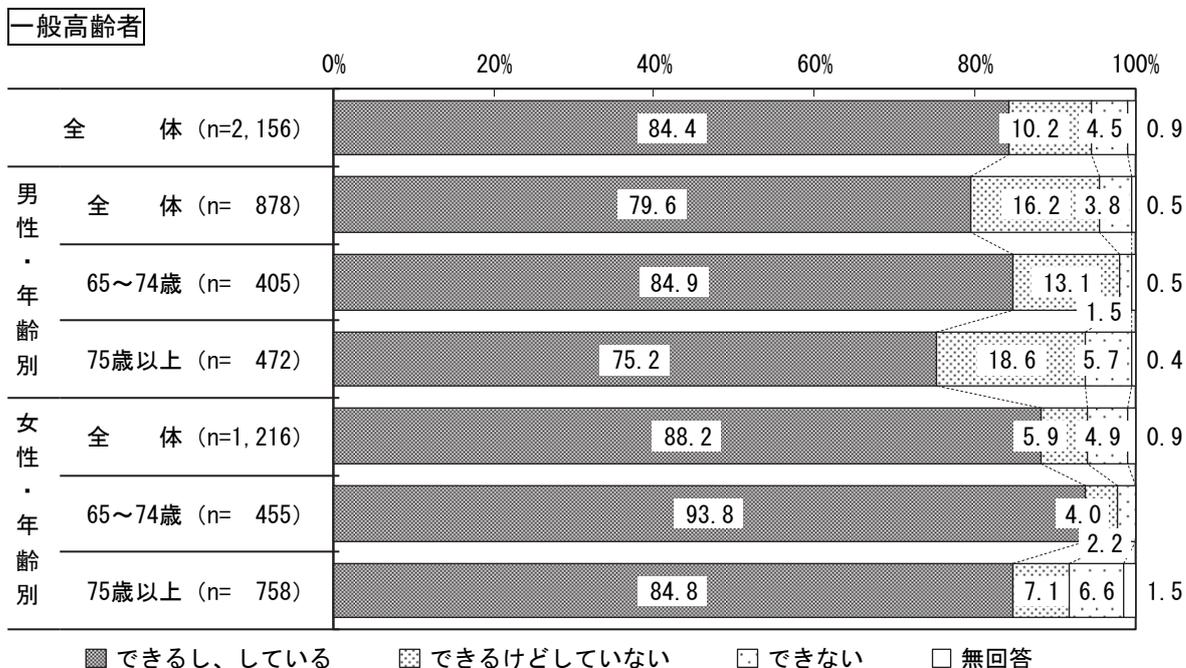


在宅要支援認定者等

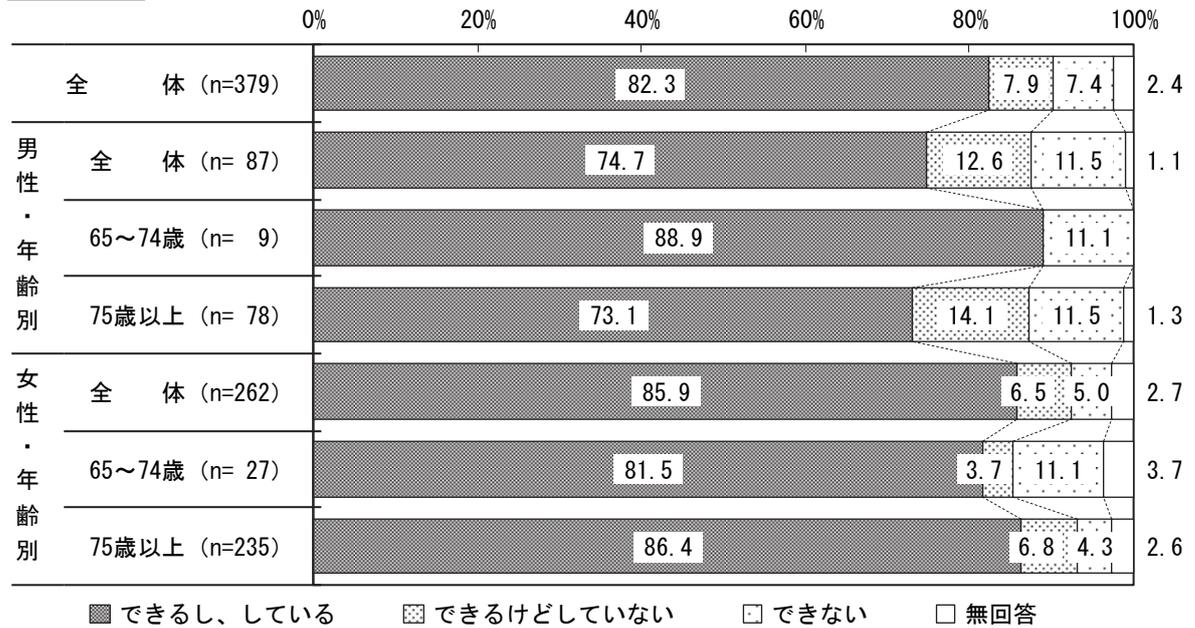


「自分で食品・日用品の買い物をしていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では4.5%、事業対象者では7.4%、介護保険サービスの無受給者では36.7%、要支援利用者では27.2%となっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

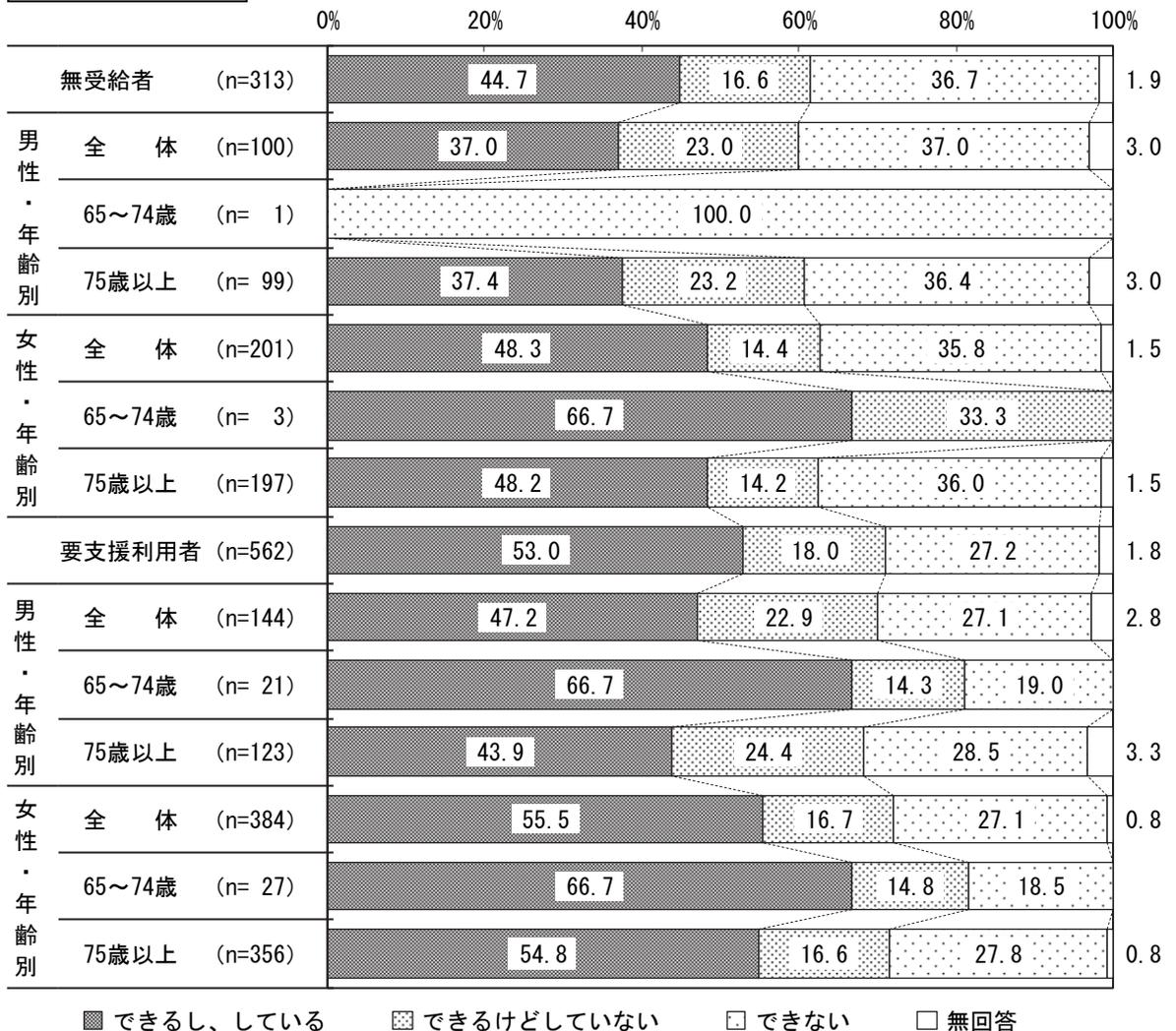
図表4-29 自分で食品・日用品の買い物をしているか



**事業対象者**

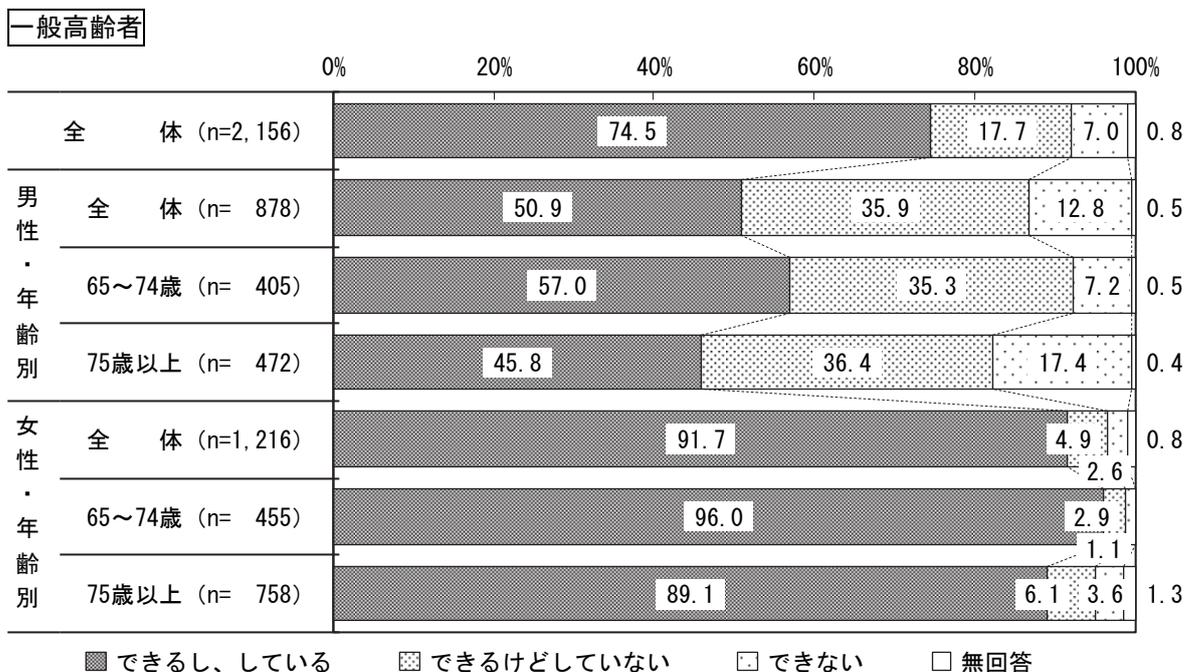


**在宅要支援認定者等**

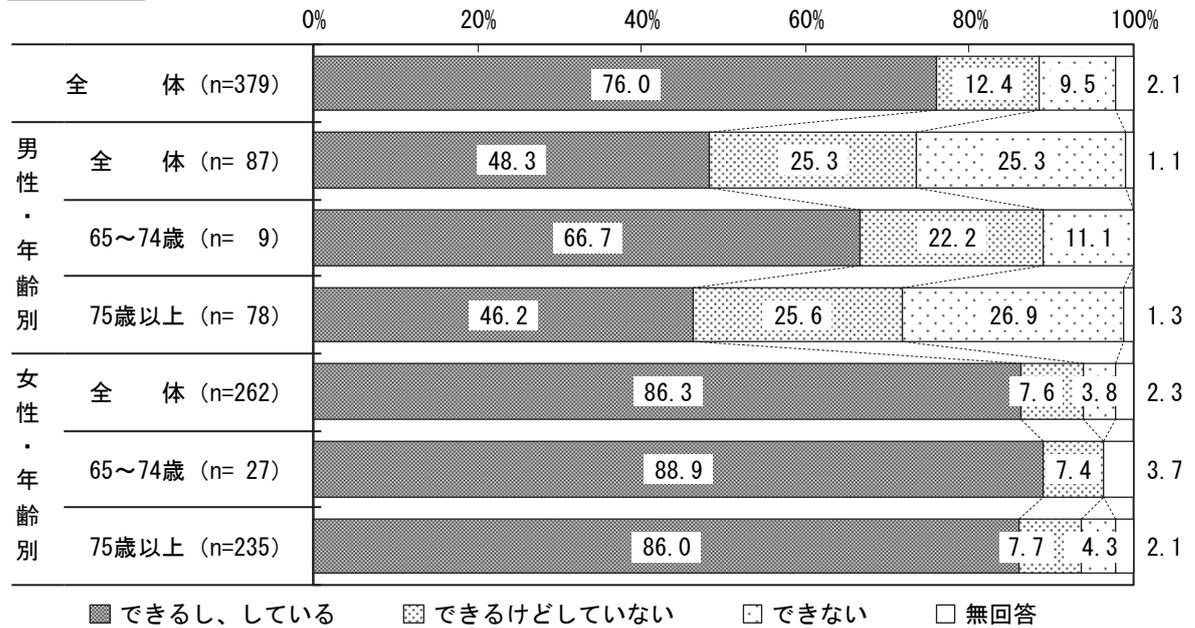


「自分で食事の用意をしていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では7.0%、事業対象者では9.5%、介護保険サービスの無受給者では34.2%、要支援利用者では20.6%となっています。これを性別にみると、一般高齢者では女性に比べて男性が10ポイント以上高く、事業対象者と無受給者、要支援利用者では女性に比べて男性が20ポイント以上高くなっています。

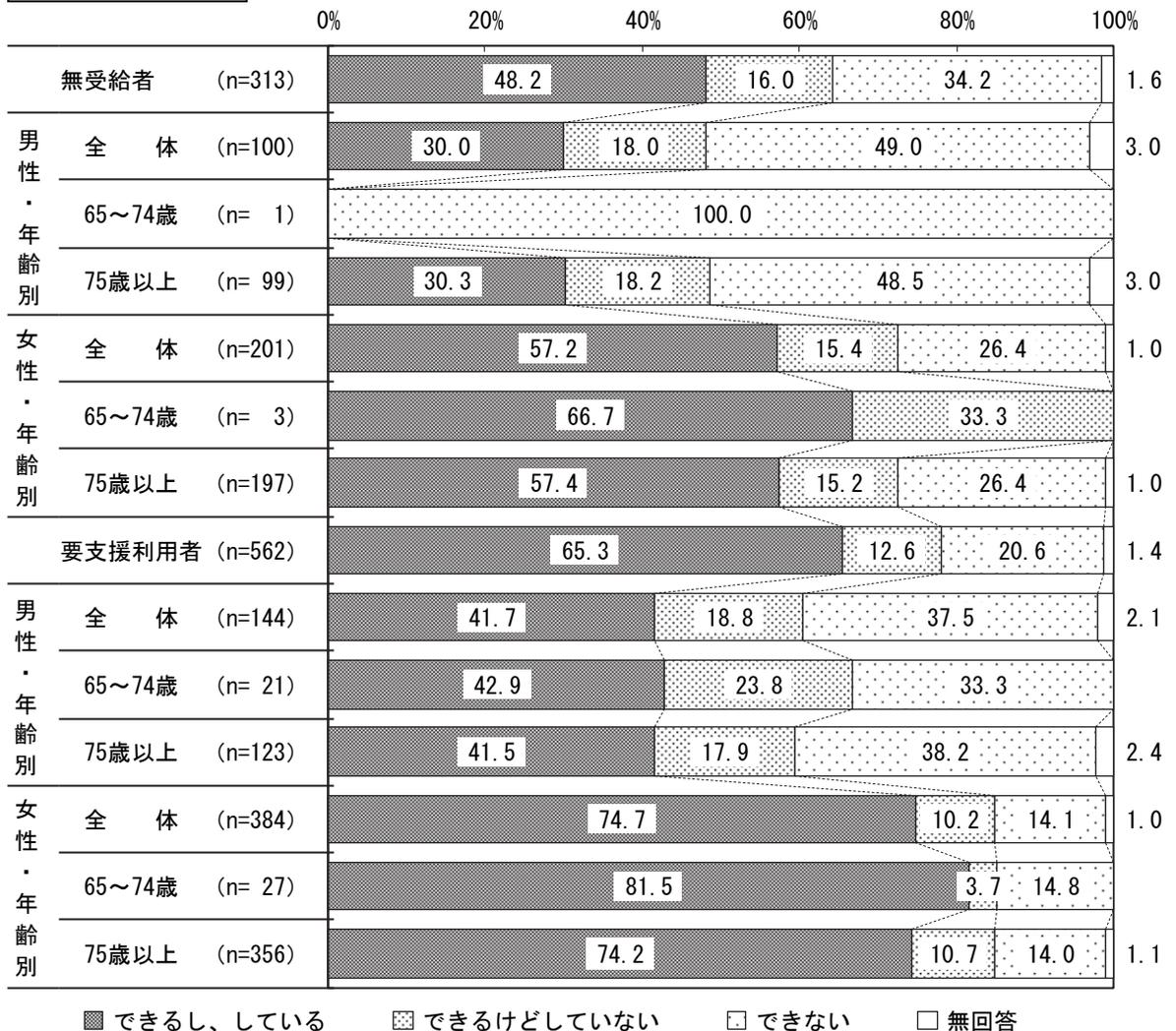
図表4-30 自分で食事の用意をしているか



事業対象者



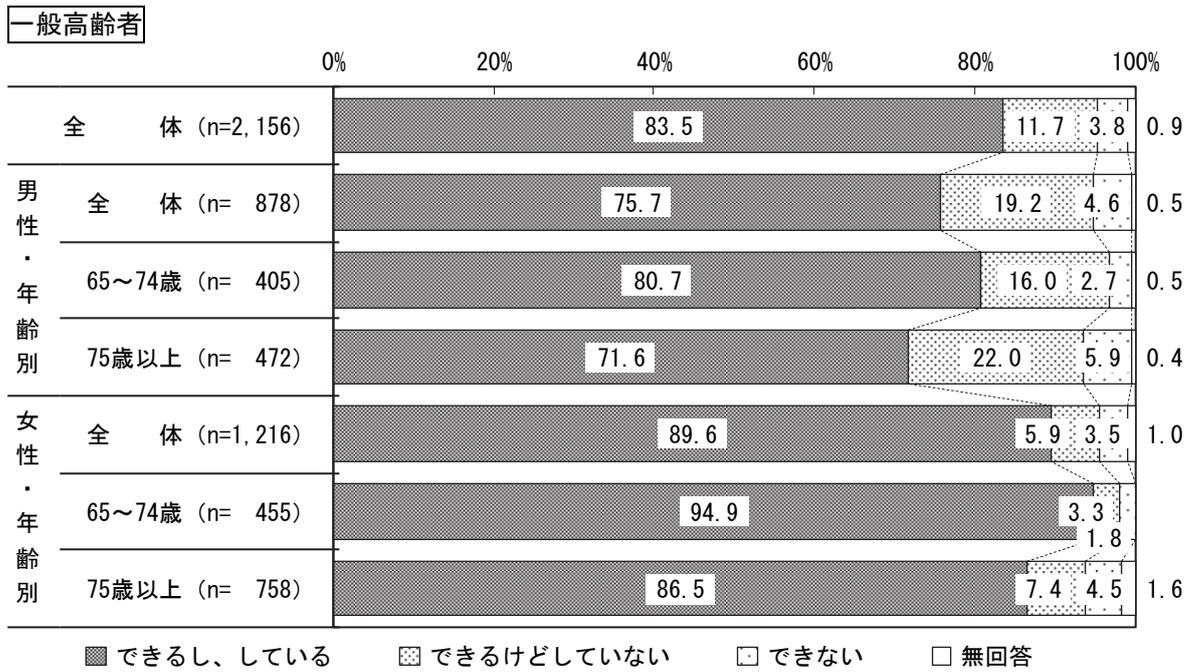
在宅要支援認定者等



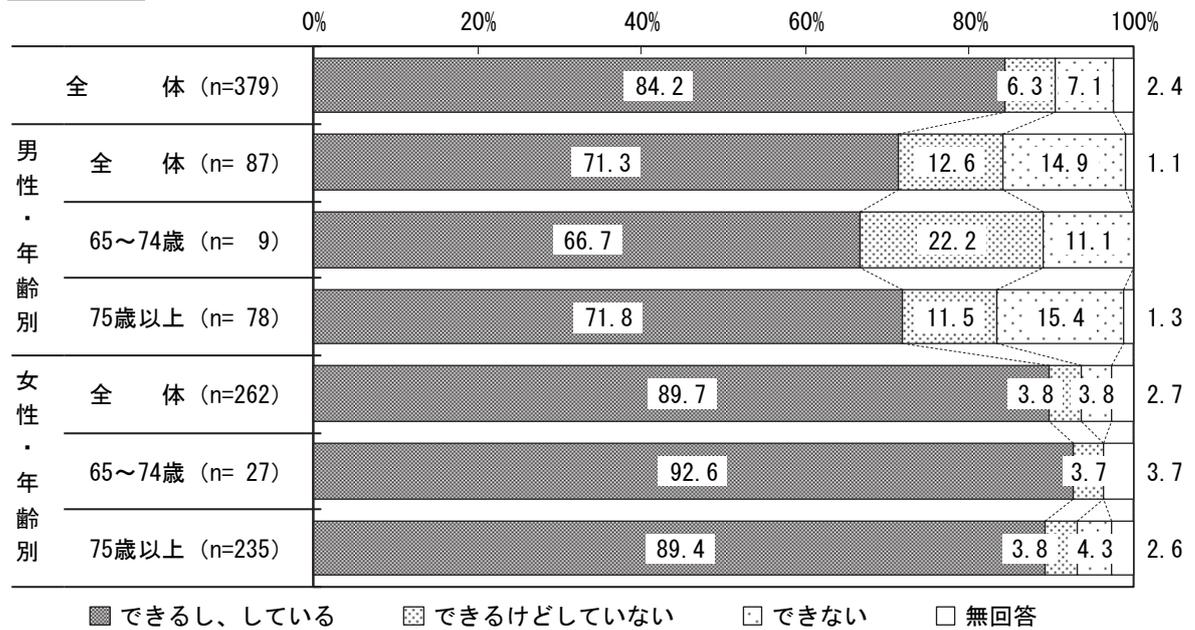
(2) 金銭管理

「自分で請求書の支払いをしていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では3.8%、事業対象者では7.1%、介護保険サービスの無受給者では31.9%、要支援利用者では14.6%となっています。これを性別にみると、事業対象者と無受給者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

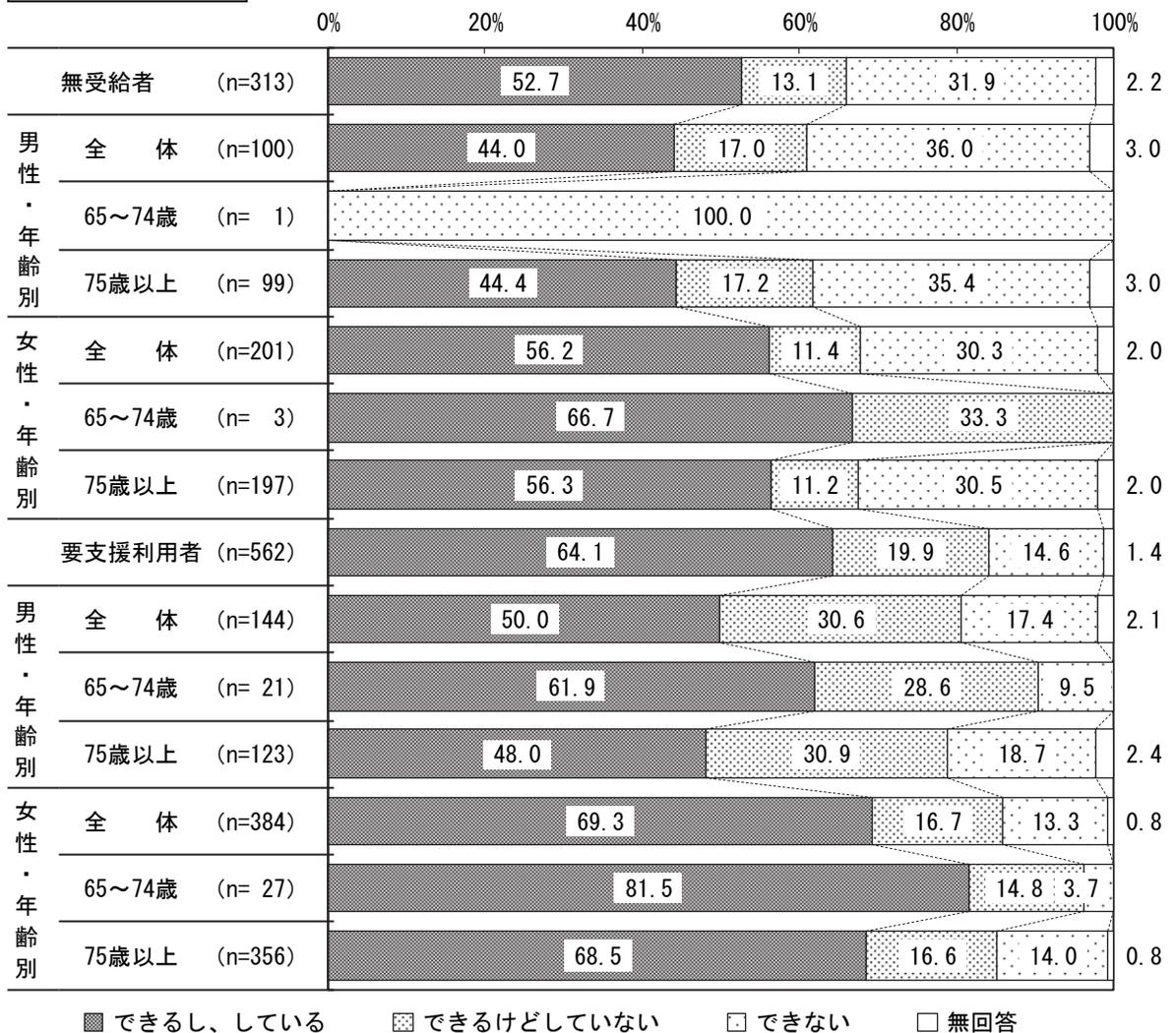
図表4-31 自分で請求書の支払いをしているか



事業対象者

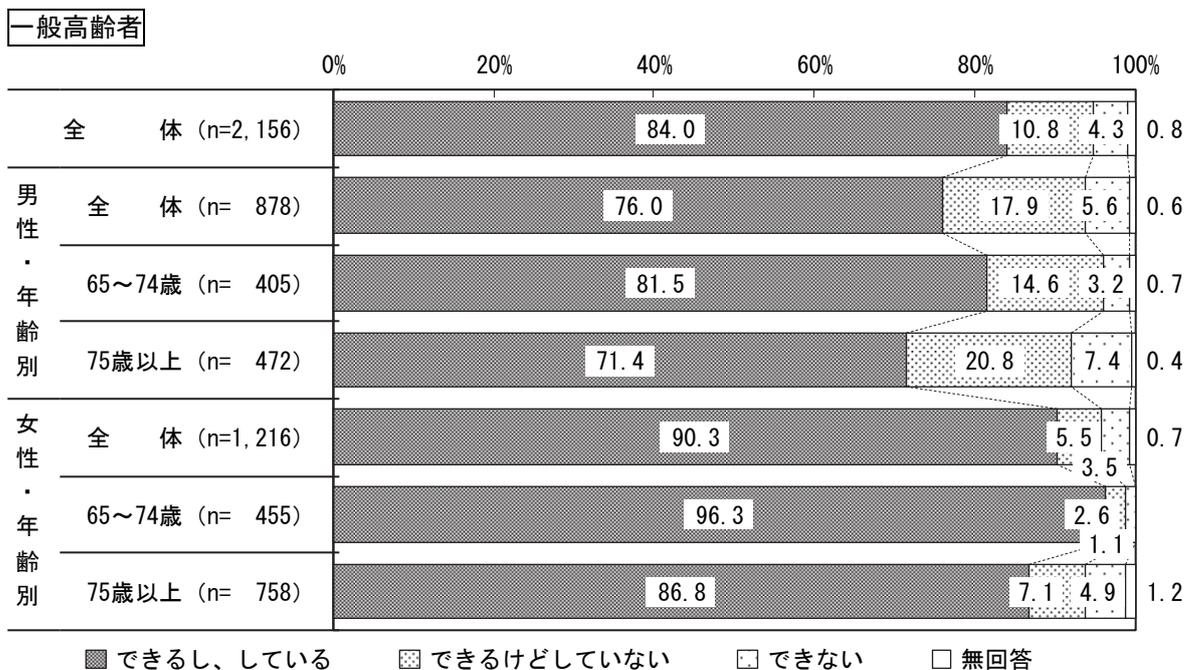


在宅要支援認定者等

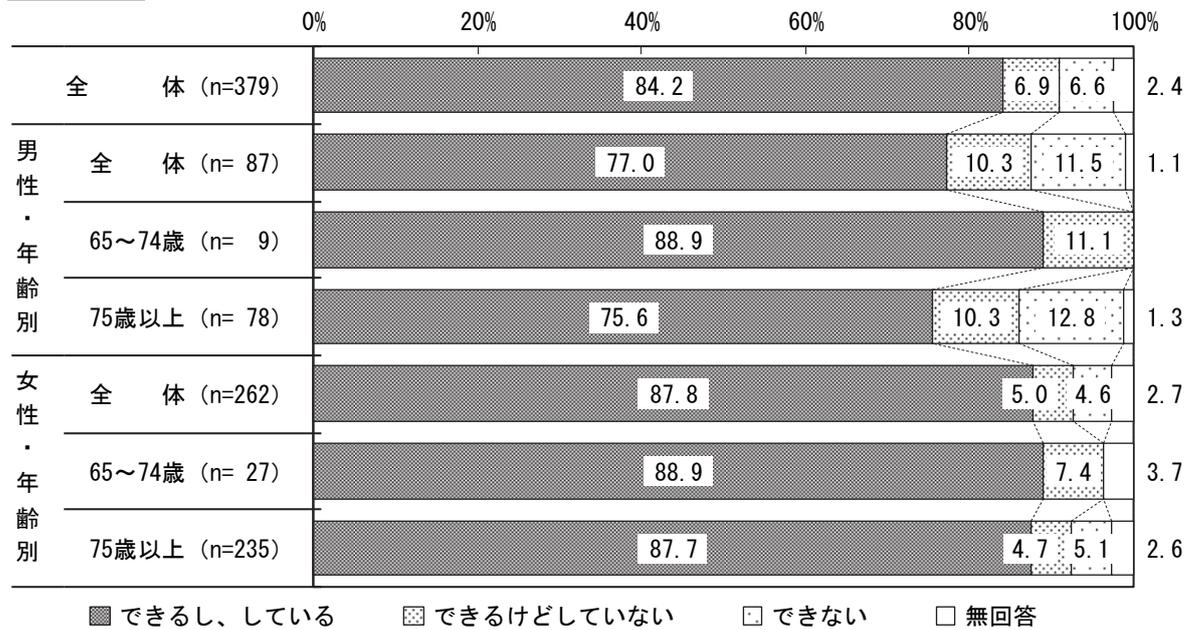


「自分で預貯金の出し入れをしていますか」という質問に対し、「できない」と答えた人は、一般高齢者では4.3%、事業対象者では6.6%、介護保険サービスの無受給者では27.8%、要支援利用者では13.3%と、請求書の支払い（131頁参照）と近似しています。これを性別にみると、事業対象者と無受給者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

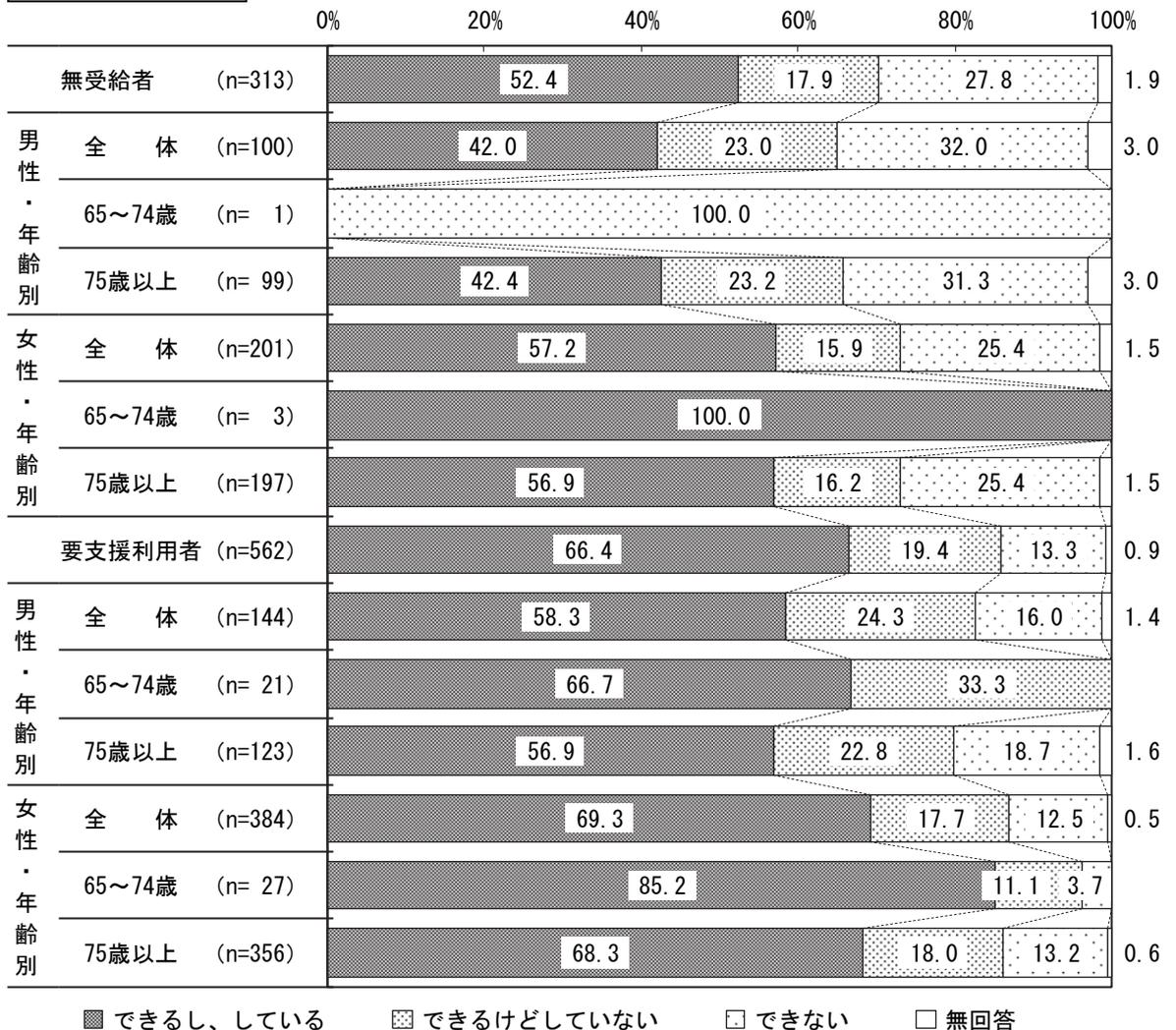
図表4-32 自分で預貯金の出し入れをしているか



事業対象者



在宅要支援認定者等

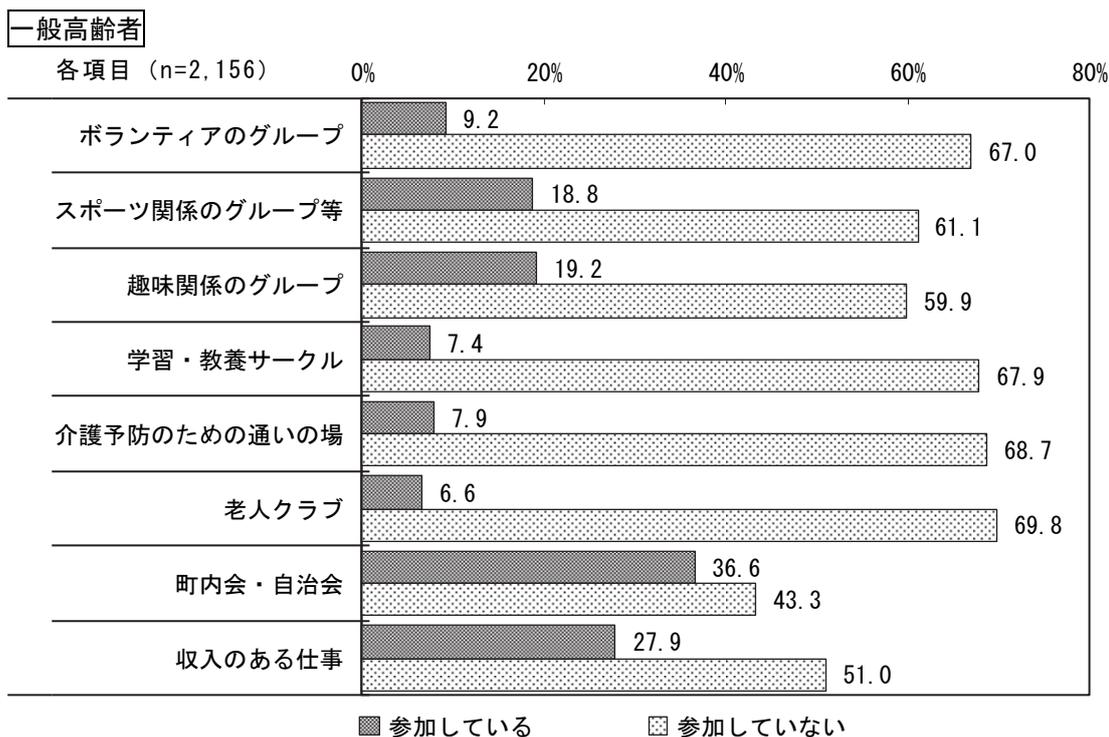


## 5 社会参加等について

### (1) グループ活動等への参加状況

グループ活動等への参加状況について、一般高齢者では、「参加している」は、「町内会・自治会」活動が36.6%と最も高く、男性は43.9%に及んでいます。これ以外の活動等は「参加していない」が50%を超えています。

図表4-33 グループ活動等への参加状況



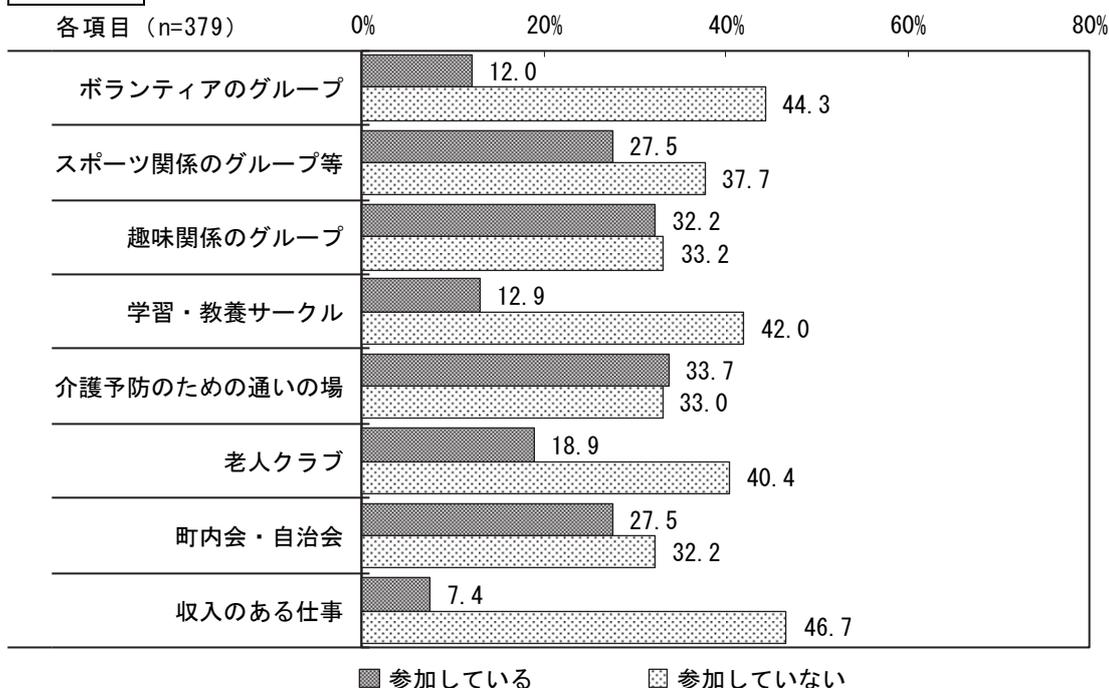
《参加している》性別・年齢別

(単位：%)

区 分		ボ ラ ン テ ィ ア の グ ル ー プ	ス ポ ー ツ 関 係 の グ ル ー プ 等	趣 味 関 係 の グ ル ー プ	学 習 ・ 教 養 サ ー ク ル	介 護 予 防 の た め の 通 い の 場	老 人 ク ラ ブ	町 内 会 ・ 自 治 会	収 入 の あ る 仕 事
男 性	全 体 (n= 878)	10.3	18.9	18.3	5.8	3.7	5.7	43.9	37.7
	65～74 歳 (n= 405)	10.7	22.3	18.7	6.6	3.4	2.6	49.6	57.3
	75 歳以上 (n= 472)	9.9	16.2	17.8	4.9	4.0	7.9	38.9	21.0
女 性	全 体 (n=1,216)	8.4	19.3	20.1	8.9	10.6	7.1	32.1	21.4
	65～74 歳 (n= 455)	8.5	22.4	22.8	10.1	5.9	3.0	39.8	37.3
	75 歳以上 (n= 758)	8.4	17.2	18.3	8.2	13.5	9.7	27.4	12.0

事業対象者では、「参加している」は、「介護予防のための通いの場」が 33.7%と最も高く、女性は 38.5%となっています。また、「趣味関係のグループ」活動も 32.2%あり、このほかにも、「スポーツ関係のグループ等」と「町内会・自治会」が 27.5%となっており、「参加していない」はすべての項目で 50%を下回っています。

**事業対象者**



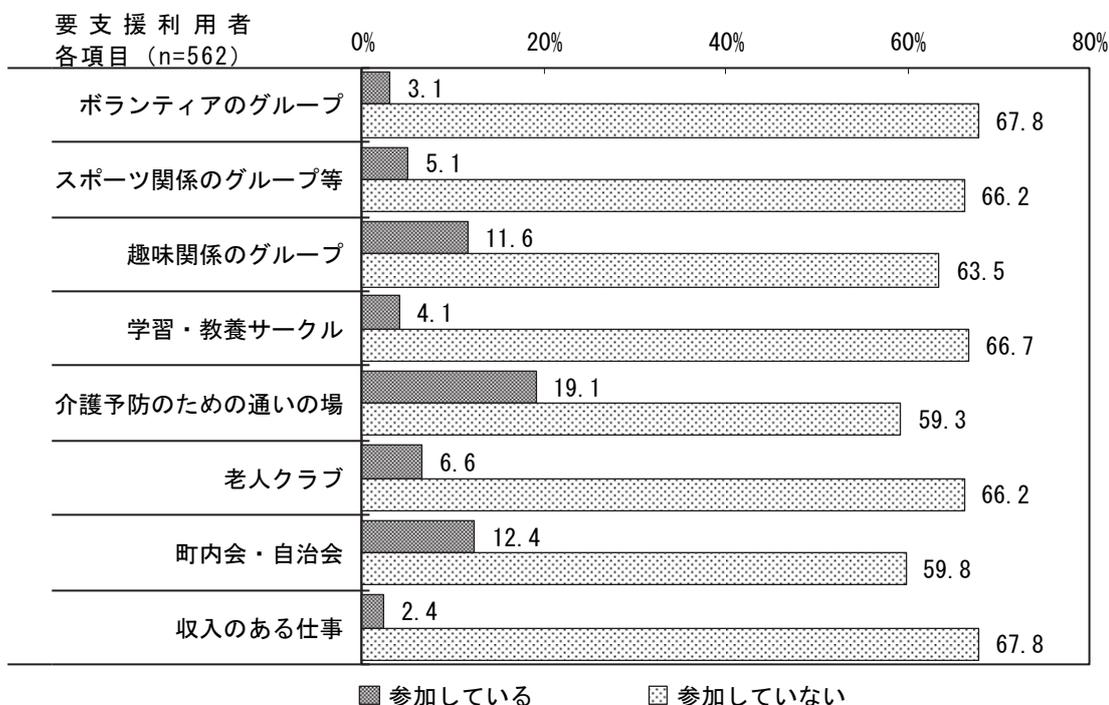
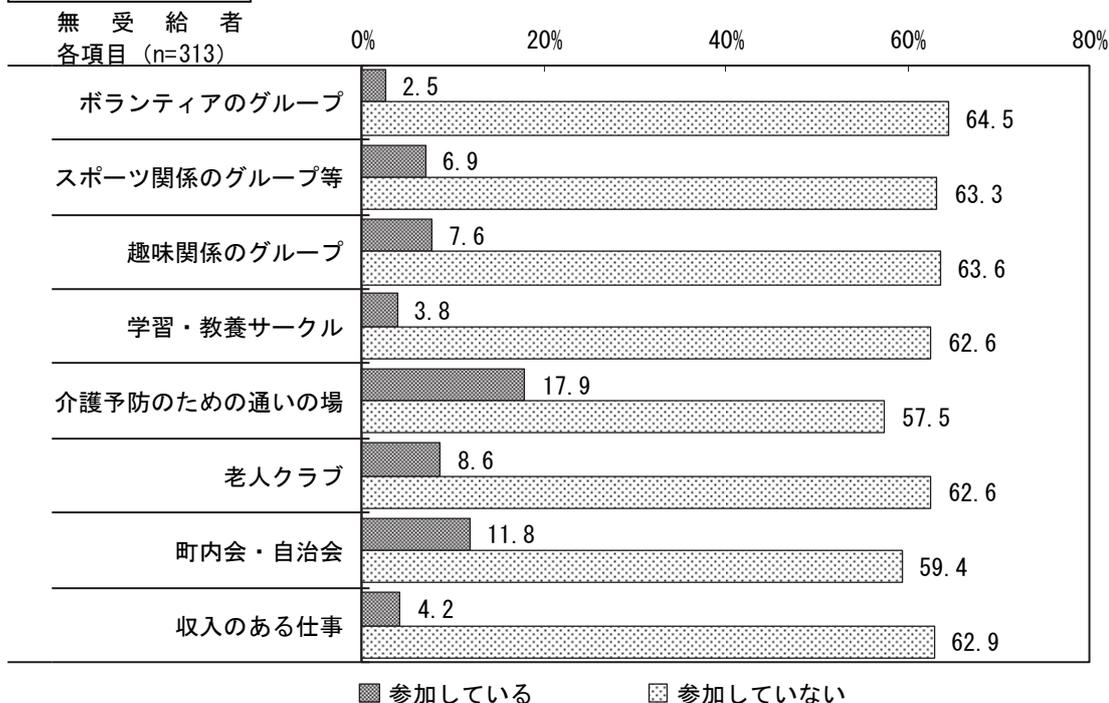
《参加している》性別・年齢別

(単位：%)

区 分		ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループ等	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	介護予防のための通いの場	老人クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事
男 性	全 体 (n= 87)	16.0	22.9	31.0	11.3	24.1	18.3	24.1	14.8
	65～74 歳 (n= 9)	22.2	0.0	11.1	22.2	11.1	22.2	11.1	44.4
	75 歳以上 (n= 78)	15.4	25.7	33.3	10.3	25.6	18.0	25.6	11.6
女 性	全 体 (n=262)	11.4	30.9	33.2	14.9	38.5	20.7	28.9	5.2
	65～74 歳 (n= 27)	22.2	40.7	40.7	33.3	55.5	18.5	29.6	18.5
	75 歳以上 (n=235)	10.3	29.8	32.4	12.9	36.7	20.8	29.0	3.9

介護保険サービスの無受給者と要支援利用者では、ほとんどの項目において「参加していない」が60%を占めています。なお、「参加している」は、無受給者、要支援利用者とも、「介護予防のための通いの場」(17.9%、19.1%)が最も高く、これを性別にみると、男性に比べて女性のほうが高くなっています。

**在宅要支援認定者等**



《参加している》性別・年齢別

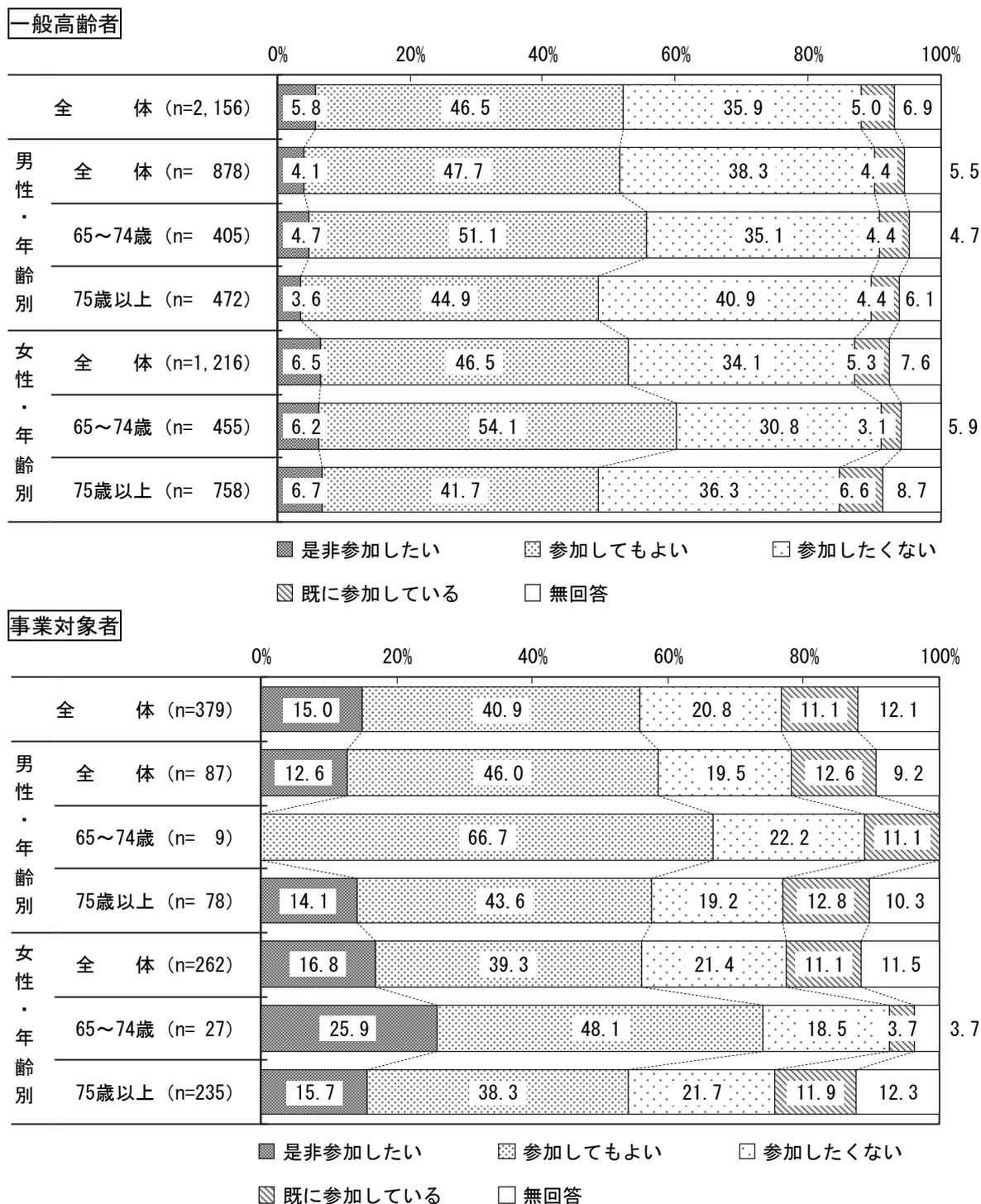
(単位：%)

区 分		ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループ等	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	介護予防のための通いの場	老人クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事
無受給者									
男 性	全 体 (n=100)	3.0	7.0	3.0	1.0	9.0	9.0	14.0	5.0
	65～74 歳 (n= 1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75 歳以上 (n= 99)	3.0	7.0	3.0	1.0	9.0	9.0	14.1	5.0
女 性	全 体 (n=201)	2.0	7.0	10.5	5.0	22.0	8.5	10.0	4.0
	65～74 歳 (n= 3)	0.0	33.3	33.3	0.0	66.6	33.3	0.0	66.6
	75 歳以上 (n=197)	2.0	6.5	10.1	5.0	21.4	8.0	10.1	3.0
要支援利用者									
男 性	全 体 (n=144)	3.5	4.2	12.6	3.5	14.0	6.3	13.9	4.2
	65～74 歳 (n= 21)	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	19.0	19.1
	75 歳以上 (n=123)	3.2	4.8	14.7	4.0	15.5	7.3	13.0	1.6
女 性	全 体 (n=384)	3.4	5.1	11.2	4.4	20.8	7.0	12.3	1.8
	65～74 歳 (n= 27)	11.1	3.7	3.7	7.4	11.1	0.0	7.4	7.4
	75 歳以上 (n=356)	2.9	5.3	11.8	3.9	21.3	7.6	12.4	1.5

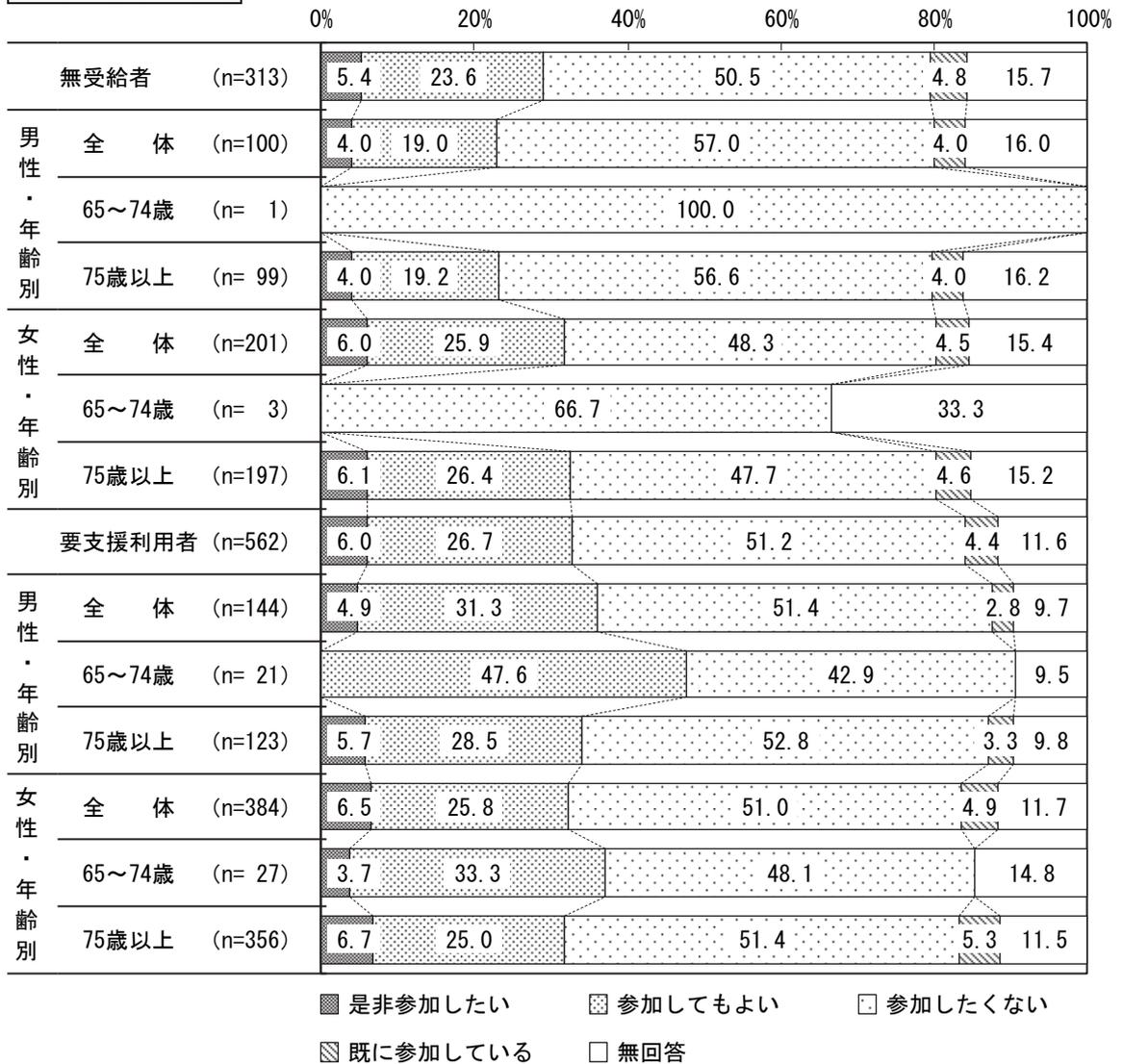
(2) グループ活動等への参加意向

地域住民有志による健康づくりや趣味等の地域づくり活動の参加者としての参加意向については、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせると、一般高齢者では52.3%、事業対象者では55.9%、介護保険サービスの無受給者では29.0%、要支援利用者では32.7%となっています。これを性別にみると、無受給者では男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

図表4-34 地域づくり活動の参加者としての参加意向



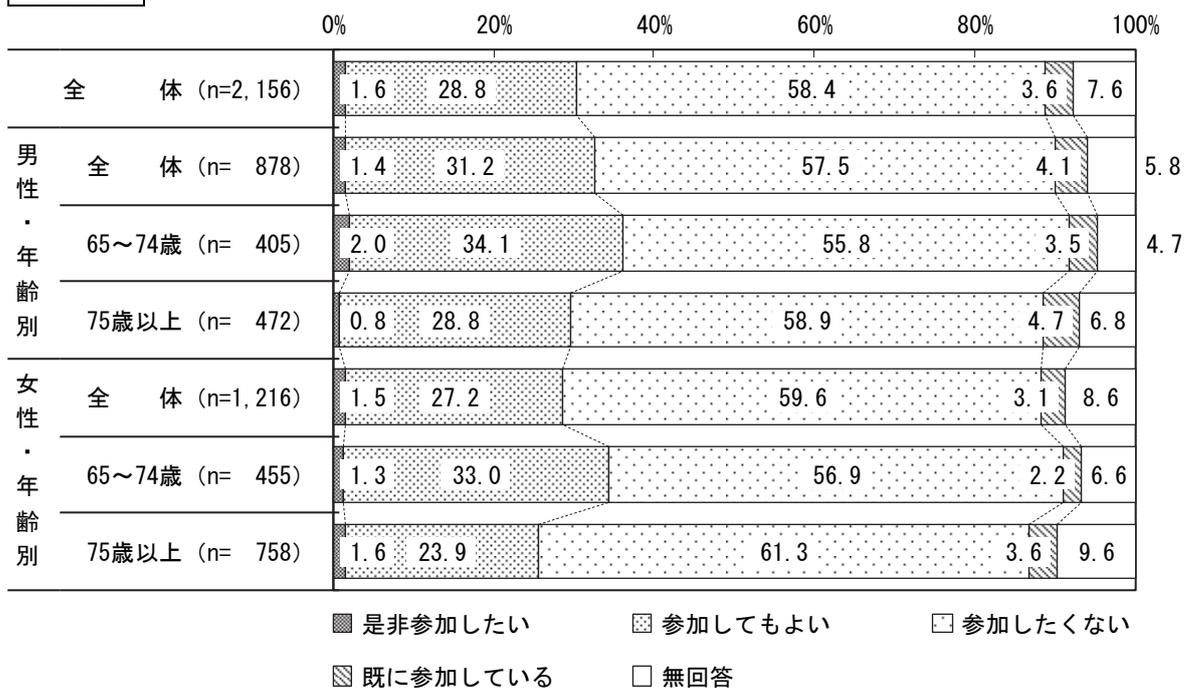
在宅要支援認定者等



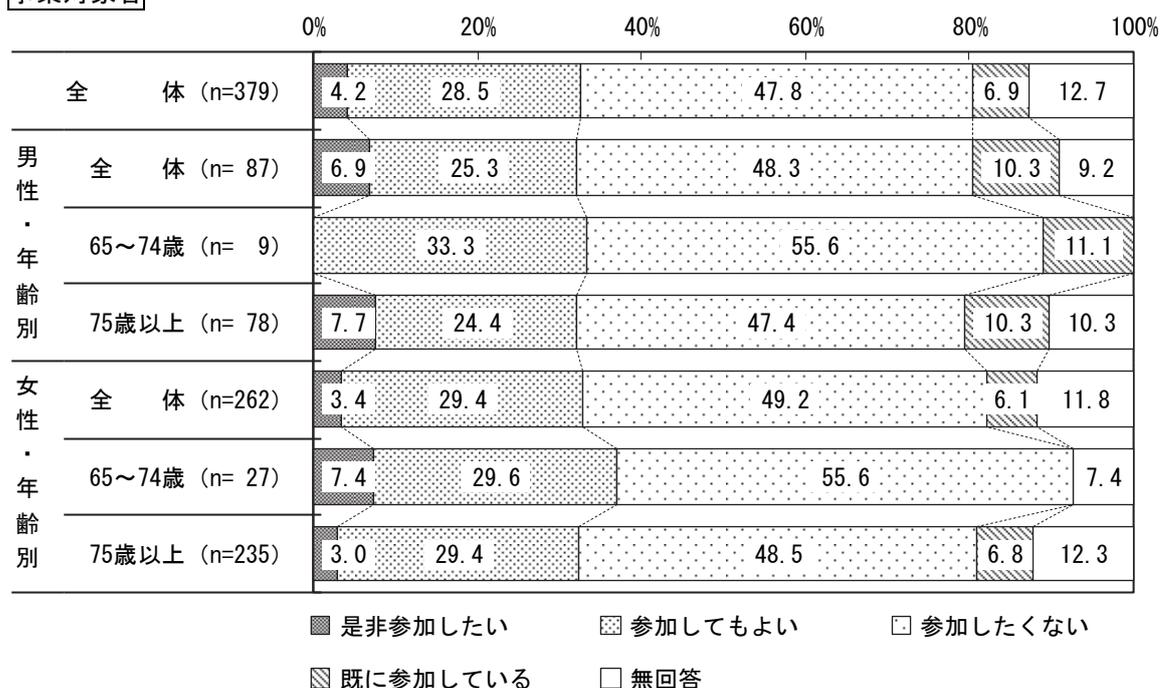
地域住民有志による健康づくりや趣味等の地域づくり活動の世話役（企画・運営を担当）としての参加意向については、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせると、一般高齢者では30.4%、事業対象者では32.7%、介護保険サービスの無受給者では14.7%、要支援利用者では15.4%となっています。これを性別にみても、大きな差異はみられません。

図表 4-35 地域づくり活動の世話役としての参加意向

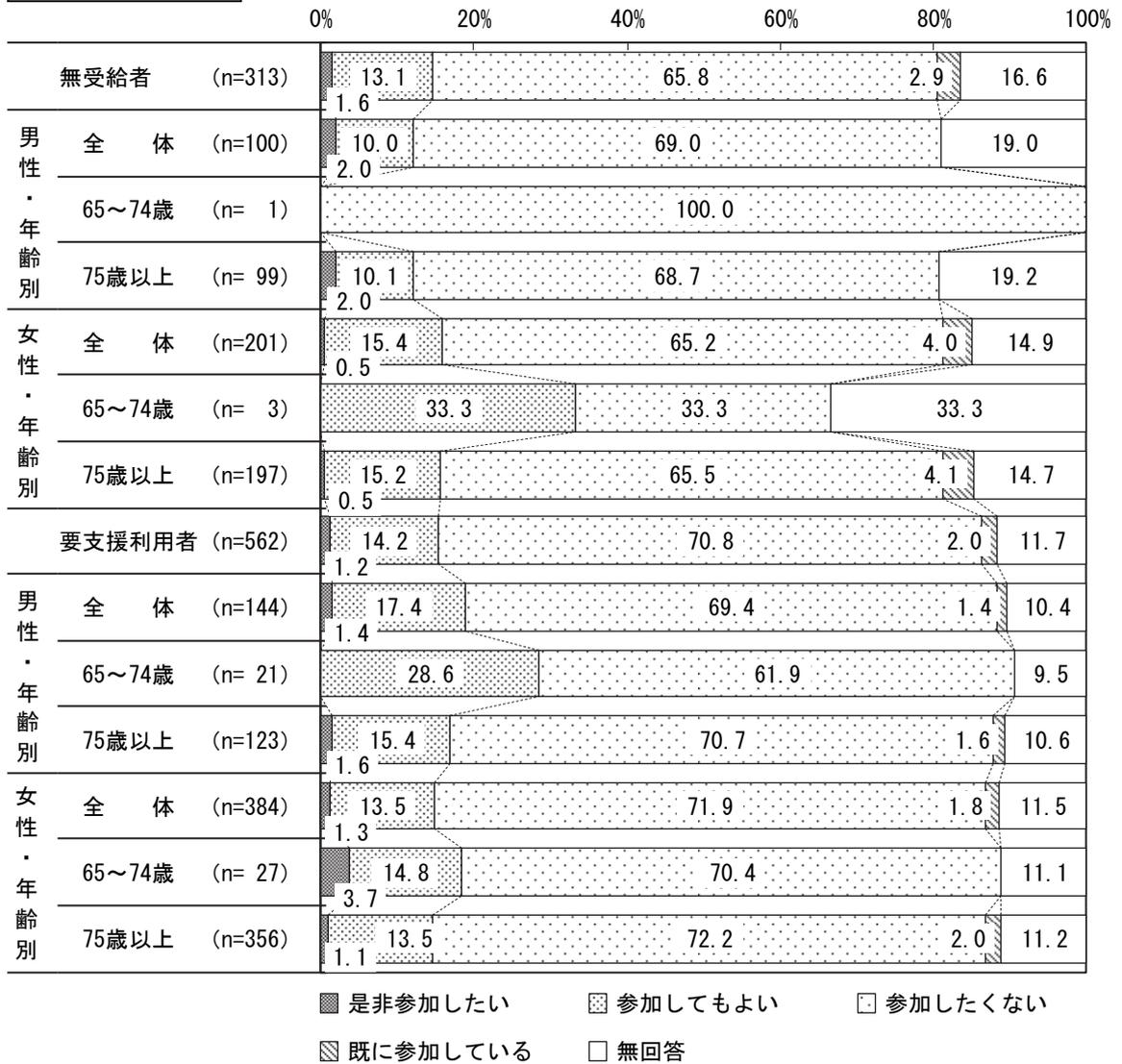
一般高齢者



事業対象者



在宅要支援認定者等

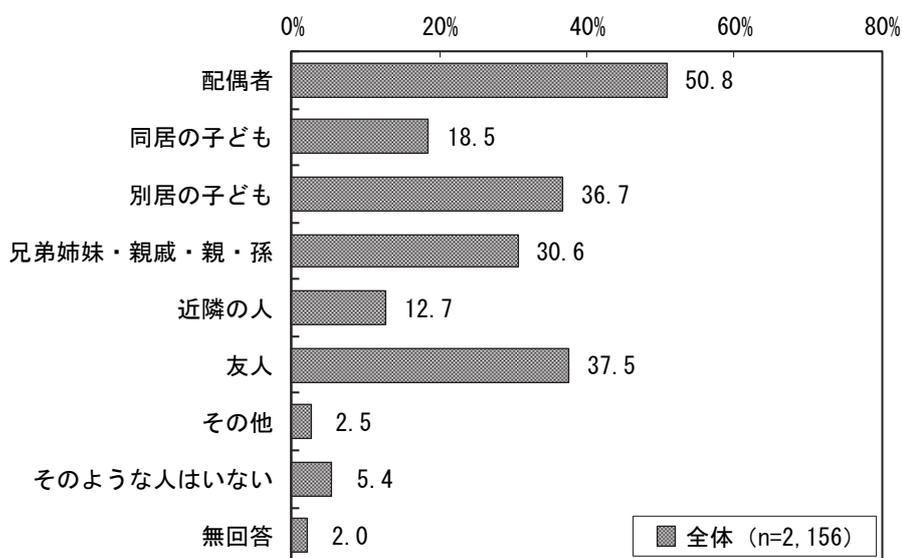


(3) たすけあい

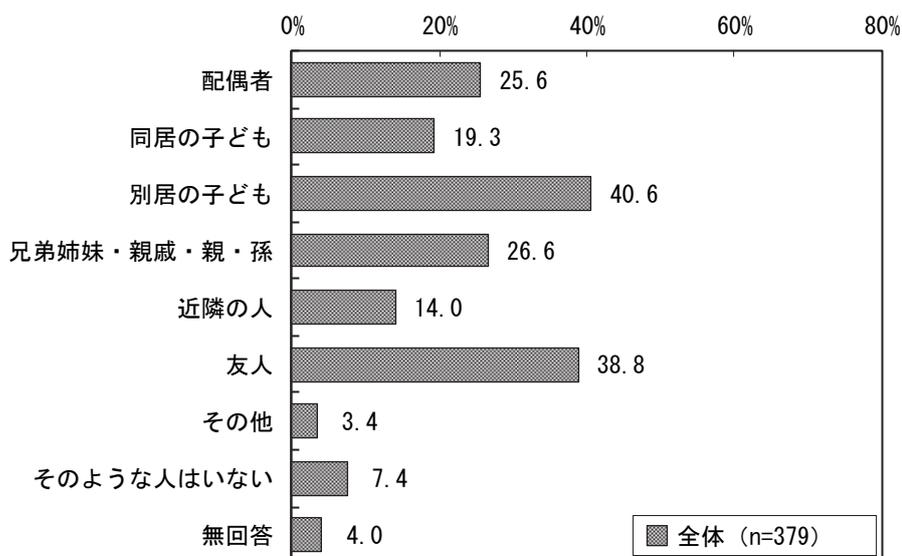
まわりの人との「たすけあい」に関し、まず、心配ごとなどを聞いてくれる相手についてたずねたところ、一般高齢者では「配偶者」が50%を超え、事業対象者と介護保険サービスの無受給者、要支援利用者では「別居の子ども」が最も高くなっています。家族・親戚以外では、「近隣の人」に比べて「友人」が高く、一般高齢者で37.5%、事業対象者で38.8%、無受給者で22.7%、要支援利用者で29.4%となっています。なお、「そのような人はいない」は、いずれにおいても10%を下回っています。

図表4-36 心配ごとなどを聞いてくれる人（複数回答）

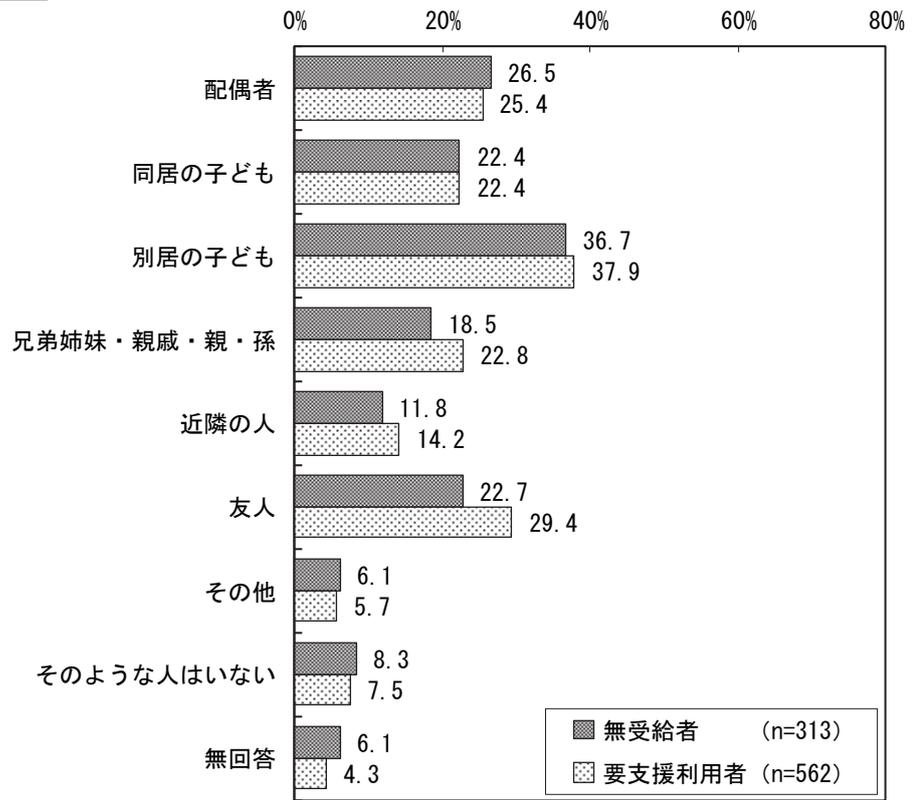
一般高齢者



事業対象者



在宅要支援認定者等



性別にみると、いずれにおいても、「配偶者」は女性に比べて男性のほうが、また、「別居の子ども」と「友人」は男性に比べて女性のほうが高くなっています。

図表4-37 心配ごとなどを聞いてくれる人（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n= 878)	70.5	12.0	26.1	22.1	7.3	26.1	2.3	8.0	1.5
	65～74 歳 (n= 405)	71.9	11.9	21.7	23.2	5.7	30.6	3.7	7.4	0.7
	75 歳以上 (n= 472)	69.5	12.1	29.9	21.2	8.7	22.2	1.1	8.3	2.1
女 性	全 体 (n=1,216)	36.8	23.2	44.4	37.1	16.4	45.9	2.6	3.6	2.4
	65～74 歳 (n= 455)	51.4	20.0	46.2	35.6	13.4	53.4	2.9	3.1	1.5
	75 歳以上 (n= 758)	28.1	25.2	43.4	37.9	18.3	41.6	2.5	4.0	2.9

事業対象者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n= 87)	46.0	9.2	25.3	23.0	5.7	21.8	3.4	13.8	6.9
	65～74 歳 (n= 9)	33.3	-	-	22.2	11.1	22.2	-	55.6	-
	75 歳以上 (n= 78)	47.4	10.3	28.2	23.1	5.1	21.8	3.8	9.0	7.7
女 性	全 体 (n=262)	18.7	23.3	46.2	28.6	17.9	44.7	3.8	5.3	2.3
	65～74 歳 (n= 27)	40.7	18.5	37.0	18.5	25.9	55.6	7.4	7.4	-
	75 歳以上 (n=235)	16.2	23.8	47.2	29.8	17.0	43.4	3.4	5.1	2.6

在宅要支援認定者等

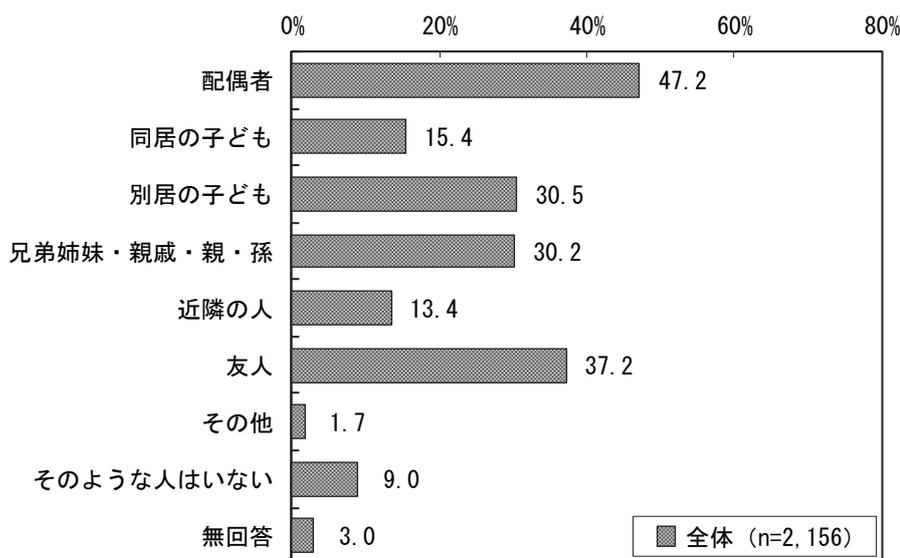
(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
無受給者										
男 性	全 体 (n=100)	50.0	15.0	34.0	12.0	6.0	7.0	7.0	11.0	6.0
	65～74 歳 (n= 1)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	75 歳以上 (n= 99)	49.5	15.2	34.3	12.1	6.1	7.1	7.1	11.1	6.1
女 性	全 体 (n=201)	15.4	25.9	39.3	21.9	15.4	31.8	6.0	6.0	5.5
	65～74 歳 (n= 3)	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	33.3
	75 歳以上 (n=197)	15.2	26.4	39.6	21.3	15.7	31.5	6.1	6.1	5.1
要支援利用者										
男 性	全 体 (n=144)	47.9	18.1	29.2	10.4	5.6	17.4	6.9	9.0	4.2
	65～74 歳 (n= 21)	61.9	14.3	14.3	28.6	4.8	42.9	4.8	-	-
	75 歳以上 (n=123)	45.5	18.7	31.7	7.3	5.7	13.0	7.3	10.6	4.9
女 性	全 体 (n=384)	17.7	24.7	42.4	27.6	18.8	32.3	5.2	7.3	3.6
	65～74 歳 (n= 27)	44.4	25.9	33.3	14.8	11.1	48.1	-	11.1	-
	75 歳以上 (n=356)	15.4	24.7	43.3	28.7	19.4	31.2	5.6	7.0	3.9

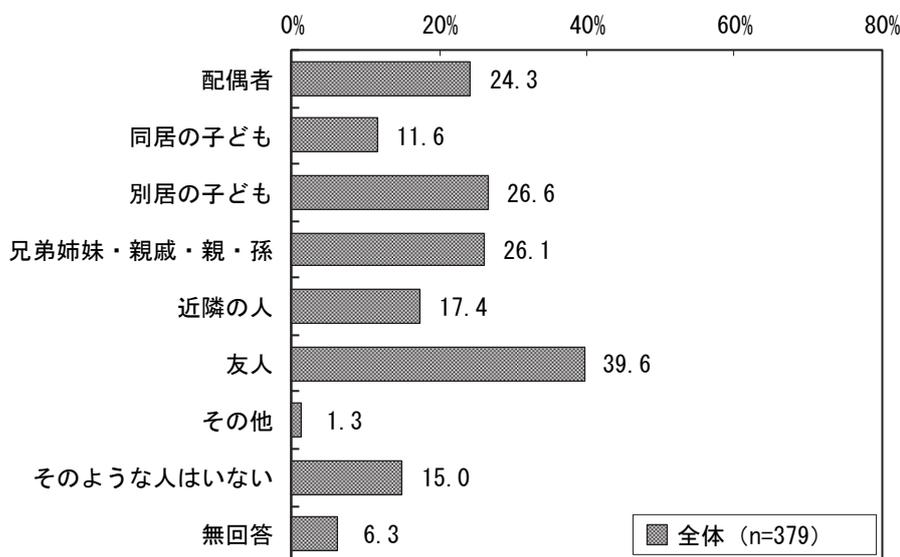
一方で、心配ごとなどを聞いてあげる相手についてもたずねたところ、一般高齢者では「配偶者」、事業対象者と介護保険サービスの無受給者、要支援利用者では「友人」が最も高くなっています。なお、一般高齢者と介護保険サービスの無受給者の家族・親戚以外では、いずれも、「近隣の人」に比べて「友人」が高くなっています。なお、「そのような人はいない」は、一般高齢者では10%を下回り、低くなっています。

図表 4-38 心配ごとなどを聞いてあげる人（複数回答）

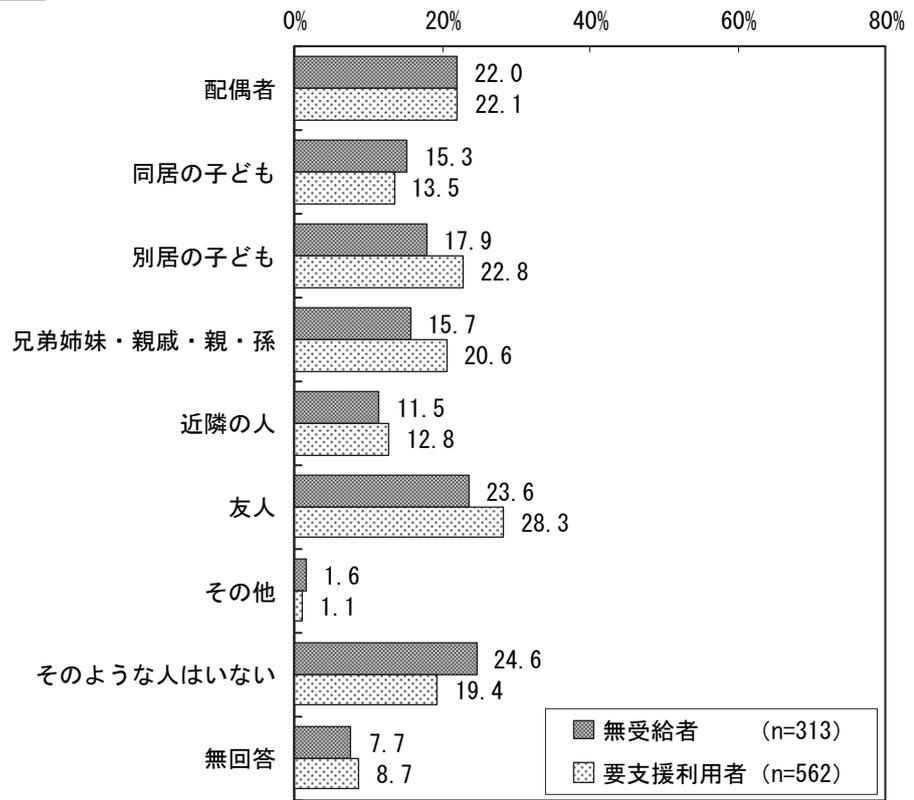
一般高齢者



事業対象者



在宅要支援認定者等



性別にみると、おおむね、「配偶者」は女性に比べて男性のほうが、「友人」は男性に比べて女性のほうが高くなっています。

図表4-39 心配ごとなどを聞いてあげる人（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n= 878)	67.4	12.2	22.9	23.0	7.4	23.2	1.8	10.8	2.2
	65～74 歳 (n= 405)	71.9	12.8	20.7	24.7	6.7	27.9	2.7	7.9	0.5
	75 歳以上 (n= 472)	63.8	11.7	24.8	21.6	8.1	19.3	1.1	13.1	3.6
女 性	全 体 (n=1,216)	32.8	17.5	36.3	35.5	17.5	47.9	1.7	7.9	3.4
	65～74 歳 (n= 455)	47.9	18.7	43.5	39.6	14.3	55.6	3.1	4.8	1.3
	75 歳以上 (n= 758)	23.7	16.9	31.9	33.0	19.5	43.5	0.9	9.8	4.6

事業対象者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n= 87)	47.1	6.9	11.5	19.5	6.9	18.4	3.4	23.0	6.9
	65～74 歳 (n= 9)	33.3	-	11.1	33.3	11.1	11.1	-	55.6	-
	75 歳以上 (n= 78)	48.7	7.7	11.5	17.9	6.4	19.2	3.8	19.2	7.7
女 性	全 体 (n=262)	16.8	13.4	32.8	29.0	21.4	47.7	0.8	12.2	5.7
	65～74 歳 (n= 27)	33.3	14.8	22.2	18.5	18.5	55.6	-	11.1	-
	75 歳以上 (n=235)	14.9	13.2	34.0	30.2	21.7	46.8	0.9	12.3	6.4

在宅要支援認定者等

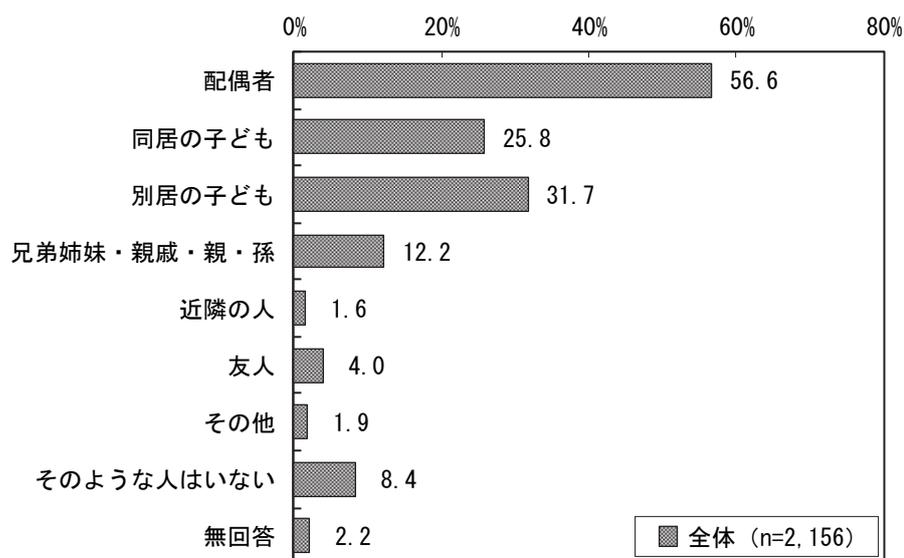
(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
無受給者										
男 性	全 体 (n=100)	39.0	13.0	17.0	11.0	4.0	7.0	1.0	29.0	8.0
	65～74 歳 (n= 1)	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	75 歳以上 (n= 99)	39.4	13.1	17.2	11.1	4.0	7.1	1.0	28.3	8.1
女 性	全 体 (n=201)	14.4	17.4	19.4	17.9	15.4	32.8	2.0	21.4	6.5
	65～74 歳 (n= 3)	33.3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-
	75 歳以上 (n=197)	14.2	17.8	19.8	18.3	15.7	33.0	2.0	20.8	6.6
要支援利用者										
男 性	全 体 (n=144)	43.8	11.1	17.4	16.0	5.6	14.6	1.4	20.1	6.3
	65～74 歳 (n= 21)	61.9	9.5	23.8	33.3	4.8	28.6	4.8	-	-
	75 歳以上 (n=123)	40.7	11.4	16.3	13.0	5.7	12.2	0.8	23.6	7.3
女 性	全 体 (n=384)	14.6	15.1	25.5	23.4	16.1	32.0	1.0	19.0	9.1
	65～74 歳 (n= 27)	44.4	22.2	25.9	22.2	11.1	51.9	-	22.2	-
	75 歳以上 (n=356)	12.1	14.6	25.6	23.6	16.6	30.6	1.1	18.8	9.8

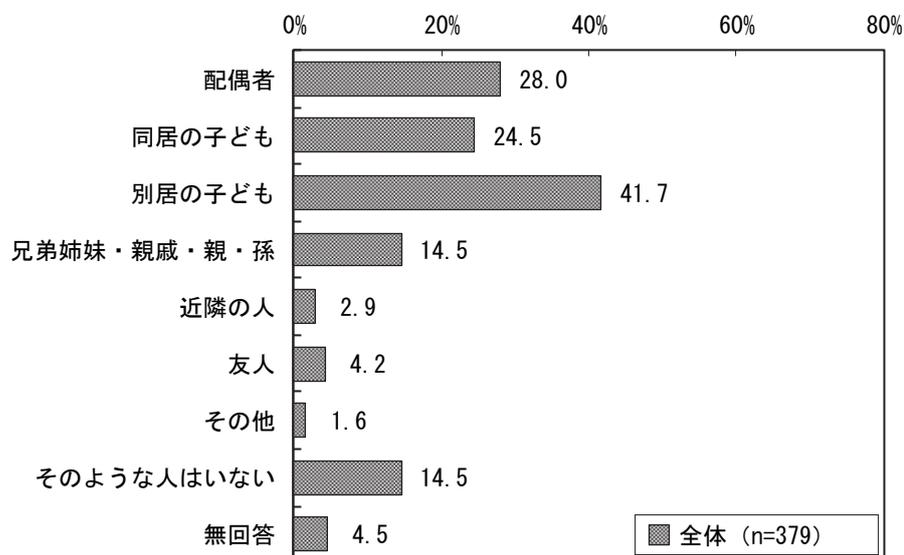
次に、病気の際に看病をしてくれる相手についてたずねたところ、一般高齢者では「配偶者」、事業対象者と介護保険サービスの無受給者、要支援利用者では「別居の子ども」が最も高くなっています。なお、家族・親族以外の「近隣の人」と「友人」は、いずれもわずかとなっています。なお、「そのような人はいない」は、一般高齢者では10%を下回り、低くなっています。

図表 4-40 病気の際に看病をしてくれる人（複数回答）

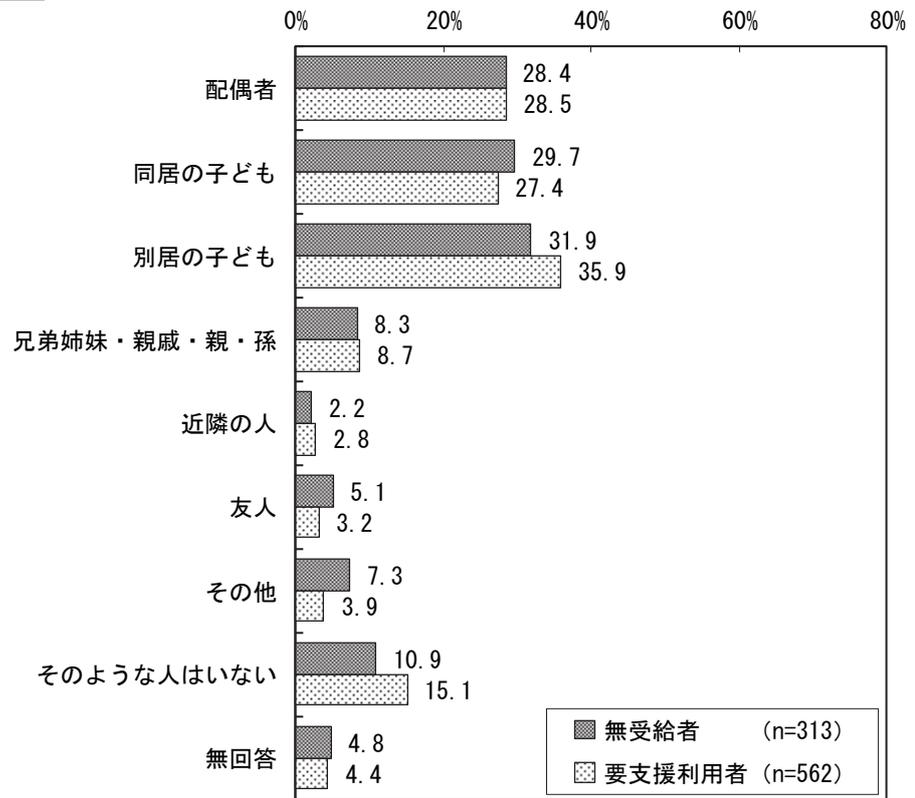
一般高齢者



事業対象者



在宅要支援認定者等



性別にみると、「配偶者」は女性に比べて男性のほうが、「別居の子ども」は男性に比べて女性のほうが高くなっています。

図表4-41 病気の際に看病をしてくれる人（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n= 878)	78.4	16.4	22.2	8.4	1.1	1.5	1.4	8.4	1.3
	65～74 歳 (n= 405)	79.5	12.8	16.8	7.7	1.0	2.5	1.5	9.1	1.0
	75 歳以上 (n= 472)	77.3	19.5	26.9	9.1	1.3	0.6	1.3	7.8	1.5
女 性	全 体 (n=1,216)	41.4	32.2	38.8	15.0	2.1	5.8	2.4	8.3	2.8
	65～74 歳 (n= 455)	56.9	27.3	34.9	15.2	1.1	7.5	3.1	6.6	1.1
	75 歳以上 (n= 758)	32.2	35.2	41.2	15.0	2.6	4.9	2.0	9.4	3.8

事業対象者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n= 87)	57.5	12.6	31.0	13.8	1.1	-	1.1	11.5	4.6
	65～74 歳 (n= 9)	33.3	11.1	11.1	22.2	-	-	-	33.3	-
	75 歳以上 (n= 78)	60.3	12.8	33.3	12.8	1.3	-	1.3	9.0	5.1
女 性	全 体 (n=262)	18.7	29.4	45.8	15.6	3.4	6.1	1.9	15.6	3.4
	65～74 歳 (n= 27)	40.7	18.5	22.2	14.8	3.7	3.7	-	33.3	-
	75 歳以上 (n=235)	16.2	30.6	48.5	15.7	3.4	6.4	2.1	13.6	3.8

在宅要支援認定者等

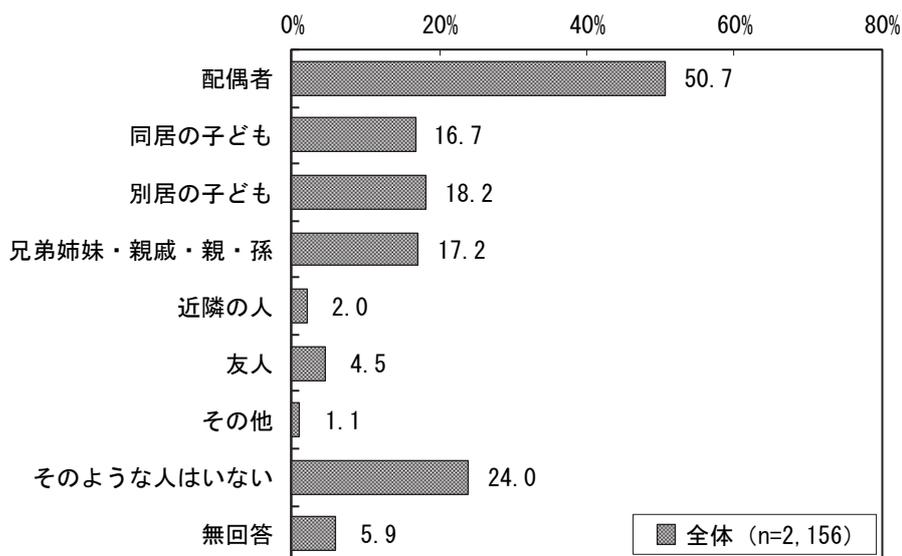
(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
無受給者										
男 性	全 体 (n=100)	47.0	25.0	26.0	6.0	-	1.0	6.0	12.0	5.0
	65～74 歳 (n= 1)	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	75 歳以上 (n= 99)	46.5	24.2	26.3	6.1	-	1.0	6.1	12.1	5.1
女 性	全 体 (n=201)	19.4	32.8	35.3	9.5	3.5	7.5	8.0	10.4	3.5
	65～74 歳 (n= 3)	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-
	75 歳以上 (n=197)	18.8	32.5	35.5	9.1	3.6	7.6	8.1	10.7	3.6
要支援利用者										
男 性	全 体 (n=144)	52.1	21.5	26.4	5.6	0.7	3.5	2.8	16.7	2.8
	65～74 歳 (n= 21)	61.9	14.3	9.5	19.0	4.8	4.8	9.5	14.3	-
	75 歳以上 (n=123)	50.4	22.8	29.3	3.3	-	3.3	1.6	17.1	3.3
女 性	全 体 (n=384)	20.3	30.2	39.8	10.4	3.6	3.1	4.4	13.8	4.4
	65～74 歳 (n= 27)	44.4	33.3	33.3	7.4	3.7	3.7	-	11.1	3.7
	75 歳以上 (n=356)	18.3	30.1	40.4	10.7	3.7	3.1	4.8	14.0	4.5

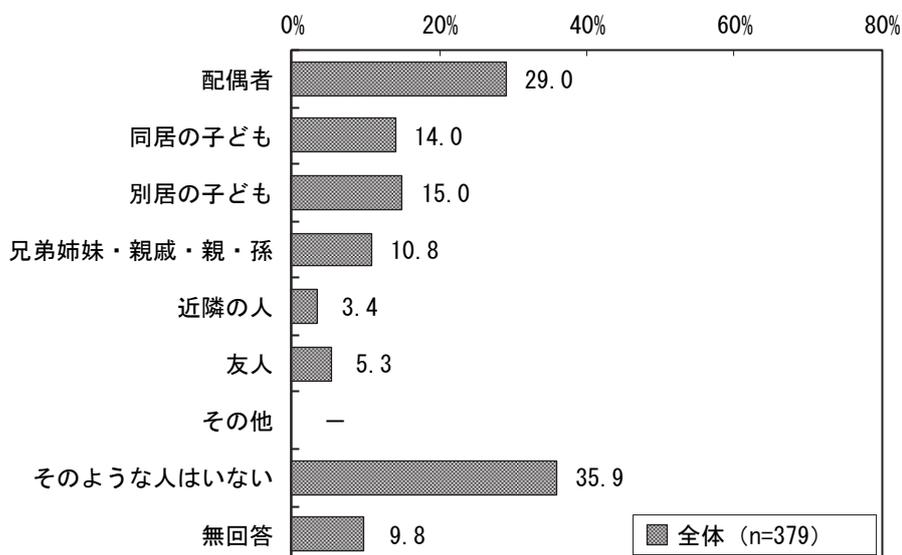
一方で、病気の際に看病をしてあげる相手についてたずねたところ、一般高齢者では「配偶者」、事業対象者と介護保険サービスの無受給者、要支援利用者では「そのような人はいない」が最も高くなっています。なお、事業対象者と無受給者、要支援利用者では、「そのような人はいない」以外は、「配偶者」が最も高くなっています。また、家族・親族以外の「近隣の人」と「友人」は、いずれもわずかとなっています。

図表 4-42 病気の際に看病をしてあげる人（複数回答）

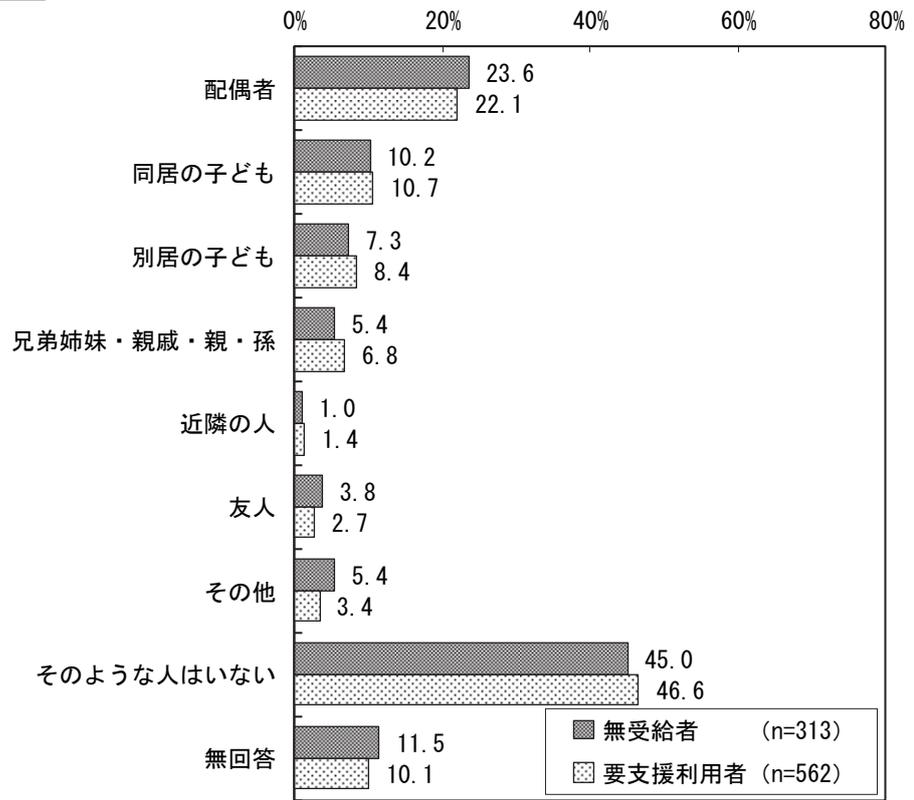
一般高齢者



事業対象者



在宅要支援認定者等



性別にみると、おおむね、「配偶者」は女性に比べて男性のほうが高くなっています。

図表 4-43 病気の際に看病をしてあげる人（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n= 878)	65.3	13.0	13.8	13.6	1.5	1.5	0.7	21.8	4.1
	65～74 歳 (n= 405)	66.4	15.3	12.6	17.0	1.5	2.5	0.5	21.0	1.7
	75 歳以上 (n= 472)	64.4	11.0	14.8	10.6	1.5	0.6	0.8	22.2	6.1
女 性	全 体 (n=1,216)	40.5	19.5	21.7	20.5	2.4	6.4	1.4	25.9	6.7
	65～74 歳 (n= 455)	56.5	20.9	29.7	27.5	1.3	7.9	1.8	18.2	3.3
	75 歳以上 (n= 758)	31.0	18.7	16.9	16.4	3.0	5.5	1.2	30.6	8.7

事業対象者

(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
男 性	全 体 (n= 87)	44.8	4.6	6.9	5.7	2.3	2.3	-	37.9	8.0
	65～74 歳 (n= 9)	33.3	11.1	-	11.1	-	-	-	55.6	-
	75 歳以上 (n= 78)	46.2	3.8	7.7	5.1	2.6	2.6	-	35.9	9.0
女 性	全 体 (n=262)	25.2	17.6	17.9	12.6	4.2	6.9	-	34.4	9.2
	65～74 歳 (n= 27)	55.6	22.2	14.8	18.5	-	3.7	-	25.9	-
	75 歳以上 (n=235)	21.7	17.0	18.3	11.9	4.7	7.2	-	35.3	10.2

在宅要支援認定者等

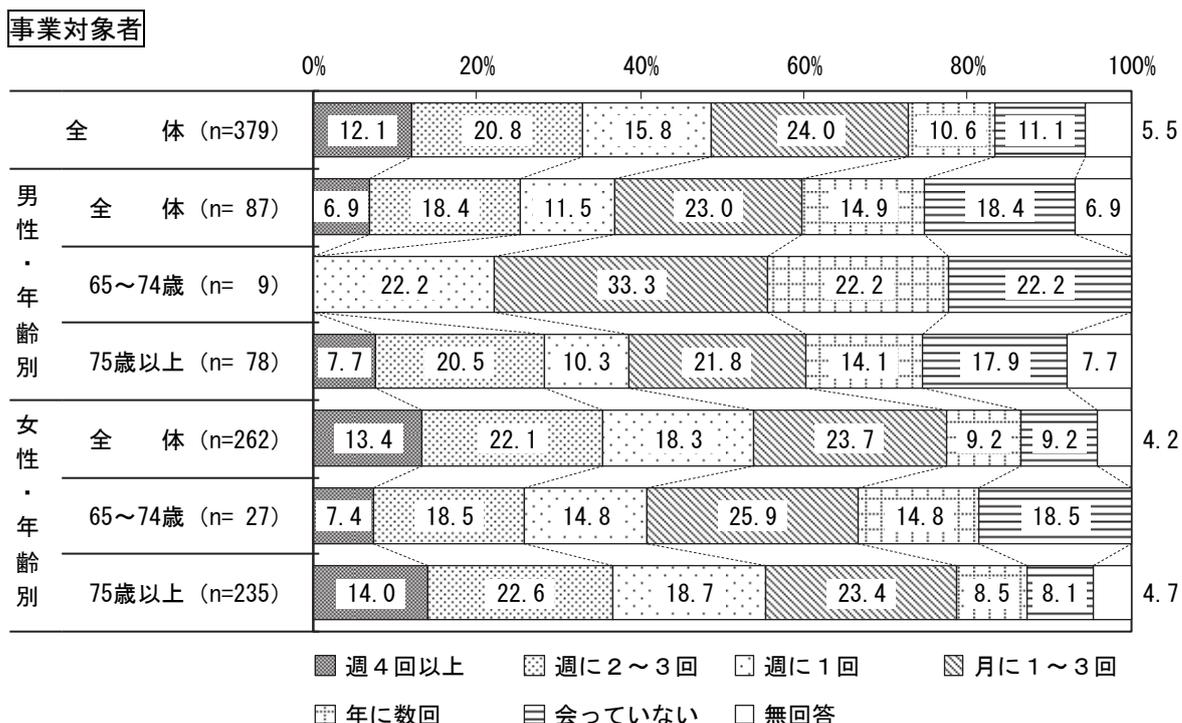
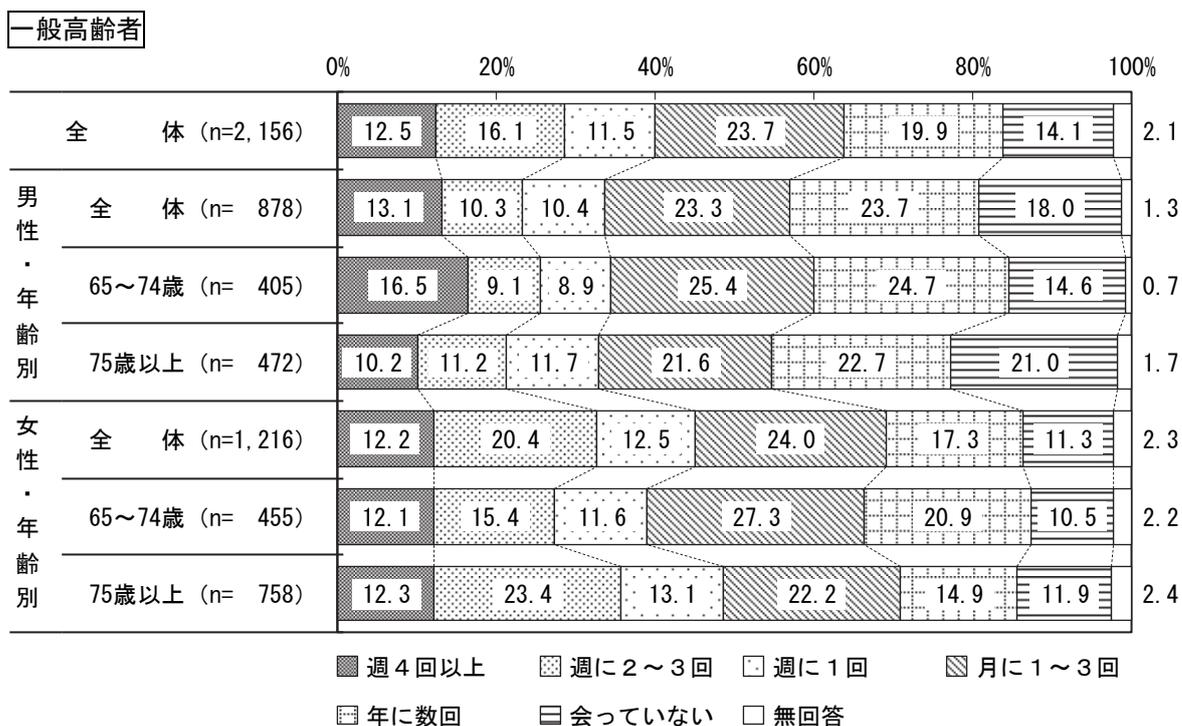
(単位：%)

区 分		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
無受給者										
男 性	全 体 (n=100)	34.0	7.0	2.0	2.0	-	-	5.0	42.0	13.0
	65～74 歳 (n= 1)	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	75 歳以上 (n= 99)	34.3	7.1	2.0	2.0	-	-	5.1	41.4	13.1
女 性	全 体 (n=201)	18.4	12.4	10.4	7.0	1.5	5.5	6.0	46.8	10.4
	65～74 歳 (n= 3)	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-
	75 歳以上 (n=197)	18.3	12.2	10.7	7.1	1.5	5.6	6.1	46.7	10.7
要支援利用者										
男 性	全 体 (n=144)	35.4	9.0	6.9	5.6	1.4	1.4	5.6	41.7	6.3
	65～74 歳 (n= 21)	47.6	9.5	9.5	9.5	4.8	4.8	9.5	33.3	-
	75 歳以上 (n=123)	33.3	8.9	6.5	4.9	0.8	0.8	4.9	43.1	7.3
女 性	全 体 (n=384)	17.7	11.5	8.6	7.3	1.3	3.1	2.6	48.7	10.4
	65～74 歳 (n= 27)	37.0	25.9	14.8	7.4	3.7	3.7	-	40.7	3.7
	75 歳以上 (n=356)	16.0	10.4	8.1	7.3	1.1	3.1	2.8	49.4	11.0

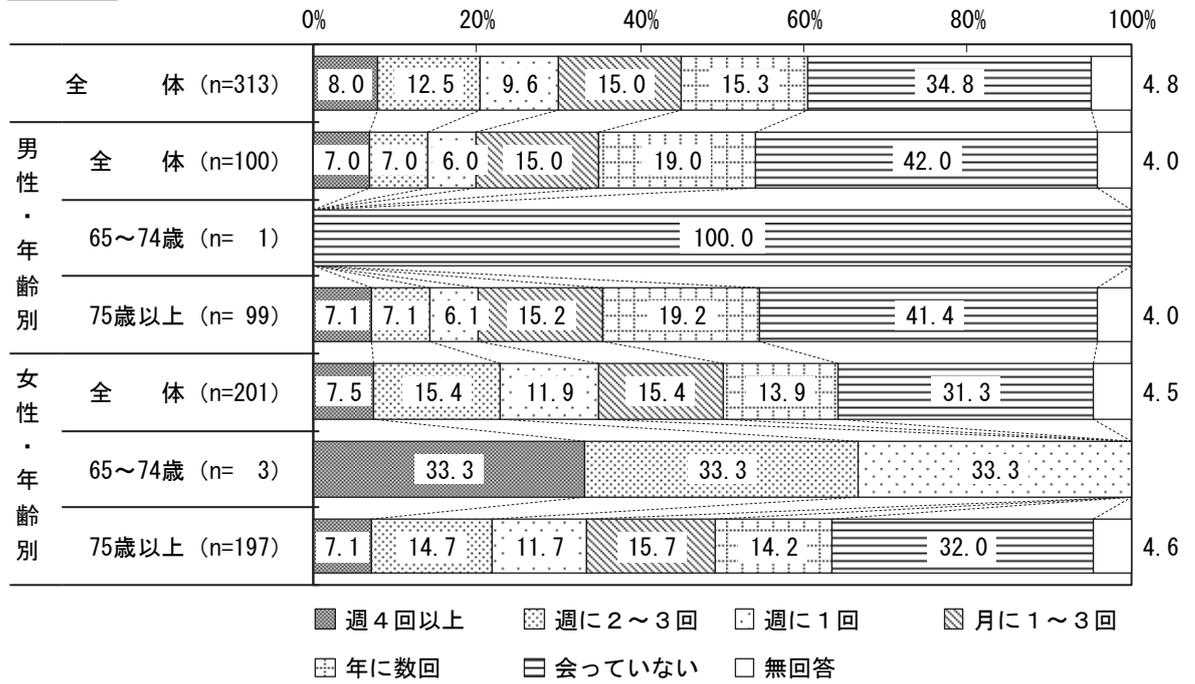
#### (4) 友人・知人とのつきあい

友人・知人とのつきあいについて、「週に1回」以上会っているのは、一般高齢者では40.1%、事業対象者では48.7%、介護保険サービスの無受給者では30.1%となっています。これを性別にみると、いずれにおいても、男性に比べて女性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-44 友人・知人に会う頻度



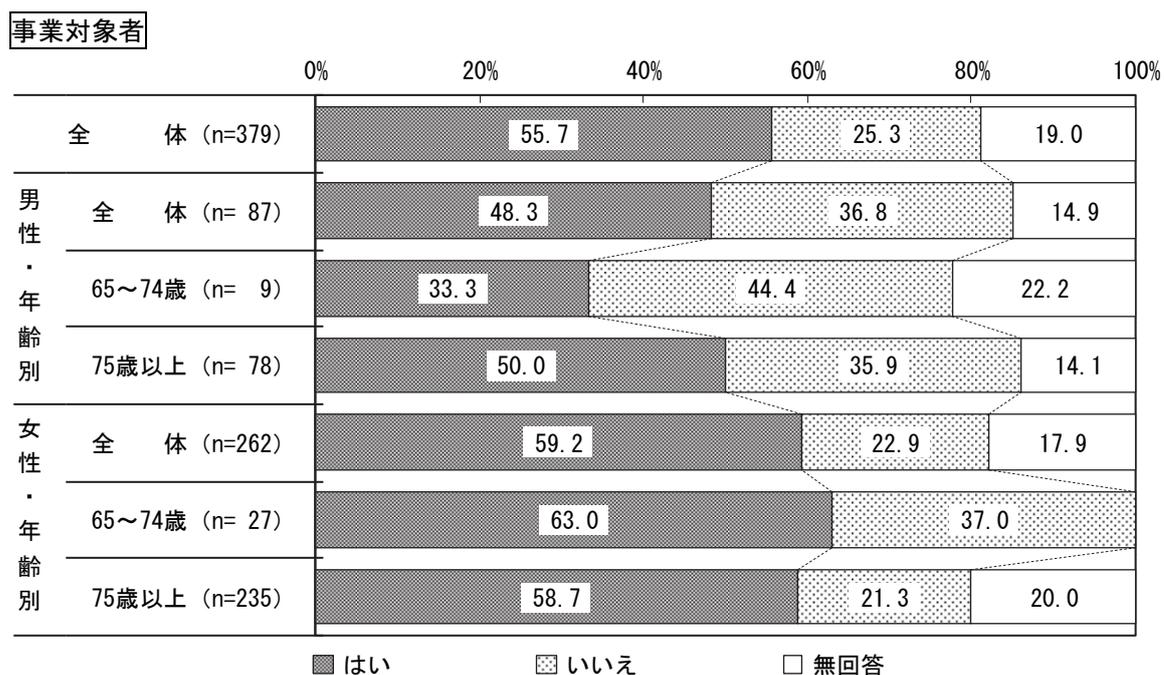
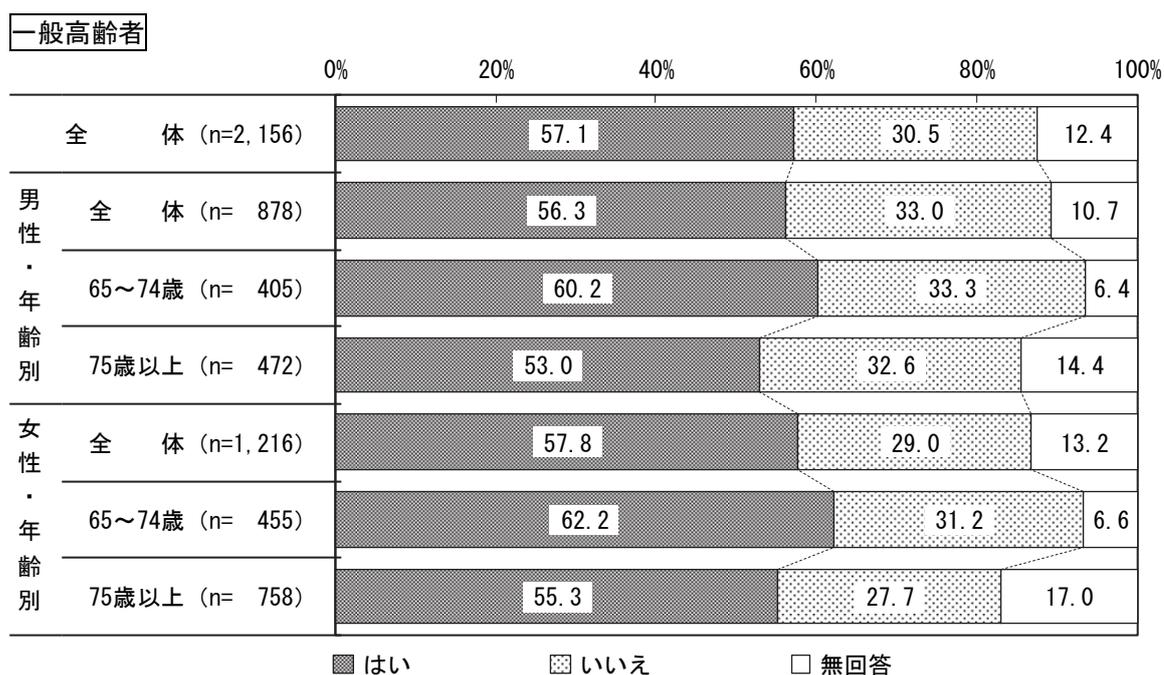
無受給者



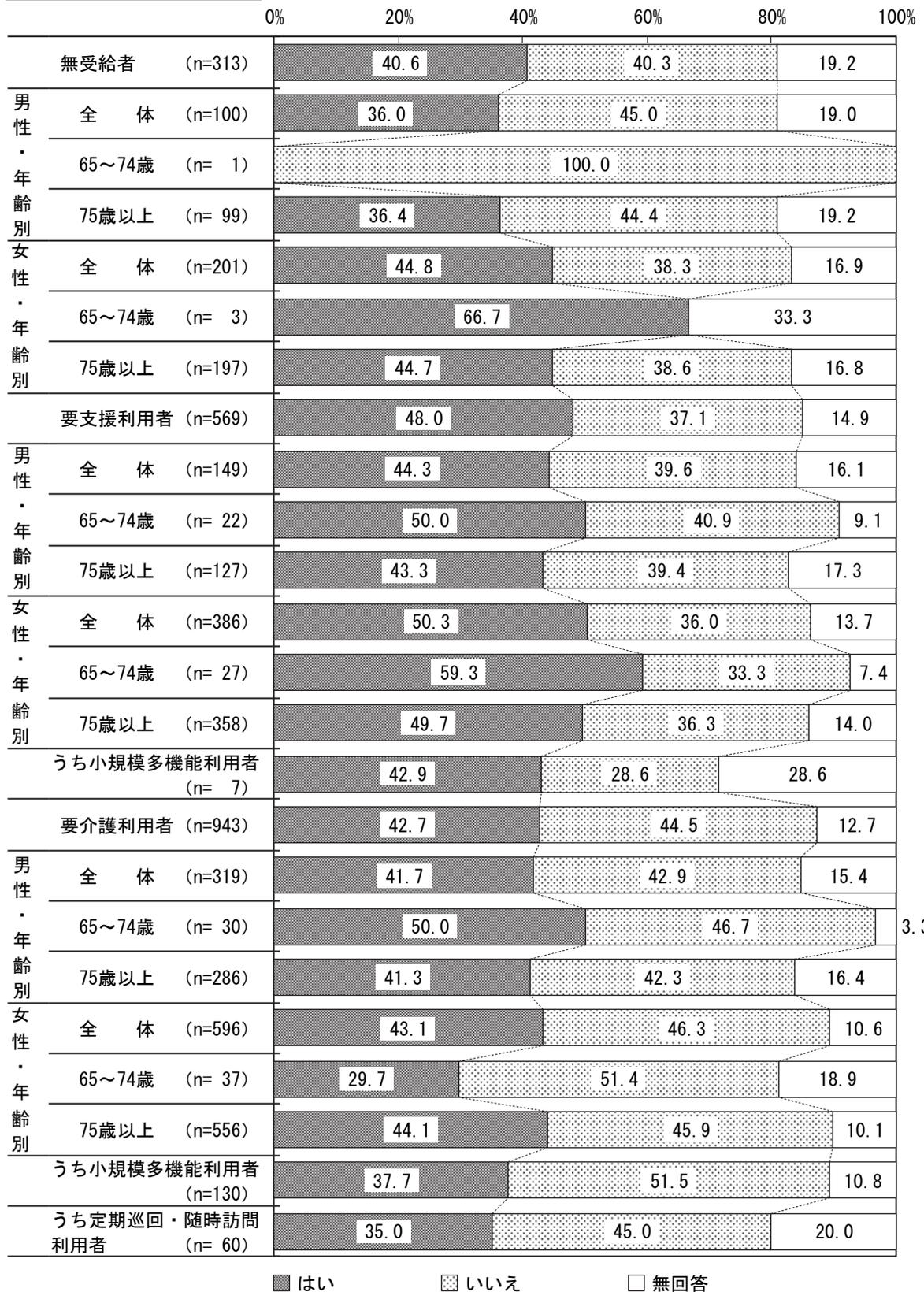
(5) 生きがい

「生きがいはありますか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では57.1%、事業対象者では55.7%、介護保険サービスの無受給者では40.6%、要支援利用者では48.0%、要介護利用者では42.7%となっています。これを性別にみると、事業対象者と無受給者、要支援利用者では、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。なお、要介護利用者のうち、小規模多機能型居宅介護利用者では「はい」は37.7%、定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用者では35.0%となっています。

図表4-45 生きがいはあるか



在宅要支援・要介護認定者

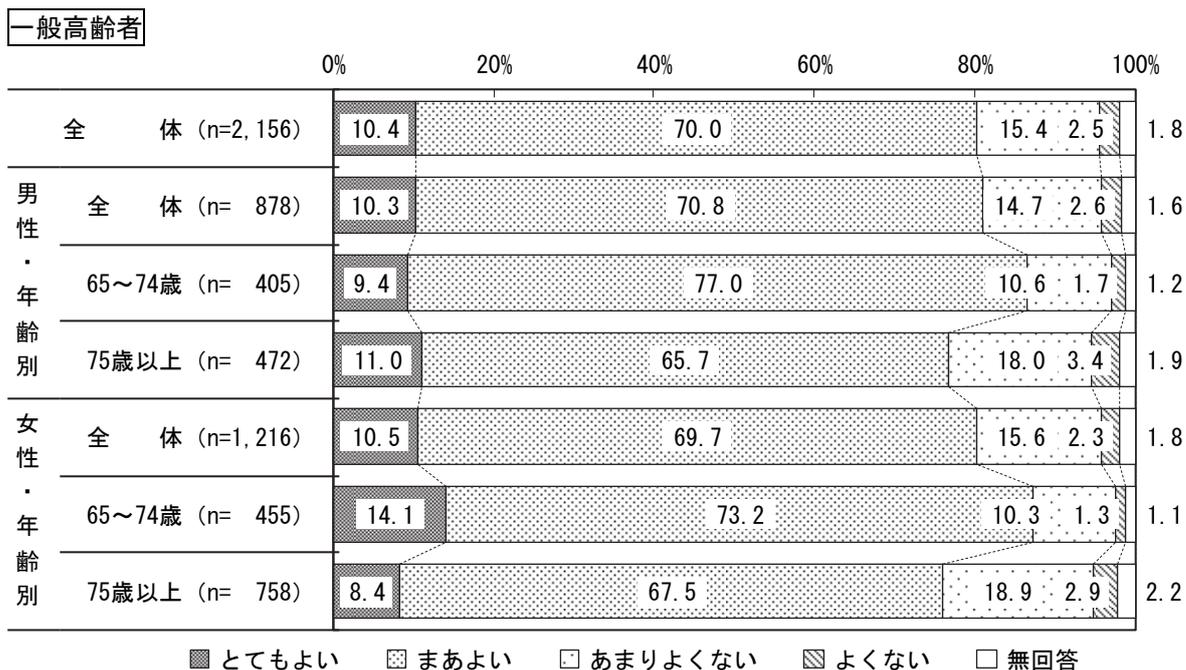


## 6 健康について

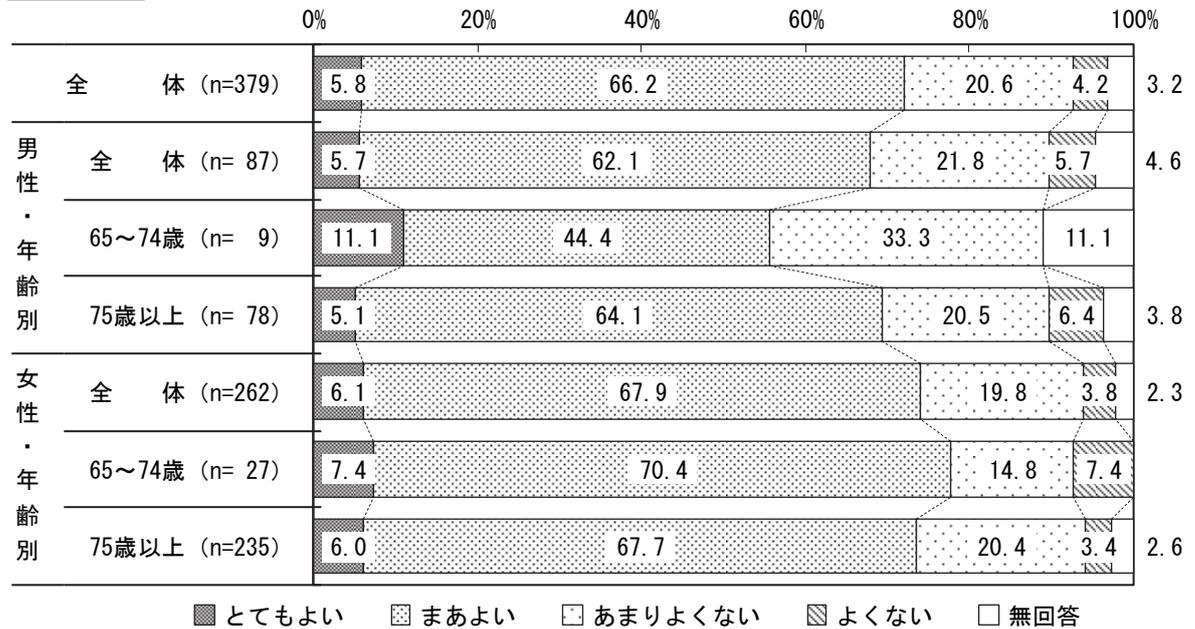
### (1) 健康状態

健康状態は、「とてもよい」と「まあよい」を合わせると、一般高齢者では 80.4%、事業対象者では 72.0%、要支援利用者では 51.1%、介護保険サービスの無受給者では 48.9%という順で低くなっています。これを性別にみると、事業対象者と要支援利用者では、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

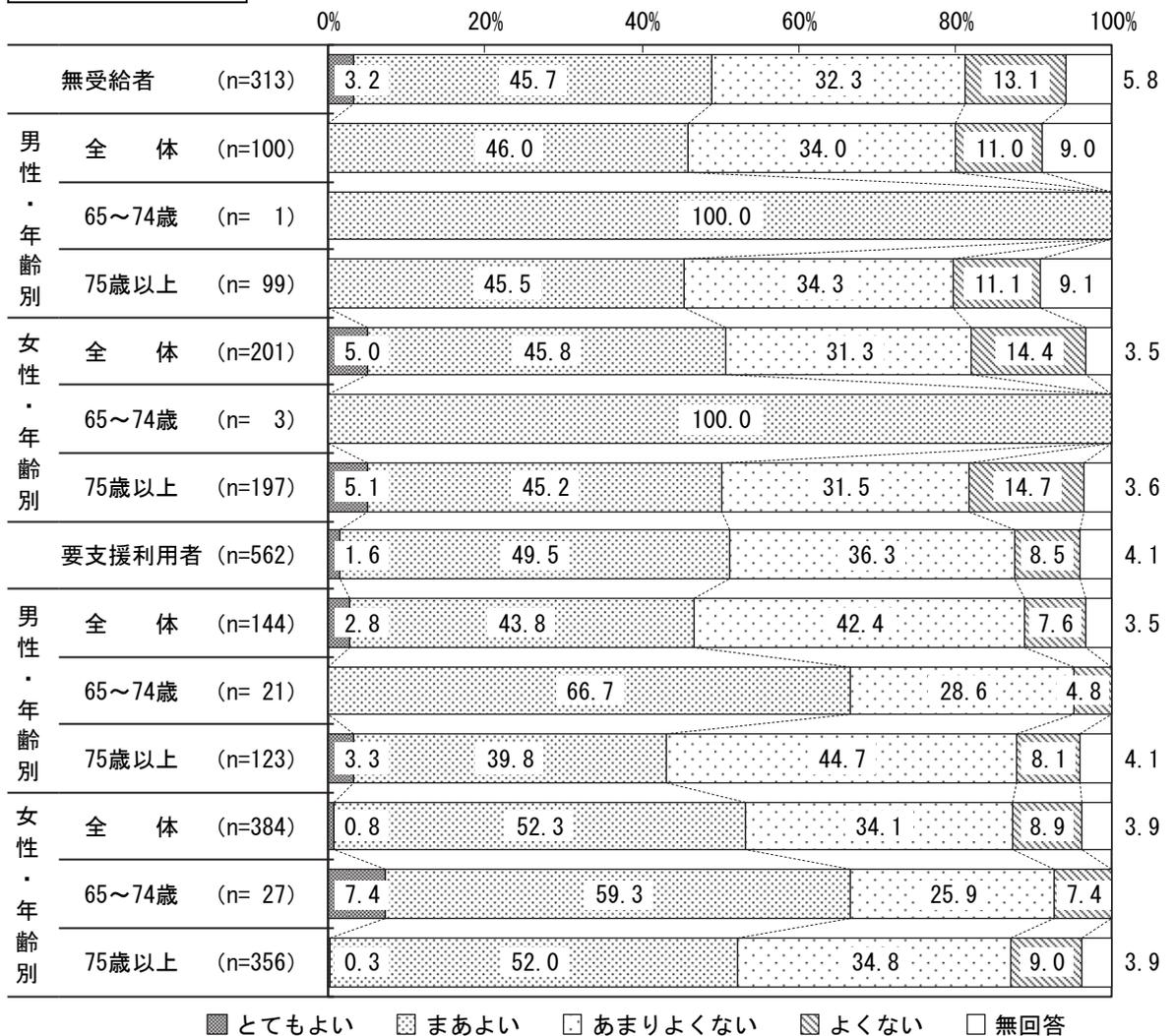
図表 4-46 健康状態



事業対象者

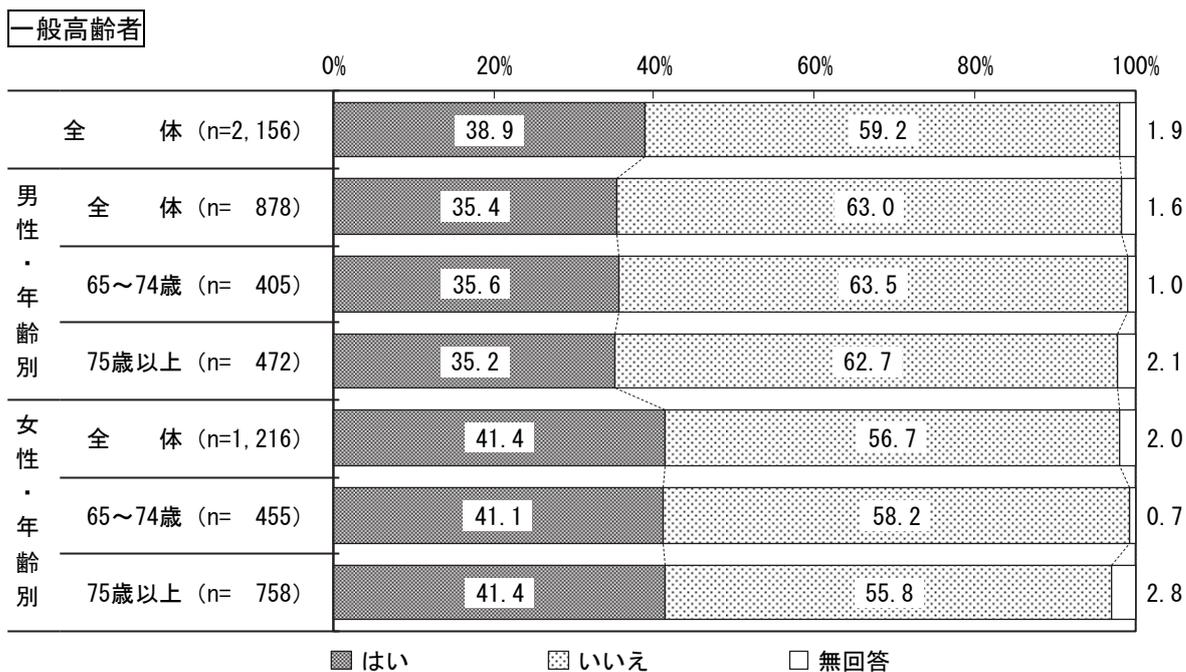


在宅要支援認定者等

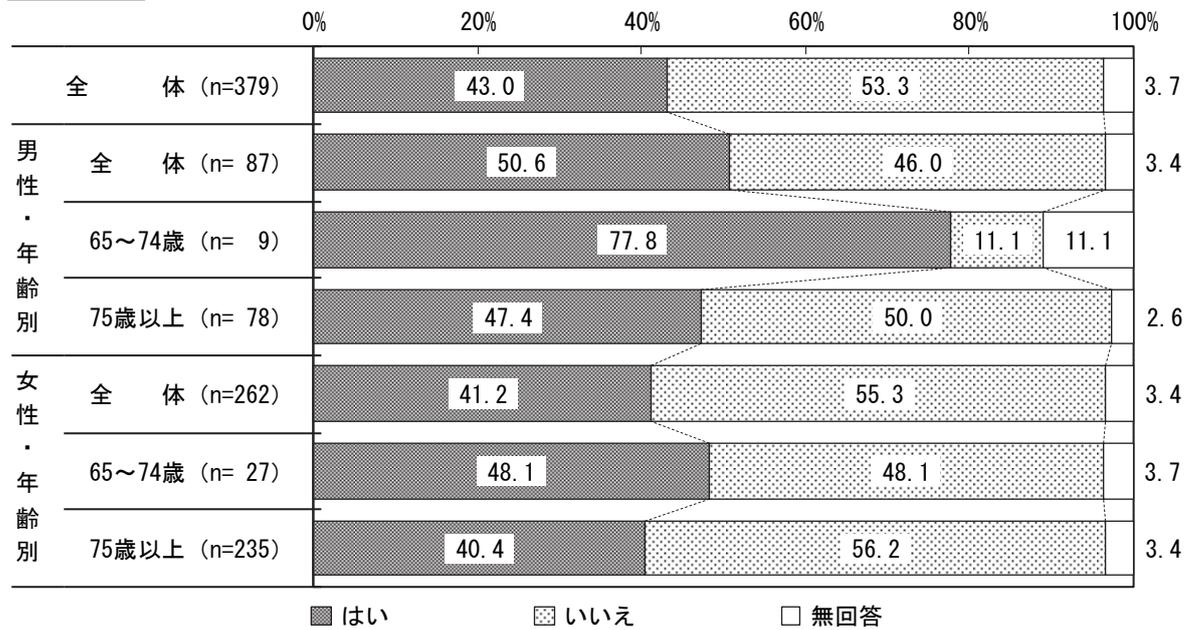


「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では38.9%、事業対象者では43.0%、要支援利用者では49.8%、介護保険サービスの無受給者では53.0%という順で高くなっています。これを性別にみると、一般高齢者と無受給者では男性に比べて女性が5ポイント以上高く、事業対象者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

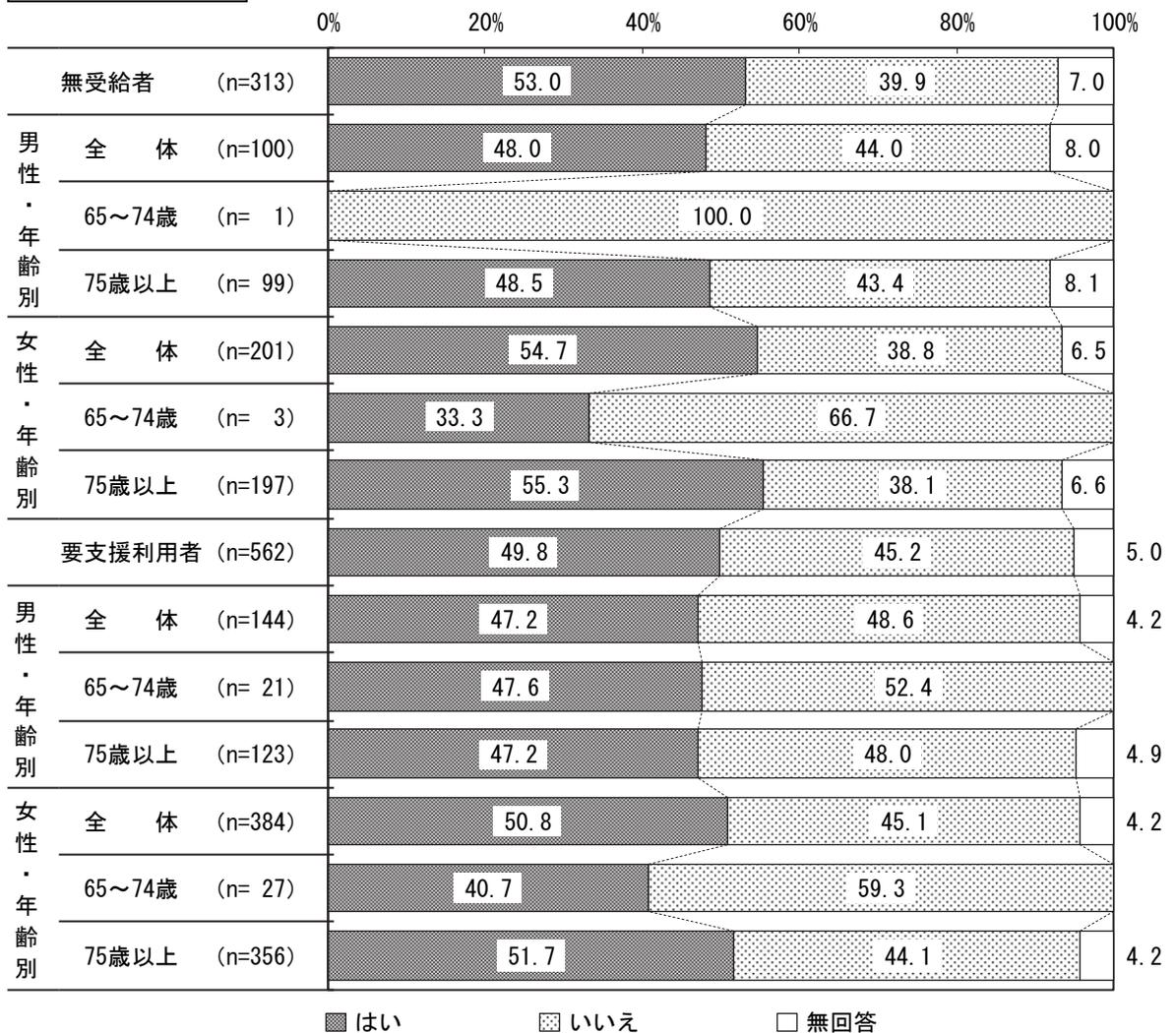
図表4-47 直近1カ月で憂鬱になったことなどあるか



事業対象者

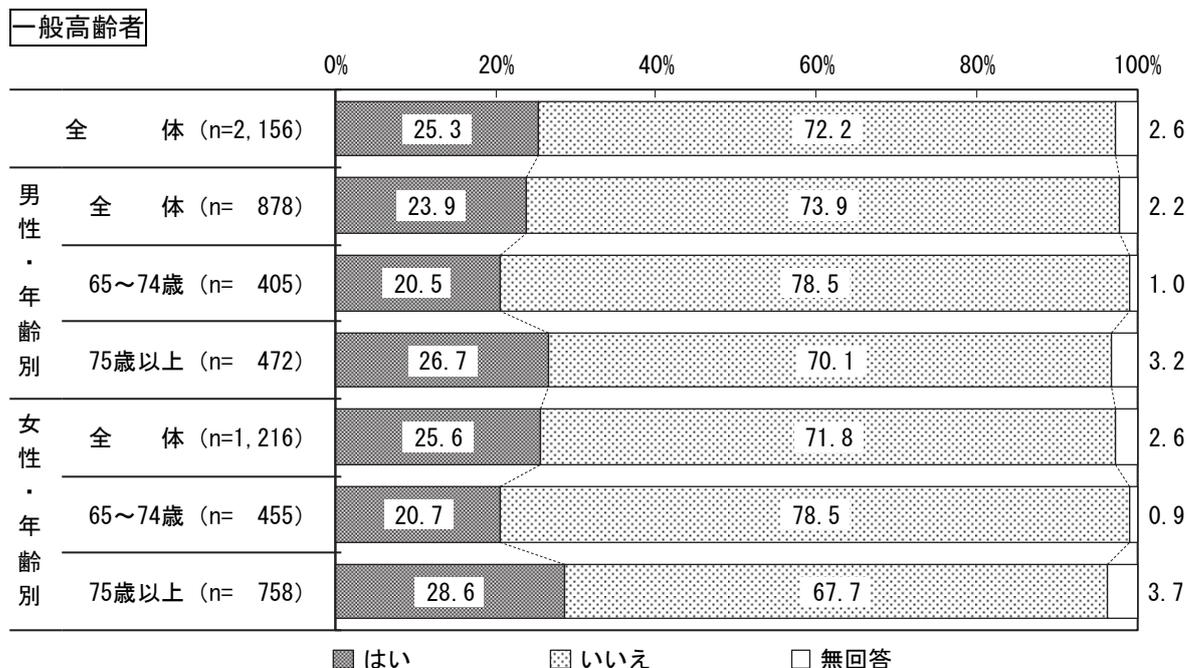


在宅要支援認定者等

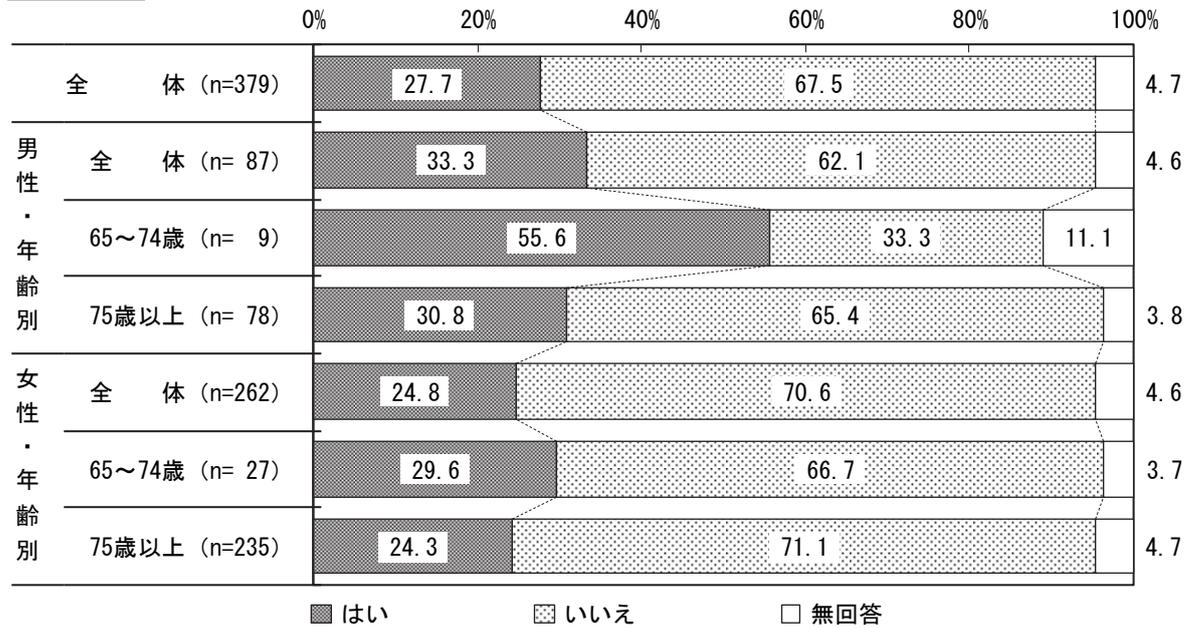


「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」という質問に対し、「はい」と答えた人は、一般高齢者では25.3%、事業対象者では27.7%、要支援利用者では39.7%、介護保険サービスの無受給者では44.7%という順で高くなっています。これを性別にみると、事業対象者では女性に比べて男性が5ポイント以上高くなっています。

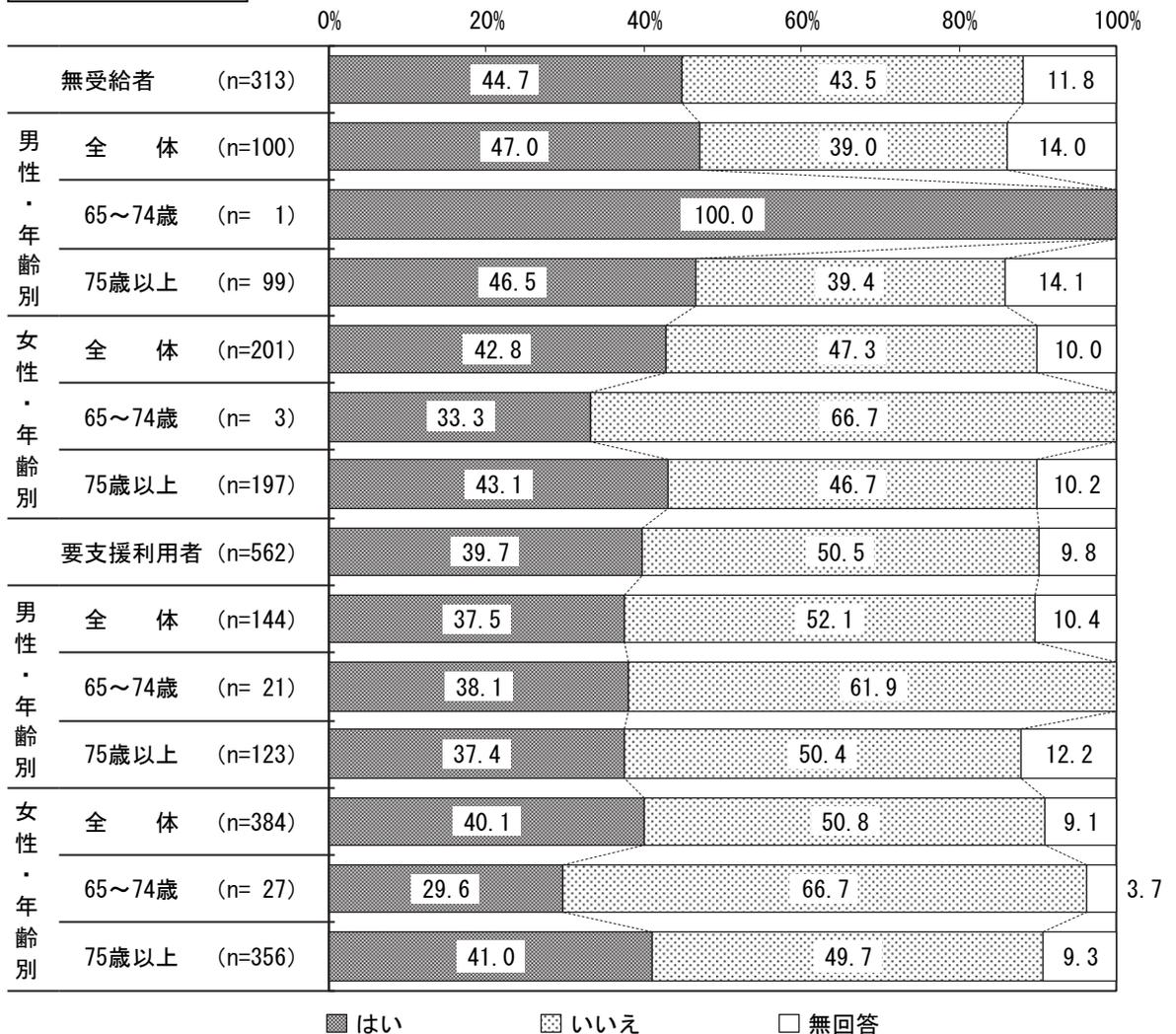
図表4-48 直近1カ月で興味がわかなかったことなどあるか



事業対象者



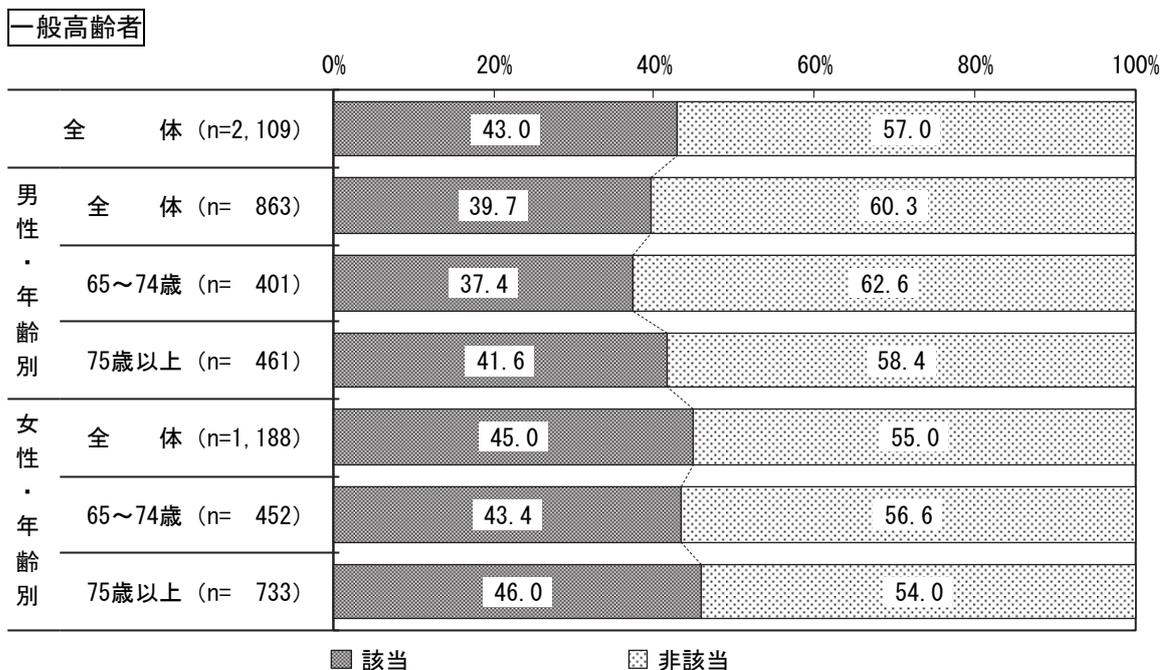
在宅要支援認定者等



「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によると、前述の2つの設問のいずれか1つに「はい」と回答した一般高齢者は、うつ傾向者とされています。

一般高齢者（判定不能者（無回答者）を除く）に占めるうつ傾向者をみると、43.0%が該当しています。これを性別にみると、男性に比べて女性が5ポイント程度高くなっています。

図表4-49 うつ傾向者

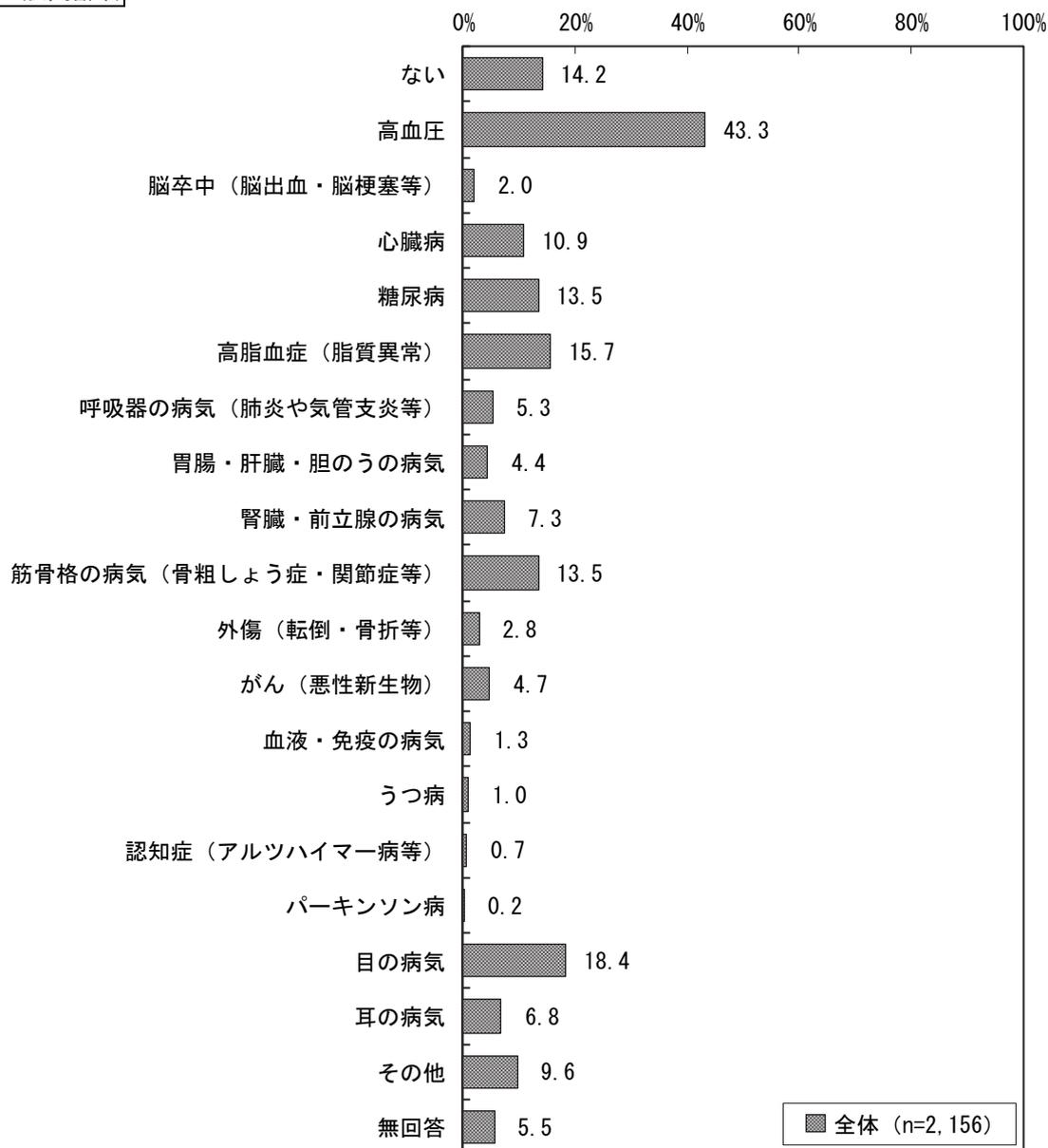


治療中または後遺症のある病気があるかたずねたところ、「ない」は、一般高齢者では14.2%、事業対象者では8.2%、要支援利用者では5.2%、介護保険サービスの無受給者では4.2%という順で低くなっています。

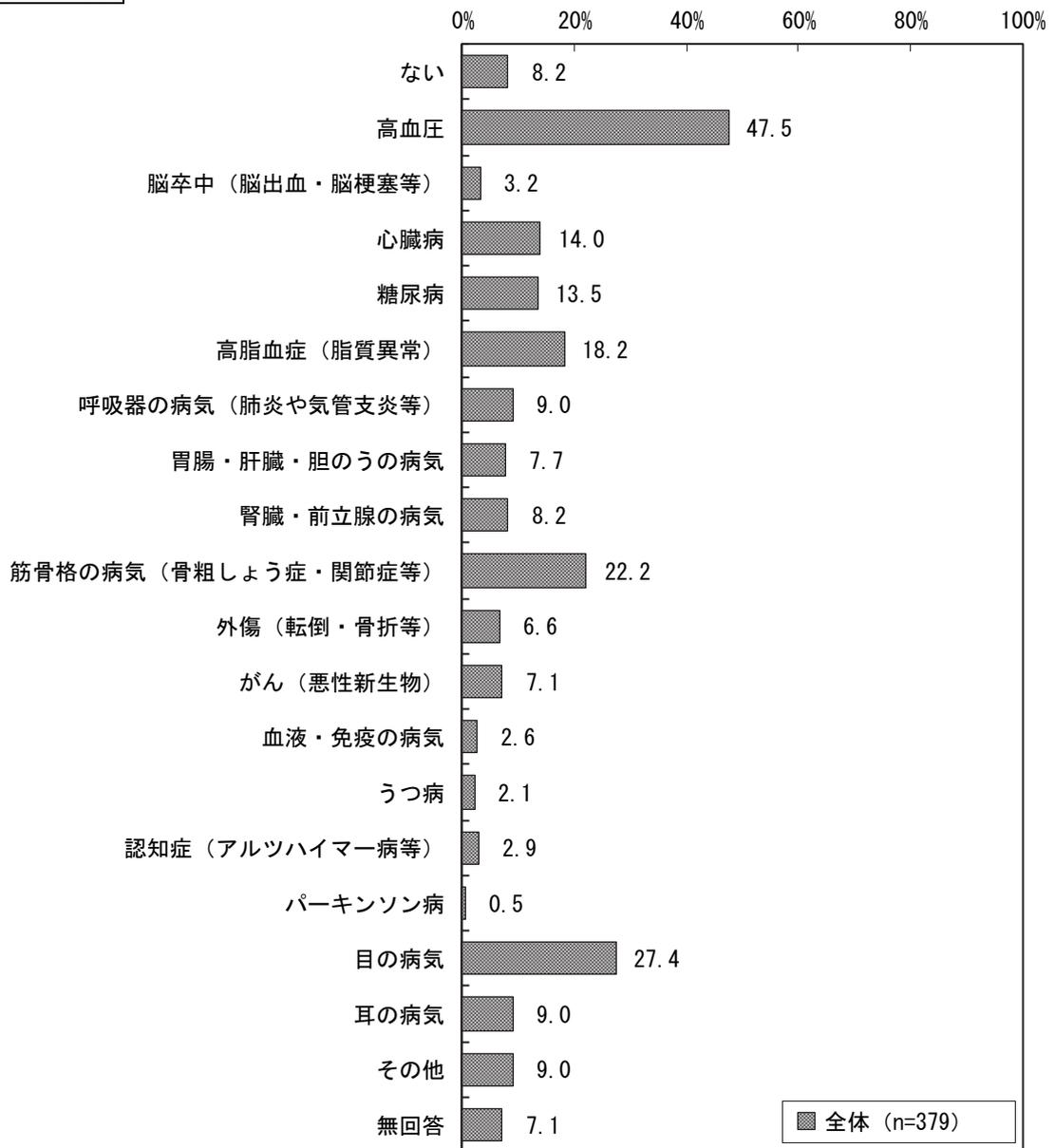
治療中または後遺症のある病気としては、いずれにおいても「高血圧」が40%以上を占めて最も高く、次いで、「目の病気」や骨粗しょう症・関節症等の「筋骨格の病気」などが比較的高くなっています。

図表4-50 治療中または後遺症のある病気（複数回答）

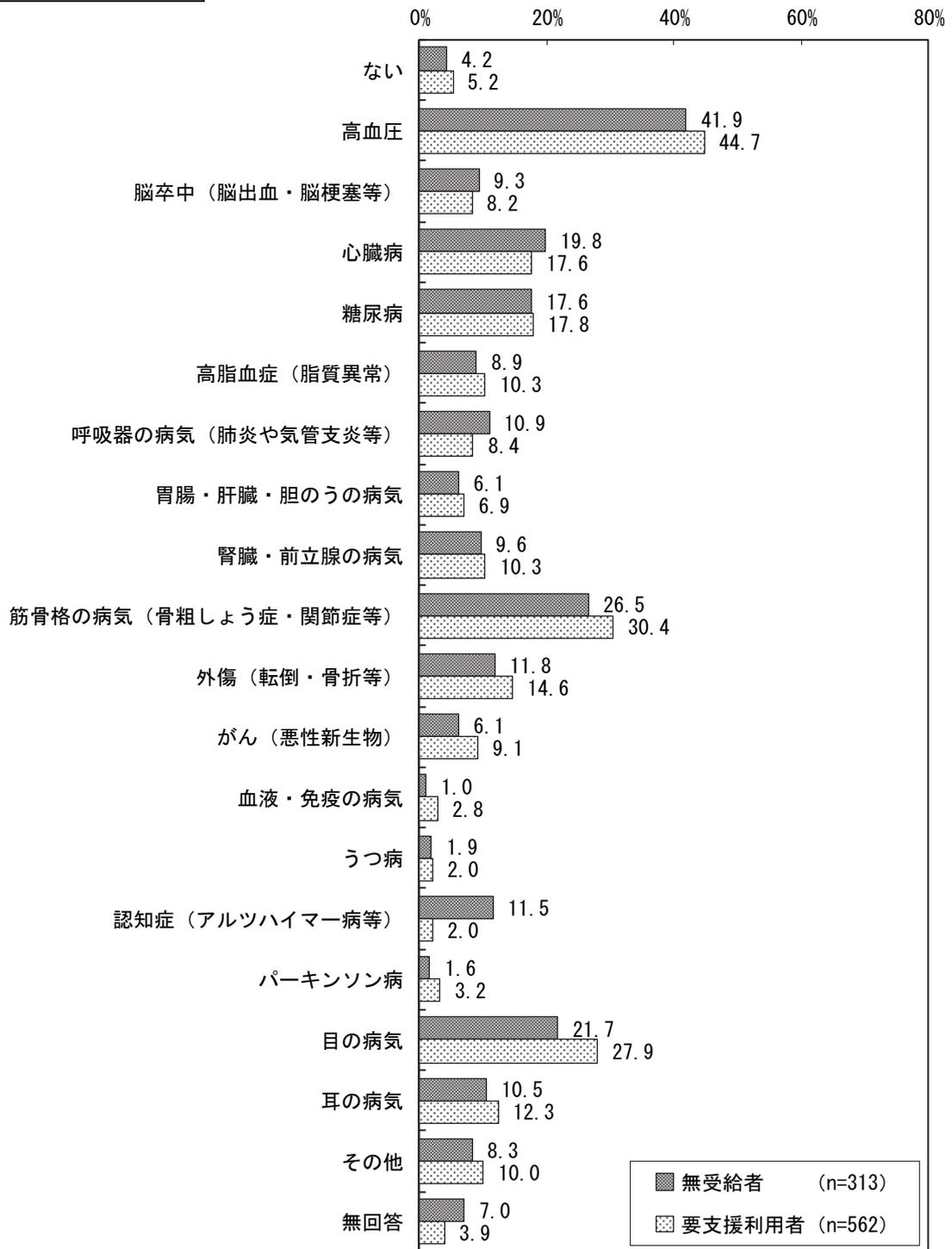
一般高齢者



事業対象者



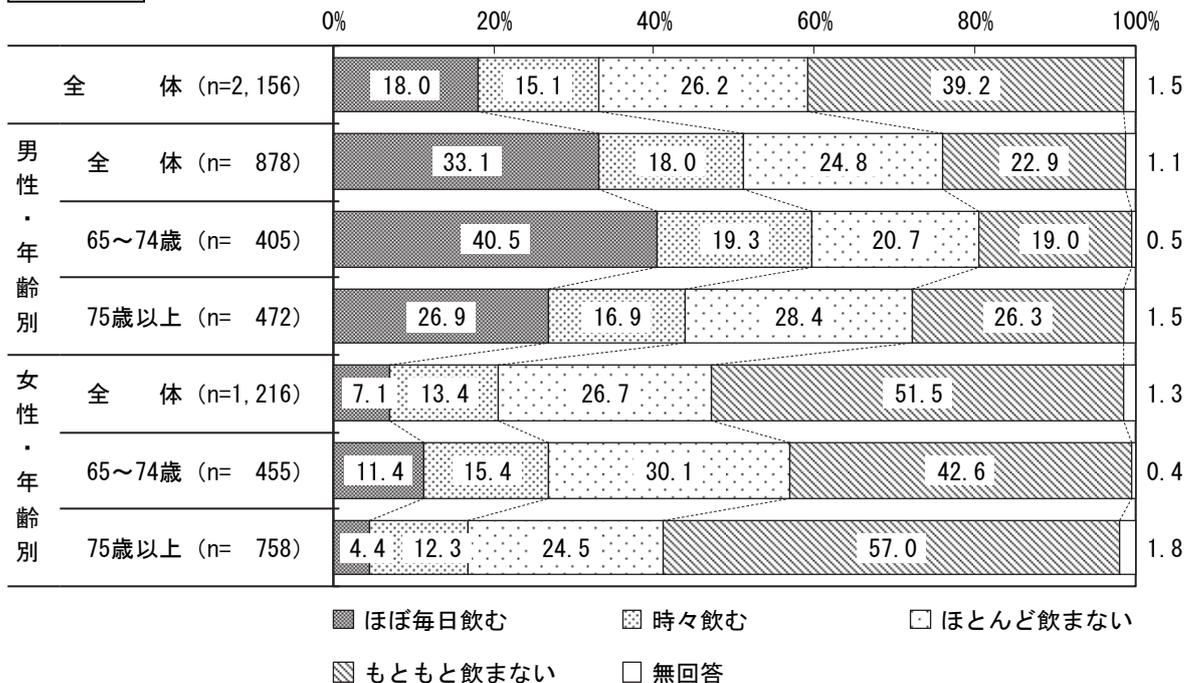
在宅要支援認定者等



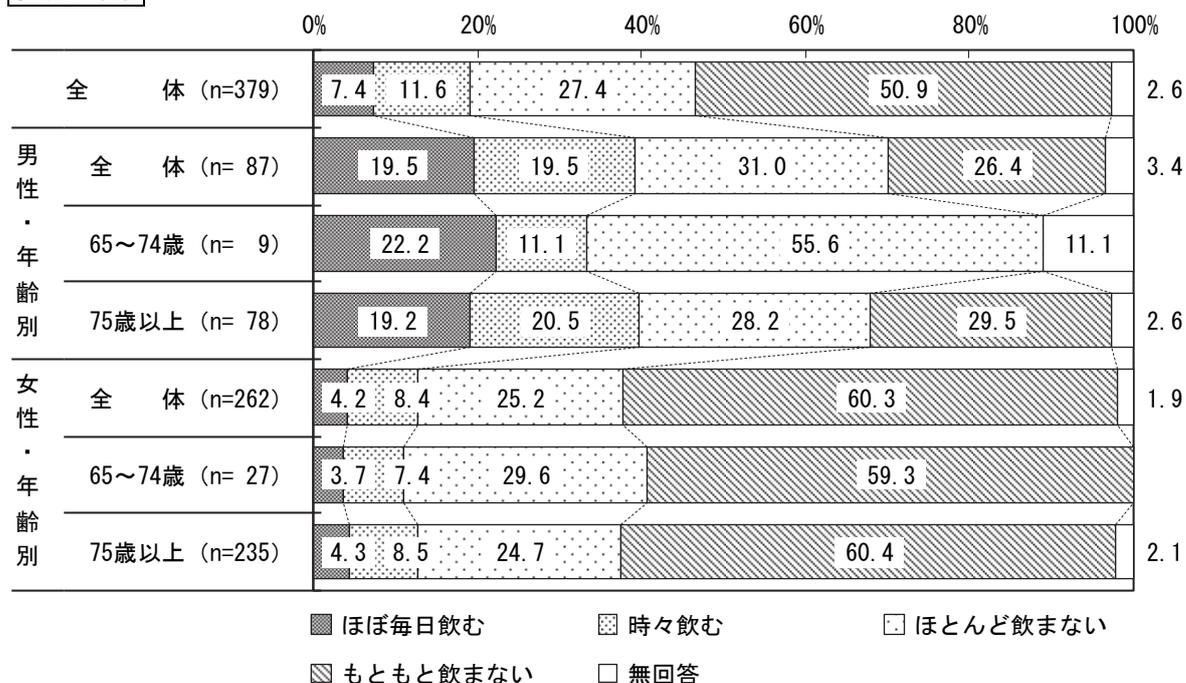
お酒を飲むかたずねたところ、「ほぼ毎日飲む」は、一般高齢者では18.0%、事業対象者では7.4%、介護保険サービスの無受給者では5.8%、要支援利用者では6.6%となっています。これを性別にみると、いずれにおいても、女性に比べて男性のほうが高く、一般高齢者の男性は30%を超えています。

図表4-51 お酒を飲むか

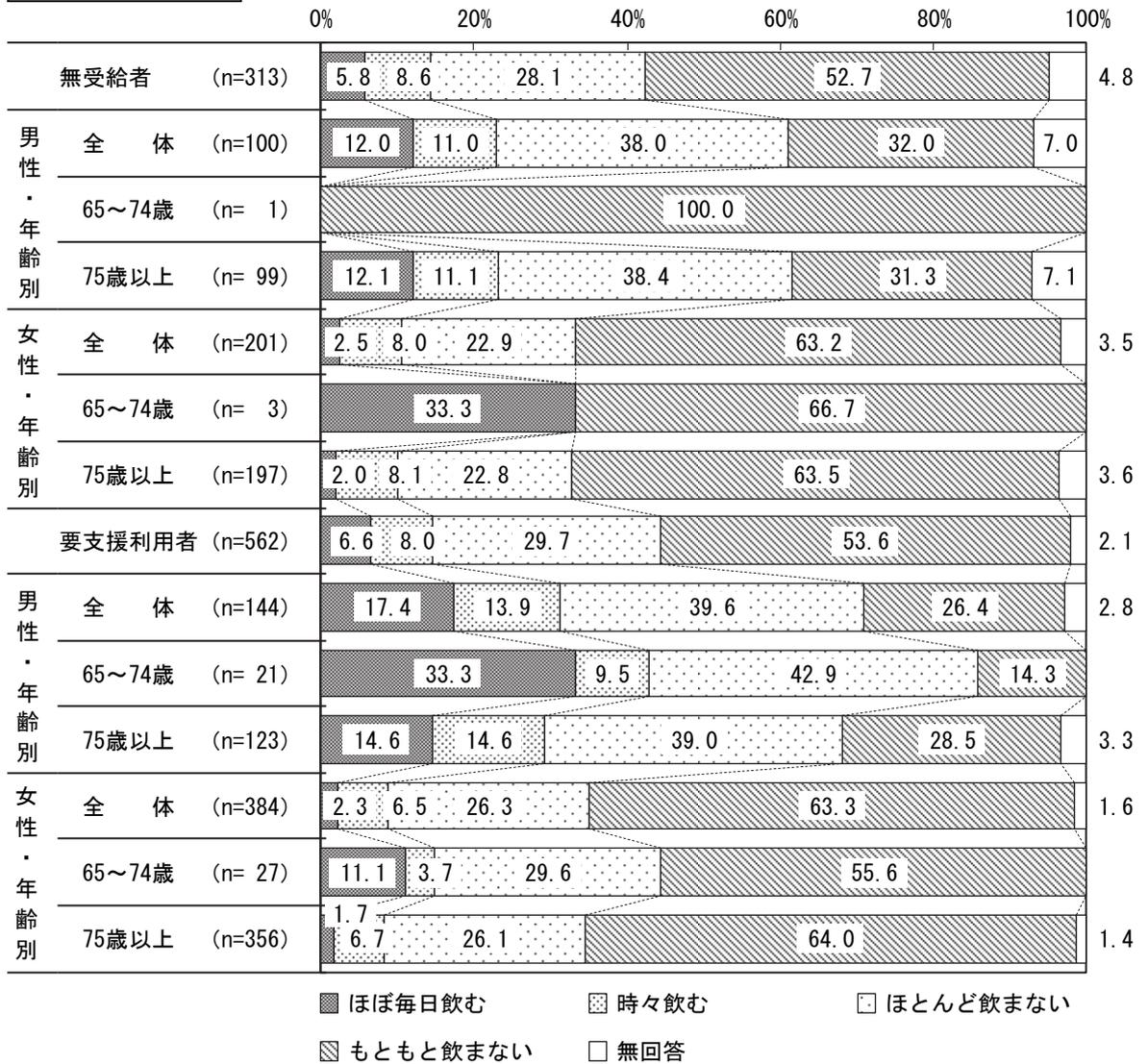
一般高齢者



事業対象者



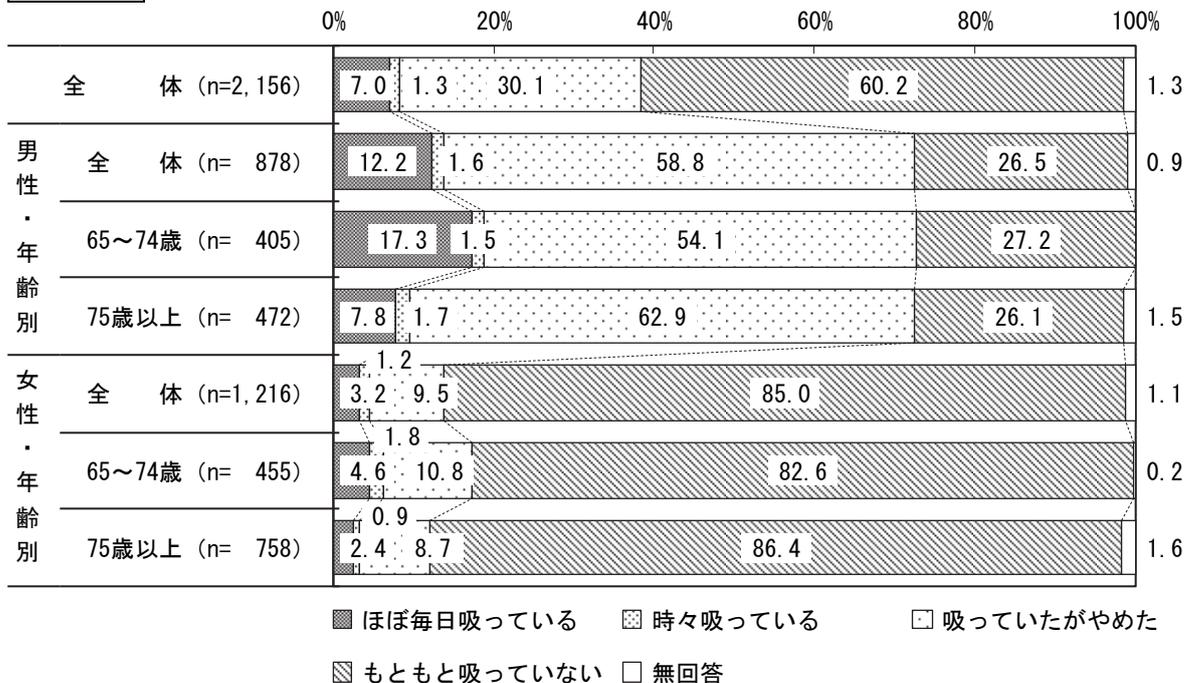
在宅要支援認定者等



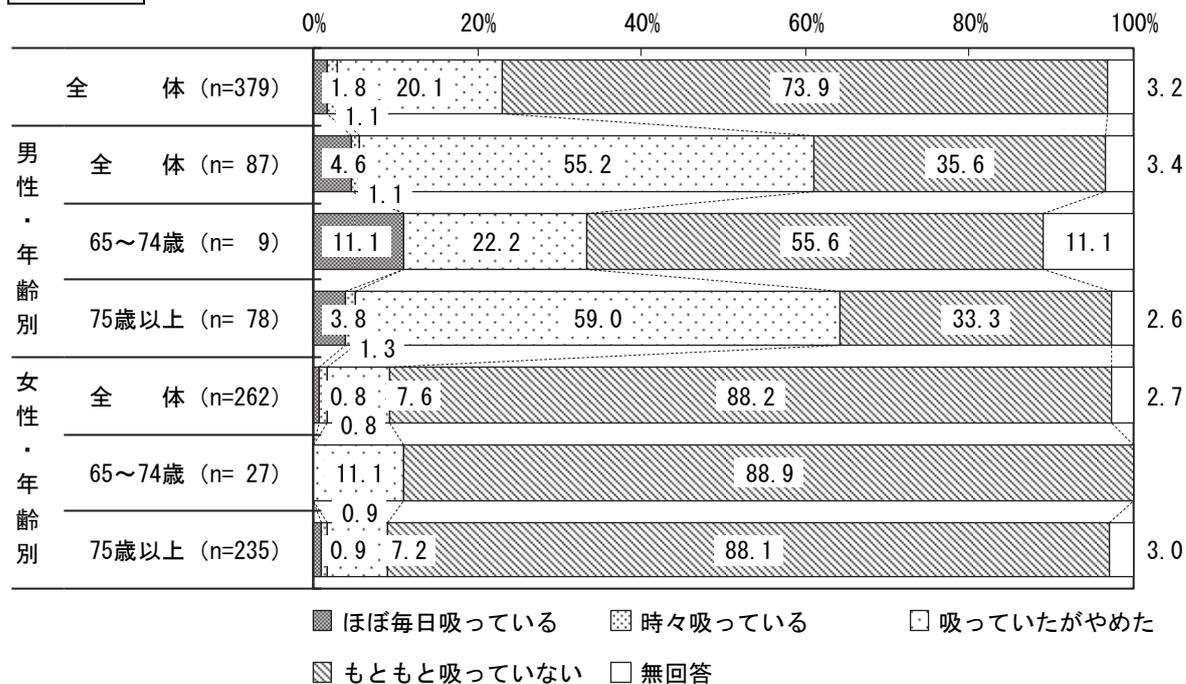
たばこを吸うかたずねたところ、「ほぼ毎日吸っている」は、一般高齢者では7.0%、事業対象者では1.8%、介護保険サービスの無受給者では2.9%、要支援利用者では3.6%と低くなっています。これを性別にみると、いずれにおいても、女性に比べて男性のほうが高くなっています。

図表4-52 たばこを吸うか

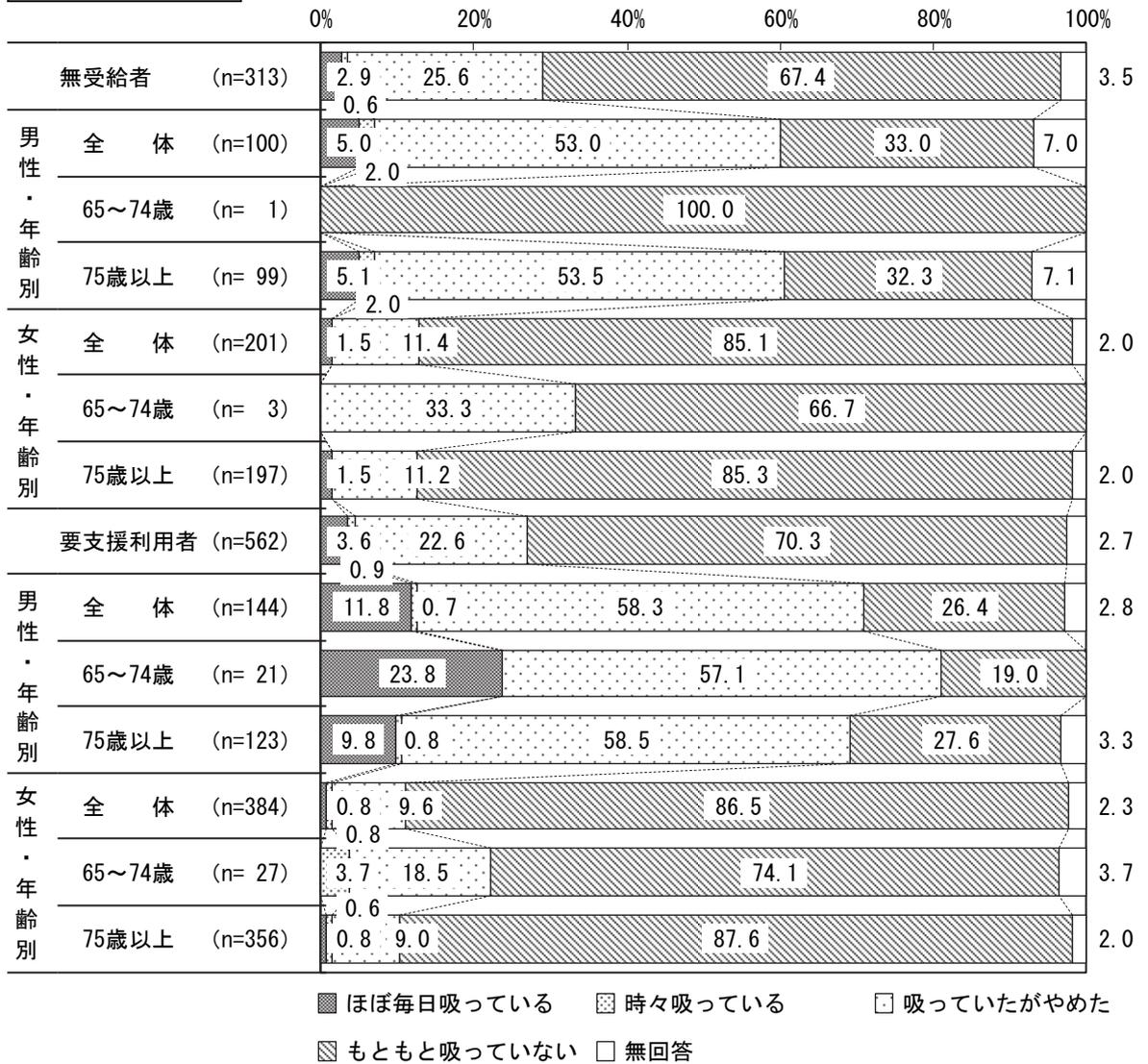
一般高齢者



事業対象者



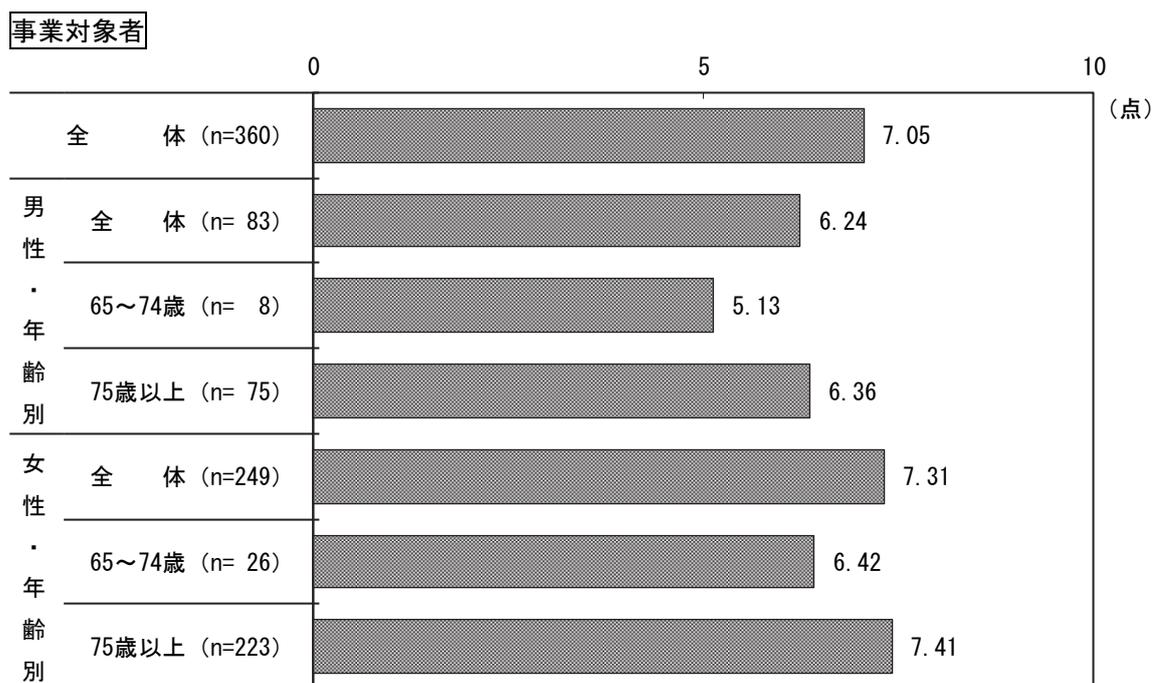
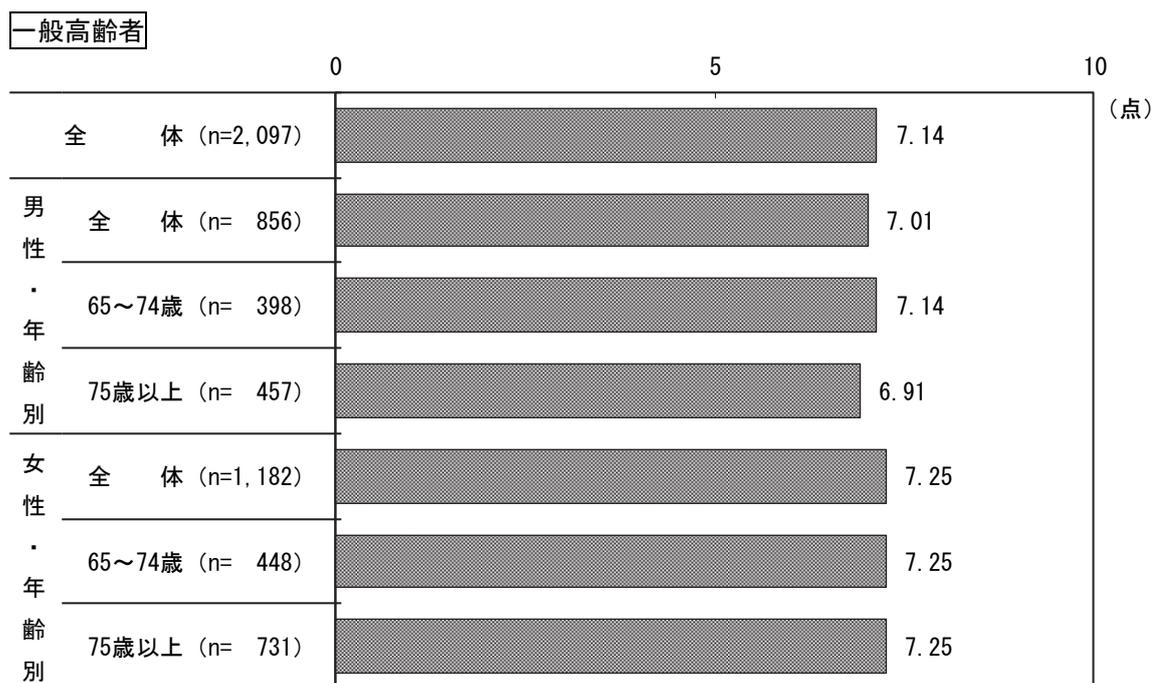
在宅要支援認定者等



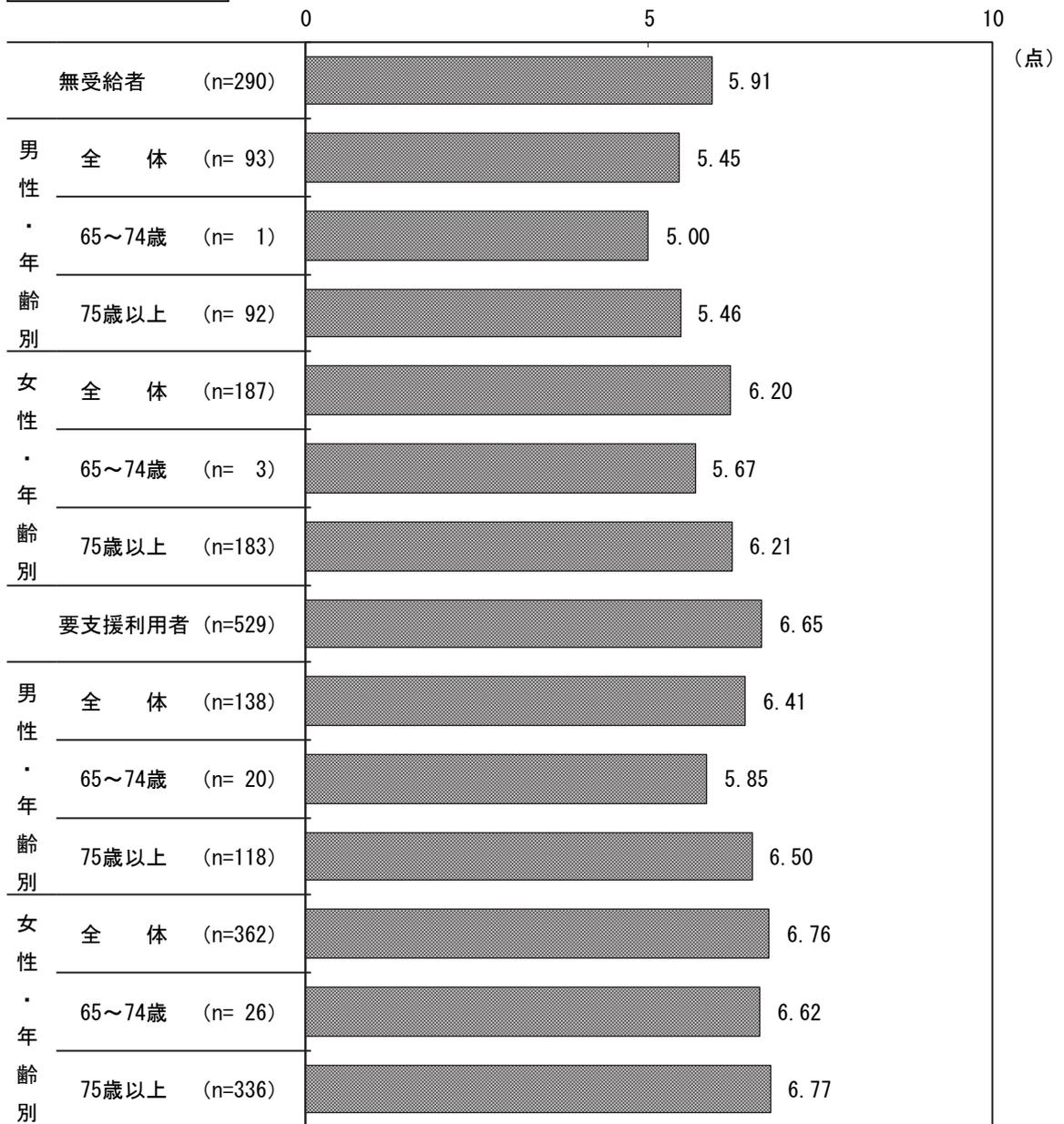
## (2) 幸福感

どの程度幸せか、「0」（とても不幸）から「10」（とても幸せ）までの点数で表してもらい、平均値を求めた結果が図表4-53となります。一般高齢者では7.14点、事業対象者では7.05点、介護保険サービスの無受給者では5.91点、要支援利用者では6.65点となっています。これを性別にみると、事業対象者では、女性に比べて男性が1ポイント低くなっています。

図表4-53 幸福感



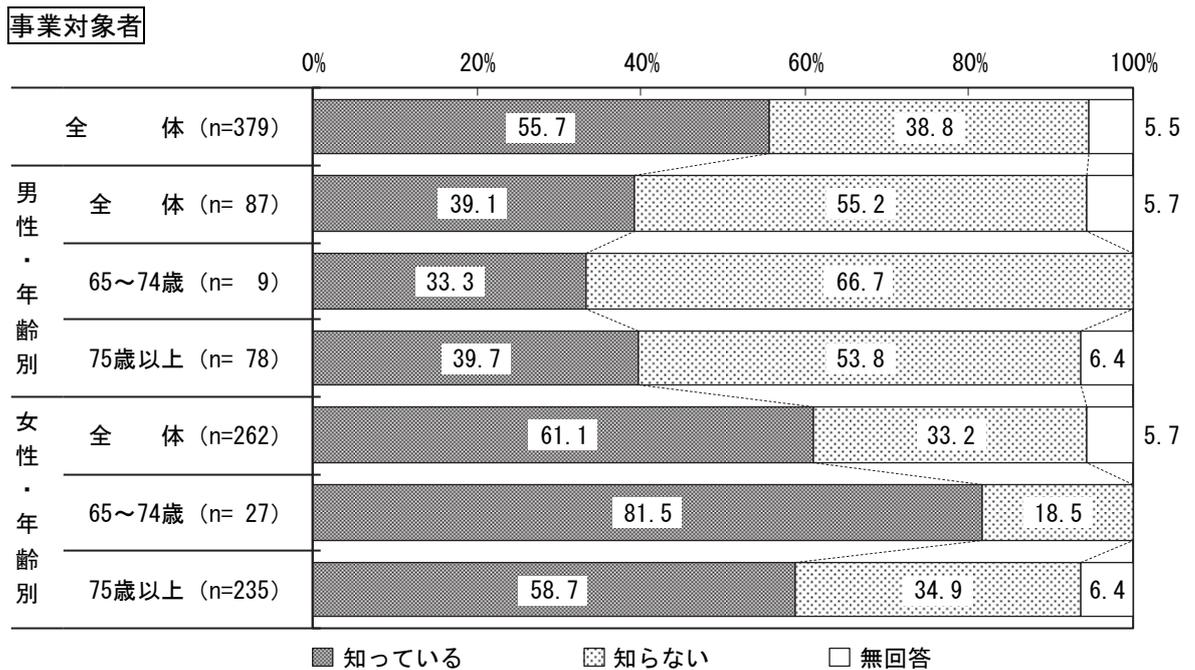
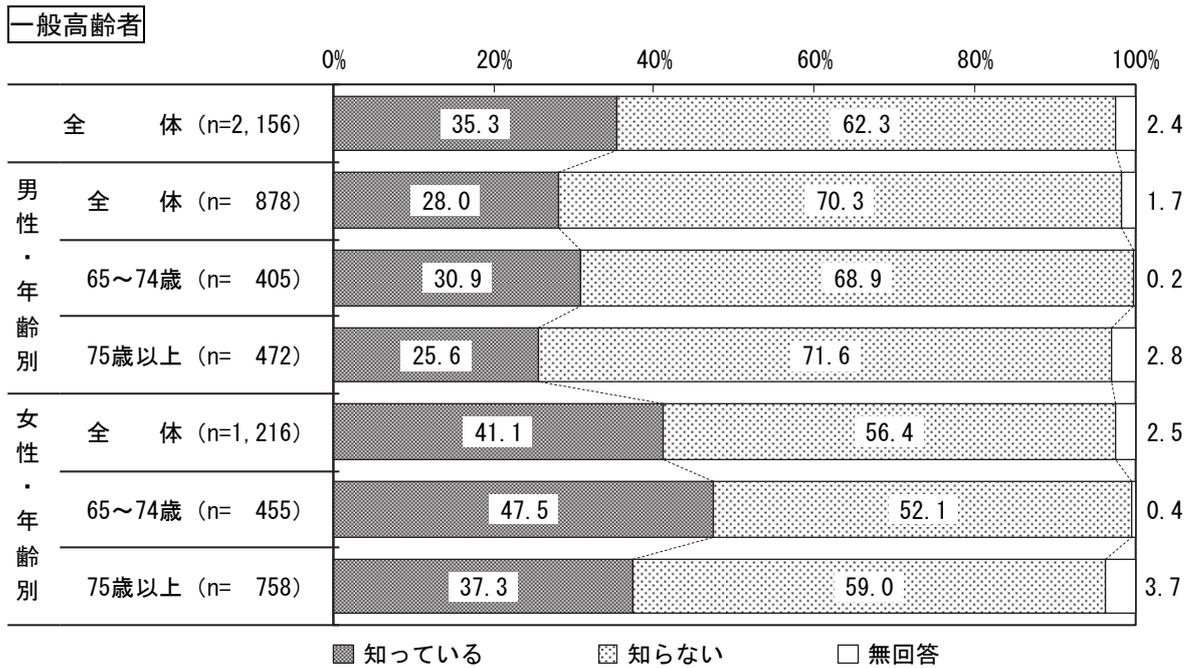
在宅要支援認定者等



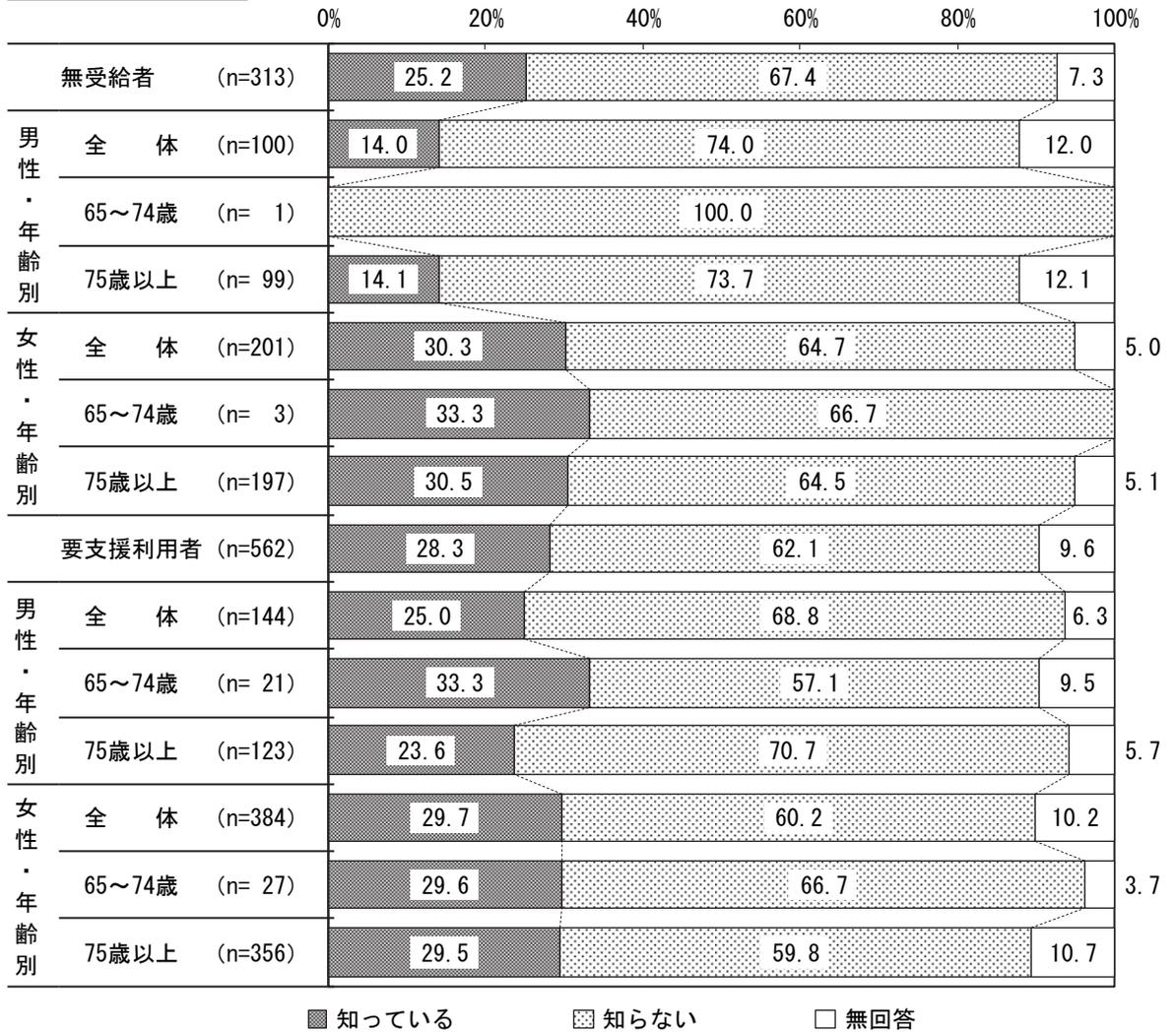
### (3) フレイル予防

フレイル（健康な状態と要介護の状態の間で、身体的機能や認知機能等の低下が見られる状態）について「知っている」は、一般高齢者では35.3%、事業対象者では55.7%、介護保険サービスの無受給者では25.2%、要支援利用者では28.3%となっています。これを性別にみると、要支援利用者以外では、男性に比べて女性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-54 フレイルの認知度



在宅要支援認定者等

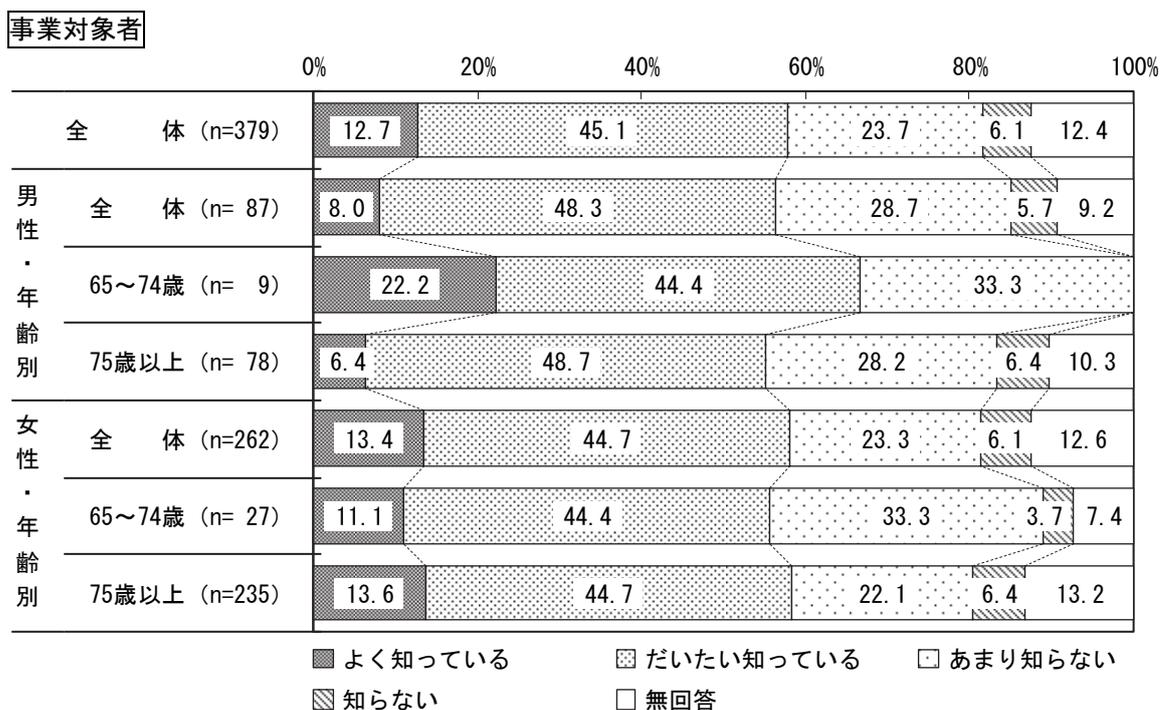
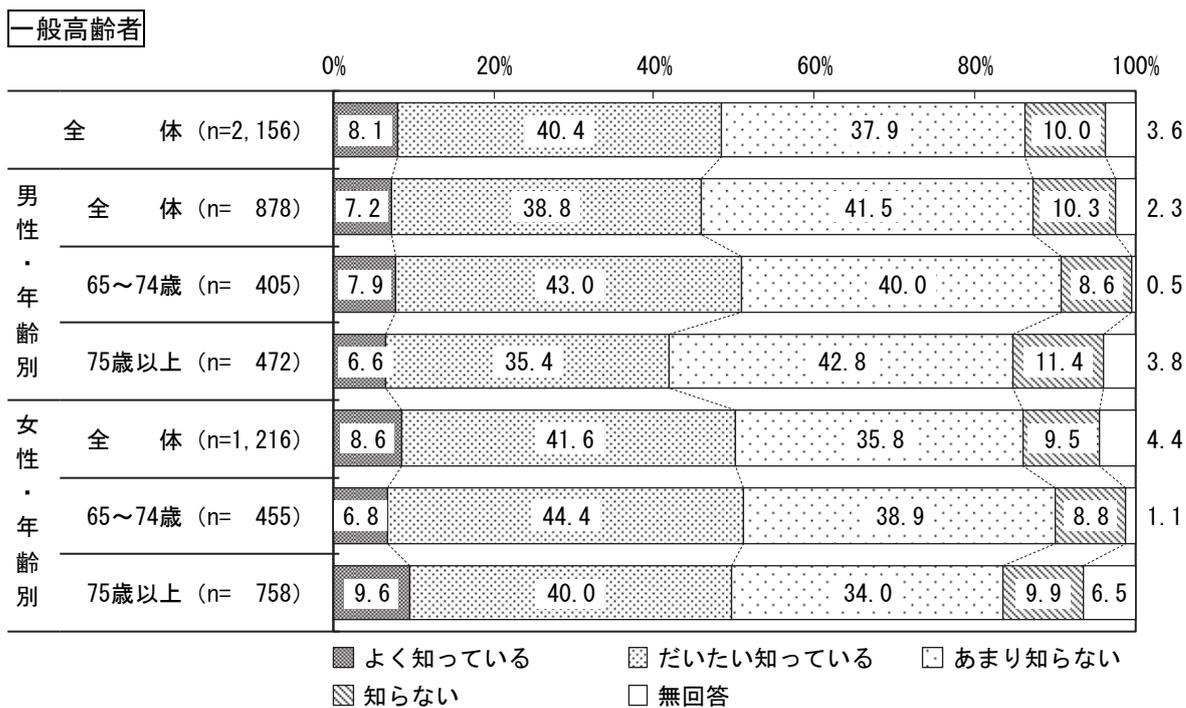


## 7 福祉サービス等の利用について

### (1) 介護保険制度の認知度等

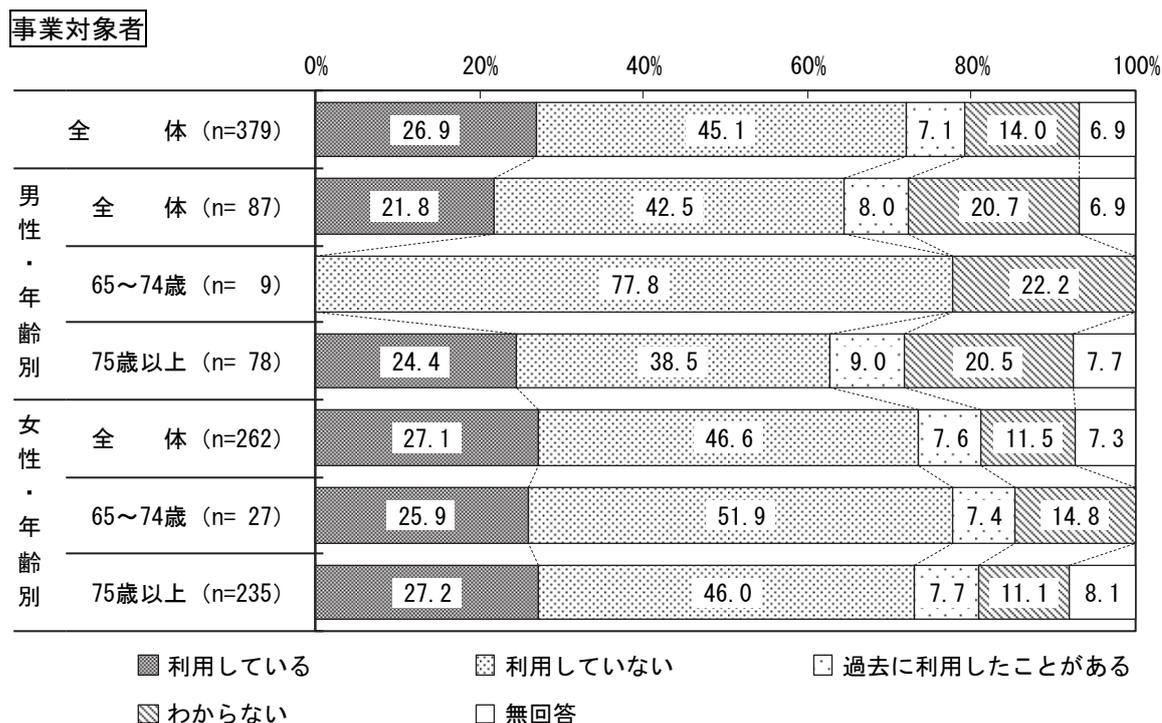
要支援・要介護認定を受けていない高齢者で、介護保険制度について《知っている》（「よく知っている」＋「だいたい知っている」）人は、一般高齢者で48.5%、事業対象者で57.8%となっています。これを性別にみても、大きな差異はみられません。

図表4-55 介護保険制度の認知度



要支援・要介護認定を受けておらず、基本チェックリスト（日常生活に必要な機能が低下していないかアンケート形式で問うもの）において日常生活に何らかのリスク（危険）があると判定された人（事業対象者）における介護予防・日常生活支援総合事業の利用状況については、「利用していない」が45.1%を占め、「利用している」は26.9%となっています。「利用している」を性別にみると、男性に比べて女性が5ポイント以上高くなっています。

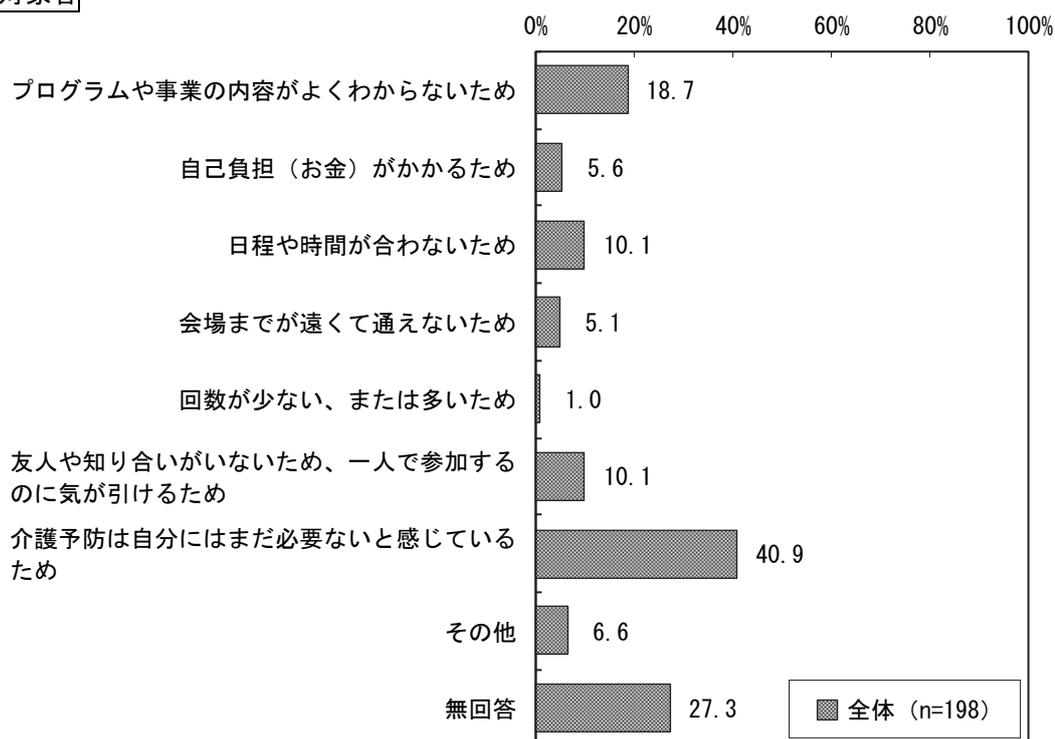
図表 4-56 介護予防・日常生活支援総合事業の利用状況



介護予防・日常生活支援総合事業を「利用していない」または「過去に利用したことがある」と答えた人に、今は利用していない理由をたずねたところ、「介護予防は自分にはまだ必要ないと感じているため」が40.9%と最も高く、このほか、「プログラムや事業の内容がよくわからないため」が18.7%などとなっています。性別にみると、「介護予防は自分にはまだ必要ないと感じているため」は、男性に比べて女性が15ポイント程度高くなっています。

図表4-57 介護予防・日常生活支援総合事業を利用していない理由（3つまで回答）

事業対象者



(単位：%)

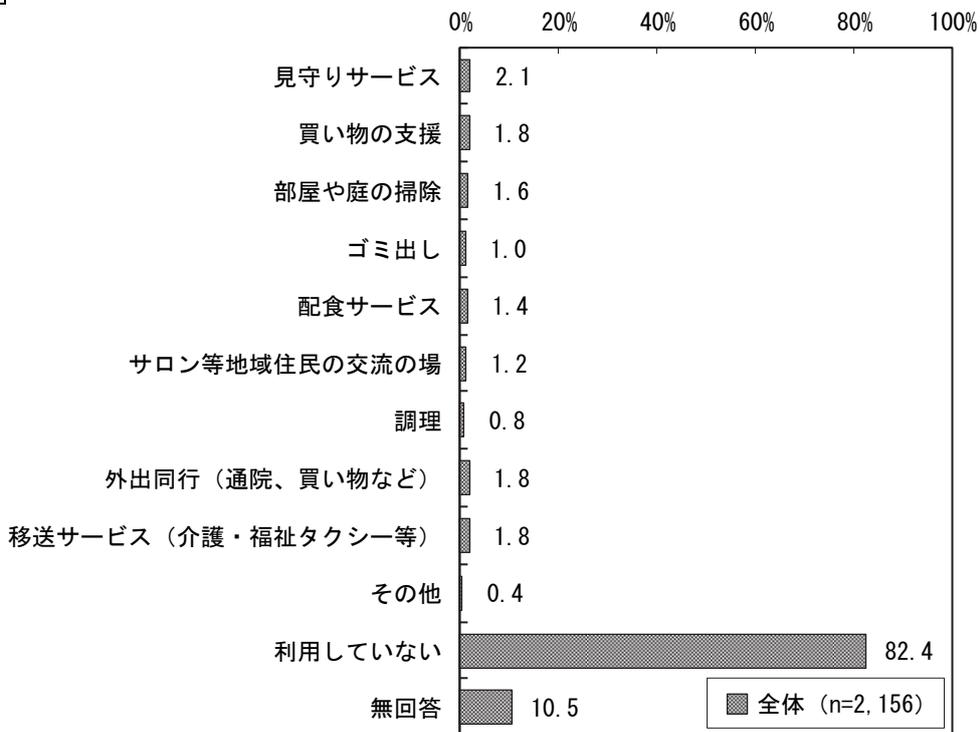
区分		よくわからないため	自己負担（お金）がかかるため	日程や時間が合わないため	会場までが遠くて通えないため	回数が少ない、または多いため	友人や知り合いがいないため、一人で参加するのに気が引けるため	介護予防は自分にはまだ必要ないと感じているため	その他	無回答
		全体 (n= 44)	29.5	4.5	15.9	4.5	2.3	11.4	29.5	11.4
男性	65～74歳 (n= 7)	42.9	14.3	28.6	-	-	28.6	42.9	14.3	-
	75歳以上 (n= 37)	27.0	2.7	13.5	5.4	2.7	8.1	27.0	10.8	21.6
女性	全体 (n=142)	16.9	6.3	8.5	5.6	0.7	10.6	44.4	4.9	28.9
	65～74歳 (n= 16)	18.8	18.8	18.8	6.3	6.3	6.3	31.3	-	31.3
	75歳以上 (n=126)	16.7	4.8	7.1	5.6	-	11.1	46.0	5.6	28.6

(2) 介護保険サービス以外のサービス等の利用等

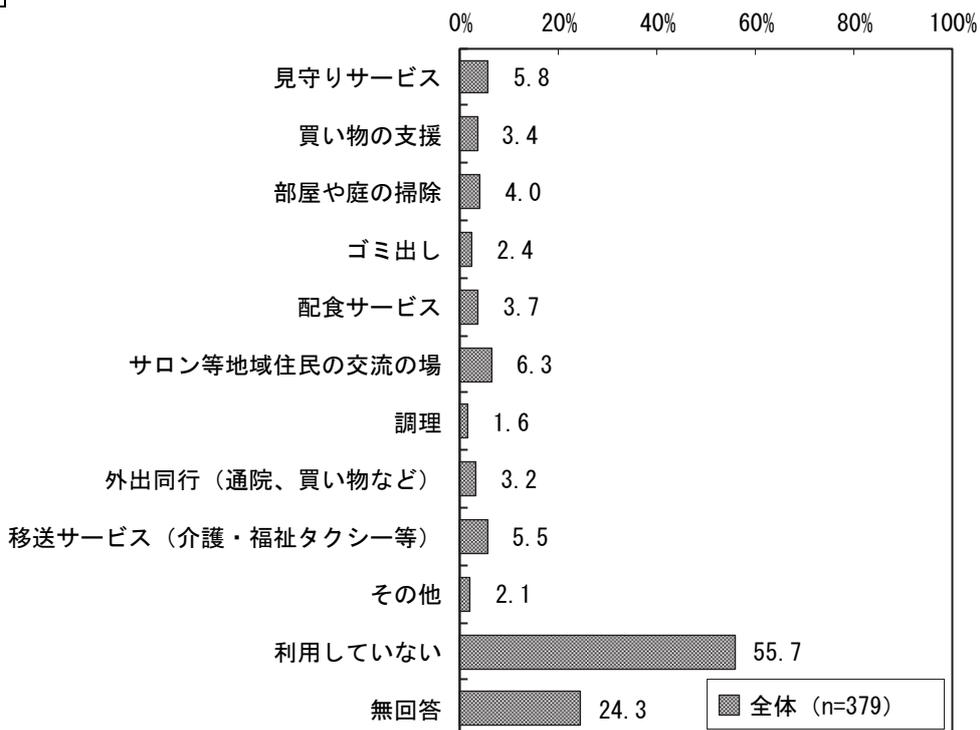
要支援・要介護認定を受けていない高齢者の介護保険サービス以外のサービス等の利用状況については、「利用していない」が一般高齢者で82.4%、事業対象者で55.7%となっており、利用しているサービス等で10%を超えているものはありません。

図表4-58 利用している介護保険サービス以外のサービス等（複数回答）

一般高齢者

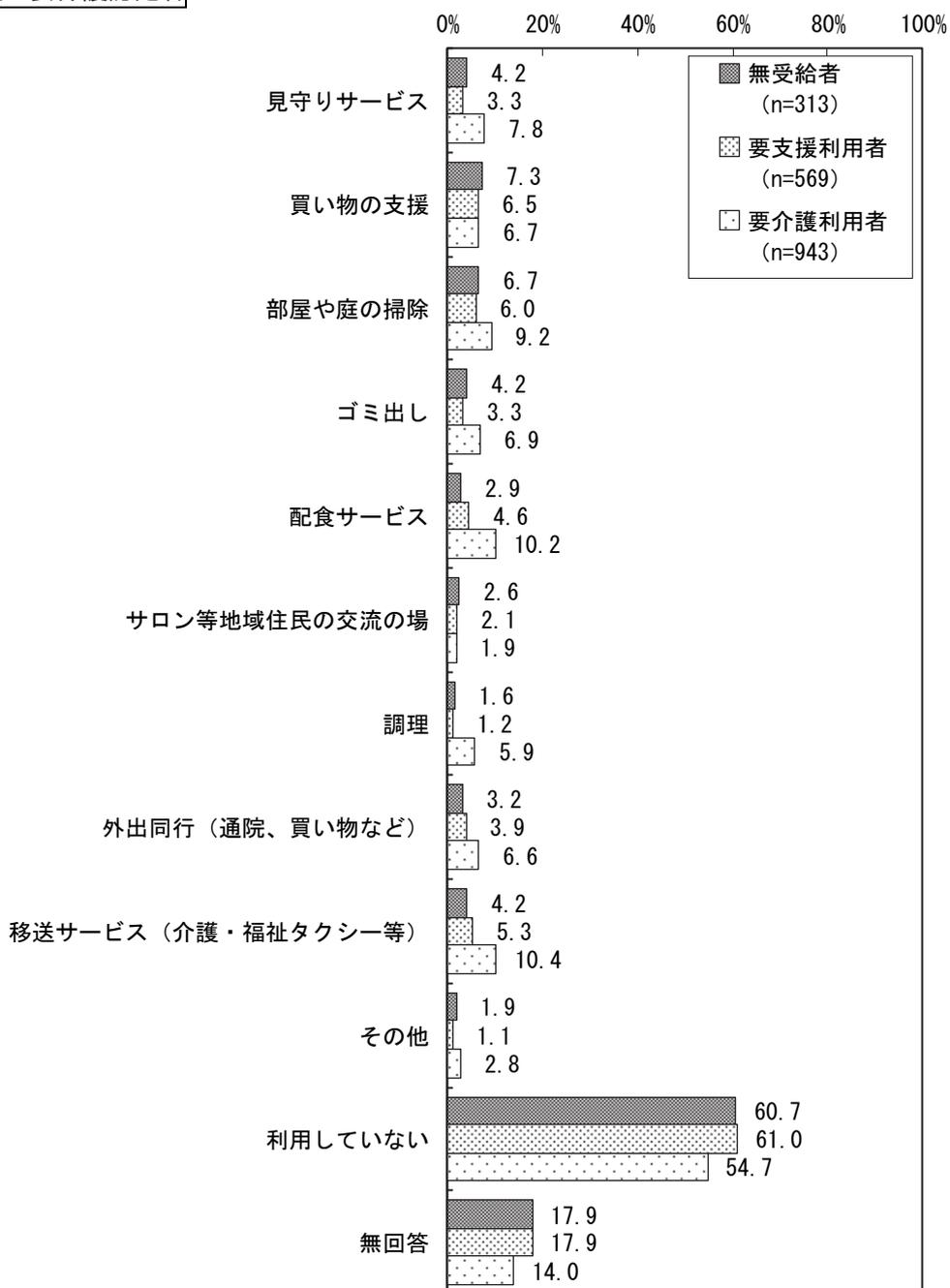


事業対象者



一方、要支援・要介護認定を受けている高齢者の介護保険サービス以外のサービス等の利用状況については、「利用していない」が無受給者で60.7%、要支援利用者で61.0%、要介護利用者で54.7%となっており、利用しているサービス等で10%を超えているのは、要介護利用者の「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（10.4%）と「配食サービス」（10.2%）です。

**在宅要支援・要介護認定者**



性別にみると、要介護利用者の「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」では男性、「配食サービス」では女性が10%を超えています。

図表4-59 利用している介護保険サービス以外のサービス等（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		見守りサービス	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等地域住民の交流の場	調理	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス （介護・福祉タクシー等）	その他	利用していない	無回答
男 性	全 体 (n= 878)	2.1	1.3	0.9	0.7	1.0	0.5	0.6	1.4	1.4	0.2	85.9	9.0
	65～74 歳 (n= 405)	1.7	-	0.5	0.2	1.2	0.5	-	0.2	0.7	0.2	93.1	3.5
	75 歳以上 (n= 472)	2.3	2.3	1.3	1.1	0.8	0.4	1.1	2.3	1.9	0.2	79.7	13.8
女 性	全 体 (n=1,216)	2.1	2.1	2.1	1.2	1.6	1.6	0.9	2.0	2.1	0.5	80.5	11.2
	65～74 歳 (n= 455)	1.1	0.9	2.0	0.7	0.7	0.4	0.2	0.9	0.7	-	91.6	4.8
	75 歳以上 (n= 758)	2.8	2.8	2.1	1.5	2.1	2.4	1.3	2.6	3.0	0.8	73.9	15.0

事業対象者

(単位：%)

区 分		見守りサービス	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等地域住民の交流の場	調理	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス （介護・福祉タクシー等）	その他	利用していない	無回答
男 性	全 体 (n= 87)	5.7	5.7	6.9	3.4	9.2	8.0	2.3	1.1	5.7	3.4	55.2	20.7
	65～74 歳 (n= 9)	-	-	22.2	11.1	-	-	-	-	11.1	-	66.7	-
	75 歳以上 (n= 78)	6.4	6.4	5.1	2.6	10.3	9.0	2.6	1.3	5.1	3.8	53.8	23.1
女 性	全 体 (n=262)	5.7	2.3	3.1	1.9	1.9	5.7	1.5	4.2	5.7	1.9	56.5	24.8
	65～74 歳 (n= 27)	3.7	-	3.7	-	-	7.4	-	-	3.7	-	66.7	14.8
	75 歳以上 (n=235)	6.0	2.6	3.0	2.1	2.1	5.5	1.7	4.7	6.0	2.1	55.3	26.0

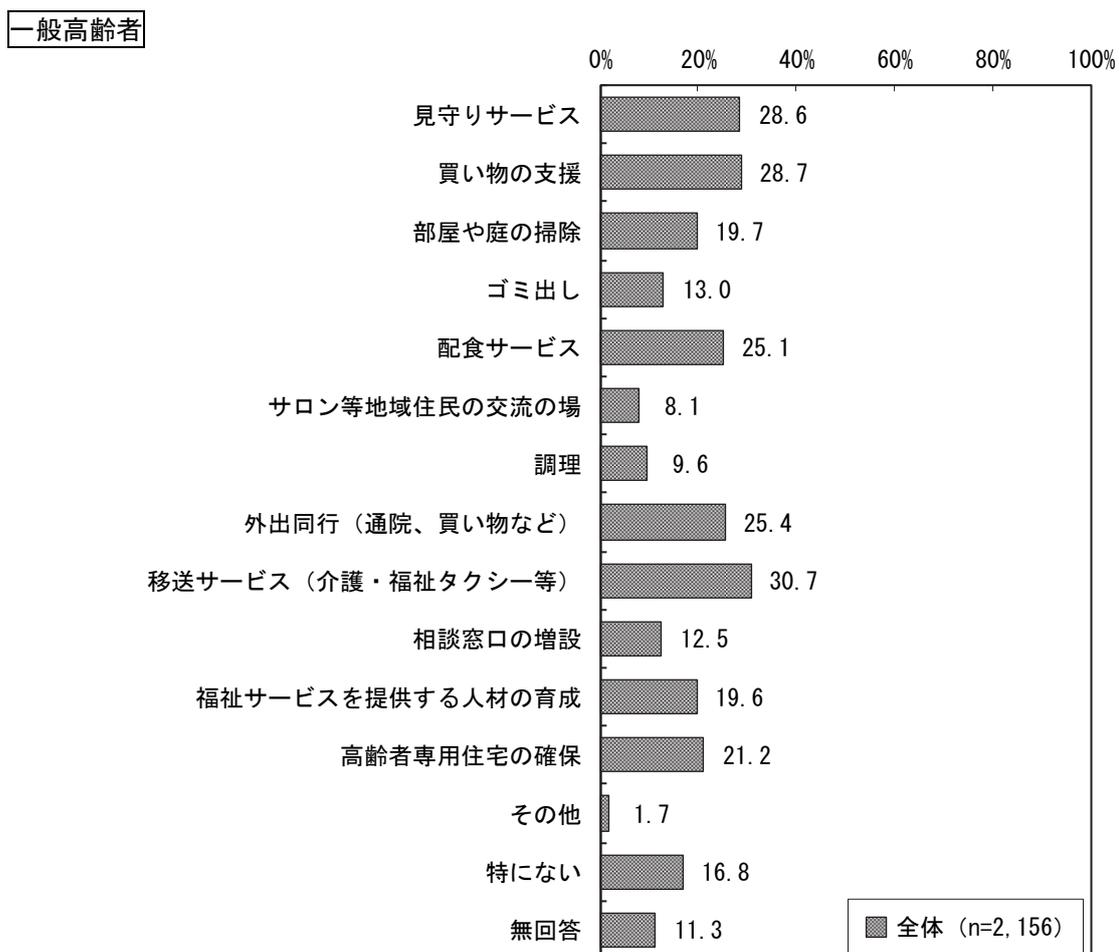
在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

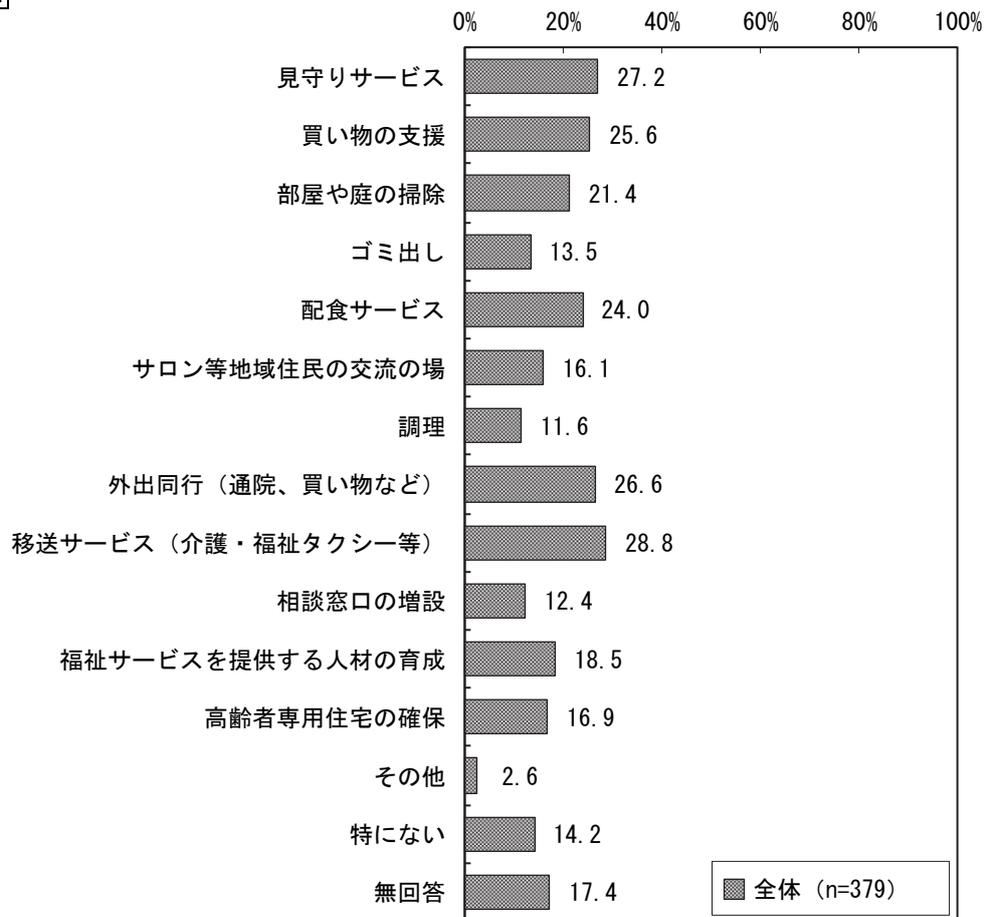
区 分		見守りサービス	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等地域住民の交流の場	調理	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	その他	利用していない	無回答
無受給者													
男 性	全 体 (n=100)	4.0	4.0	6.0	5.0	2.0	2.0	2.0	1.0	3.0	2.0	57.0	24.0
	65～74歳 (n= 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	75歳以上 (n= 99)	4.0	4.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	1.0	3.0	2.0	56.6	24.2
女 性	全 体 (n=201)	4.0	9.0	7.0	3.5	3.5	2.5	1.5	4.0	5.0	1.5	63.7	13.9
	65～74歳 (n= 3)	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3
	75歳以上 (n=197)	4.1	9.1	6.6	3.6	3.6	2.5	1.5	4.1	5.1	1.5	64.0	13.7
要支援利用者													
男 性	全 体 (n=149)	2.7	4.7	6.0	3.4	5.4	-	1.3	3.4	4.7	0.7	71.1	12.1
	65～74歳 (n= 22)	-	-	-	4.5	-	-	-	-	-	4.5	81.8	9.1
	75歳以上 (n=127)	3.1	5.5	7.1	3.1	6.3	-	1.6	3.9	5.5	-	69.3	12.6
女 性	全 体 (n=386)	3.1	6.7	5.7	3.4	4.4	3.1	1.3	4.1	5.4	1.0	58.3	19.7
	65～74歳 (n= 27)	3.7	-	7.4	7.4	-	-	3.7	-	-	-	77.8	14.8
	75歳以上 (n=358)	3.1	7.3	5.6	3.1	4.7	3.4	1.1	4.5	5.9	1.1	57.0	19.8
うち小規模多機能利用者 (n= 7)		14.3	42.9	-	-	14.3	-	-	28.6	28.6	-	14.3	14.3
要介護利用者													
男 性	全 体 (n=319)	6.0	5.3	7.8	4.4	8.8	1.3	4.4	6.0	12.9	1.9	52.4	15.7
	65～74歳 (n= 30)	3.3	6.7	10.0	3.3	3.3	3.3	10.0	6.7	3.3	3.3	73.3	6.7
	75歳以上 (n=286)	5.9	5.2	7.7	4.5	9.4	1.0	3.8	5.9	14.0	1.7	50.0	16.8
女 性	全 体 (n=596)	8.9	7.6	9.9	8.4	10.7	2.2	6.7	7.2	8.7	3.4	56.7	12.2
	65～74歳 (n= 37)	8.1	13.5	10.8	2.7	10.8	-	2.7	8.1	13.5	10.8	37.8	13.5
	75歳以上 (n=556)	9.0	7.2	9.9	8.8	10.6	2.2	7.0	7.2	8.3	2.9	58.3	12.1
うち小規模多機能利用者 (n=130)		12.3	9.2	9.2	6.9	16.9	3.1	6.9	12.3	13.1	3.1	57.7	6.9
うち定期巡回・随時対応利用者 (n= 60)		11.7	11.7	10.0	6.7	10.0	-	6.7	1.7	13.3	8.3	41.7	21.7

今後、高齢者世帯が自立した日常生活を営む上で、充実が必要な介護保険サービス以外のサービス等については、一般高齢者と事業対象者、要支援利用者では介護・福祉タクシー等の「移送サービス」(30.7%、28.8%、31.5%)、介護保険サービスの無受給者と要介護利用者では通院、買い物などの「外出同行」(28.4%、41.3%)が最も高くなっています。このほか、30%を超えているのは、要介護利用者の「見守りサービス」、「買い物の支援」、「部屋や庭の掃除」、「配食サービス」、「移送サービス」と要支援利用者の「外出同行」です。なお、「特にない」は、いずれにおいても、20%を下回っています。

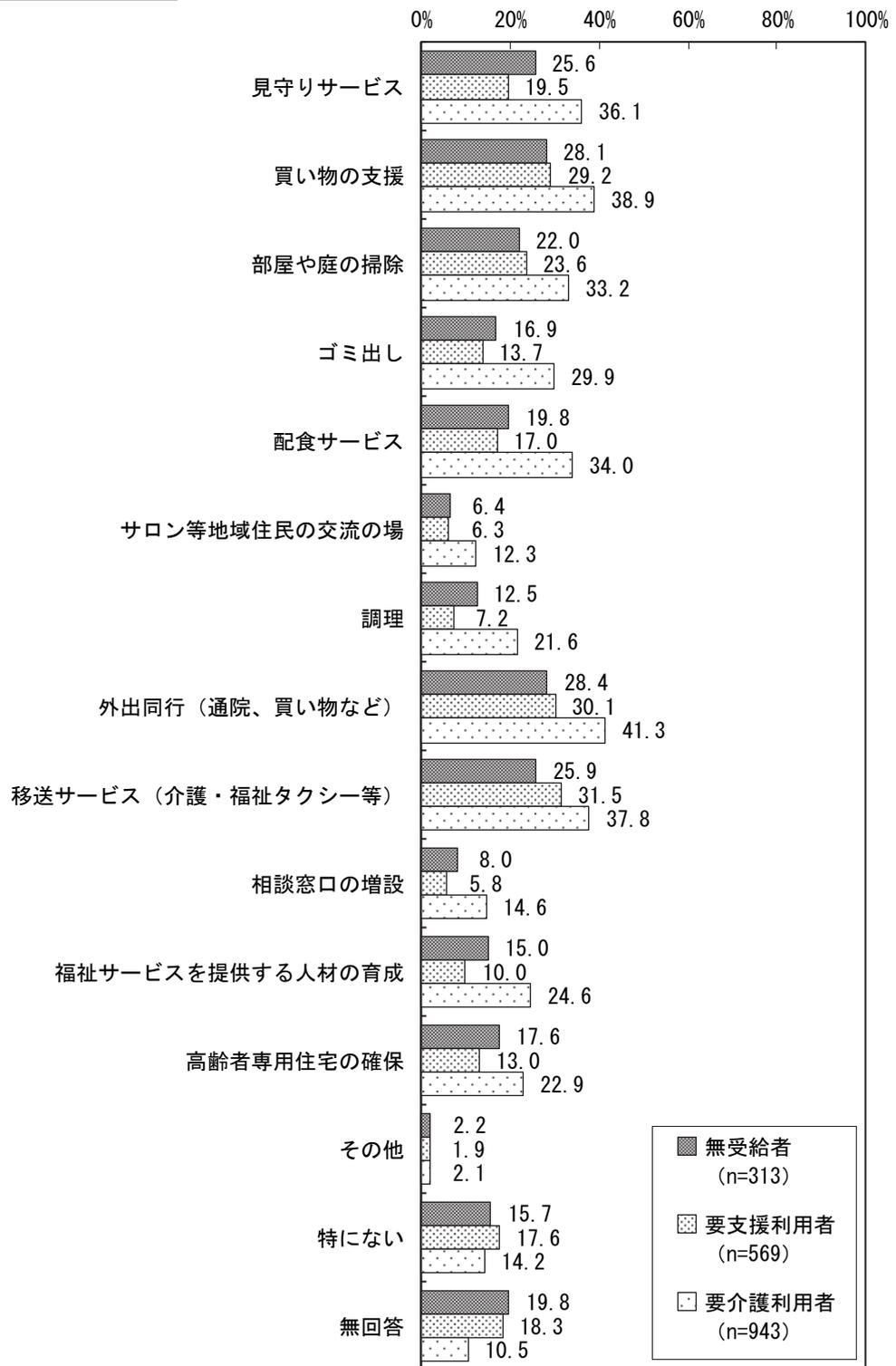
図表4-60 今後充実が必要な介護保険サービス以外のサービス等（複数回答）



事業対象者



在宅要支援・要介護認定者



性別にみると、介護保険サービスの無受給者では、多くの項目で男性に比べて女性のほうが高くなっています。

なお、要介護利用者のうち、小規模多機能型居宅介護と定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用者も通院、買い物などの「外出同行」が最も高くなっています。

図表4-61 今後充実が必要な介護保険サービス以外のサービス等（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		見守りサービス	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等地域住民の交流の場	調理	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	相談窓口の増設	福祉サービスの育成	高齢者専用住宅の確保	その他	特にない	無回答
男 性	全 体 (n= 878)	30.0	28.9	18.8	12.0	25.5	6.6	11.4	21.0	30.1	12.5	17.4	20.4	1.5	19.9	9.1
	65～74歳 (n= 405)	32.1	33.3	22.7	13.3	28.9	8.1	12.6	22.0	32.6	13.8	21.7	25.7	1.5	18.5	6.2
	75歳以上 (n= 472)	28.2	25.2	15.5	10.8	22.7	5.3	10.4	20.1	27.8	11.4	13.8	15.9	1.5	21.2	11.7
女 性	全 体 (n=1,216)	27.9	28.9	20.7	14.1	25.6	9.2	8.8	29.4	31.9	12.7	21.8	21.7	1.8	14.1	12.3
	65～74歳 (n= 455)	31.6	33.2	25.3	17.6	31.2	10.5	9.9	33.4	38.5	15.2	31.4	26.4	1.8	10.5	4.8
	75歳以上 (n= 758)	25.6	26.1	17.9	12.1	22.3	8.3	8.2	26.9	28.1	11.2	16.1	18.9	1.8	16.1	16.8

事業対象者

(単位：%)

区 分		見守りサービス	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等地域住民の交流の場	調理	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	相談窓口の増設	福祉サービスの育成	高齢者専用住宅の確保	その他	特にない	無回答
男 性	全 体 (n= 87)	31.0	27.6	27.6	12.6	29.9	18.4	20.7	28.7	26.4	20.7	19.5	21.8	4.6	14.9	13.8
	65～74歳 (n= 9)	55.6	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	22.2	22.2	33.3	33.3	22.2	33.3	-	11.1	-
	75歳以上 (n= 78)	28.2	28.2	26.9	11.5	30.8	19.2	20.5	29.5	25.6	19.2	19.2	20.5	5.1	15.4	15.4
女 性	全 体 (n=262)	27.9	23.7	20.2	13.7	22.9	16.4	9.2	25.6	30.5	9.9	19.5	14.9	1.9	13.4	18.3
	65～74歳 (n= 27)	33.3	29.6	25.9	22.2	44.4	29.6	14.8	37.0	40.7	11.1	29.6	29.6	-	11.1	11.1
	75歳以上 (n=235)	27.2	23.0	19.6	12.8	20.4	14.9	8.5	24.3	29.4	9.8	18.3	13.2	2.1	13.6	19.1

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

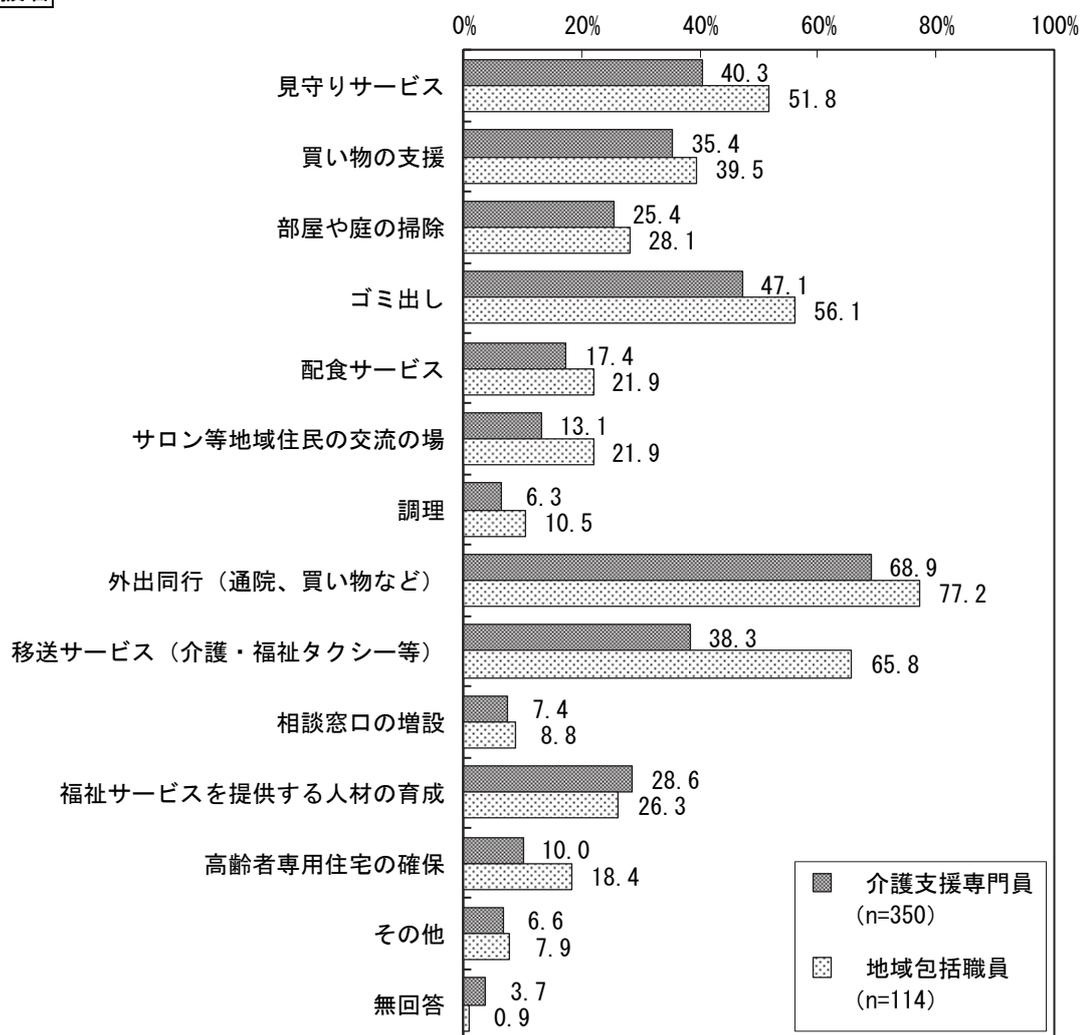
区 分		見守りサービス	買い物の支援	部屋や庭の掃除	ゴミ出し	配食サービス	サロン等 交流の場	調理	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	相談窓口の増設	福祉サービスの提供 する人材の育成	高齢者専用住宅の確保	その他	特にない	無回答
無受給者																
男 性	全 体 (n=100)	17.0	25.0	17.0	14.0	13.0	2.0	12.0	20.0	19.0	6.0	8.0	11.0	4.0	18.0	25.0
	65～74歳 (n= 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	75歳以上 (n= 99)	17.2	25.3	17.2	14.1	13.1	2.0	12.1	20.2	18.2	6.1	8.1	11.1	4.0	18.2	25.3
女 性	全 体 (n=201)	28.9	30.3	24.9	18.4	24.4	8.0	12.9	32.8	29.9	9.0	18.9	19.9	1.5	13.9	17.4
	65～74歳 (n= 3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3
	75歳以上 (n=197)	29.4	31.0	25.4	18.8	24.4	8.1	13.2	33.0	29.9	9.1	19.3	20.3	1.5	13.2	17.3
要支援利用者																
男 性	全 体 (n=149)	18.8	30.2	26.8	11.4	24.2	5.4	11.4	30.9	31.5	9.4	9.4	10.7	-	20.1	14.8
	65～74歳 (n= 22)	13.6	31.8	22.7	13.6	31.8	4.5	9.1	31.8	27.3	4.5	13.6	9.1	-	9.1	13.6
	75歳以上 (n=127)	19.7	29.9	27.6	11.0	22.8	5.5	11.8	30.7	32.3	10.2	8.7	11.0	-	22.0	15.0
女 性	全 体 (n=386)	19.7	28.2	21.8	14.2	15.0	7.0	5.7	30.8	32.9	4.7	10.4	13.2	2.6	17.4	19.4
	65～74歳 (n= 27)	7.4	25.9	11.1	11.1	11.1	3.7	-	40.7	29.6	-	11.1	11.1	3.7	22.2	11.1
	75歳以上 (n=358)	20.7	28.5	22.6	14.5	15.4	7.3	6.1	30.2	33.2	5.0	10.3	13.4	2.5	17.0	19.8
うち小規模多機能利用者 (n= 7)		28.6	42.9	-	-	42.9	-	-	28.6	28.6	28.6	14.3	-	-	-	28.6
要介護利用者																
男 性	全 体 (n=319)	34.2	39.2	30.4	24.5	32.6	11.0	19.1	42.3	38.9	12.2	23.5	20.4	2.2	14.1	7.5
	65～74歳 (n= 30)	40.0	40.0	26.7	20.0	43.3	6.7	20.0	40.0	30.0	13.3	23.3	23.3	-	20.0	3.3
	75歳以上 (n=286)	33.6	39.5	31.1	25.2	31.8	11.5	19.2	43.0	40.2	12.2	23.8	20.3	2.4	12.9	8.0
女 性	全 体 (n=596)	37.9	39.6	35.1	32.9	35.4	13.4	23.3	41.3	37.8	16.1	25.8	24.5	2.2	14.1	11.2
	65～74歳 (n= 37)	40.5	45.9	37.8	29.7	32.4	16.2	21.6	40.5	32.4	13.5	18.9	18.9	-	18.9	5.4
	75歳以上 (n=556)	37.8	39.0	34.5	32.9	35.6	13.3	23.2	41.4	38.1	16.2	26.3	25.0	2.3	13.8	11.7
うち小規模多機能利用者 (n=130)		46.9	44.6	41.5	36.9	41.5	16.9	25.4	49.2	39.2	21.5	36.9	29.2	2.3	12.3	8.5
うち定期巡回・ 随時対応利用者 (n= 60)		33.3	35.0	31.7	31.7	33.3	21.7	23.3	40.0	36.7	16.7	38.3	25.0	6.7	16.7	13.3

本市が充実すべき介護サービス以外のサービス等について、介護支援専門員（ケアマネジャー）と地域包括支援センター職員にたずねたところ、ともに、通院、買い物などの「外出同行」が最も高く、60%を超えています。このほか、一般高齢者から事業対象者、要支援利用者を主に担当している地域包括支援センター職員では、介護・福祉タクシー等の「移送サービス」も60%を超えています。

したがって、一般高齢者、事業対象者、在宅要支援・要介護認定者が求めるサービス等と支援者が必要性を感じるサービス等としては、介護・福祉タクシー等の「移送サービス」と通院、買い物などの「外出同行」が重要であるといえます。

図表4-62 本市が充実すべき介護サービス以外のサービス等（複数回答）

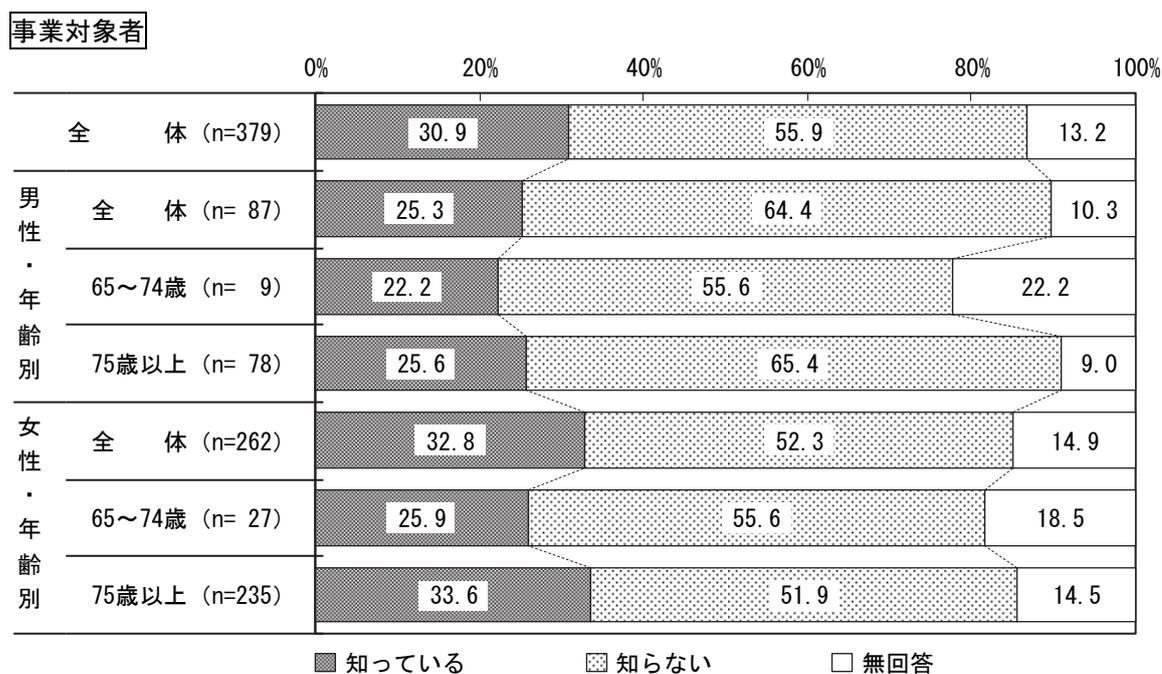
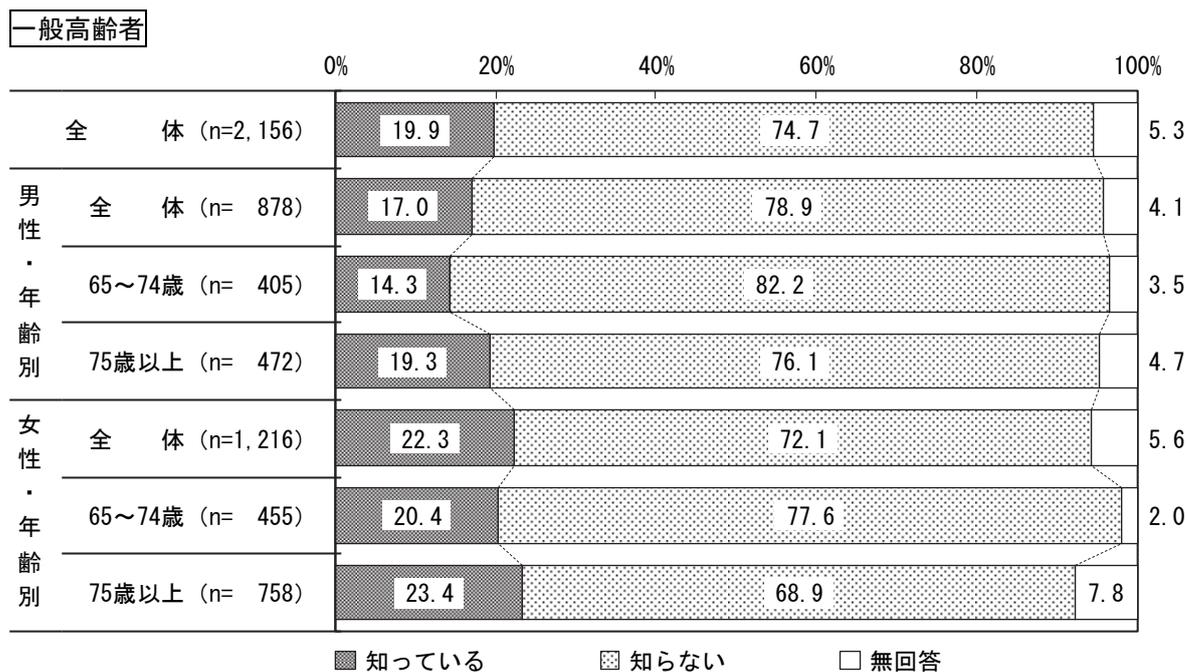
支援者



### (3) 権利擁護支援

日常生活自立支援事業（認知症高齢者等に対して生活支援員が福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理を行う事業）について「知っている」は、一般高齢者では19.9%、事業対象者では30.9%、介護保険サービスの無受給者では12.5%、要支援利用者では21.4%、要介護利用者では23.4%となっています。これを性別にみると、一般高齢者、事業対象者では、女性に比べて男性が5ポイント以上低くなっています。

図表4-63 日常生活自立支援事業の認知度

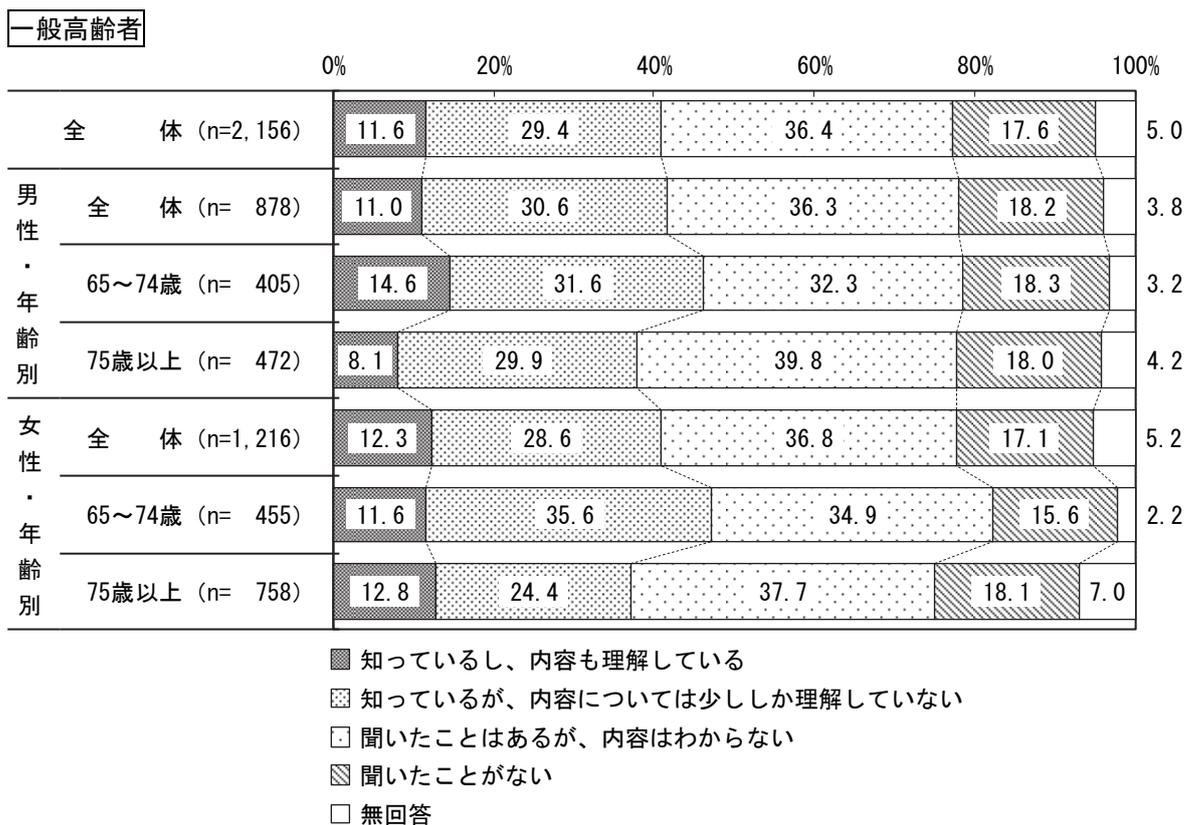


在宅要支援・要介護認定者

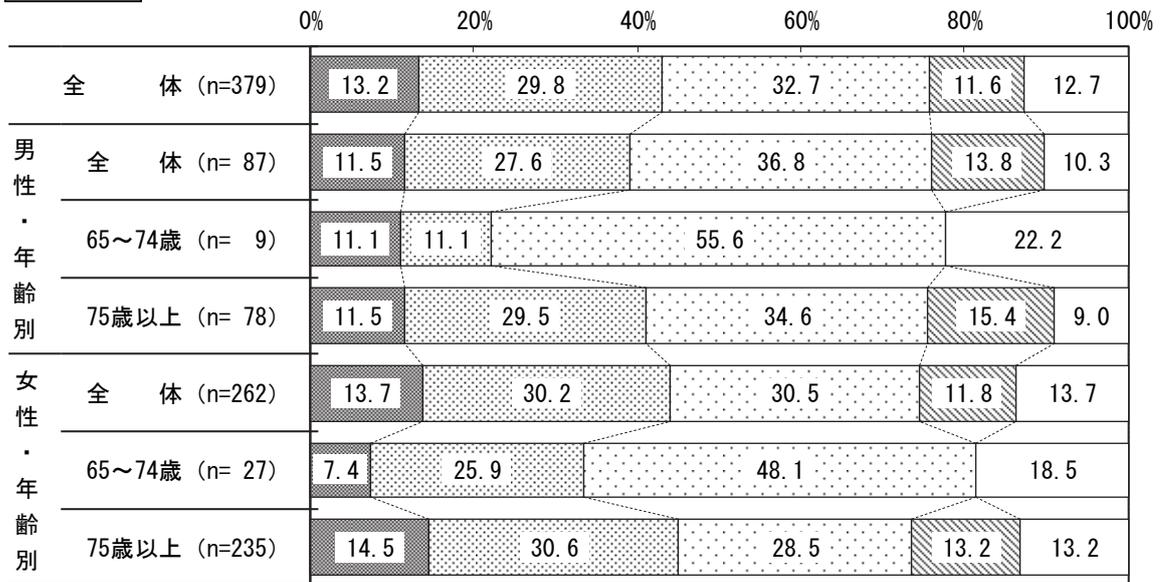


成年後見制度（認知症高齢者等が不利益を受けないように、本人の権利を守る援助者（成年後見人等）を選んで法律的に支援する制度）について《知っている》（「知っているし、内容も理解している」＋「知っているが、内容については少ししか理解していない」）は、一般高齢者では41.0%、事業対象者では43.0%、介護保険サービスの無受給者では30.3%、要支援利用者では35.2%、要介護利用者では40.7%となっています。これを性別にみると、無受給者では、女性に比べて男性が5ポイント程度低くなっています。

図表4-64 成年後見制度の認知度

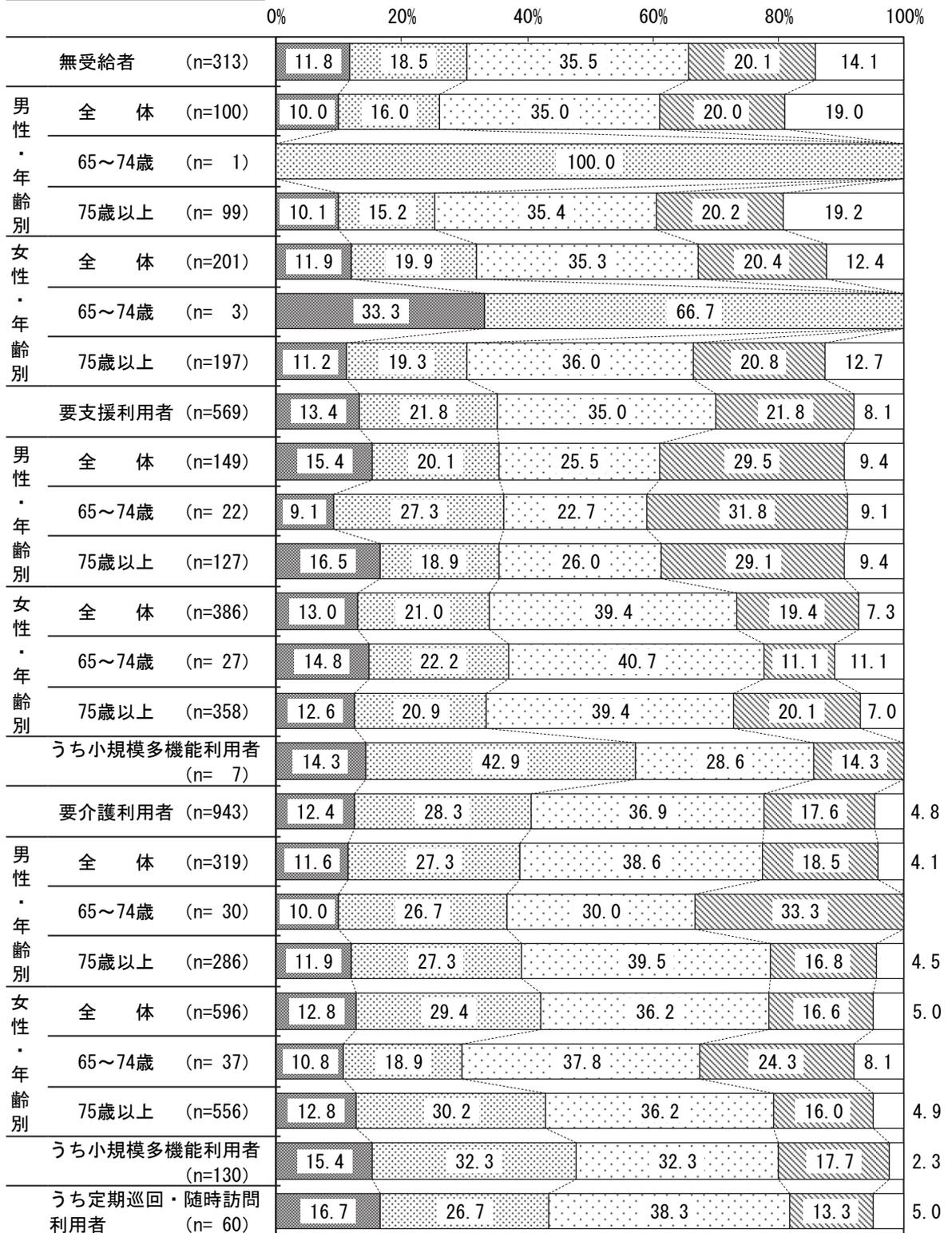


事業対象者



- 知っているし、内容も理解している
- ▨ 知っているが、内容については少ししか理解していない
- 聞いたことはあるが、内容はわからない
- ▧ 聞いたことがない
- 無回答

在宅要支援・要介護認定者



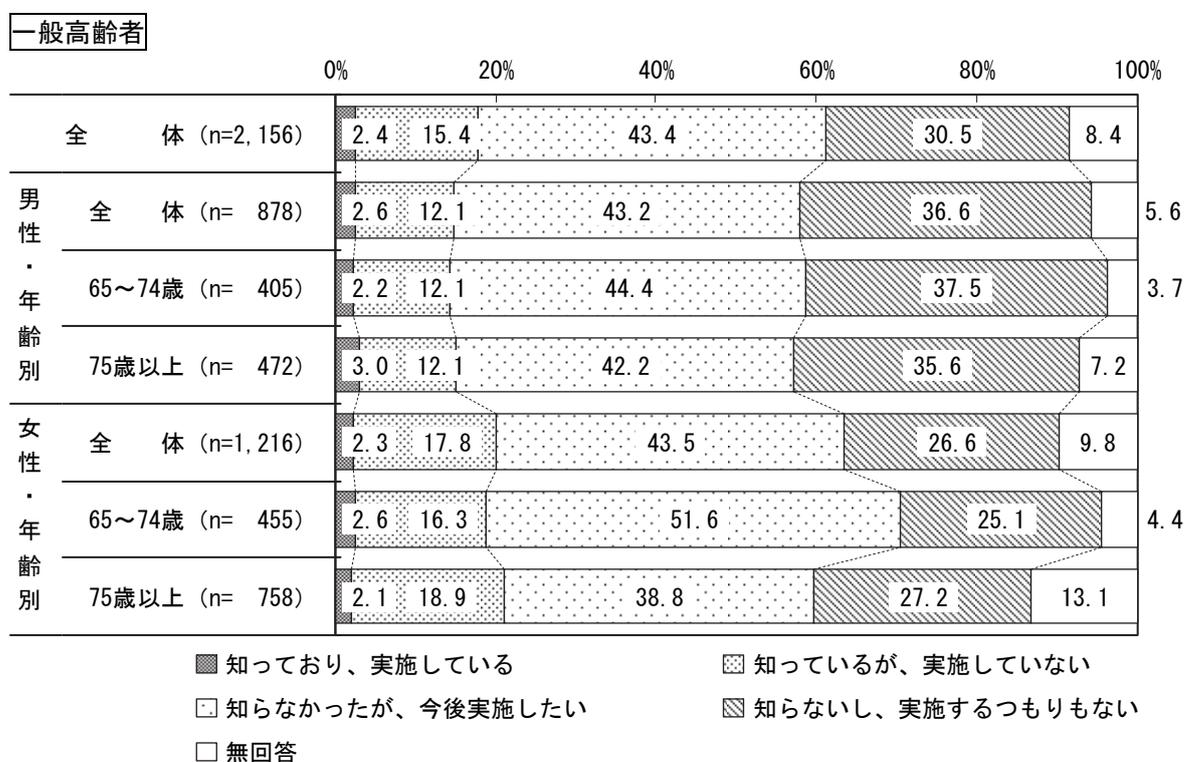
- 知っているし、内容も理解している
- ▨ 知っているが、内容については少ししか理解していない
- 聞いたことはあるが、内容はわからない
- ▤ 聞いたことがない
- 無回答

#### (4) 終活支援

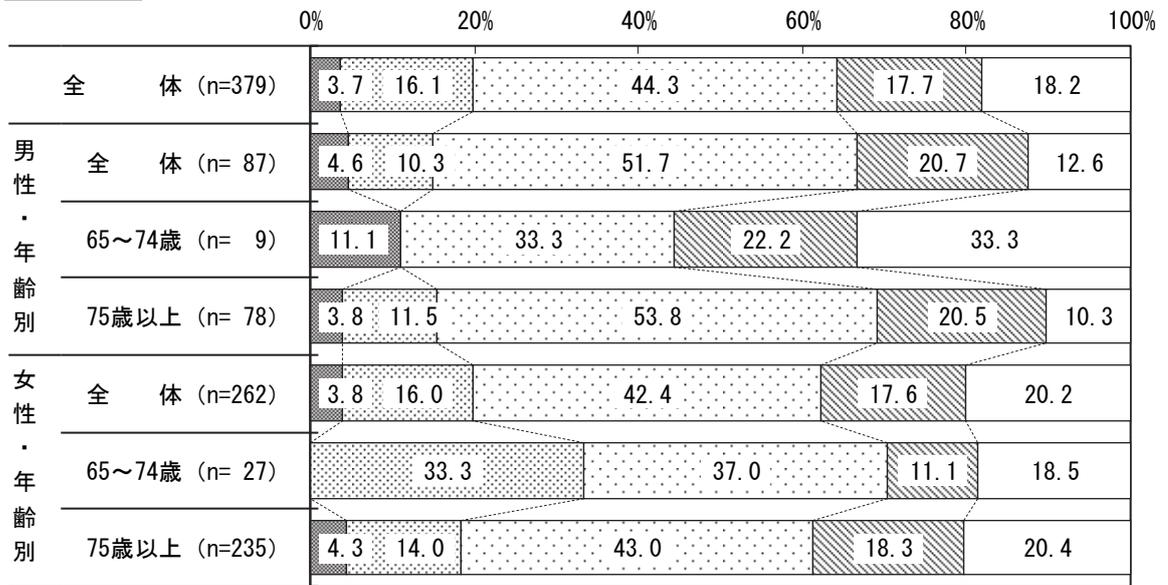
人生の最終段階において、どのような医療や介護を受けたいかを家族や支援者等と前もって話し合う「人生会議」(ACP)について《知っている》(「知っており、実施している」+「知っているが、実施していない」)は、一般高齢者では17.8%、事業対象者では19.8%、介護保険サービスの無受給者では15.4%、要支援利用者では18.0%となっています。これを性別にみると、一般高齢者では、女性に比べて男性が5ポイント程度低くなっています。

なお、「人生会議」(ACP)を「実施している」は、一般高齢者で2.4%、事業対象者で3.7%、介護保険サービスの無受給者で5.8%、要支援利用者では5.0%と低くなっていますが、「今後実施したい」は、一般高齢者で43.4%、事業対象者で44.3%、介護保険サービスの無受給者で36.4%、要支援利用者では37.7%を占めています。

図表4-65 人生会議(ACP)の認知度

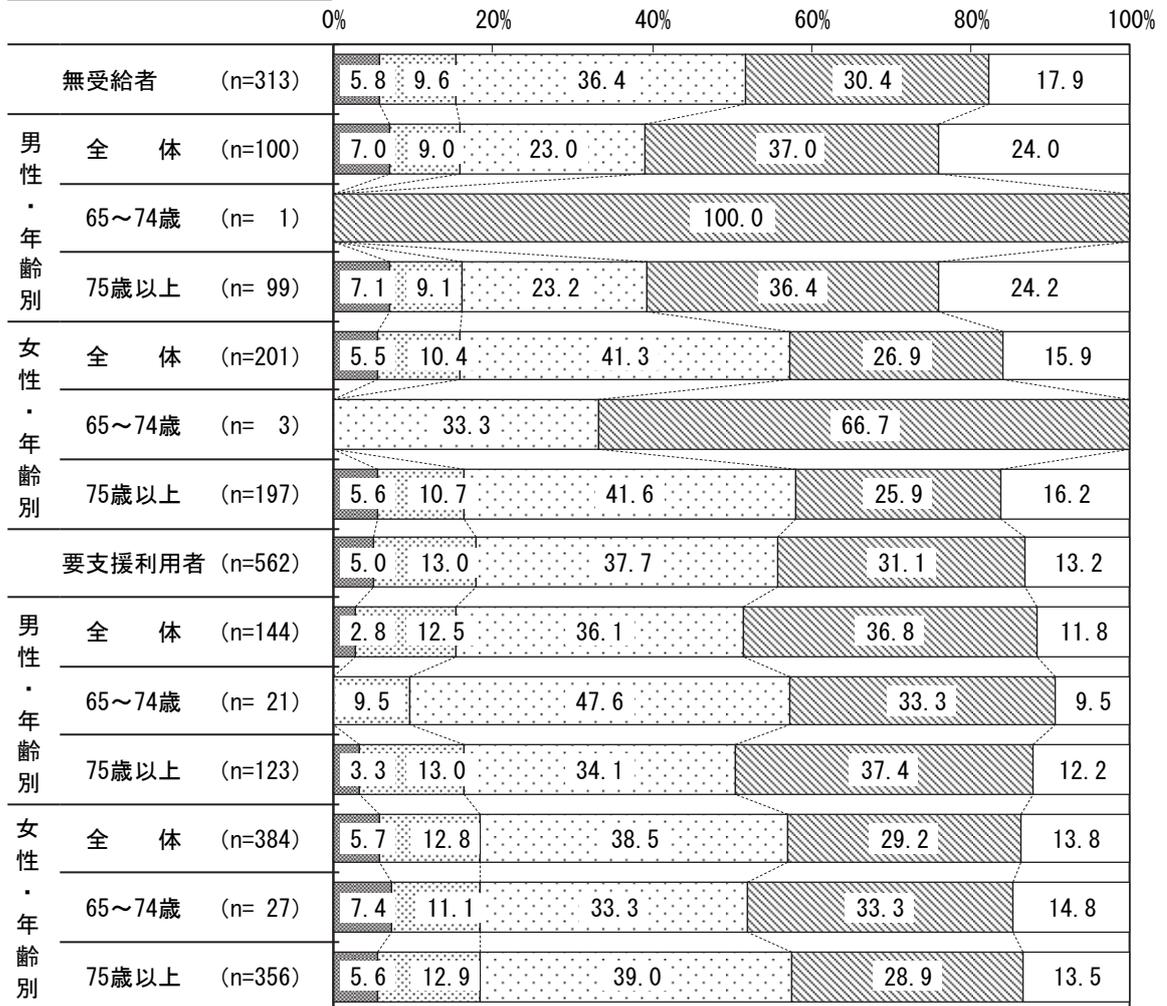


事業対象者



- 知っており、実施している
- 知らなかったが、今後実施したい
- 無回答
- ▨ 知っているが、実施していない
- ▩ 知らないし、実施するつもりもない

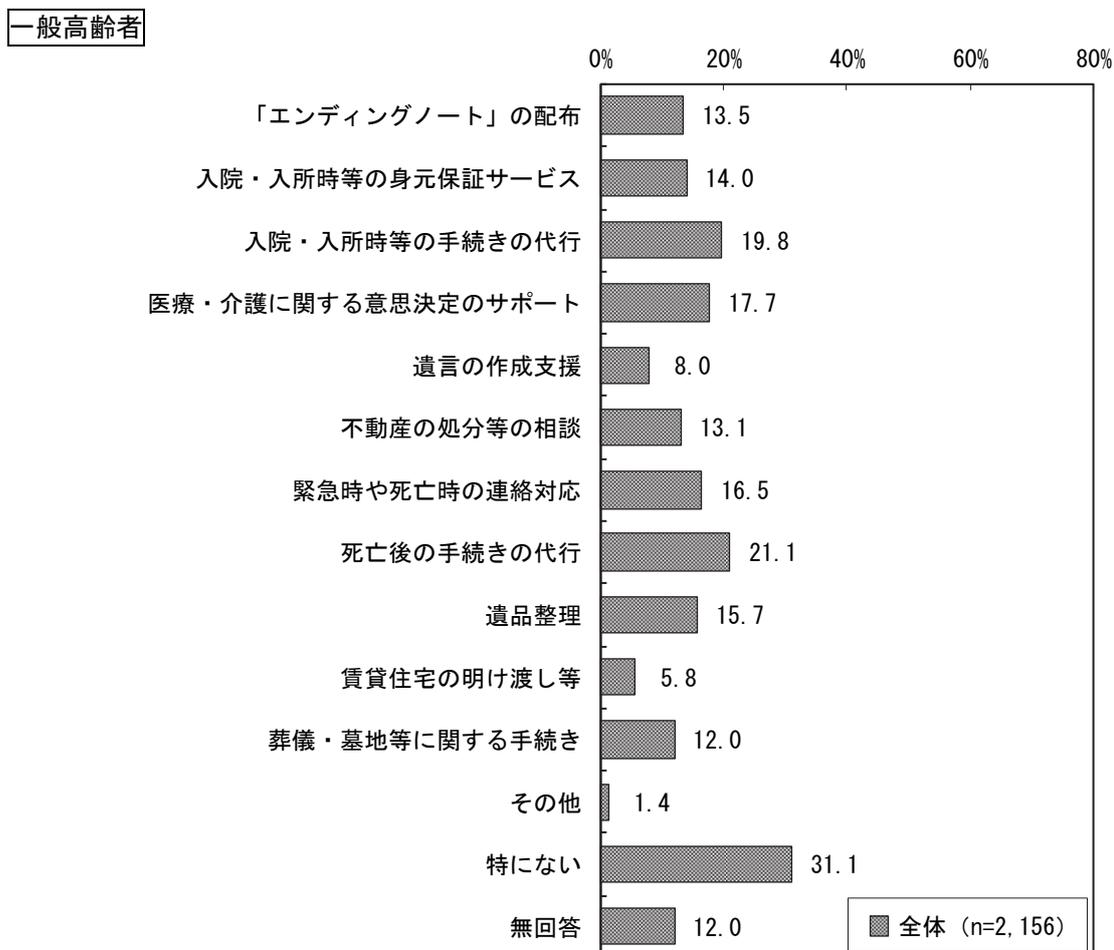
在宅要支援・要介護認定者



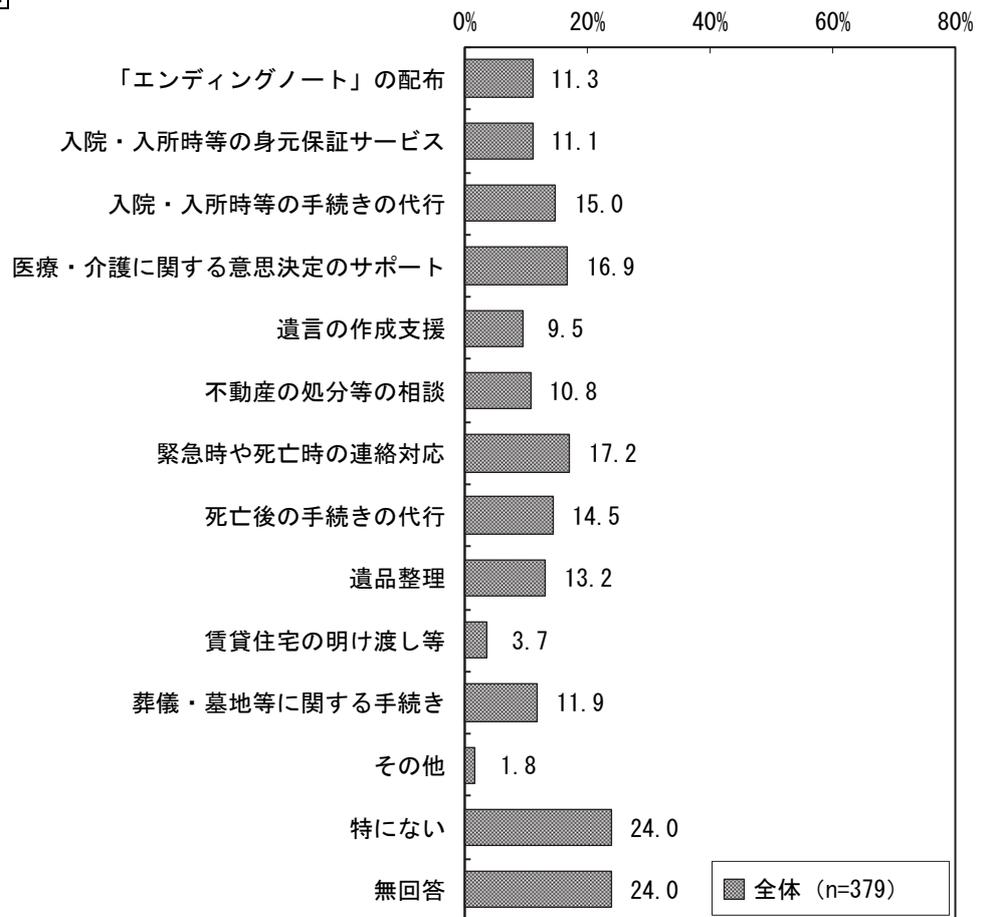
- 知っており、実施している
- ▨ 知っているが、実施していない
- ▤ 知らなかったが、今後実施したい
- ▧ 知らないし、実施するつもりもない
- 無回答

人生の最終段階や死亡後についての不安を軽減するために必要な支援・サービスについてたずねたところ、いずれも、「特にない」が最も高く、これと「無回答」を除くと、一般高齢者と介護保険サービスの無受給者では「死亡後の手続きの代行」(21.1%、19.5%)、事業対象者では「緊急時や死亡時の連絡対応」(17.2%)、要支援利用者では「入院・入所時等の手続きの代行」(18.1%)が最も高くなっています。

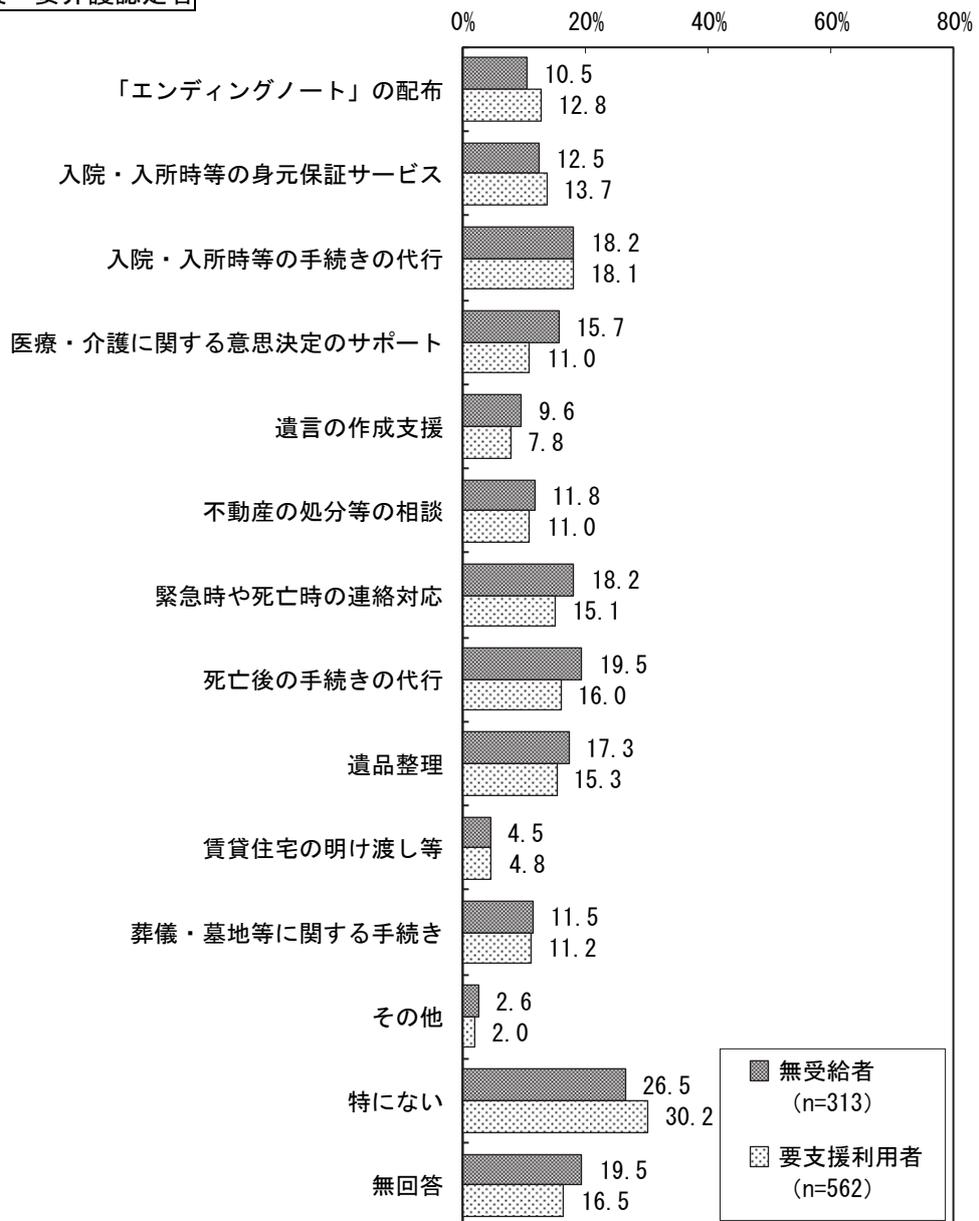
**図表 4-66** 人生の最終段階等の不安を軽減するために必要なサービス（複数回答）



事業対象者



在宅要支援・要介護認定者



性別にみると、事業対象者の「葬儀・墓地等に関する手続き」と要介護利用者の「入院・入所時等の身元保証サービス」では女性に比べて男性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-67 人生の最終段階等の不安を軽減するために必要なサービス(性別・年齢別、複数回答)

一般高齢者

(単位：%)

区 分		「エンディングノート」の配布	入院・入所時等の身元保証サービス	入院・入所時等の手続きの代行	医療・介護に関する意思決定のサポート	遺言の作成支援	不動産の処分等の相談	緊急時や死亡時の連絡対応	死亡後の手続きの代行	遺品整理	賃貸住宅の明け渡し等	葬儀・墓地等に関する手続き	その他	特にない	無回答
男 性	全 体 (n= 878)	13.2	13.7	21.2	18.5	9.3	15.3	15.7	22.8	16.1	6.2	14.4	0.8	32.9	8.3
	65～74 歳 (n= 405)	13.1	14.8	21.2	17.8	10.6	18.5	16.8	22.7	20.7	7.7	16.0	0.2	32.1	5.9
	75 歳以上 (n= 472)	13.3	12.7	21.2	19.1	8.3	12.5	14.8	22.9	12.1	4.9	12.9	1.3	33.5	10.4
女 性	全 体 (n=1, 216)	14.0	14.1	19.2	17.9	7.1	11.8	17.4	20.0	15.9	5.7	10.5	2.0	29.7	13.9
	65～74 歳 (n= 455)	16.7	14.9	18.7	21.8	7.9	15.6	19.6	21.3	19.3	4.4	11.2	2.0	29.2	7.5
	75 歳以上 (n= 758)	12.4	13.7	19.7	15.7	6.6	9.5	16.2	19.3	13.9	6.5	10.2	2.0	29.7	17.8

事業対象者

(単位：%)

区 分		「エンディングノート」の配布	入院・入所時等の身元保証サービス	入院・入所時等の手続きの代行	医療・介護に関する意思決定のサポート	遺言の作成支援	不動産の処分等の相談	緊急時や死亡時の連絡対応	死亡後の手続きの代行	遺品整理	賃貸住宅の明け渡し等	葬儀・墓地等に関する手続き	その他	特にない	無回答
男 性	全 体 (n= 87)	10.3	17.2	19.5	23.0	12.6	12.6	21.8	21.8	14.9	6.9	20.7	2.3	21.8	18.4
	65～74 歳 (n= 9)	11.1	22.2	33.3	33.3	22.2	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	22.2	-	11.1	22.2
	75 歳以上 (n= 78)	10.3	16.7	17.9	21.8	11.5	11.5	21.8	21.8	15.4	6.4	20.5	2.6	23.1	17.9
女 性	全 体 (n=262)	12.6	8.0	13.7	15.6	8.4	9.2	16.4	12.2	13.0	2.3	8.8	1.5	25.2	25.6
	65～74 歳 (n= 27)	18.5	14.8	18.5	22.2	14.8	11.1	29.6	22.2	25.9	3.7	7.4	-	11.1	18.5
	75 歳以上 (n=235)	11.9	7.2	13.2	14.9	7.7	8.9	14.9	11.1	11.5	2.1	8.9	1.7	26.8	26.4

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

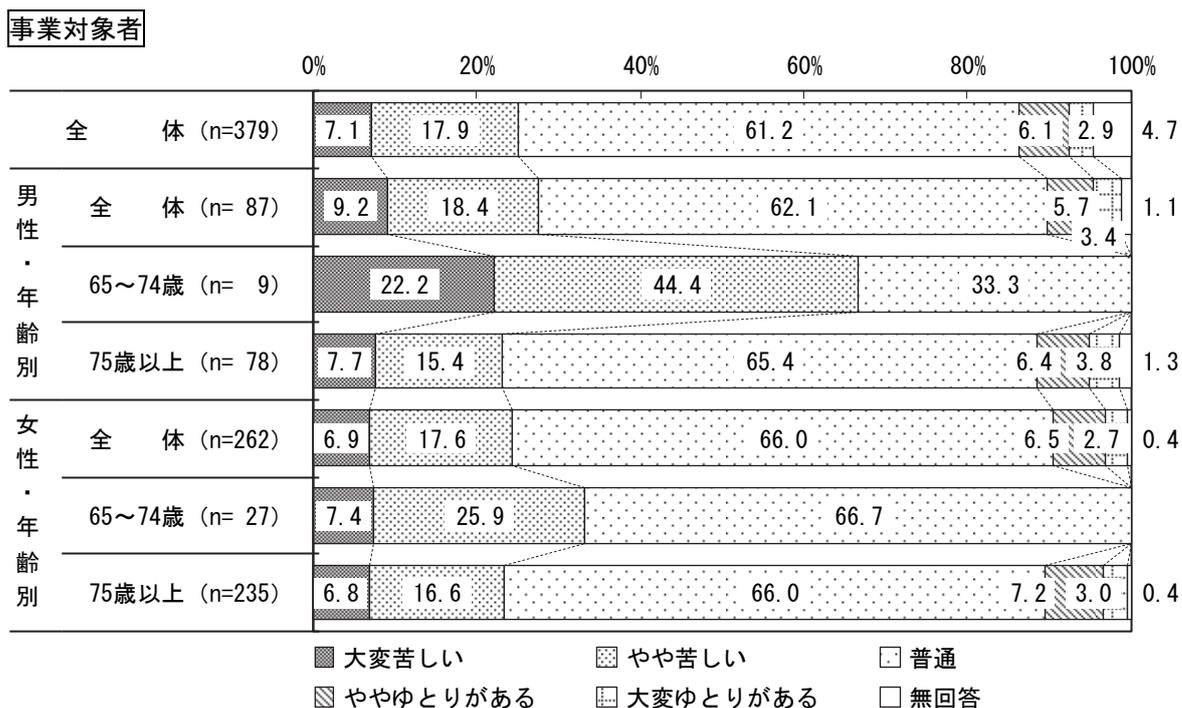
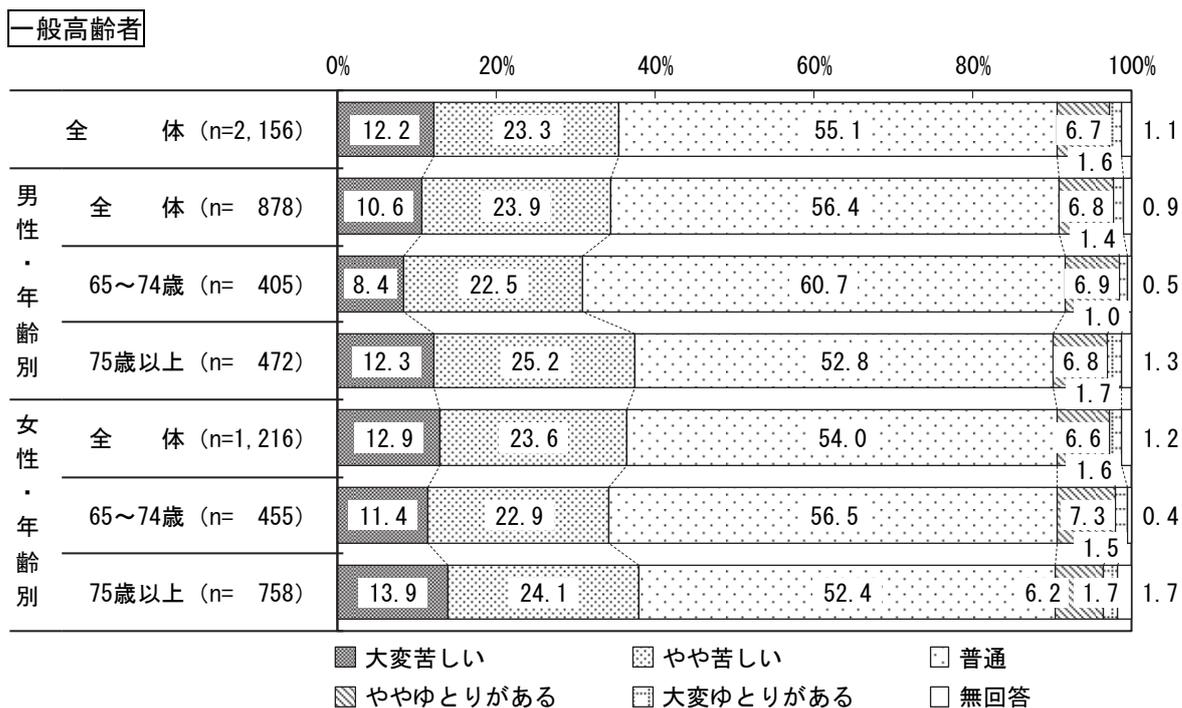
区 分		「エンディングノート」の配布	入院・入所時等の身元保証サービス	入院・入所時等の手続きの代行	医療・介護に関する意思決定のサポート	遺言の作成支援	不動産の処分等の相談	緊急時や死亡時の連絡対応	死亡後の手続きの代行	遺品整理	賃貸住宅の明け渡し等	葬儀・墓地等に関する手続き	その他	特になし	無回答
無受給者															
男 性	全 体 (n=100)	8.0	9.0	15.0	13.0	12.0	10.0	11.0	17.0	16.0	2.0	11.0	4.0	26.0	20.0
	65～74 歳 (n= 1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	75 歳以上 (n= 99)	8.1	9.1	15.2	13.1	12.1	10.1	11.1	17.2	16.2	2.0	11.1	4.0	25.3	20.2
女 性	全 体 (n=201)	11.4	14.4	20.4	16.9	9.0	12.9	20.9	20.9	18.4	6.0	11.4	2.0	26.4	20.4
	65～74 歳 (n= 3)	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-
	75 歳以上 (n=197)	11.7	14.7	20.8	16.2	9.1	13.2	20.3	21.3	18.8	6.1	11.7	2.0	26.4	20.8
要支援利用者															
男 性	全 体 (n=144)	14.6	22.9	22.2	11.8	13.2	16.7	14.6	17.4	11.8	4.2	16.0	0.7	26.4	13.2
	65～74 歳 (n= 21)	23.8	23.8	19.0	4.8	23.8	9.5	14.3	28.6	14.3	4.8	28.6	-	19.0	14.3
	75 歳以上 (n=123)	13.0	22.8	22.8	13.0	11.4	17.9	14.6	15.4	11.4	4.1	13.8	0.8	27.6	13.0
女 性	全 体 (n=384)	12.8	10.7	16.9	11.2	5.2	8.3	15.4	15.4	16.4	5.2	9.4	2.1	32.6	17.2
	65～74 歳 (n= 27)	3.7	18.5	29.6	14.8	3.7	7.4	18.5	18.5	22.2	3.7	18.5	3.7	29.6	14.8
	75 歳以上 (n=356)	13.5	10.1	16.0	11.0	5.3	8.4	15.2	15.2	16.0	5.3	8.7	2.0	32.9	17.1

## 8 生活全般について

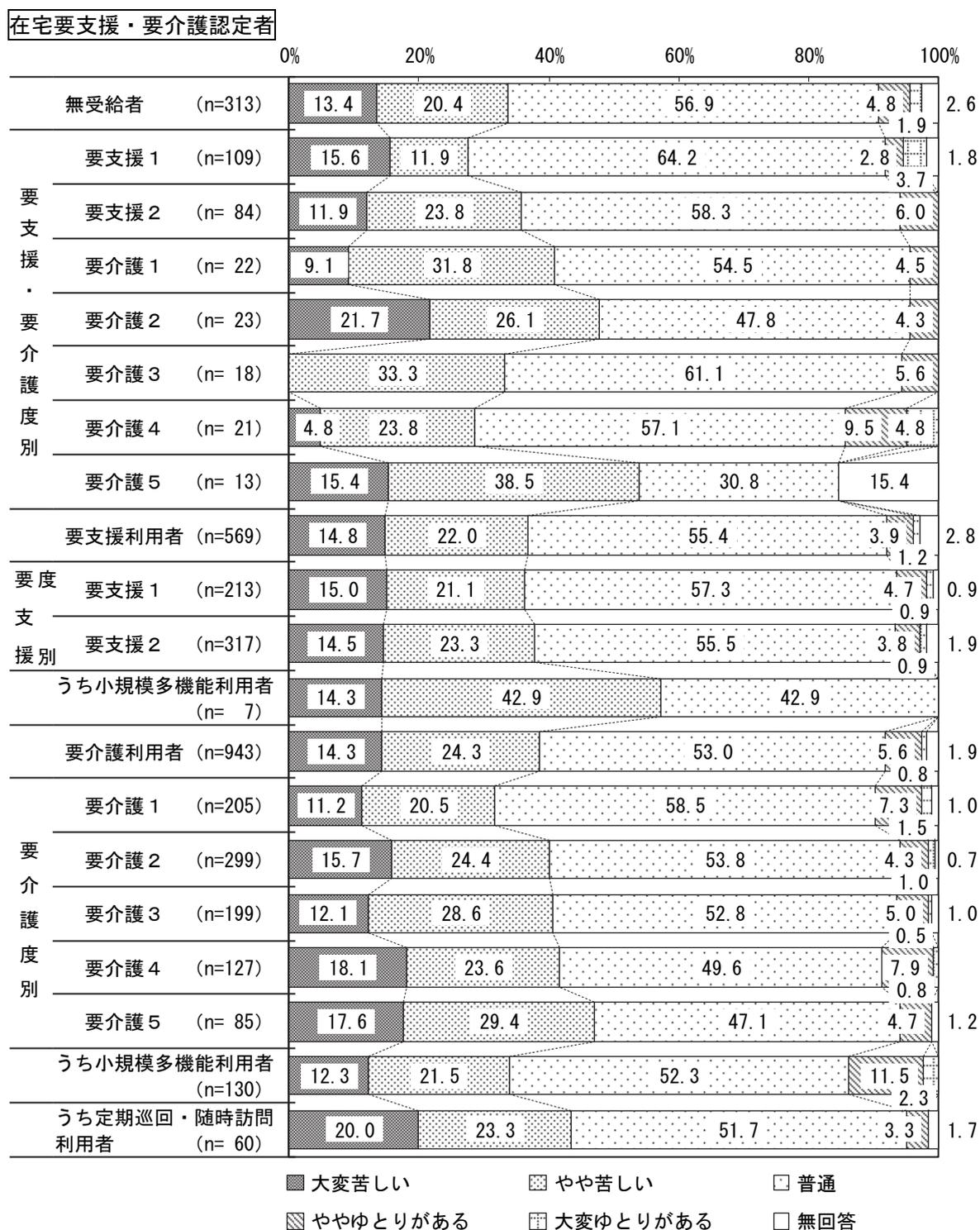
### (1) 暮らしの状況

暮らしの状況を経済的にみてどうかたずねたところ、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせると、一般高齢者では35.5%、事業対象者では25.0%、介護保険サービスの無受給者では33.8%、要支援利用者では36.8%、要介護利用者では38.6%、施設入所者では16.8%、グループホーム入居者では41.7%となっています。

図表4-68 暮らしの状況

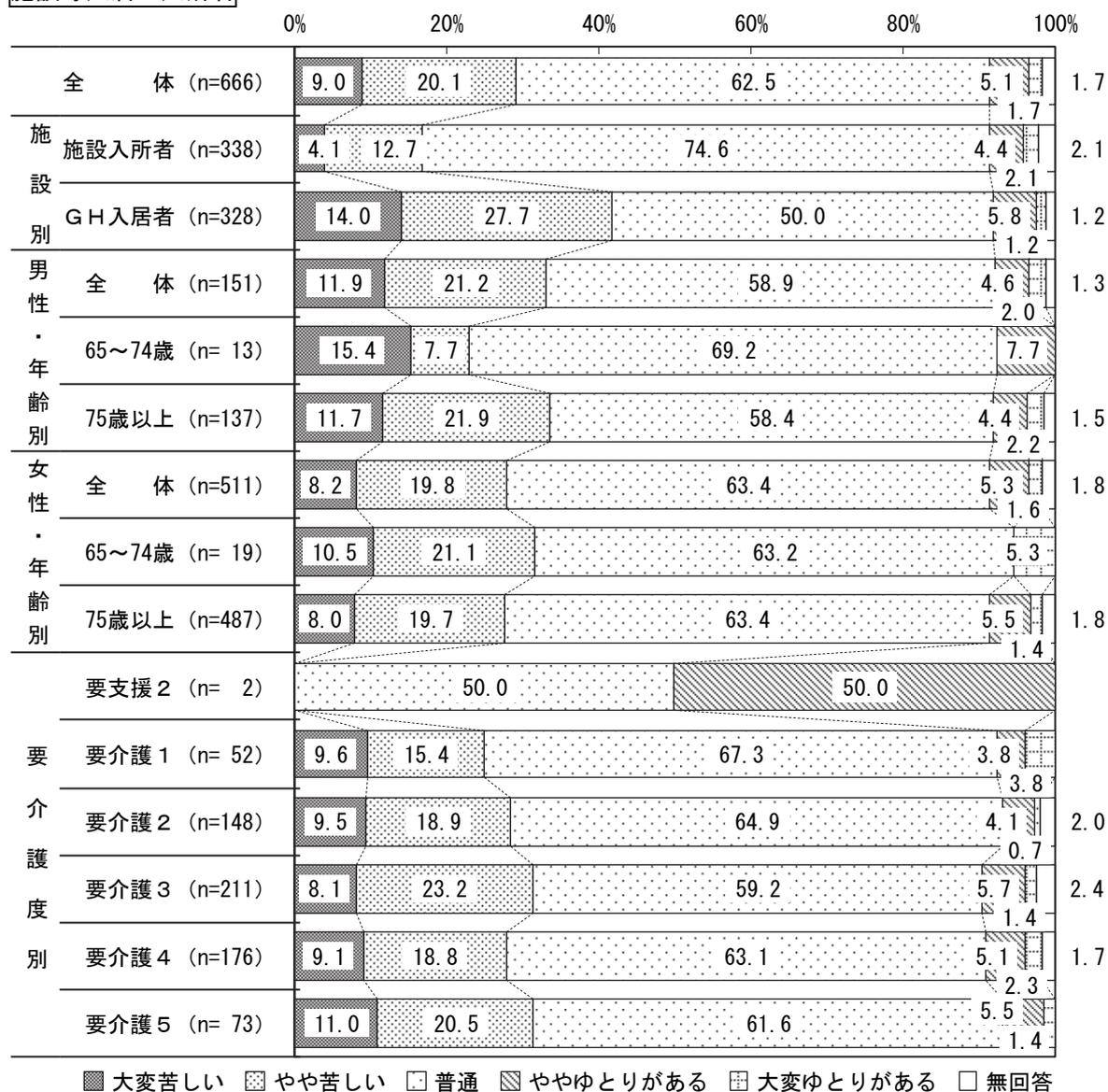


在宅要支援・要介護認定者について、要支援・要介護度別にみると、要支援・要介護利用者では、重度ほど高い傾向がみられます。



施設等入居・入所者について、要支援・要介護度別にみても、重度ほど高い傾向がみられます。

施設等入居・入所者

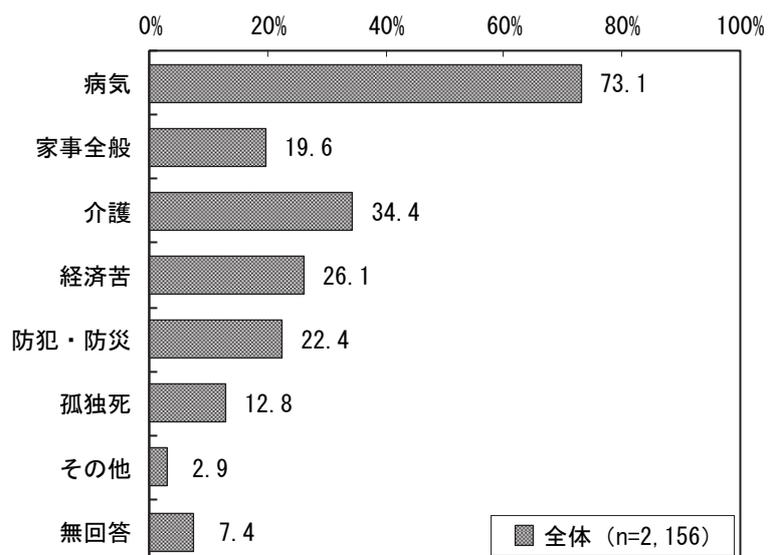


## (2) 今後不安に思うこと

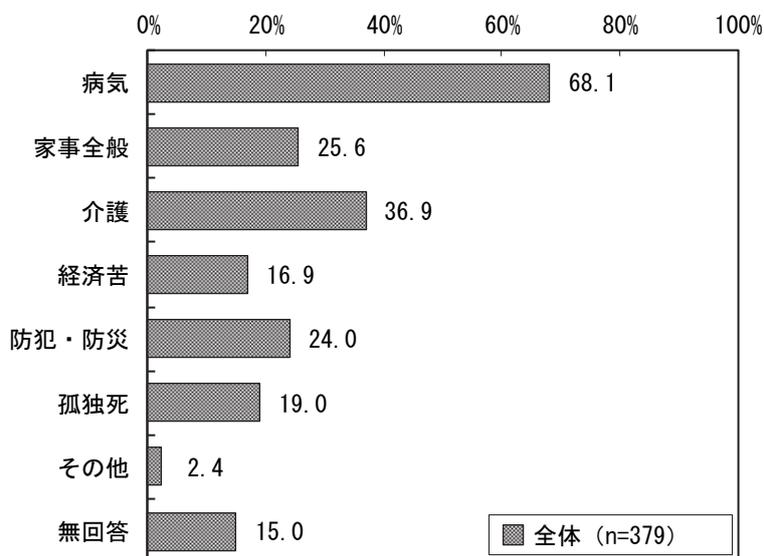
今後、生活する上で不安に思うことをたずねたところ、いずれにおいても「病気」が最も高く、60%以上を占めています。次いで高いのは、いずれにおいても「介護」で、30・40%台を占めています。このほか、要介護利用者の「経済苦」も30%を超えています。

図表4-69 今後不安に思うこと（複数回答）

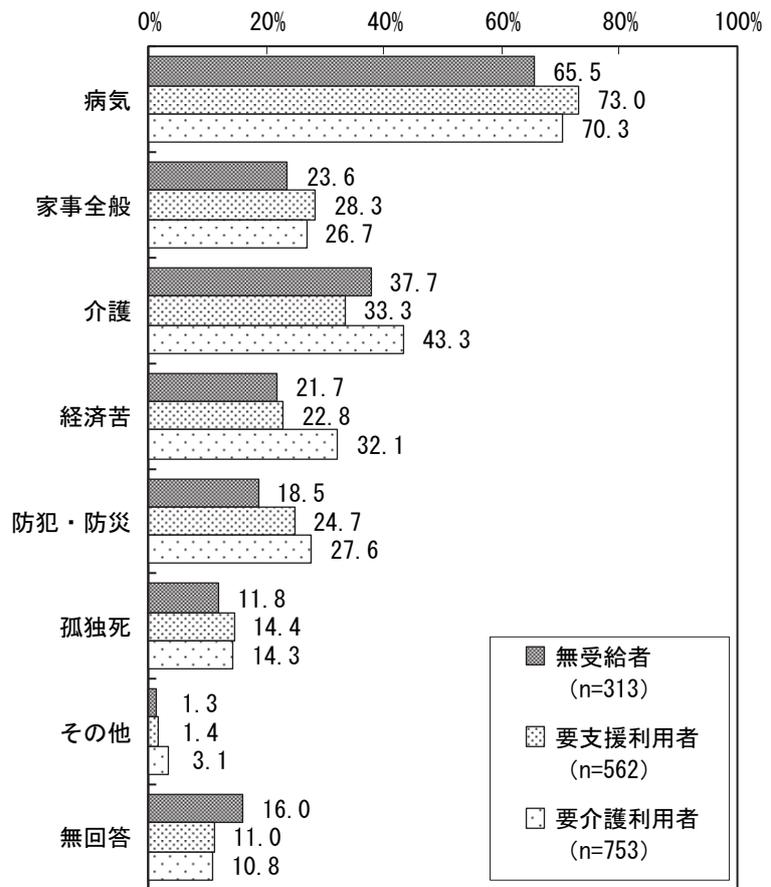
一般高齢者



事業対象者



在宅要支援・要介護認定者



性別にみると、無受給者の「経済苦」では、男性に比べて女性が10ポイント以上高くなっています。

図表4-70 今後不安に思うこと（性別・年齢別、複数回答）

一般高齢者

(単位：%)

区 分		病気	家事全般	介護	経済苦	防犯・防災	孤独死	その他	無回答
男 性	全 体 (n= 878)	75.4	17.8	33.3	26.3	19.8	11.4	2.8	6.7
	65～74 歳 (n= 405)	77.8	14.3	31.1	27.4	25.7	10.4	1.5	5.4
	75 歳以上 (n= 472)	73.5	20.8	35.2	25.2	14.8	12.3	4.0	7.8
女 性	全 体 (n=1,216)	72.1	20.9	35.1	26.0	24.7	13.7	2.9	7.5
	65～74 歳 (n= 455)	71.9	18.2	36.7	30.5	27.7	12.3	3.1	5.1
	75 歳以上 (n= 758)	72.2	22.4	34.2	23.2	22.8	14.5	2.8	9.0

事業対象者

(単位：%)

区 分		病気	家事全般	介護	経済苦	防犯・防災	孤独死	その他	無回答
男 性	全 体 (n= 87)	69.0	28.7	43.7	17.2	18.4	19.5	3.4	10.3
	65～74 歳 (n= 9)	55.6	11.1	55.6	44.4	33.3	33.3	-	22.2
	75 歳以上 (n= 78)	70.5	30.8	42.3	14.1	16.7	17.9	3.8	9.0
女 性	全 体 (n=262)	68.3	24.8	35.1	17.9	26.7	18.3	1.9	16.4
	65～74 歳 (n= 27)	51.9	18.5	33.3	14.8	25.9	29.6	3.7	18.5
	75 歳以上 (n=235)	70.2	25.5	35.3	18.3	26.8	17.0	1.7	16.2

在宅要支援・要介護認定者

(単位：%)

区 分		病気	家事全般	介護	経済苦	防犯・防災	孤独死	その他	無回答
無受給者									
男 性	全 体 (n=100)	61.0	24.0	37.0	13.0	12.0	11.0	-	23.0
	65～74 歳 (n= 1)	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	75 歳以上 (n= 99)	60.6	23.2	37.4	13.1	12.1	11.1	-	23.2
女 性	全 体 (n=201)	67.7	23.9	38.8	25.4	21.9	12.4	1.5	13.4
	65～74 歳 (n= 3)	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-
	75 歳以上 (n=197)	68.5	24.4	39.6	25.4	21.8	12.7	1.0	13.7
要支援利用者									
男 性	全 体 (n=144)	72.9	29.2	30.6	23.6	20.1	11.8	1.4	11.1
	65～74 歳 (n= 21)	61.9	19.0	19.0	42.9	14.3	4.8	-	9.5
	75 歳以上 (n=123)	74.8	30.9	32.5	20.3	21.1	13.0	1.6	11.4
女 性	全 体 (n=384)	73.7	28.1	34.4	22.7	27.1	14.8	1.6	10.4
	65～74 歳 (n= 27)	63.0	11.1	29.6	18.5	14.8	11.1	3.7	11.1
	75 歳以上 (n=356)	74.7	29.5	34.8	23.0	28.1	15.2	1.4	10.1
要介護利用者									
男 性	全 体 (n=277)	69.7	26.7	44.4	35.4	25.6	16.6	2.5	11.2
	65～74 歳 (n= 27)	77.8	25.9	48.1	33.3	7.4	14.8	-	11.1
	75 歳以上 (n=248)	69.0	27.0	44.0	35.9	27.8	16.9	2.8	10.9
女 性	全 体 (n=449)	70.4	26.5	43.7	30.1	29.4	13.1	3.3	10.0
	65～74 歳 (n= 26)	76.9	34.6	57.7	65.4	42.3	38.5	3.8	3.8
	75 歳以上 (n=421)	69.8	25.9	42.8	27.8	28.5	11.6	3.3	10.5

## 岐阜市高齢者等実態調査報告書

---

発行年月 令和 8 年 3 月  
発 行 者 岐阜市福祉部  
〒500-8701  
岐阜市司町 40 番地 1  
TEL 058-265-4141 (代表)  
FAX 058-267-6015

---